

# と

と【**格助詞**】打ち消しの助動詞に接続して“いないで”の意を表す(志、伊賀地方)〔会話〕遊びんも(にも)行かんト(行かずに)、なんド(なんだ)このぬくたいのん(暖かいのに)、家ん(に)ばっかおって(ばかりいて)どこい(に)でも行かんかれ(行きなさい)言うて。どこやかや(何処や彼処)遊びんいても(に行っても)遠いとこい(所に)行くやないド(行ってはいけない)言うて、遠いとこ(所)へ行たら(行ったら)いけません言うのを 遠いとこ(所)へ行たらはざんどお(行ったら駄目だ)言うて。

ど【**接頭語**】接頭 名詞、形容詞に付いて、まさにその事で有る事を強調する 名詞、形容詞、形容動詞について罵る気持ちを込める。(志、鳥、桑郡、桑市、員、三、鈴郡、鈴市、多、上、阿、張、名、伊、北、尾、南、熊)〔会話〕腹な(が)立つ時に、あんまり(あまり)言うても 聞かせんと(聞かないと)、ドツンバ(響め)言うたり、ドチクシャ(畜生)言うたり。

ど【**助詞**】〔**接尾語**〕疑問を表す(志、鈴市、張、上、名、度、伊、尾、北、南、熊)

ど【**名詞**】櫓 船を漕ぎ進める道具の一つ(志、鳥、度)〔会話〕櫓 漕ぐ、櫓 言うけど 発音”ろ”よお言わん(言えない)人も 有る。ド と ろと 皆一緒みたよん(みたいに)、だちづでど と らりるれろが 一緒んなつとる(になっている)。

ど【**名詞**】人を表す 職業の後に付き、それを行なう人を表す 沖人(オキド)、磯人(イソド)、山人(ヤマド)(三重県)

とい【**形容詞**】遠い(志、鳥、津、多、北、南、熊)〔会話〕トイ言うて、遠い そげん(そんなに)トイとこ(所)迄、行くなまあ(でない)。あの家や(は)どいらい(大変)トイわれ(です)まだ ずうっと いかなはざんねどお(行かなければいけないのだ)、トイんどお(のだ)言うて。

とい(とひ)【**樋**】〔**名詞**〕とゆ 屋根の雨水を受ける具…どい【**接尾語**】疑問 何ですか(志、北、尾)〔会話〕なんドイ(何ですか)言うのなあ(のです)、それは聞く事や(です)。男の人らん(達に)何ですか言うて 聞く事を なんドイ言うねなあ(言うのです)、そして 目下の人に 聞く時や(は) なんどお言うて。といあわせ(とひあはせ)【**問合**】〔**名詞**〕聞き合

事。確かめるため問い正す事。

といい【**形容詞**】遠い〔会話〕遠いとこ(所)まで言うのを、トイとこ 行て来る言うて。

といおさめ【**名詞**】五十回忌 三十三回忌(阿、伊)〔会話〕年忌は こんで(これで)トイオサメやなあ(だ)。まあ こんで(これで)終いの年忌やなあ(だ)言うて。五十年経っと 五十年忌ん(に)なると、こんで(これで)終いの年忌やよって(だから)何か 印し(記念品) こばらな(配らなければ)言うけどなあ。

といかやす(といかえす、とひかへす)【**問返**】〔**他サ五**〕問い返す 一度問うた事を再び聞く 聞き直す〔会話〕あんたな(貴方が) なんか(何か)言うと、なんをええ(何をですか)言うて トイカヤスの 問い正すことを なんをええ言うて。

といき(吐息)【**名詞**】思わず知らずほつとつく息 落胆したり思い悩んだり、又、緊張が緩んだりした時に吐く息〔会話〕一息 トイキやれ(だ)言うて、えらいと(大変だと) さいごなあ(その時)トイキついたれ(ついた)まあ言うてなあ。溜め息 トイキ言うけど。

といき(遠行)【**名詞**】遠行き 遠方へ出掛けること又、出掛けていること〔会話〕トイキ、しとんねよお(しているのです)言うて、遠いとこい(所へ)行くと ま、とおいきしとてなあ(していて)、今日は早速(早く)来やせんわい(来ません)言う時んな(に)、トイキしとる(している)言うてな。

どいぎ(土居木)【**名詞**】川の水や土砂の崩れを防ぐための丸太 どおぎ参照〔会話〕ドイギや(だ)言うて、胴木 言う人も有るけど。水 せんだり(防いだり)土 せんだり すんの(するのを)、ドイギやっとかな(当てなければ)水な(が)越して来るとか、土な(が)押して来るとか言うて。

といぐすり(とひぐすり)【**問薬**】〔**名詞**〕医師の処方によらないで 薬局、又は民間で薬を求め病気を治す事(三重県南部)〔会話〕昔や(は)採り草や(とか)、トイグスリで 治しおつたもんで(治して居たので)、ええ(大変な)苦しみしいおつた(して居ました)。…いた …しておいた(久、松)〔会話〕わしな(私)が、あしか(あすこは)、ま、掃除しトイタとかな、掃いトイタわい(です)とか言うてな。しておきまし

た言うのをな しトイタわい言うの(のです)。

**どいだけ【副詞】** どれだけ どれほど (志(布施田))

[会話] ドイダケあんねど (有るのですか)、ドイダケくれんねど (くれるのですか) とか、量の事を ドイダケ言うのなあ (のです)。ドイダケあるか 計って見よまあてやら (見なさいとか)、かんじょ (勘定) して見よまあ 言うて。そして 貰う時でも ドイダケくれんねどい (くれるのですか) 言うて。

**といたごぼち【名詞】** 鼠取りの器具、板の上に土を盛りバネ仕掛けにしたもの。[会話] 上ん (に) 土な 塗って有ってなあ、中でバネん (に) なつとて (なっていて) 糸で引っ張って有って、鼠な (が) 来て、それい (それへ) 登ると ばたと行くよんしとんねてや (ようにしているのです) トイタゴボチ。

**といちはいち【名詞】** 婦人の同性愛 (志)

**どいつ【代名詞】** 何奴 不定称 人称代名詞 誰を卑しめて言う語 ドはやつこ、しもべ、ドヤン (何奴) の訛 (志 (片田)、桑市、三、鈴市、久、松、多、上、阿、張、度、伊、尾、南) [会話] ドイツモ コイツモ、おのれ (怒りの言葉) どぐらしたろん (叩いてやろう) 言うたり、ドイツモコイツモ 皆 まあ 間に合わんで (合わなくて) 言うて。何処のドイツどお (だ) どん (へま) な事して どぐらしたろん 言うて、叩いたる (てやる) 事を どづいたんねどお (叩いてやるぞ) どぐらしたろん 言うて ごおなわく (腹が立つ) 時や (は)。

**どいつもこいつも** 誰も彼も どいつ参照

**どいつら【代名詞】** 何奴等 どいつの複数 (鈴市、多、伊賀地方、度、伊、北、尾、南)

…**どいて** 1) しておいて 2) しておいて下さい (志、鳥、桑郡、三、鈴市、安、一、多、上、阿、張、名、度、伊) [会話] 2) あしこい (あすこへ) 置いとイテ、言うてなあ、其処い (へ) 置いとイテ行けとかなあ。

…**どいて【接尾語】** 1) …ておいて …をしながら 2) しておいて下さい (志、鳥、桑郡、三、鈴市、安、一、多、上、阿、張、名、度、伊)

**どいな** どんな (志、鳥、度) [会話] どげな事 言うて 言う人もあるし。ドイナ事でも よお言うねなあ (よく言うのですね) あのひた (人は) 言うて。人ん (に) なんでも言うたる (何でも言っている) 人をドイナ事でも 人ん (に) よお言うね。どげな事でも よお (よく) して言うて、なんでも言う事を ドイナやら (とか) どげな事言うて。

**どいなこと** どんな事 どんな これ位とか このよう

なとか 指示出来ない 不明の状態や性質などを表したり、それを尋ねたりする時に用いる。

**どいなもんどい** 1) どんな物ですか 2) どうですか 如何がですか [会話] 1) 判らん時、ドイナモンドイ、だい (どれ) 見せえまあ (見せて下さい) 言うて。

**どいなんど。どいなんどい** どのようなですか [会話] ドイナンドイたら (とか)、どげなんどいたら (とか) だい、見せえまあ (見せなさい) 言うて 判らせん (判らない) 時ん (に)。

**どいに【形容詞】** どんなに (志 (御座)、鳥)

**といや (とひや)【名詞】** 問屋 (三、度、北、熊) [会話] 志摩の 姉ら (娘達) の 粋な鉾、粋な磯髷 (髪形)、トイヤのてのこい (手拭)。

**どいやこと** どのようなこと [会話] どげな (どんな) 言うなあ (言うのです)、ドイヤコトでも よおすんねてやら (よくするのだとか) ドイヤコトしとんねやら (どんな事しているのか) 判かるかい言うてなあ。どげな事しとんねやら、どげんしとんね (どんなにしているのか) とか、どんなことしとんねどい (どんな事しているのですか) 言うてなあ 何をしていますか言うのを。

**どいやし** 食いしん坊 どは強調の接頭語 [会話] いやしんぼのはてなしや (果て無しめ)、食いしん坊の事を ドイヤシンボ (大変な食いしん坊)、いやしんぼやたら (とか) 乞食太郎やてら、乞食太郎よ いやしんぼよ言うて いやしかつたんかいなあ (のでしょうか) 乞食たら (太郎) 言うて。

**どいらあい【形容詞】** 1) 大きい 大変大きい 2) 大変 [会話] 1) おっきい (大きい) おっきいのを ドイライアイ。2) ちよいと切ったや (少し切ったら) ドイライ痛いよお言うて、そして ちっさあいもん (極めて小さい物) 見ても、ドイライちっさいんなあ (小さいなあ) 言うて。てえ (手) を ちよいと (少し) 切ったばかやけど (ただけだが) ドイライ痛い言うて。1) ドイライ言うな (言うのは) おっきい (大きい) 言う事を、とてもおっきい 言う事を ドイライ言うて 別んも (特別に) おっきいよおん (大きいように)。2) ちっそおても (小さくても) ものすごい (大変) 小さいもん (物) を ドイライちっさいんなあ (小さいのだ) 言う、おっきいもんやなしん (大きい物で無くて)。その時は ドイライ言うな (言うのは) 大変に大変ちっさいもんや (小さい物だ) 言うの。ドイライちっさい 言うね (言うのです)。このまんじゃ (饅頭は) ドイライ美味しいなあ言うたり、大変を どいら

い。ドイライ言う人と ドエライ言う人と ドエライ言うのも よお言うわい (よく言います)。おなご (女) の人な (が) 使うなあ (使います) ドエライ言うな (言うのは)。 どえすらかい どっすらかい言うね (言うのです)、どっすらかい言う人もあるし どぎつい おっきいね (大変大きいのだ)。

**どいらい【形容詞】** 1) 大きい 大変大きい (志 (布施田、鶴方、神明、立神、国府、安乗)、鳥、一、松、多、度、伊、北、尾、南) 2) 大変な 程度が甚だしい (志、一、松、多、尾、南) どいらあい参照 3) 量が多い 4) 偉い

**どいらいえらい【形容詞】** 1) 大変偉い 立派である 2) 大変疲れた 3) 困難だ [会話] 1) おおた、あしこ (あすこ) の家のかあ (子は)、ドイライエライ、こおやなあ (子だ) 言うのも有るし。立派や (だ) 言うのと、2) くたばった (疲れた) 時んなあ (に) 今日、どいらいくたばった (疲れた) 言うて ドイライエライよお言うて、ドイライエライ言うのを、くたばった (疲れた) 言うてな。

**どいらいちっさい【形容詞】** 大変小さい どいらあい参照

**どいらいめんしたろん** ひどい目に会わせてやるぞ

**どいらいめんしたる** 1) ひどい目に会わせてやる 2) 苦勞をかける

**どいらいめんしたろん** 酷い目にしてやるぞ [会話] そげな (そんな) 事 すん (する) なら、おんな (俺が)、家いて (行つて) ドイライメンシタロン言うて、腹の立つとる (立っている) 時 言う言葉や (です)。

**どいろお (どいろう、どいらう)【形容詞】** 1) 非常に大きく 大きい (志 (浜島)、北) 2) 大変 (志、北) [会話] 1) ドイロオ こしらえてまあ あんまり (あまり) おっき (大き) 過ぎられ (ます) 言うて、おっきい (大きく) しい過ぎたとなあ (し過ぎてやると) あんまり おっき 過ぎられ 言うのなあ、あんまり どいら (大き) 過ぎられ 言うてなあ。2) そして 非常に言う時と、すごい言う時と、すごい おつきい (大きい) 言うのをなあ。ドイロオて 言うてな。

**とう (とふ) (訪、問)【他ワ五】** 1) 尋ねる 2) 訪れる 訪問する 3) 弔う (志 (布施田)) [会話] 3) おやだま (親霊) まつり 小餅の姉 (少し大きい) 言うて、トヨオッタ (お参りしました)。親な (が) 無いよおん (ように) なつてくと (行くと) 親だままつり言うて。

**とうす (とううす、たううす)【名詞】** 唐臼 すり臼 粃摺り用の臼 [会話] 粃する トウス。粃をなあ たあ (田) から刈つて来て 落して すくもな (粃殻が) 付いとんのおを (付いているのを)、それを挽くのを トウス、米にすん (する) のを。それを 割ったと (割つてやると) 玄米な (が) 出て来んの (来るのです)。それを トウス言うの (のです)。秋 (秋の農家の収穫の臨時雇い) 行くと 夕飯 食うた (食べた) 後で、二時間つ (ずつ) はしかいのん (のに) 二時間もすつて ごおなわいて (腹が立って) 来て、そして 夜なべに 一臼つ (ずつ) 米 搗かして おぞげやわ (腹が立つ) 思いおった (思いました)。そして じょおり作んな (草履作るのは) まだ やさしねてや (楽なのです)。 じょおり 二足つ (ずつ) 姉やん (姉さん・名前を知らない女性に呼び掛ける言葉) 作つてくれえ (下さい) 言うて。じょおりも 二足つ (ずつ) 作る家もあるし、米 一臼 搗かす家もあるし、臼すり する家な (が) いっち (一番) 嫌いやった (だった)。はしこおて。臼する時やなあ (は)、“臼よ まあえ (回れ) まあえ あ、よおまあしょ (よく回しましょう) どんどと (沢山) 落ちよな、やれ 掛けたなあ 掛けた どおした たすきが切れるまでよお” 言うて 臼 すんのん (するの)に) その唄 歌とりおった (歌っていました) 臼すりの唄。

**どえ【名詞】** 鮫 どちらめ ドチザメ科 第一背鰭は腹鰭より前に有る。歯は尖り、主尖頭とその側方に小さな側尖頭がある。体は灰色で、幅広い暗色の縞の模様有る。

**どえすらかい【形容詞】** 大きい どいらい どえらいに同じ参照 [会話] どっすらかい、今日は どっすらかい 魚、釣つて来たんよお (来ました) 言うな (言います)。大きな言うのを どいらいとか どっすらかいとか どつてらかい言う人も 有るしなあ、ドエスラカイ。どてつかいなあ、言う人も有るし。いろいろなあ うなし (同じ) 言葉でも。

**どえな【形容詞】** どんな (志)

**どえなんど** どんなですか

**どえらい【形容詞】** どいらいに同じ 1) 大きい 太い (志 (鶴方、神明、志島、国府)) 2) 大変な 程度が甚だしい 3) 量が多い 4) 偉い 大した物だ (志 (畔名、片田、布施田)、鳥 (鳥羽、神島、加茂)、桑市、員、安、一、松、上、阿、伊、北、尾、南、熊) [会話] 1) 大きい言うの ドエライとか どいらいとかなあ。どいらい言うな (のは) よお言うなあ

(よく言います)。どいらいなあ言うて 大きいとか  
2) 非常にとか言うのを。

**どえらいこっちゃ** 大変だ (南、熊)

**どえらいことや** 大変だ

**どえろお【副詞】** 1) 非常に 甚だしく 大層 (三、尾) 2) 大きく

**どえん【形容詞】** どんな どんなに (志) [会話] ドエンして、ドエン言う人もあんの (あるのです)。どげんすんねど (どんなにするのですか) 言うのを、ドエンすんねど 言う にげなあんねてや (人間が有るのです)。

**とお (とう) (戸)【名詞】** 戸 雨戸 出入り口 窓に取り付け開閉出来るようにしたもの (志 (片田、立神)、三、鈴市、鈴郡、津、一、松、多、上、阿、張、名、伊、北、尾、南) [会話] トオ (戸) 閉めとけ (ておけ)、雨戸のトオ、戸じりやたら (だとか) 言うし戸締まり言うし。

**とお (とう、たう) (党、統)【名詞】** 仲間 連中 [会話] あいら (彼等) の トオな (が) 有る言うて、仲間な (が) 有ん (有る) のを。あいら トオな 有って まあ 言うて。赤党や (だ) 白党や 言う時ん (に) トオな (が) 有って言うて 言よおったなあ (言いました)。

**とお (とう)【名詞】** 十 (志 (布施田))

**とお (とう) (砥)【名詞】** 砥石 材木用、料理用等の刃物を研ぐ石 (一、松、多、上、阿、張、名、北) [会話] 研ぐ トオかい (ですか)。荒砥やとか (だとか) こんごおしやどやとか (金剛砂砥だとか) 仕上砥やとか 言うて。剃刀 研ぐ時や (は) 仕上砥の こまかあいのおやし (細かいのですし)、畑で すん (する) のは 荒砥の金剛砂砥言うて 荒くたいのお で (荒いので) 研ぐし。砥石も 荒砥も 仕上砥や (だ) 言うて、大工な (が) すると 幾つも 持っとるわい (持っています)。砥石の事 トオ。しゃび (錆) 落すな (落すのは) とくさで よお落しおった (よく落しました)。今しゃ (は) 海で 拾て (拾って) 来る軽石より 生地の細かい しゃび落しん (に) どいらい (大変) ええのなあんね (よいのが有ります)。

**とお (とう) (疾)【名詞】【形容詞】** 早く 早い時刻 (三、津、南) [会話] はよっ (早く) から 知っとられ (知っている) 言うのをなあ。トオから言う人も有るし、トオから判っとる (判っている) 言うて。

**とお (とう、とふ) (訪)【他ワ五】** 訪ねる (南)

**どお【名詞】** 櫓 ろの訛 (志) [会話] 漕ぐろお (櫓)、ろお (櫓) 漕ぐ、言うのを ドオ漕ぐ、言うて。ドオ言うしなあ (言います)。ろおな (櫓が) ほんとやんかい (本当です)、ドオは 嘘やんかなあ (です)。ろお 漕がな (なければ) 言うやんない (言うでしょう)、ドオ漕がな 言う人な (が) あんねてや (有るのです)。

**どお (どう、だう)【名詞】** 堂 [会話] かんのンドオ や (観音堂だ) とか、お寺のドオや (だ) とか。

**どお (どう) (胴)【名詞】** 体 自分の体 [会話] ドオナカ、ドオナカ 背中を ドオナカや (だ) 言うの (のです)。

**どお (ろう、らふ)【名詞】** 蠟、動、植物から採集する脂肪に似た物質 熱すれば溶けやすく燃えやすい [会話] すべすべ紙言うの (のは) ドオな (が) 引いてあんのなあ (有るのです)。

**どお【名詞】** 銅

…どお (どう、だう)【接尾語】 文末に付いて断定を表す だ、ぞ (志、一、上、張、度、北、尾、南) [会話] 何処い (へ) 行くん (行くの) ドオ、てやらなあ (とか)。おら (俺は) こお 行くん (行くの) ドオ、言うたりなあ。何処い (へ) 行て来たんドオ言うてなあ 行きます、言う事を 行くんドオ言うてな、行て来ました言うの 行て来たんドオ言うの (のです)。行ても 来ても ドオ付けんの (るのです)。

**とおあさ (とほあさ) (遠浅)【名詞】** 川や海の岸边から遠くの方まで浅いこと 又、その場所 [会話] 遠く迄 あっさいのなあ (浅いのを)、どこい (何処へ) 歩いてても (ていっても) すねぎりい (膝まで) 迄 有るとなあ、おおた どいらい (大変) トオアサイな (のだ) 言うて、国府の白浜い (へ) 行くとなあ トオアサで 波な (が) 遠いところ (所) からざあざあと打って。トオアサイのおを (のを) すうや (洲だ) 言うてな、ま すうい ややげてた (乗り上げた) 言うて 舟 漕んどても (漕いでいても) トオアサイとこい (所へ) 行くとなあ まだ 波な (が) 打とるもんで (ているので) ふっかいね (深いのだ) 思うと あっそおて (浅くて) 舟な (が) 先い (へ) 進まんで (進まなくて)、そいなのおを (そんなのを) すうな (洲です)、すうい ややげたて (乗り上げて) 舟な (が) いごかせんよお (動かかない) 言うて。

**どおあつても (どうあつても)** 何としてでも 何として も 是非 (志 (国府)、鳥、南) [会話] ドオアツテ

モ それを せなはざんのか (しなければいけないのか) 言うて。ドオアッテモ 行かなはざんのか 言うたり。どげんしても (どうしても) 行かないかんのか (行かなければいけないのか) とか、せなはざんのか とか言う事を ドオアッテモ せなはざん (しなければいけない)、行かなはざん (行かなければいけない) 言うて。どおしても 言う事を “舍利な (骨が) こお (粉) に なっても行かな (行かなければ) 言うて 言う時な (が) 有るやんかい (有ります)。舍利な こおん なっても 行かなはざん とこやてや (所です) 言う時な (が) 有るわい (有ります)。ドオアッテモ 言う意味やけど (だが)。

**とおあるき (とほあるき) (遠走) 【名詞】** 遠方へ出歩く事 遠くへ出掛けること [会話] 足な (が) いと おて (痛くて) トオアルキ よおせんで (出来なくて)、近く うろうろと するぐらいええんけど (よいのだが)、トオアルキ よおせんわい (出来ません)。遠いとこ (所) まで 出掛けてく (て行く)、遠出も一緒の事や (です)。

**とおい (とほい) (遠い) 【形容詞】** 1) 遠い所 遠方 遠縁の人 2) 耳の聞こえない人 又、その状態 [会話] 1) トオイとこ (所)、遠方の事、遠縁 (血の薄い親戚) とか、あの家や (は) おらげ (我家) と遠縁にあたんねやれ (当たるとの) 言う時もある。トオイは 距離な (が) トオイのおと (の) と、遠縁の人と 遠縁や (だ) 言うて、従兄も、はとこん (従兄の子供同志に) なってくと (いくと) 遠縁や (だ) 言うて、従兄は まだ濃い の (の) です。はとこん (に) になると あのひと 遠縁やれ (です) おらげ (我家) の昔の親子 (親類) で、遠縁やれ (だ) あや (彼は) 言うて。2) 耳な (が) トオイ 一番肝心や (大変です)。耳な (が) 遠おて (遠くて) 幾ら言うたてて 聞くねなし (言っても聞くのでなくて) 聾でまあ言うて。目も とぼついとるし (ぼんやりしている) 耳もトオイシ ええとか (よい所は) ひとつつも無いね (一つも無いのです)、腰曲げて よぼよぼ と言うて。いっせんびきしとる。すらしとると (空とぼけてしていると) いっせんびきしとて (していて) まあ言うて よお言うんなあ (よく言います)。

**とおいき (とほいき) 【名詞】** 遠方に掛けること 住居地を離れて遠方に行く事 [会話] トオイキ する時、御飯 食べんと (食べずに) 行くと、そや (それ) 又 だるん (力の入らない状態になる・想像上の魔物に) つかれんど (憑かれるぞ) 御飯も 食べて行

かな (行かなければ)。

**とおうす (とううす) (唐臼) 【名詞】** 粳すり臼 とうす 参照 (阿) [会話] トオウス 粳する トウスとか、とおみとか言うてなあ 粳のときん (時に) 使うのなあ (です) せんごく かけて 米を しわけん の (区別するのを) 搗くよん (ように) なるまで。

**とおえん (とほえん) (遠縁) 【名詞】** 1) 遠い血縁 遠い続き柄 とおい参照 2) 縁談の無い事

**とおお (とうお) 【名詞】** かずの十

**とおおい 【形容詞】** 遠い 遙か遠方です

**とおおいとこ 【名詞】** 遙かなる遠方

**どおおし (どうおし) 【名詞】** 舟を漕ぐ事 櫓を操って舟を進める事 [会話] ドオオンや (と) 言うて、一番若い、力な (が) えらいもんな (強い者が) あいども こまいど漕んで (漕いで)。

**とおか (とをか) (十日) 【名詞】** 日の数の十 [会話] えべすこや (恵比須講です) トオカえべすの売り物は言うて、トオカえべすさん (十日恵比須に) になると 笹い (へ) なんやかや (いろいろ) 付けてなあ 笹売りん (に) 来て。

**とוג (とうが、とうぐわ) 【名詞】** 1) 冬瓜 霜を経た冬に従って熟するをよしとして、名あり、冬と言うは粉を雪、霜と見て言う (大言海) (三重県全域) 2) 大腿部 [会話] 1) トオガや (だ) 言わんと (言わずに) トンガや (です)。2) わしらな (私達が) 太腿出しとると (ていると) なんど (なんだ) とんが放り出して言うて、すね (膝) から上 出しとるとなあ (ていると)。とんが よけ食わらったけどなあ (あまり食べなかったが) 越賀は とんが なますん (に) すんのなあ (するのです)、そして あっちゃ (あちら) の方は 機械で剥いて 干瓢にすんねけど (するのです)。しょろつとしとるとなあ トオガな (が) 禰かいたよおなあ (したようだ) 言うて、トオガな (が) つるつるしとるもんで (している) ぞれてくもんで (ずれ落ちて行く) 言うんやろなあ (言うのでしょうか)。あやれ (あれ) あの 禰かいたの 見よまあ (見なさい) トオガな (が) 禰かいたよんしとる (ようにしている) 言うて、だらしな、禰えごと (完全に) 締めんとあ (締めずに) しょつかけたよんしとる (引っかけたようにしている) 人らな (が) 有るやんない (有るでしょう)。いや (あれ) トオガな (が) 禰かいたよんしとんない (ようにしている)。

**どおか (どうか) 【名詞】** 1) 廊下 ラ行とダ行の変化

(志、鳥(浦村)) 2) 銅貨 [会話] 1) 廊下の事を  
ドオカ言うね(言うのです)。2) 一銭銅貨も有るし。  
あや(あれは) ほんと (本当) の 銅貨やわな (で  
す)。廊下の事をなあ ドオカ、ドオカ拭いとけよお  
(拭いておけ) 言うて。“札にや(には) 嫌われ 銅  
貨にや(には) ほられ 銅貨 銅貨で 苦勞する”。

**どおか(どうか)【副詞】** 是非

**どおかして** 何とかして 是非に どおぞして参照  
(北)

**とおがたつ。とおなたつ** 1) 野菜に花が咲く、成長し  
過ぎる(志(鶴方)) 2) 娘盛りを過ぎる(志(鶴  
方))

**どおがめ(どうがめ)【名詞】** 海亀(津) [会話] ドオ  
ガメ言うて、亀は ドオガメな (が) あがったんてな  
い (獲れたそうだ) 言うて。

**とおから(とうから)【形容詞】** 1) 疾くから 早くか  
ら 以前から(志(浜島)、桑市、員、三、鈴市、安、  
上、阿、張、尾) 2) 久しく [会話] 1) とおに言う  
て、はよから (早くから) 年忌やよつて (だから) よ  
ばれて来い (参加して下さい) 言うとられ (言ってい  
る) とか言うのなあ。早よから言うの (のを) トオカ  
ラ言うね(言います)。トオカラ 使いな (連絡が)  
来とんねない (来ています) 言うて。

**どおがら(どうがら)【名詞】** 体の胴の部分 体  
どんがら参照 [会話] 薬缶へ 蛸 入れとくと (入  
れておくと)、蓋しといても (しておいても) 足 ち  
よろちよろ出して しまいにや (終いには) 持ち上げ  
といて (ておいて)、ドオガラも ほおて (這って)  
来る。

**とおからず(とほからず)【副詞】** 近いうちに 間もな  
く 比較的近い 将来のある時を漠然とさす [会話]  
トオカラズくんど(来るぞ) ま、じっきんくんど (す  
ぐに来るぞ)、間もなく 来るやろ(だろう) 言うな  
(のを)、ま トオカラズくんど 言うて。

**どおき(どうき)【動悸】【名詞】** 心臓の鼓動を不快感を  
もって感ずる事

**どおぎ(どうぎ)【名詞】** 胴着 襟の付いた綿入の腰  
までの上着 普通、防寒用として肌着と上着の間に着  
る(志(浜島、片田、志島、国府)、鳥(相差、坂手、  
答志)、一、上、阿) [会話] ドオギ言うな(言うの  
は) 肌い(に) きん (着る) のを ドオギや(だ) 言  
うて、ドオギも こしらえて (作って) 言よおった  
(言いました)。襦袢とは 又 違う。じばん (襦  
袢) の上い(に) も (もう) 一つ ドオギ言うて、じ

ばんは、汗取り 垢取りやなあ(です) 一番肌い  
(に) 着ん (着る) のは じばんで、その上い(に)  
ドオギ言うて ネル (布の名前) で こさえたり (作  
ったり) 綿 ちよいと (少し) 入れて ぬくとおて  
(暖かくて) ドオギも こさえて (作って) 言いおっ  
た (言っていました)。今しみたよん (今みたいに)  
メリヤスやなんか(とか色々) 言うて 無いし 晒を  
肌い(に) 着といて(着ておいて) ドオギや(だ) 言  
うて、ネルい(へ) ちよいと 綿入れたり 合わしと  
いて (合わせておいて) 綿 うっすら入れんの(薄く  
入れるのを) ドオギ。

**どおぎ(どうぎ)【名詞】** 胴木 太い丸太(亀) [会話]  
ふつとい(太い) 丸太も ドオギ、川やたあ (田) を  
水 せぐ (塞ぐ) 時ん(に) ドオギやって (当てて)  
せがな (防がなければ) 砂利な(が) 押して来るとか、  
水な(が) 入り込んで来るとか言うのを それもなあ  
この丸太やんのを(やるのを) ドイギや(と) 言うて。  
ドオギ言う人もあるけど ドイギや(だ) 言うて、水  
せんだり (止めたり)、土 せんだりすんの(防いだ  
りするのを)。丸太のドイギ言うな(言うのは) ドオ  
ギとも言うけどな(言います)。打たんと (打たず  
に) するよってん (から) おってくれ (落ちて来  
る) 言うてな かかえ (支え) の事や(です)、支え  
とか。かかえとかな、土な(が) ぞれてこん (くずれ  
て来ない) てえどんすんの(程度にするのを)。

**とおきょ(とうきょ)【名詞】** 東京 末尾母音の省略  
(松)

**どおぎょお(どうぎょう、どうぎゃう)【同行】【名詞】**  
一緒に行く人、集団の仲間 [会話] せんだちさんに  
付いてかな (いかなければ) 言うて ドオギョオで  
四国、両国 皆 行きおったわい (行って居ました)。

**どおぐ(どうぐ、だうぐ)【道具】【名詞】** 性器 [会話]  
ドオグでも 持ちもん(物) 男の持ちもん(物) の  
おっきい (大きい) 事 見よまあ (見なさい) 言うね。  
男も おなご (女) も 皆 ドオグを 一のドオグの  
事を 持ちもん(物) 言うね(言うのです)。

**どおぐあつかい(どうぐあつかい、だうぐあつかひ)**

**【道具扱】【名詞】** 1) 人をある目的のために利用す  
るだけで、まるで道具のように扱う事 2) 道具の使  
用法 手入れ [会話] 2) ドオグアツカイな(が) て  
あろおて (手荒らくて) とか、ざっぱな (雑把だ) と  
かなあ、道具を てえねん (丁寧) にする にげ (人  
間) とな、雑把なにげと 有るやんない (有るでしょ  
う)、道具 てえねんに、せなはざんわれ (しなけれ

ば駄目だ) 言うて、昔の人らは 物をなあ 大事にするもんで (ので) 鋏でも 鎌でも てえねんに せなしゃびな、くてくと (鏝が生じると) じっきん (すぐに)、はあな (刃が) こぼれるとか、ええ (柄) も腐って、へしよれてく (折れて行く) とか言うてな。

1) 人 ドオグアツカイ (に) して言うて、人をだ無茶苦茶ん (に) 使う人を ドオグアツカイ (に) して、石か木みたよん (のように) して 使う言うてなあ、怒る人な (が) 有るわい (有ります)。無茶苦茶に、使うとなあ。

**どおぐい (どうぐい) 【名詞】** 櫓枕 櫓を漕ぐ時 櫓のいれこ (櫓についている穴) に入れる小さな突起 おき座の上について居る どまくら参照 (志 (浜島) [会話] 櫓 漕ぐのん (のに) ドオグイ な (が) やつてあんの (有るのです)。おきざやって、ロオグイ な (が) してあつて。

**どおぐい 【名詞】** 海魚 いとふえふき フエフキダイ科若い個体では主上顎側面に小瘤が一列に並ぶ。後鼻孔は、眼よりも前鼻孔にずっと近接する。胸鰭内側基部には通常小鱗が密生する。背鰭棘条のうち第二番目が最長で糸状に延びる。前顎側部の歯は小さく先が尖る。全長25cmになる。

**どおぐいれ (どうぐいれ、だうぐいれ) 【名詞】** 道具を入れる小箱 釣道具を入れる木箱 つりばこ参照 大工道具を入れる箱 [会話] ドオグイ 言うて なんやかや (いろいろ) 入れる 道具箱な (が) ありよおったやんかい (有ったで有りませんか)。かいどしや (とか) 鎌 や (だ) とか言うて、ちっさいもん (小さい物) 入れる、そや (それ) 道具箱い (へ) 入れとけよお (ておけ) 言うて、そすとさいご (そうすると) 探さんでええよん (探さなくてよいように) 畑 い (へ) 行くや (のだ) 言うてもなあ。大工の人らでも道具箱 かずいて (担いで) 行くやんない (でしょう) あれい (へ) のみや 鉋や言うて 皆 道具箱い (へ) いっとんね (入っているのです) 大工や左官や畑のもん (物) 入れんのや (るのです) 皆 ドオグイ レ な (が) 有ってなあ それ 入れとくと (入れておくと) ええわけやけどなあ (よいのですが)、それはまたなあ しやせんねてや (しないのです)。りよおしや (漁師は) 道具箱な (が) 有ってな 釣箱言うて 釣箱な (が) 有ってなあ それい (それへ) なんもかもなあ (全部です)。

**とおぐさ (たうぐさ) (葦草) 【名詞】** 葦の立つ前の野菜、植物。とおぐむ参照 [会話] トオグサ てや (と

言うのは) 葦の立つ手前の事 なあ (です)。とおぐんで来たまあ言うて 葦 な 出た 言うの。その出る前をとおぐんで来た。

**どおぐだて (どうぐだて、だうぐだて) (道具) 【名詞】**

1) 物の有るきま 2) 顔の様子 3) 必要な部品部分 [会話] 3) おなご (女) は けえ (毛) だけめえ とるだけやけど (見えているだけだが)、男は きんだまやたら (陰囊だとか) ドオグダテ な (が) おいのん (多いのに) 放り出しとると (ていると) 目ざわりで。

**どおぐたてなおい (どうぐだてなおい) 文句が多い** (志 (布施田)) どおぐだて参照

**どおぐながす (どうぐながす) 1)** 釣り道具に重りをつけず潮流にまかせる 2) 釣り道具を潮流にとられて失う [会話] 1) いお (魚) 釣り道具を ながのや (延縄だ) 言うて、はえるもんで (延べるので) ドオグナガシ て ながの (延縄) はえる言うのなあ (です)。ドオグナガス言う時は 鉛 な (が) ちょいちょい 付いとるよつて (ているから) 潮 な (潮流が) はやねえと (早く無いと) まともい (思った所へ) とごんねけど (沈むのだが) 潮 な (が) 早いと やまな (釣道具が) 流れてなあ 下い (へ) 届く迄 思うとこい (所へ) とどかせんのなあ (とどかないのです) 潮に流がされてて (て行つて)。

**どおぐばこ (どうぐばこ、だうぐばこ) 【名詞】** 仕事に必要な道具を入れる箱 どおぐいれ参照

**とおぐむ (とうぐむ) 野菜などが、盛りが過ぎ、葦が立つようになる。とうがたつ。ぐむは芽ぐむのぐむ。** [会話] トオグム てや (とは) 葦が立つ手前の事、出たと (出でしまうと) 出て来た。

**とおけ (とをけ) 【名詞】** 一斗を入れる桶 一斗枡 (熊) [会話] トオケ 言うのなあ (のです) 一斗桶。昔や (は) 四斗俵やもんで (なので)、枡で 四十杯も 計ん な (計るのは) えらいやんない (大変でしょう)。トオケ言うて 一斗桶な (が) 有って、そんで (それで) 一杯して 四杯入れると 一俵ん (に) なるもんで (ので) そげんしよおった (そんなに居ました)。

**とおけ (とうけ、たうけ) (当家) 【名詞】** この家 自分の家

**とおげ (とうげ、たうげ) (峠) 【名詞】** 1) 頂上 最も高い所 (志、南) 2) 物事の最も盛んな時期 [会話] 1) 山のトオゲ、家のトオゲ、きい (木) のトオゲなあ (です)。一番 すつてんじょ (高い所) をなあ ト

オゲやなあ (です)。高いとこ (所) すってんじよい (へ) 迄 登ってくね (て行くのだ) あやれ (あれ) おっちゃんよもやな (横着者だ) 言うて。トオゲの事を、すってんじよ言うね (言います)。

**とおけや** 遠ければ [会話] ちっかいとこ (近い所) なら ええけど (よいが)、トオケヤ よおいこかれ (行く事が出来ない) 言うてなあ。

**とおけりや** 遠ければ [会話] あげん (あんなに) トオケリヤナア、おらな (俺が) よおいこかれ (行けない) 言うて、あいな (あんな) 遠いとこい (所へ) よおいこかれ、ちっかいとこ (近い所) なら ええけど なあ (よいが) トオケリヤよおいこかれ 言うてな、どいらい (大変) 遠いねど (のだ) あしこい (あすこへ) 行くな (のは) 言うて、そいななあ (そんなに) トオケリヤ おら (俺は) まあ よおいかん (行けない) 言うて。

**どおこ (どうこ) (銅壺) 【名詞】** 銅製 金属性の器物 火鉢に仕込んだりして いつも湯を沸かしている茶釜 ろおこ参照 (多) [会話] 鉄の、ドオコ。ゆう (湯) 沸かす。こっちやい (こちらへ) ひい (火) 入れとくと (ておくと) ドオコのゆう (湯) で ちゃあ (茶) たてると (入れると) 美味いんてわれ (のだそうです) てつひんやもんで (鉄瓶なので) 言うてな。だんなし (旦那衆) の家い (へ) 行くとなあ、ドオコい (へ) 入れて (ていて) そんで (それで) ちゃあ たてて 飲ますやんかい (飲ませます)。

**どおごえ (どうごえ) (胴声) 【名詞】** 太くて下品な声 濁った声 どうまごえ [会話] 胴から出て来る声、ドオゴエ出して、言うてなあ どいらいおっきい (大変大きい) 声な (が) 出る人な (が) 有るわい (有ります) ドオゴエで あんな (彼の) 声な (が) おっきい (大きくて)。

**どおこお (どうかう) 【副詞】** 不特定の行為や事態をひくくめて言う ともかく、いろいろ (志 (布施田)) [会話] あげんいい (あんなに言い)、こげんいい (こんなに言い)、すんのを (するのを) ドオコオ言うても はざんわれ (駄目だ) 言うやんかい (言います)。いろいろの事を、ああ言や (言えば) こお言う、こお言や ああ言う、青やてや (だと言え) 赤や (だ)。赤やてや 白や (だ) 言うやんない (言うでしょう)。それをなあ ドオコオ言うて、あれやこれや言うてみたとてなあ (見ても) 負けやれ (だ) 言うてな。それを ドオコオ言うたててなあ (言っても) はざんわれ (駄目だ) どおせ 負けやれ (だ) 言

うてな、いくら言うても いかん (いけない) 言う事やなあ (です)。

**とおさ (遠)** 時間、空間の隔たりの大きい事 遠い事 又、その度合い [会話] 遠いの、おおた このトオサ見よまあ (見なさい) 言うて。幾ら歩いて、とどかせんなあ (ない) おおた 此のトオサ 見よまあ おとしや (ああ) つらましなあ (辛い事だ) 言うて。まだかあ まだかあ言うてなあ 遠いとさいご (その時)、知つとるとこは (ている所は) そげんなあ (そんなに) 思わせんねけどなあ (ないのだが)、知らんとこい、いてなあ (所へ行つて) おおた まだかいなあ まだかいなあ言うてすとな おおた 此のトオサ つらましなあ (辛い) 言うて。

**とおざ (たうざ) (当座) 【名詞】** さしあたって 当分の間 [会話] トウザの小遣いとか、トオザの くいり よおやとか (食料だとか) くいじきやとか (食餌だとか) 言うて、トオザ さしあたり 給料貰うまで トオザのくいじき (食料費) に言うて、隠居したりすると 見舞いにやるやんかい (あげます)。食いつなぐのん (のに) トオザの食料とか、小遣いとか言うて、さしあたって 今すぐ言うの (のです)。今すぐん (に) 使うだけ 今度 給料まで こんだけ (これだけ) さしあたり 持つとれまあ (持っていなさい) 言うて。

**どおさ (どうさ) 【名詞】** 動作 体を動かす事 立ち振る舞い 挙動 [会話] 早よ (早く) したやええけど (すればいいが) 手な (が) ねばかったり (遅かったり) ドオサな (が) 鈍いにげ (人間) を ごてくさ言うて。

**どおさ 【名詞】** 面倒 造作 [会話] そおどやなあ (騒動だ) 言うて、なんやかや (いろいろ) ドオサな事すると。

**とおさい (とうさい、たうさい) (当才) 【名詞】** その年 今年 其の年の生れで有る事 [会話] トオサイや (だ) 言うて、今年生れた 魚のこおやどけ (仔など) こや (これは) トオサイゴやなあ (だ) 今年もんや (物だ) 言うのをな、トオサイもんやなあ言うの (のです)、とおねんもんやなあ 言うて、よお言うやん (よく言います)、こやまあ (これは) まだな ちっさいよつて (小さいから)、とおねんもんやなあ 言うてなあ。

**とおさいご (たうさいご)。とおさいもん 【名詞】** 今年 生れた幼魚。とおさい参照

**とおざいや (とうざいや) (東西屋) 【名詞】** 口上の始め

に東西、東西言う所から街頭や店頭で広告の口上を述べる者 ひろめや [会話] 宣伝に歩くの 東西 東西言うの あれかい (ですか) トオザイヤ 言うな (のは)。

**とおさかる** 退く 離れる とおさる、とおぬく参照

**とおさる (とほさる) 【自ラ五】** 遠ざかる 遠く離れる  
トホサカル (遠離) の意 (大言海)

**とおさん (とうさん) 【名詞】** ととさまの変化した語

1) 夫 主人 (志 (片田、布施田、志島、甲賀) 熊)  
2) 父 (志 (志島、畔名、片田、布施田、御座、越賀、船越、甲賀、立神)、鳥 (坂手、国崎、神島)、松、多、阿、張、度、伊、熊) [会話] 2) 父親の事 トオサン言うし。1) トオサンな (が) 死んでた (でいった) 言うて、自分の主人を、自分のてえしゅ (亭主) でもトオサン言うて。わしら (私は) ま トオサンな (が) 死んでて (でいって) さべして (さみしくて) 言うて。父親と、主人と両方。おれぎゃ (俺の家は) ま、ととな (夫が) 死んでて えらいねてや (大変なのです) 言うんなあ (言うのです)、男の親な (が) 死ぬと。トオサンな (が) 死んでて 言うけどなあ (言いますが)。そして わが (自分の) 主人な (が) 死んでくとなあ (で行くと) ととな (夫が) 死んでて (でいって) 言うてなあ。

**とおし (とほし) (通) 【名詞】** いつも 常に たえず 通しに とおしん (志 (志島、甲賀)、度) [会話] トオシン言うて、いつも言う事を トオシン言うて。トオシン あひひた (人は) 来るととか、トオシン あいな (あんな) 事ばっか (ばかり) 言うとか、トオシン二言う人もあるし、トオシン言う人も有るし。トオシン あひひた あの家い (に) ばっか 来とる (来ている) とか言うたり、トオシン あげな (あんな) 事言うとるてやら (言っているとか)、じょつく (いつも) 常に言う事を トオシン言うなあ (言います)。そんな人なら わしがい (我家に) トオシン来とるわい (来ています)。

**とおし (とほし) (篩) 【名詞】** ふるい とおす 透すから ふるい 金網、絹布などを底にして枠をつけた道具 粒状の物を入れ揺り動かし粒の大小により選択分離するもの ふるう 篩う ふるいにかけて選り分ける トオし (通) の義 (大言海) (志 (布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀)、鳥、員、鈴市、津、安、久、一、松、張、尾) [会話] フジドオシ、アラドオシ、ナカドオシ言うて、よおたて (四通り) 使わなはざんね (使わなければいけないのです)。麦や米の

すっぽ (実の入っていない穂) を 寄せんのん (るのに)、アラドオシで して、選らんと (選ばないと)、こんだ (今度は) ナカドオシ言うのな (のが) あって、そんで選って (それで選んで)、終いにゃ (には) コゴメドオシ言うて ごこめ (粉米) を 下い (に) 落とししたの (てやるのを) コゴメドオシ言うて。そして挽いたこおを ふるうのはすいの、粉ふるいは、すいのや (です)。そして 藤で こしらえたのおは (作ったのは) フジドオシ言うて 荒くたい (荒い) そら豆や (とか) そげな (そんな) おっきいのおを (大きいのを)、埃 寄せる時や (は) その フジドオシで すんの (します)。かなずいの言うんなあ (言うのは) こごめの ちょいと 上をふるうの (のです)。

**どおし (どうし) (同志) (同士) 【名詞】** 仲間 友達 連れ [会話] われとら (自分達) ドオシ、わいとら ドオシは 友達を、われとらドオシ (自分の仲間) で話しよてやら (合ってとか)、われとらドオシ だけで 宴会したとか言うて 仲間とか 友達とか それを言うの (のです)。われとらドオシ。わがとら言うたり われとら言うたり、わがとらドオシで 話しよて (合って) 言う時もあるし。われとらドオシで言うて うなし (同じ) 言葉やけど (ですが)。わがとらドオシ言うたら 仲間ドオシ。その時は 自分も 仲間ん (に) 入つとるけど (入っているが)、わいとらドオシ (お前達仲間) 言う時は わがと (自分が) 入つとらん (入っていない) 時に、わいとらな (貴方達の) 仲間な (が) 言うのと うなし事やけど (だが)、おらな (俺の) 仲間と、われとらな (貴方達の) 仲間と。

…どおし (どうし、どほし) 動詞について、その動作を続けて行っている事を表す [会話] 死んでて (でいって) いまだん (に) 泣きドオシやない (だ) 言うて。わろてもな (笑っても) おかして (面白くて) おかして しょおな (が) 無い時ん (に)、おおた 笑いドオシやったんよお (でした) 言うて。悲し時ん (に) 泣いとると (ていって) 泣きドオシンしとんね (しているのだ) ま、とおさんな (夫が) 死んでてから (でいってから) 言うてな、ま 泣きドオシ すいの (篩) 張り替えやれ (だ) 言うて、言よおったやんかい (言って居たでは有りませんか)。とおしやもんで (篩なので) すいの (篩) 張り替えな (です) まあ泣いてばっかおって (ばかり居て) まあ 破れてく (て行く) 言うて、すいのん 例えて。とおしな (篩を) よけ (沢山) 使うと 擦り切れてくのも (て

いくのも) 一緒に、泣きドオシ、すいのの 張り替え  
やれ まあ あげん (あんなに) 泣いてばっかおらん  
でも (ばかり居なくても) ええのんなあ (よいのに)  
言うて。

**とおしいかり (とほしいかり) 【名詞】** 海女が深海で作業する時に使う石の重り 綱がつけてあり、これをたぐって海中に行ったり又、目標の近くに石を置き次の潜水時に目標に近付きやすくするための石 (志 鳥、(石鏡)) [会話] くりいかり 言うて トオシイカリを。錨を置いといて (置いておいて) ふっかいとこい (深い所に) 行くと くって (手繰って) 行くの (のを) くりいかりで行く言うて。はいから (潜水のための重り) の前にや (には) 言よおったの (言って居たのです)。はいから 使う前に くりいかり 言うて、錨を落としといて (落としておいて) ふっかいとこい (深い所に) 物な (が) 一番有るよおなどこい 落としといて、それを たぐって行くの くりいかり。よつぽど (余程) 重たい (重い) 石や (で) ないと 引っ張られて来るわい (来ます)。そやよって (それだから) それ 揚げんのん (揚げるのに) 男の人らな (達が) こべりい (舟の舷側に) ねじつけといて (密着させて) 引っ張りおった (居ました)。こべりな (が) へっこんどりおったわい (へこんでいました) それ 引くとこ (所)。そやけど (それだが) よくよく ふっかいとこやなけな (深い所でなければ) くりいかりはせらったけど (しませんでした)。潮な (潮流が) 早い時ん (に) くりいかり使うけど 常は わがとら (自分) よお (よく) 掻くだけ 掻いて行くけど まあ よくも (大変) ふっこ (深く) なって来てすると てぐさかぎきやどき (天草の採集など) しよおった (して居ました)。

**どおしても (どうしても) 【副詞】** なんとしても 是非 (志 (鵜方)、鳥 (坂手))

**とおしとおろく (とうしとうろく)** いつも とおしに参照 [会話] トオシトオロク言うね (言うのです)。トオシトオロク来とる (来ている) 言うね いつも来とる (来ている) 言う事を。トオシトオロク来とんね (来ているのだ) ほんおとつしゃ (本当に困った) 言うて。あんまり (よく) 来る人を あいそつけられんね (愛想尽かされるのです) 年がら年中、年百年中とか。

**とおしに (とうしに)** 絶えず 始終 いつ とおし参照 (志) [会話] 年百年中、トオシニ、年がら年中。年りやく年中言う人も有んね (有ります)。

**とおしみ (とうしみ) 【名詞】** 1) 燈芯 灯芯 とうしんの転 (大言海) (志 (布施田、浜島、鵜方、神明、立神、国府)、鳥、員、鈴市、安、津、松、多、上、阿、張、名、北、尾、熊) 2) 藁草 [会話] <sup>1)</sup> としみ、としみや (と) 言うなあ。トオシミ言う人も 有るけど、おかた (大体・殆ど) としみや (です)。灯明あげる時の としみも有るし、<sup>2)</sup> ふご (藁で編んだ容器) 編む としみも有るし (有ります)。ふごをべんとふご (弁当ふご) 今の海女の持つ べんとふご 編むのん (のに) としみや (だ) 言うて、たあ (田) に 生えとんのおを (生えているのを) としみや (だ) 言うて。

**どおしょ (どうしょ、どうしやう) 【名詞】** 丹前 綿を入れた広袖の着物 (志 (志島、片田、布施田、鵜方、神明、立神、甲賀)、鳥) [会話] ドオショ言うな (言うのは)、こお (子) おぶ (おんぶする) ねんね こを ドオショや (と) 言うの (のです)。ドオショも こさえてもろて (作って貰って) 言うて。男の人らな (達が) 着とる (着ている) 丹前も ドオショや (と) 言うて、丹前の事を ドオショや 言よおったの (言って居たのです)。そして 立派ん (に) して行くもんで (ので)、小父さん おおた (やあ) 立派な ドオショ着て 何処い (に) 行くんどい (行くのですか) 言よおったやんかい (言って居たでは有りませんか)、道で会うと。ドオショ着て歩く言うこた (事は) だんなしや (旦那衆です)。そして だんなしやのおても (旦那衆でなくても) たまに ドオショ着て行く 言う事は 何処かへ 訪問する時に 綺麗にして行くのを。

**どおしょおもねえ。どおしょもない (どうしょうもない)** 仕方がない 手の施し様が無い (安)

**とおじる (とうじる)** 水、又は湯などに浸す事 又、その汁 [会話] トオジル、これを トオジテ言うて。ちゃんちゃん (沸騰させて) して、ちゃんちゃん汁にする事を トオジといて (ておいて) 飲むとええど (よろしい) 言うて。魚の食うた、あら (食べた残り) を あたたい (熱い) 湯 かけんのを (かけるのを) 医者殺しすんのを (するのを) あたたい (熱い) 湯で トオジといて (ておいて) 飲むと 美味いど (ぞ) 言よおったんなあ (言っていたのです)。ちゃんちゃんとか 医者殺しする時ん (に) 湯を通す時に トオジル言うのなあ。ちゃあ 入れるのは言わせん (言わない)。魚のあらとか なんとか 茶で煮たる (煮てやる) 事やなあ (です) トオジル言う事は そ

げん (そんなに) して 飲むのを トオジル言うのな  
あ (のです)。

**とおしろ (とうしろ) 【名詞】** 素人 しろうとの倒語  
(大言海) (熊)

**とおしん (とうしん)** いつも とおし とおしに同じ  
(志 (布施田)) [会話] 何時も言うのを トオシン  
トオシン おれがい (俺の家へ) 来とんね (来ている  
のだ)。じょつく (いつも) 来るとか トオシン あ  
げな事言うとる (あんな事言っている) 言うてなあ。  
じょおく 言うとるとなあ (ていると) 何時も あん  
な事を言うとる (ている) 言うのをなあ。年がら年中  
言うたりなあ、年がら年中 あいな (あんな) 事言う  
とる 言うたりなあ トオシン言うたりなあ、じょつ  
く、言うたりなあ。

**とおじん (たうじん、とうじん) (唐人) 【名詞】** 物の道  
理のわからない者 わけのわからない事を言う人 (志  
(浜島、布施田))

**どおじん (どうじん)** 同時に、同じ時間に

**とおじんのねごと (とうじんのねごと)** 何を言って居る  
のか訳の判らない事、又、筋の通らない事を言う事。  
(熊)

**とおじんのばいばい (とうじんのばいばい)** 大馬鹿 ば  
いばいは倍、倍

**とおじんばお (とうじんばう、たうじんばう) 【名詞】**  
馬鹿 とおへんばく参照

**とおす (とほす) (通す) 【他サ五】** 下痢する (多、上、  
阿、張、南) [会話] 腹下し (下痢) する時も おな  
かトオス。おなかトオシテ ピーピーやよお (だ) 言  
うて。ピーピーや (だ) 言う時も有るし 那智いさん  
やよお (那智山だ) 言う時も有るし。なちいさん く  
だらく (ふだらく “西国三十三番の御詠歌” ふだらく  
や 岸打つ波は みくまの 那智のお山に響く瀧つ  
せ (補陀落山 南インドに有ると信ぜられる観音霊  
場)

**とおす (とうす) 【名詞】** 唐臼 とうす参照 (度)

**どおすんのや (どうすんのや)** どうするのですか

**どおせ (どうせ) 【副詞】** いずれにしても 所詮 ある  
状態が定まった物として認める気持ちを表す。[会話]  
ドオセ こやはんねやれ (これはいけないのだ) と  
か、ドオセ こや、うちやったんねけど (これは壊し  
てしまうのだが) 言うて。ドオセ どくな (ろくな)  
事やるか (でない) 言うて。いずれかは 壊したん  
ね (てやるのだ) とか、いずれは はんよおん (駄  
目なように) なってく (いく) とか。人な (が) 病ん

どても (でいても) ドオセ あやまあ (彼はもう) は  
ざんねやれ (いけないのだ)、ドオセ 死んでくんや  
れ (いくのだ) 言うて。

**とおせえ (とうせい、たうせい) (当代) 【名詞】** 今の世  
の中 今時

**どおせのこと** いっその事

**とおせんぼ (とほせんぼ) (不通坊) 【名詞】** 通行出来な  
いようにする事 [会話] トオセンボ言うな (言うの  
は)、かくれんぼして トオセンボ しよったけど  
(しましたが)。

**どおそく (どうそく) 【名詞】** 1) 蠟燭 ろうそく (志、  
鳥 (坂手、国崎)、員、三、鈴郡、鈴市、上、阿、張、  
名、度、南) 2) 二本垂らした青漬 [会話] 1) 蠟燭  
言うのを ドオソク。2) ドオソク 垂らした 言うて。  
青漬 垂らしとる (垂らしていると) ドオソク に  
ほ (二本) も 下がらして (垂らして) 言うて よ  
お言うやんかい (よく言います)。

**どおぞこおぞ (どうぞこうぞ) 【副詞】** ようやつと、よ  
うやく どう その物事について考えられるすべての  
手段 方法をつくす事を表す こう このように こ  
の通り もうこれまで (員、三、一、上、阿、張、南、  
熊) [会話] ドオゾコオゾ 出来たよお (出来まし  
た) とか言うのは、せんざり (十分に・大変に) 苦心  
して しにくうて (しにくくて) したのおを (出来上  
がったのを) ドオゾコオゾ出来た言うて、どおなりこ  
おなり いがみなりん (歪みなりに) 出来たよおとか、  
やりつけた (やっつけた) 言うて 苦心した揚げ句ん  
(に) よおやく出来上がったの (のを) やっと出来上  
がった言うのを ドオゾコオゾ 形だけでも出来た。

**どおぞして (どうぞして)** 何とかして どおか 願望を  
表す (桑市) [会話] ドオゾシテ まめ (健康) で  
おってくれやええなあ (くれればよいのに) とか、ド  
オゾシテ 助かってくれやええなあ (くれればよい)  
とかな、どおか言うて 自分が願ひ事すんの (するの  
を) なんとかして言うの (のを)。

**とおた** 問った 尋ねた 訪ねた

**どおたい (どうたい) (胴体) 【名詞】** 体 身体

**どおたらこおたら (どうたらこうたら、だうたらかうた  
ら) 【副詞】** どうだこうだ 1) いろいろと 2) や  
つとのこと [会話] 1) 人な (が) ちよいと (少  
し) 言う、ドオタラ コオタラ 恨み言、言うて。

**どおだん (どうだん) 【名詞】** 1) どおらんの訛 海が  
荒れる事 海が荒れて、網に異物が多く掛る事。とう  
らん (涛蘭) 大波 (大言海) の訛りか、又動乱からか

【会話】 網掛けの ドオラン言うて。時化ん (に) 遭う事を ドオランに おおて (遭って) まあ言うてな、網掛けな (が) 今日は ドオダンで 掛りもんな (物が) よけ (沢山) して言うてな。波な (が) 荒れとる (ている) 時わな 掛りもんな すると 網捌きん 行たや (に行ったら) 今日は ドオダンやったよお (でした) 言うてなあ、もお (藻) や 荒布な (が) よけ (沢山) 掛かつとると (ていとう) 今日は ドオダンで 屋迄かかった 捌くのん (に) 言うて。そしたり 時化ん (に) おおて (遭って) 遭難すん (る) のを ドオダン 言うて、〇〇屋の親子な (が) 死ぬる (死ぬ) ××屋の親子な (が) 死ぬる ドオランで まあ言うてな。時化ん (に) おおて (遭って) 難破する事 ドオランにおた (遭った) 言うて。舟まけて (転覆させて) すんのなあ (するのを) ドオランや (だ) 言うて。今しや (今は) ドオランに遭う 家や (は) ねえけどなあ (無いが) 天気予報 見るよってんなあ (から)。

トオチカ (トウチカ) 【名詞】 頑固 頑固者 強情張る人

とおちりめん (たうちりめん) (唐縮緬) 【名詞】 モスリン メリンス 薄い毛織物 (三、上、阿) 【会話】 トオチリメン。モスの事を トオチリメン言よおつた (言っていました)。モスの事を 昔や (は) とちや (だ) 言うて、とちのきもんこおて (着物買つて) 言うて、ほんと (本当) の 縮緬を 縮緬言うなし (言うのですし)。モスのきもん (着物) 言うて 有りおつたやんかい (有ったで有りませんか)。今し (今) でも 晒や もおかざらしや 木綿の事 言うけど (が) けえ (毛) のおはなあ (のは) トオチリメン言うて モスやとか (だとか) 新モス、新モスは ちよいと (少し) 木綿がかつとんのなし (多く入っている)、トオチリメン言うな (言うのは) 本モスの事を言よおつた (言っていました)。本モス 今し (今) あいのな (あんなの) 無いなあ (有りません)。毛織りで モスは 毛で織つて有りおつて (有って)。着物作ると 必ずモスの長襦袢を。そして はっかけも モスして。羽二重で わしら (私) そいな (そんな) 派手なもな (物は) よおせんし (出来ないし)、モスな (が) いっちょうやつたね (一丁羅・晴れ着でした)。モスの ながじばんなあ (長襦袢を) こしらえて 銘仙のきもん こしらえると、モスののはっかけつけて モスな (が) わしらは (私達)は ええのなし (よいのですし)、ええ人 (よい人、金持ち) らは

羽二重とか 八反とかするし。綿紗やたら (だとか)。羽二重 縮緬言うて おなご (女) の しょんべや (小便だ) “四十代 婦人の小便する音は 呉服屋の番頭さんが 反物数え 博多の帯でも 締めるよに シュ シュラのシュ” “しゅう しゅう どんす しゅうどんす (緞子)” 言うて 四十位の人の小便は そげん (そんなに) して すんねてわい (するそうです)。反物屋の番頭な (が) 反物を数えるように しゅう しゅう どんす しゅうどんす言うて。

とおちんこ (とうちんこ) 【名詞】 1) くらげの一種 鰐のえぼし 上端にえぼし形の浮きがあり、その下面に長短大小さまざまな紐が下がっている。浮きはビニール袋のように薄く強く軽く、美しいコバルト色で黒潮の色そっくりである。その下の紐状の物は、この動物の本態で、栄養体、生殖体、感触体などの個虫が集まっており、それらの群分から長い触手が出ている。触手の内、中央のものは長く、初めは一本で有るが、老成すると数本になる。熱帯から暖帯にかけて主として暖流に浮かんでおり、鰐の群れと一緒に見つかるのでこの名が有る。主触手の刺細胞は毒が強く、これに刺されると、やけどしたように激しく痛む 上の部が透明なる事から透頂香 (葉の名) を借用したか、或はこは小で、透頂小 (子) か (志) 2) 小さな巻き貝の一種 【会話】 2) トオチンコ言うて 貝で 先な (が) ちょんぎつて (尖つて) ひらくたいのおを (平らなのを) トオチンコや (だ) 言うて。かいぞろ 拾いにいても (行っても) トオチンコは 混ぜると かいぞろん (に) 売られやせんね (売れないのです)、がらくたい (へ) 入れな (入れなければ) 言うて。1) トオチンコ言うな (のは) も (もう) 一つ クラゲや (です)。あの トオチンコと 違うね (のです)。あの トオチンコは、ところてんみたよんしとて (のようにして居て) 長い糸 引つ張つとて (て居て) その糸 首い (に) かぶつたと (てやると) 疼めて疼めて (痛くて) しょおなのおて (仕方がなくて)、そして 舟い (に) 乗つて 酢を塗りくと (つけると) 治つてきおつたの (治って行ったのです)。その疼めんのおな いらいらと。トオチンコ 糸引つ張つとて (ていて) いそなあ (磯縄) へ 捲いたと (てやると)、そんな (それで) 乾いてくと (行くと) 咽へ入つて くつしよめ (くしゃみ) やら、咳やらで、どいらい (大変) 苦しむね (のです)。あや (あれは) 毒やなあ (です)。首い (に) かぶる言うて 捲きついて来んの (来るのを)。足な (が) 長いもんで (の

で 知らんと (知らずに) 底から (海中から) によこつと 出て来ると そんな (それが) 流れて来るとこい (所へ) 首 出したと (てやると) 首い (に) 捲きつけたて (てやって) トオチンコ かぶったよお言うて。底から 底、踏んどいて (海底を蹴って) 息切らして 出るやんない (出るでしょう)。それ によこんと 首 出して来た言うやんかい (言うではありませんか)。筈も 今し (今) によこつと 首 出して来たとか、によこつと 芽 出した言うて 言うやんない (言うでしょう)。それ によこつとやわい (です)。海から首出すの によこつと 首出して。

**とおつ (とうつ)** 一つ (志 (立神、甲賀) 員) [会話] とくら (一度) 言うてな、とつ (一つ) 言うて 言う人な (が) あんねよって (有るのだから)、トオツ たあつ (二つ) 言うてな。

**とおつうつ** 一つづつ [会話] トオツウツ 分けえよ お (分けなさい) 言うて、トオツウツ言う人な (が) あんなあ (有ります)。

**どおづき (どうずき) (胴突) 【名詞】** 地突 家を建てる時など、その土台を固める仕事 ドヅキ (土突) の延 (大言海) (志 (布施田、船越、鶴方、神明、立神、志島、国府)、桑市、津、上、阿、度、鳥) [会話] ドオヅキ 撞きや (だ) 言うて。たちまいのおり (時) に 今しや (今は) コンクリ (コンクリート) で どがかえするよってん (から) あれやけど (しないが)、昔や (は) 皆 ドオヅキで 撞き固めよおつたの (て居たのです)。ちどこ (土地が岩盤で有る所・地床) の家は ちよいと (少し) しいときやええけど (石を敷いておけばいいが)、埋め所の家や (は) ぐり石 (直径 15~20cm の石) おもさま (充分) やって 撞き込まな (込まなければ) 家な (が) かたぐ (傾く) 言うて どおづき しっかり撞かな (撞かなければ) 言うて。ドオヅキ ねどり (位置を定める役) して しゃくられると (引っ張ると) てえも (手も) なんも 引き抜けてく (いく) ほど 力入れて。ねえ (根) を しとらな (していなければ) 横つちよ (横のほうへ) 引っ張られてくやんない (いくでしょう)。そやもんで (それだから) ねどりすると かいな (腕) も なんも 引き抜かれたる (れてしまう) ほど 痛いね。そすと (そうすると) 家い (に) 来ると 手な回ろかい (回りません)。ねどりしとたら (していたら) 男の人らな、なけな (達でなければ) ねどりは よおせんの (出来ないのです)。そやけど (それだが) 男の人らな (達が) 無い時や (は)

おなご (女) でも せなしよないやんない (しなければ仕方ないでしょう)。ねどりすんな (するのは) なかなかえらいねてや (大変なのです)。“夜の夜中に 鮑がいいごく (動く)、いごく (動く) はずだよ 蛸が来た おもしろや おもしろい瓢箪や やそん やそん” 言うて ドオヅキ 撞く時ん (に)。この唄も よけあんのお (沢山有ります)。こんな (これが) 一番 よけ有るわい (沢山有ります)。そして 歌いよいもんで (易いので)、撞きかためんね (めるのです) 言うて、エッチな歌ばつか (ばかり) よけ歌うわい (沢山歌います)。“婆な (の) おたべへ せんこいつぽ (線香一本) 立ててー” 言うて “せんこいつぽ (線香一本) 立あてて 爺よ これえ見よ おかじよ おき なつとしたんどれな (どうしたんだ)” 言うて。“面白ーい 瓢箪や やそん やそん” 言うて。そしといて (そうして) “よおいや しゃくれ” 言うて。しゃくり飛ばされるもんで (ので) ねどや (ねどりは) いっしょけんめ (一生懸命) で して。“よおいや しゃくれ” 言うた時 引っ張って 力入れて引っ張んの (引っ張るのです)。あの よおいや しゃくれで よけ固まんねやろなあ (沢山固まるのでしょう) 力 入れるもんで (ので)。めでためでだの若松さあまよ こりや 若松さあまよ 枝もさかえて こりや 葉も茂る おもしろや おもしろのひょうたんや やそん、やしん よおいやしゃくれ よやしゃくれ。

**どうづきうた 土づき唄** どうづきの時に歌う囃子歌

1. めでためでたの若松さまよ、枝も栄えて葉も茂る
2. ここのお家の土づきなれば、かねもざくざく児もふえる
3. ここの家で井戸堀りしたら、水も出る出るかねも出る
4. 嫁をもらうなら矢浦からもらえ、オゴやアサリをふごでもつ
5. おらが若い時や矢浦まで通よた、通よたおかげでカカもろた
6. いつも月夜でヨ (夜) も八月で、殿も二十五でおればよい
7. こぼれ松葉は幸せ者よ、どこへいっても二人づれ
8. 私しやお前さんに、こける程ほれた、今朝も戸口で二度こけた
9. 梅もいやだよ桜もいやだ、ももともものあい (間) がよい
10. 沖の暗いのに白帆が見える、よそであるまい和具である (ある)
11. おぼぼどこへゆく三升樽下げて、嫁のざいしょへ孫だきに
12. 爺の金玉ねずみがきしる、婆は泣き泣き猫借りに
13. 明日の日和をケツの穴に問えば、私しや上向くことはない
14. きんから頭をひょうたんと思て、小豆さきげを入りよとした
15. 今夜はござれよ、おかかや留守よ、

親父やつんぼで明きめくら 16. 一丁やろかと紙もんで  
いたら、人がきたので鼻かんだ 17. トト等チョンコし  
てわしこしらえて、おらがチョンコすりゃ意見する  
18・へのこが怒ったら天秤棒でどやせ、ボボで機嫌取  
りゃくせになる 19・イヤじゃイヤじゃと畑のいもは、  
かぶり振り振り児ができる 20. へのこみたよな鯉節が  
ほしや、いくらかいでもへりはせぬ 21. かかの可愛い  
のは腰から下よ、頭隣の猫にやれ 22. 夜の夜中に穴ほ  
る虫は、頭キカンで根はシャグマ 23. お婆小便すりや  
雀がのぞく、一羽二羽三羽しわだらけ 24. ボボのへら  
のような袖口ほしや、いくらこすつてもへりはせぬ 25.  
チンボチンボといばるなチンボ、ぼぼにかまれたら鼻  
たらす 26. オメコ蜂がさして桃のようにはれた、医者  
にみせたらシャジ投げた 27. ボボがしたさにお月さん  
拜む、ボボは天から降りはせぬ 28. 弱いようでもオ  
メコはつよい、ちんぼくわえて振り回す 29. ぼぼのだ  
しゃねとエンドの花は、いとこ同志かよく似てる 30.  
ぼぼのかゆいのをケツの穴に問えば、私しや隣の悪口  
いいたい 31. ぼぼのしたいときやタワシでこすれ、  
マラで機嫌とりや泡をふく 32. おめこしてみても何食っ  
てみても、おめこするよな味はせぬ 33. マラのでか  
いのが印度に知れて、象の種付け頼まれた 34. マラの  
でかいのでトラックにつんで、後で金玉貨物で行く 35.  
この家おうちがご繁盛しようやら、門にお鷹が巣をか  
けた

**とおつけぎ (とうつけぎ) (唐付木) 【名詞】** 経木の端に  
硫黄を塗った付け木 外国から来た付け木の意 (志)  
[会話] トオツゲキ 付け木の事なあ (です)、この  
位 (長さ 10 cm 位) に切った そこい (に) えんしよ  
な (煙硝が) 付いて 藁で束ねてあって 二銭や三銭  
で いちわ (一束) 買われおった (買えて居ました)。  
ざっぱ (雑把、丁寧でない) 家や (は) あつつう (厚  
く) 切って ひうち箱や (だ) 言うて 裂いて (割っ  
て) 有るし、こおとな (儉約する) 家や (は) それを  
ほっそおへしよって (細く折って) 裂いて (割って)  
有って こいなほっそいの (こんな細いの) マッチ棒  
みたよんしとんのん (のようにしているのに) 思て  
(思って)。一糰位にしとる (している) 家も 有る  
し、五耗位に きさいとる (割ってある) 家も有るし、  
こおとな家や (は) あんで (あれで) よお判りおった  
(よく判りました)。火 焚いたおき (残り火) が有  
ると、その おきい (に) しゅつとすると ついてく  
んの (来るので) どいらい (大変) よかった。ひう  
ちばこ言うて 昔やなあ (は) このぐらい (長さ 20

cm×巾 10 cm×高さ 5 cm) んのおを (ののを) 火 焚  
くとこん (所に) 掛けて有って それい (に) ツケギ  
きさいて (切って) さいて有りおった (差して有りま  
した)。くど (火を焚く所) の縁い (端に) 掛けて有  
って ツケギ きさいて (割って) あって それ取っ  
て しゅつと ひい (火) つけてしよおった (して居  
ました)。ひうちばこい (へ) 入れとけ言うて マッ  
チ入れたり マッチいっぽ (一本) 使わまい (使いた  
くない) 言うて そのツケギ しよおったんよって  
(して居たのですから)。マッチな (が) たしのおて  
(少なくて) そやよってん (それだから) ツケギすん  
のん (するのに) しや (それ) おきも取とけ (取っ  
ておけ) 言うて。

**どおと (どうと) 【副詞】** 大量の物が勢いよく一時  
期に動くさま [会話] どと来たね (のだ) 言うて、  
よけ (沢山) 来る事を 沢山 人な (が) 寄つても  
(集まっても) ドオット来たんよお (来ました) 言う  
たり、波でもなあ 急に 寄せて来るやんない (でし  
ょう)。ま、ドオット 押し寄せて来て言うてな そ  
して 水でも てえぼおな (堤防が) 切れると、おた  
どと 水な (が) 入れこんで (入って) 来て 床上  
浸水や (だ) とか言うやんない (言うでしょう)。そ  
いな (そんな) 時んなあ (に) ドオット入れこんで  
(入って) 来たとか。押し込んで来たとか言うてなあ、  
急に して来る事を言うんかの あんで (言うのでし  
ょうか、あれで)。

**とおて (とうて、とほて)** 遠くて

**とおて** 問うて 訪ねて (志、伊)

**とおで (とほで) (遠出) 【名詞】** 遠い所まで出かける事  
[会話] 遠いとこ (所) 迄 行く言う。

**どおで (どうで、だうで) 【副詞】** 1) どお言う理由で  
なぜ 2) どおしたって どうせ (志 (布施田))

**とおてこい (たうてこい)** 聞いてきなさい 尋ねて来な  
さい

**どおでこおで (どうでこうで)** いろいろと言ひ訳をする  
事 どうだこうだ

**どおでも (どうでも、だうでも)** 1) 状態は特に限定す  
る必要のない気持ちを表す語 どおにでも 2) 自分  
の意志を強く表す時に用いる語 どうしても (鳥 (相  
差))

**どおでもこおでも (どうでもかうでも) 【副詞】** 是非  
どうしても 何んとしても (桑市)

**どおてら (どうてら) 【副詞】** どうとか 色々と どん  
な

**どおてらこおてら (どうてらこうてら) 【副詞】** どうかこうとか 色々と どおたらこおたら参照 [会話] ドオタラコオタラ言うて、泣き事言うてたれ (言って行った)。なにやかや 言う事を ドオタラコオタラ言うてな、ドオタラコオタラ言うて がいな (大変) ばやばや言うとたれ (言って居ました) 言うてな、ドオテラコオテラ 言う人も有るし ドオタラコオタラ言う人も有るし うなし (同じ) 事やけど (だが)。

**どおてん (どうてん) (動転) 【名詞】** 驚く事 びっくりすること [会話] びっくりした事を、ドオテンして、おどけたなあ (驚いた) ドオテンしてたれたら (して行ったとか)。

**とおと (とうと) 【副詞】** 長い間 ずっと ついに 到頭 トド (止止) の延 (大言海) [会話] トオト死んでしもた (しまった)、十で トオト 治まった言うて、トオト 死んでたれ (死んでしまった) 言うたり、トオト出来上がったよお言うのも有るし、よおよおの降参で 出来上ったれ (出来上がった) 言うのも有るし、トオトオ出来た言う。トオトオ死んでた 言うて、せんぎり世話 (看病) したけど はざあらったなあ (駄目だった)、まあ (もう) なごおわずろとてなあ (長く患っていて)。そして トオトオ来たかい (来ましたか) トオトオ来る気ん (に) なったなあ。息子らな (達が) よそ行とて (他所行っていて) 来い 来い言うても 来んで (来なくて) 来ると あげん言うとたけど (あんなに言っていたが) トオトオ来たなあ言うて。“おらん (私に) トオトオ 影するもん (者) は せんちゃ (雪陰・便所) の によおぼ、かげ山のによおぼ” 言うて 言よおったやんかい (言っ居たで有りませんか)。影するな (するな) 言うてな ひなた (日の当たる場所) で ぬくとまっとたり (暖まっていたり) 潮浴びん行て (海水浴に行って) 浜い (に) のたったりすると (腹這いになったり) おらん (私に) トオトオ影する者は せんちゃのによおぼ かぜやまのによおぼ こじいき (乞食) くねんぼ、芋焼いてくらえ言うて。潮浴びん行て のたつとんのおへ (腹這いになっているのに)、影ん (に) すると寒いやんない (でしょう)。誰でも 影しん (しに) 来ると きろてなあ (嫌って) そげん (そんなに) 言う。意味は 知らんねてや (知りません)。

**とおど (とほどほ) (遠遠) 【名詞】 【形容詞】** 長い距離 とおどお (とうどう) に同じ [会話] トオド 来てくれたんかい言うて はるばると言うのをな おおた遠いとこ (所) へ トオドとまあ 御苦勞やのお (で

ず) 言うてなあ。

**どおど (どうど、だうろ) 【名詞】** 道路 [会話] 道路 よお言わんで (言えなくて) ドオド言う。そいなひた (そんな人) よれやわい (沢山です) だら だろよお言わんひた (人は)。

**どおど (どうど)。どおどい** 1) どうですか 2) どうだ どい 逆説の確定条件を表す 実際に起こった事を条件としてあげ、その条件のもとでは反対の結果が現れる事を示す [会話] 1) ドオドイ。今日は ドオドイ言うなあ (言います)。漁師 行て 漁があんの (あるのを) 聞く時でも 今日は ドオドイ言うて、そすと (そうすると) 今日は 大漁や (だ) 言うたり、少漁や (だ) 言うたり。そして おおづけだけ言うたや (言ったら) 餅屋のとおさん (主人) が そおりや (それは) よかった言うて、おおずけやった (だった) 言うて けえな (気配が) 有った言うだけや (です)。そやけど (それだが) 知らんもな (知らない者は) 大漁した思たんやろ (思ったのでしょう)、餅屋のとおさん そおりやよかった言うて。人に尋ねる時 ドオドイ どおやっどい (どうでしたか) 言うて 尋ねんの (尋ねるのを)。2) そして 自分が 自慢する時ん (に) 自分の思た (思った) 事が 当たった時ん (に) ドオドイ おんな言うた (俺が言った) よおん (に) なったやんかい (だろ) おんな (俺が) 言うた通りやったやんかい 言うて。

**とおとお (とうとう、たうとう) (到頭) 【副詞】** ようやく やつと とおとに同じ 参照

**とおどお (とほどほ) (遠遠) 【名詞】 【形容詞】** 非常に遠い所 遠路、又は遠い所 [会話] トオドオと 来てくれたんかい (くれたのですか) 御苦勞やのお (です) 言うて。はるばると言う事を トオドオと来て くれたんかい 言うて。

**とおとかえる (とうとかえる)** 宙返る 空中回転 とんぼりかいり参照 [会話] トオトカエル言うて。頭下にしといて (しておいて) ばたとん 返るのおを (ひっくり返るのを)、トオトカエル とおと よおするかい (よくしますか) 言うて。

**どおどこおど 【副詞】** どうにかこうにか やつと どおぞこおどに同じ

**どおどせえ** 四つん這いになりなさい [会話] ドオドセエ、もおせえ言うて、子供らの尻拭く時ん (に)。

**とおのととり (とうのととり、たうのととり) (遠処鳥) 【名詞】** タウはトホ (遠) の音便転。とうのととりは、ウズメ (姑獲) などの妖鳥。七草粥の七草を刻む時に

説える語（鈴市）

とおとぶ（たふとむ）（尊）【他バ上ー】 敬い、大切に  
する

どおとも（どうとも）【副詞】 どおでもに同じ 1）如  
何様にも 2）どうしても 【会話】 1）ドオトモ こ  
おとも 返事や（は）出来やせんわれまあ（出来ませ  
ん）。旅行い（に）行くかい（行きますか）言うたや  
（言ったら）まあ 今のとこ（所）ぜん（銭）も無い  
し、足もわりし（悪いので）、ドオトモ コオトモ  
返事や（は）出来やせんわれ（出来ません）考えとか  
れ（考えておきます）。

どおともこおとも（どうともかうとも）【副詞】 1）ど  
うしても いかにしても 2）如何様にも どおとも  
参照

どおな（どうな） どおですか（南、熊）

とおない 遠くない（北）

どおなか（どうなか）（胴中）【名詞】 1）背中 体の中  
央（志（布施田、甲賀）） 2）物体の中央部 【会話】  
1）ドオナカな（が）やめられ（痛む）言うて、背中の  
事を ドオナカや（だ）。

どおなと（どうなと）【副詞】 どのようにも どうなり  
との訛（鳥、上、阿）【会話】 ドオナトなれまあ言う  
て、ややこし（面倒に）なって来ると、なんかややし  
とて（色々して）しにくうて（しぬくくて）する  
と、ドオナトなれまあ こいなもん（こんな物）言う  
て。どおんでもなれ（どうにでもなる）たいがいん  
しとけ（大体にしておけ）言うて、仕事な（が）出来  
やへんと（出来ないと）しのくいと（しぬくいと）ど  
おでもなれ（なる）、どお（堂）でも 観音寺でも  
ええわ（よい）言うて。観音寺の堂も 有るやんない  
（でしょう）。そやよって（それだから）そいなもな  
（そんな物は）どお（堂）でも 観音寺でもええわ  
言うて。

どおなりこおなり（どうなりかうなり）【副詞】 ようや  
つと どうぞこうぞと同意 参照（志（鶴方、神明、  
立神、志島、甲賀、国府、安乗）、熊）【会話】 ドオ  
ナリコオナリ 出来そおなれ（です）言うたり、ドオ  
ナリコオナリ 此処い（へ）迄来たれ（来ました）言  
うて、いっしょけんめ（一生懸命）で くんのも（来  
るのも）。そして 生活もなあ ドオナリコオナリ  
くてかれそおなれ（食べて行けそうです）今のとこじ  
や（所では）言うし、よおやつと まあ 生活のめど  
な（行くさき）がついて来た 言う事をなあ。どおや  
らこおやら 今のとこ くてかれそおなれ言うてな。

どおなりと。どおなりとも（どうなりとも）【副詞】 状  
況を限定する必要のない思いを込めて、どのようにで  
も どうでも 【会話】 ドオナリト まあ なってく  
やろど（なって行くだろう）言うたり どおなと な  
ってくやろど、どおなとなれ（なる）言うて。まあ  
なあ なつと言うたて（なんと言つても）しゃあね  
えわれ（仕方が無い）どおなと なってくやろど 言  
うてな。ドオナリトモ言うて あんた（貴方）の 好  
きなよおに ドオナリトモ しゃあねえわれ（仕方が  
無い）、わがと（自分が）好きで 行くとこやよって  
ん（所だから）、びんぼ（貧乏）しょおと、ととな  
（夫が）酒のもと（飲もおと）くだまこと（まこう  
と）、わがと（自分が）好きで 行くねよってん（の  
だから）言う事やなあ（です）。

どおなろと どの様になろうと、後はドオナロト知らん

どおなろど（どうなろど） どおなのか 出来ない

どおなん【名詞】 1）どうらん 海の荒れる事 どおだ  
ん参照 2）飽きること

どおなんした（どうなんした） 飽きた 嫌になった

とおに（とくに）【副詞】 疾に 疾くにの転 早くから  
ずっと前に とつくに “に” 格助 動作 作用が行  
われ 又存在する 時間的、空間的な位置や範囲を示  
すのが本来の用法 時間を指定する。（員、一、上、  
張、名、尾）【会話】 トオニ 早よ出来たれ（早く出  
来た）。トオニ そやいたのんなあ（それは行ったの  
に）言うて。あの人 来とらったかい（来ていませ  
んでしたか）言う と トオニいたない（行きました）  
言うたり。物が出来ても 出来とるか、言うたや（出  
来ていますか言ったら）トオニ出来とるよお（出来て  
います）言うて、はよから出来とる（早くから出来て  
いる）。とおの昔に そや（それは）いた（行った）  
事やてや（だとか）、した事や（だ）言うて。とおの  
昔に そやなあ（それは）言うた事やのんなあ（なの  
に）まだ 今まで せんとおんのか（せずにいるの  
か）とか。とおの昔は“トオニ”昔言う しんにゅう  
が 付いとる（付いている）わけや（です）、早よ  
（早く）した 言う事を とおの昔んしたれ（にしま  
した）言うの。

どおにまよう（どうにまよう） 方向が判らなくなる 寝  
惚ける どおは、ろ（路）か

どおにも どのようにも

どおにもこおにも 如何ようにも

とおぬく（とほぬく）（遠退）【自カ五】 1）距離、又は  
機会が遠ざかる 遠のく 2）疎遠になる 仲間から

はずれる(員) [会話] 2) あの人などこん (の所に)  
おると (居ると) なんやらかやらと いやらしよって  
(いやだから) まあ トオヌイとらな (ていなければ)  
言うて。離れとらな 言うのを、遠ざかつとく  
(ておく) 言う事な (が)、遠ざけとかな (ておかなければ) ま あいなのとお (あんなのと) 一緒になつ  
とたら (になつていたら) はざんわれ (駄目だ) 言うてな。  
トオヌイとやええわれ (ておればよろしい) 言うてな。  
構わんと おやええわれ (居ればよろしい) 言う事をなあ。

**どおね** どうですか **どおだ** (志(浜島)) [会話] な  
としたんどい (なんとしましたか) とか どげんした  
んどい (どおしましたか) とか 言うけどな (言います)  
何をしていますか言う事を どげんしとんねどい  
(しているのですか) 言うてな。どおですか言うの  
(のを) ドオネ 此の頃 婆やんの あんばや (様子は)  
言うて ドオド まあ 婆やんも 調子な (が) ええか  
(よろしいか) 此のごら (頃は) 言うて。

**とおねんご** (とうねんご、たうねんご) (当年子) 【名詞】  
今年生まれた魚 [会話] トオネンゴ言うな (言うのは)  
今年の子 言う事やわい (です)。

**とおねんもん** (とうねんもん、たうねんもん) 【名詞】  
1) その年に生まれたばかりの魚の仔 2) その年に  
とれた物 [会話] 1) 2) 今年のもんや (物だ) 言うの  
を、トオネンモンやなあ (だ) 言うて。こやなあ (これは)  
まだ ちっさいよって (小さいから) トオネン  
モンやなあ (だ) 言うてな。

**どおのうで** (どうのうで) 【名詞】 櫓は二本の板を組み  
合わせて出来ているが、手許で動作する部分をうで、  
海中で動く部分をすそ [会話] 櫓の裾言うな (言う  
のは) どお (櫓) ふたあつに (二つに) しとるやんな  
い (しているでしょう)。ウデと裾と ウデ言うな  
(言うのは) 三分の一くらいで 三分の二は 裾やわ  
い (です)。ウデいは (には) つくな (が) ついて  
ウデで、裾な (が) からげてあるやんかい (括ってあ  
ります)。

**とおのく** (とほのく) (遠退) 【自カ五】とおぬくに同じ  
1) 距離、又は機会が遠ざかる 2) 疎遠になる 仲間  
間から抜ける

**とおのける** (とほのける) (遠退) 【他カ下一】仲間から  
抜けさせる 仲間外れにする [会話] トオノケル、  
さけとけ (避けておけ) 言う事やわいなあ (です)。  
トオノケル 言うて、そのにげ (人間) を 危険人物  
と見て さけえよお (避けなさい)、あんまり ちか

よんなよお (あまり近づくな)、そいなにげ (そんな  
人間) とは言うてな 危うきや (ければ) 近寄らずで  
そいなにぎや (そんな人間) さけとらな (ていなければ)  
はざんわれ (いけない) 言うて。

**どおのこおの** (どうのこおの、どうのかうの) 【副詞】

いろいろと [会話] ドオノコオノ言うたててな (言  
つても)、なんやかんや言うたててな 言うたり、い  
ろいろの事を あれ言ひ これ言ひしても 言うよお  
なもんやなあ (ものです)。ドオノコオノ言うたてて  
なとするやい (なんとしますか)、どおもこおもしよ  
なねえわれ (仕方が無い) こげん (こんなに) なって  
来てから言うてもなあ。

**どおのすそ** (どうのすそ) 【名詞】 櫓の下 三分の二く  
らい波の中に入っている部分 どおのうで、ふさう参  
照 [会話] ドオノスソ へしよったて (折ってしま  
った) 言うてなあ。ドオノスソ 先は うっすいやん  
かい (薄いです) こてて (こじて) へしよったる (折  
ってやる) 時なあんね (が有るのです)、どおな (櫓  
が) 漕がれんよおな あっさいとこい (浅い所へ) 行  
くとなあ がちゃがちゃ 言うてするとなあ ドオノス  
ソ へしよったんなよお (折るな) 言うて、下のなあ  
うっすい (薄い) ぺらぺらしたとこな (所が) あんね  
(有るのです)。

**どおのま** (どうのま) (胴間) 【名詞】 漁船の中央部(鳥、  
熊) [会話] ドオノマ言う。はさみと おもて (船  
首) の あい (間) を ドオノマ言う。はさみや  
(は) はじゃんばんな (炊事番が) 寝んならんやんな  
い (でしょう)、かつぱ (船倉) は とまえ (船頭)  
さんな 寝るし、おもてし (船頭の相手) は、鱧い  
(へ) 寝るし、真ん中の 胴やもんでなあ (なので)  
ドオノマや(だ) 言う。

**とおのむかし** (とほのむかし) 【名詞】 随分前から 昔  
から 疾の昔 遠い昔 “とうから” “とうに” と同義  
参照 (志(布施田)、尾) [会話] はよお (早く) の  
事やれ (です) 言うのなあ (です)。トオノムカシの  
事やれ (だ) そやまあ (それは) 言うてな、早い時を  
なあ トオノムカシやれ (だ) 言うてな、済んだ事を  
なあ そやまあ トオノムカシノ事やんかあ (で無い  
か) 言うてなあ。

**とおは** (とうは、たうは) (党派) 【名詞】 行動などを共  
にする仲間 組 [会話] トオハかい (ですか)。赤  
旗やら 白旗やら言うて、トオハな (が) 有って、か  
たわかれんなんのを (互いに別れるのを) トオハな  
(が) 有って言うてなあ。今し (今) 政治はよけ有る

やんかい (沢山有ります) トオハな (が)、ほんとん  
(本当に) とお (十) も有るなあ ほんとん トオハ  
やなあ (です)。

**とおば (たふば) 【名詞】** 1) 墓 ソトバ (卒塔婆) の略 梵語 *stupa* から 2) 下駄 [会話] 2) トオバの下駄 履いて言うて。トオバの下駄な (が) おおはやりやったの (だったのです) 桐台の 日和下駄いなあ (へ) 藤で じょおりみたよん (草履のように) 編んであつて それを 桐台の下駄え 張ってなあ 下は日和下駄ん (に) なん (なるのです) トオバの下駄。1) 墓も トオバなあ、トオバな (が) 立つとる (ている) 言うてな。

**とおはつ (とうはつ) 【名詞】** 頭髮 理髮 [会話] トオハツしとる (している) 言うて。頭を かつとんの を (刈っているのを) トオハツん (に) したた (してしまった) 言うやんかい (言います)。おなご (女) らななあ (が) 頭 (髪) 切つたと (てやると) トオハツして言うやんかい (言います)。切つたとさいご (切つてやるとその時) ざんぱつしたた (散髪してしまった) 言うのも有るけどな (言います)。

**とおぶし 【名詞】** 畑に生える雑草 こおぶしの訛 こおぶし参照 [会話] 畑にトオブシ 田にびりも 本家に 小母 (未婚の女) は いなんもん (不要の物)。

**とおぶん (とうぶん、たうぶん) (当分) 【副詞】** ここしばらく 今の場合 [会話] トオブンきやせんわ (来ません) 言うてな。暫くきやせん (来ない) 言う事なあ (です)。まあなれ 用事な (が) 有つて 暫く来やれやせんわ (来られません) 言うト トオブンきやせんよってんな (来ないから) 言うてな。

**とおへんぼく (とうへんぼく、たうへんぼく) (唐変木) 【名詞】** 馬鹿者 おろか者 役に立たない者 うっかり者 (上) [会話] トオヘンボカ (唐変木は) 言うて、あんごしのおを (馬鹿のを)。あんごし (馬鹿な) 事すると トオヘンボカ そいな (そんな) 事してまあ言うて。ただ あんごしや (で) 無しに、あんごしな (のが) 度を 越しとるもんで (越しているの) で) トオヘンボク言うね (言うのです)。とおじんばお言うて わるいおったやんかい (叱って居ました) 子ら (子供達) を。

**どおばね (どうばね) 【名詞】** 背骨 (志 (布施田)) [会話] ドオボネてや 背中のだオボネを、ドオボネな (が) やめられ (痛む) とか、ドオボネな 冷えてとか言うて 背筋な 冷える言うのなあ。

**とおまわり (とほまはり) (遠廻) 【名詞】** 遠い方を迂回

すること

**どおまん (どうまん) 【名詞】** 1) 怠け者 (志 (布施田)) 2) 魚名 いすずみの仲間 イスズミ科の海魚。岩礁に住む。体長30cm以上に達し、体は楕円形で側扁する。吻は短かく丸い。体全体に鱗が有り、体色は青褐色で、体側に多数の黄色の縦走線が有る。背鰭、尾鰭の縁は黒い。食用とする。[会話] 1) ドオマンよそこな (の) 言うて、どじもんぐさ (怠け者) 言う事を 怠けもん (者) の事を ドオマン。怠けもんの事を どじもんぐさ言うの (の) (のです)、ドオマンよ言うて。2) 魚も ドオマン言うの な (言うのが) 有るやんない (でしょう)。何も美味ない (少しも美味しくない) 脂な (が) よけ (沢山) 有つて 美味ないの なあ (美味くないのです)。ドオマンやたら (だとか)、はとやたら (魚名・こぶだいだとか) 美味ないの。

**どおまん せえまん 【名詞】** 海女の磯手拭いつける まじない 護符 (志)

**とおみ (とうみ、たうみ) (唐箕) 【名詞】** 穀物の実と秕、殻、塵などを選別する農具 箱の内部に装置してある風車で風をおこし実と他の物と分ける。(志 (布施田)、員、鈴郡、鈴市、伊) [会話] トオミ言うのだ 粃を しわける みい (区別する箕)。

**とおみち (とほみち) (遠道) 【名詞】** 1) 遠い道 長い距離のある道 2) 普通より遠回りの道 [会話] 2) まわりみち (回り道) すると、トオミチしてまあ言うんかい (言います) せこ道 (路地) 抜けてきや (て行けば) ええのん (よいのに)、せこ道知らんとなあ (知らないと) おおまあり (大回り) すると、トオミチしてまあ (していて) 言うてなあ 道 知らんで (知らなくて) 遠回りしとたよお (していました) 言うたりなあ。

**とおみょ (とうみょう)。とおみょお (とうみやう) (灯明) 【名詞】** 神仏に供える灯火 (北、熊) [会話] トオミョオあげえ (供えなさい) 言うて、神様に オトオミョオも あげえ 言うて。オトオミョオもあげて、御神水もあげて言うて。

**とおめ (とほめ) (遠目) 【名詞】** 近い所は勿論遠方まで 普通の人よりよく見ることの出来る目

**どおめいかい (どうめいかい) (同盟会) 【名詞】** 仲間同一職業者の集合体 [会話] ドオメイカイ。アマドオメイカイ 仲間の会 言う事や (です)。相談する時ん (に)、会長な (が) 寄つて 決めるけど (決定するが)、相談事決めんの なあ (決めます) ドオメイカイの会長な (が) とまえ (船頭) と寄つて 決める

事は決めるけど(決めます)。

**とおめがね(とほめがね)【遠眼鏡】**【名詞】望遠鏡 双眼鏡(熊)

**とおめなきく** 遠い所もよく見える

**どおもおもならん(どうもこうもならん)** 如何ともしがたい なんともならない どうにもこうにも どうにか強めた言い方 どうぞどうぞ参照(北) [会話] ドオモコオモナラン言うのは、なつともかつとも(いかんとも)ならん言うのと 一緒やわい(です)。“ぼの かいのおは(痒いのは) なつともかつとも ならぬ”言うのも 一緒やわい(です) ドオモコオモナラン言うの。どおもおもならせんし(ならない)言うて、節季な(年末が)来たけど どおもならんわれ(ならない) 首な(が) 回らせんわれ(回らない) ドオモコオモナランわれ 言うて。

**どおもない(どうもない)** 何とも無い 何でもない(北)

**どおや(どうや)【名詞】**牢屋 囚人を入れておく所 ろうやの訛

**どおや(どうや)** 如何がですか(四、津、多、張、伊) [会話] ドオヤ どおどい言うて。なとしとんねどい(何をしていますか) 言う事やろなあ(でしょう) あんでなあ(あれで) それを ドオヤ言うて、何をしていますか言うて 問うのを ドオヤどい言うて、ドオヤでや(と言えば) どおもおも無いわい(有りません) 言うて。

**とおやく(とうやく)【名詞】**魚名 しいら シイラ科の海魚。全長1.8mに達す。体は著しく側偏し、長い。背鰭の基部は長く、登頂部から尾鰭近くまで有る。尾鰭は深く、二股に分かれる。体色は背方が青藍色で、腹方は淡黄色を帯びる。老成した雄は鰭が張り出し、おでこ状をなす。(志(甲賀、安乗)、鳥(石鏡)、北、南、熊) [会話] トオヤカ(とうやくは) ゆおかれ(魚ですか) 納屋もや(守りは) にげかれ(人間か) 言うて。魚でも一番うまないのでやなあ(です) 納屋守りするにげや(人間は) とろくさいのおな(鈍いのが) 納屋守りするやんない(でしょう)。納屋守りする にげや(人間は) はきはきしとるもな(している者は) しやせんし(しませんし) 間に合わんよおなのおな(合わないのが) そやもんで(それで)。トオヤク言うて。平くとおて(平らで) ぺたんとしとんの(しています) 干物に よおするわい(よくします) 焼いて食うけど がいん(大して) 美味ないもんで(ので) トオヤカ(くは) ゆおかれ(魚か)。

**とおやく(たうやく)(当薬)【名詞】**どくだみ せんぷり げんのしょうこ せんぷり参照(上、張、阿、名) [会話] トオヤク じゅうやく せんぷりは じゅうやく言うね。薬草 トオヤク言わせん(言いません)、どくだみ言うのなあ 草のじゅうやく 医者殺しや(です)。

**どおやおおや** いろいろ

**どおやったどい** どうでしたか 如何がでしたか [会話] 人に尋ねる時、ドオヤツドイ言うて、尋ねんの(尋ねるのです)。

**どおやって(どうやって)** どうして 如何にして(一)

**どおやっても(どうやっても)** どおしても(松)

**どおやどい(どうやどい)** どうですか 如何がですか [会話] そこらに 座っておって(居て) 通って来ると、ドオヤドイ言うてく(言って行く) 人な(が) おるなあ。なにしとんねどい(何をしていますか) 言う事やろなあ(でしょう) それを ドオヤドイ言うて。

**どおやな(どうやな)** 如何がですか どうですか(阿)

**どおやら(どうやら)【副詞】**どうにか なんとか ようようの事で [会話] ま、ドオヤラ 出来そおや(だ) 言ってなあ。

**どおやらこおやら(どうやらこうやら)【副詞】**ようやうと どうやら 十分とは言わないがなんとか どうにか やつと どうぞどうぞ参照(鳥(桃取)、三、鈴郡、熊) [会話] ドオヤラコオヤラ 出来そおな(だ) とか、やってけ(生活出来) そおな(だ) とか 言うてな、むつかし(むづかしい) 仕事や(だ) となあ ドオヤラ、コオヤラ 出来たよお言うてな。

**どおやらしらん(どうやらしらん)** どうか判らない(一)

**どおやらすると(どうやらすると)** ひょっとすると 何とかすると

**どおやろ(どうやろ)** どうだろう

**とおやん(とうやん)(父)【名詞】**お父さん(志(越賀)、鳥、鈴市、多、度、伊、北、南) [会話] お父さんの事 トオヤン。やん付けんのなあ(付けるのです) 親しい人に。とおさん言わんと(言わずに) トオヤン言うて、言いいもんで(言いやすいので)、トオヤン、カアヤン、バアヤン お婆さん言うの(のは) 言いのくいもんで(言いにくいので) バアヤン言うね(言うのです)、バアヤンやとか(だとか) ばあさんとか言うのは 丁寧な言葉で、ばば じじ 言よおったね(言って居たのです)。婆や爺や とと(夫、主人) や かか(妻) や、言うて。昔や(は) 爺、婆

呼んで来い言うて。

**とおよ（とうよ）【名詞】** 十 九つトオヨ [会話] 一つよ 二つよ言うて。さいら舟な（が）さいら獲て（獲て）来て 四はい積んで（四艘に積んで）言うて、四はい（四艘）の舟へ さいら（秋刀魚）を 満船（船一杯の漁）して来ると 四はい積や（だ）言うて。そすと（そうすると）かんじよすんのん（勘定するのに）夜中まで 一つ 二つ 三つ トオヨ言うて 引っ張ると（よを入れて長くする）、一つ かずとり言うて かずとりな（が）おつて（居て）にほおつ（二本ずつ）十 勘定すると（数えると）かずとりな（が）ばんりゅう（魚を入れる容器）へ さいらを いっぱ（一本）入れんの（入れます）。そすと（そうすると）又 一つ 二つ言うて トオヨ言うて、又 いっぱ（一本）入れて その数 とって 終いに その数を かんじよ（勘定）すると 何千あった言う。かんじよで、昔や（は）トオヨ言うて 終いまで言よ おったの（言いました）。トオヨ言うて 一つうつ（ずつ）かずとりな（が）入れんで（入れるので）。その後の かんじよしたのおは（のは）ふなくそ言うて 船主い（に）その さいらやんの（やるのです）。ふなくそも持てたない（持って行った）言うて、かこらな（水夫達が）持てくとさいご（持って行くと）、ふなくそも 残さんと持てく（残さずに持って行く）言うて、舟の間 こいだに はさかつとるやんない（はさまっているでしょう）。それを ふなくそや（だ）言うて、ふなくそは 船主のもんやけどなあ（物だが）かこらな（が）すこいのおん（狹いの）になると ふなくそも さらえて持てく（漂えて持って行く）言うて 言よおった（言いました）。さいらよけ（沢山）積んで、表（船首）も かんこ（漁槽）も はさみも 皆 積んで、そすと（そうすると）まあ 方々に はさかつとるわい（挟まっています）それを ふなくそや（だ）言うて、そのふなくそも 置かんと（置かずに）持てた（持って行った）言うて、旦那な（が）言う家な（が）有りおつたてや（有りました）。

**どおよく（どうよく）（胴欲）【名詞】【形容詞】** 1) 殊の外欲の深い事 ドンヨク（食欲）の訛（大言海 広辞苑）2) 図々しい人 [会話] 2) ドオヨクな（だ）言うて、どおよくもん（者）よ ドオヨクザメ言うて、ドオヨクな言うのは いくら言うても 言う事 聞かんにげ（聞かない人間、人）を、しぶといのおを（のを）ドオヨクや（だ）ドオヨク鮫の果て無しや（だ）

言うて、ドオヨクな言うな（言うのは）、まだ やさし（やさしい）けど ドオヨクザメ言うて ものずごいね（のです）のぶといのおを（頑固なのを）。欲な（が）張つとる（張っている）よくしんぼ（欲しんぼう）とも 違うね（違います）。大胆な人を 心な（が）大胆言うより、わり（悪い）気の よけ（多く）ある人を言うんやんかい（言います）。大胆で物を しゃきしゃき運ぶ人とは 又 違うんでや（違います）。ドオヨク鮫言うのは する事な（が）おच्छやく（横着）な事なあ（です）。する事な（が）のぶとおて（図太くて）大胆な事すると あのひた（人は）のぶといとか ドオヨクな（だ）とか、そして 鮫な（が）付くな（のは）ものすごおわり（ものすごく悪い）人を ドオヨクザメ ドオヨクザメの果て無しや（だ）言うて。

**どおよくざめ（どうよくざめ）（胴欲鮫）【名詞】** 非常に欲が深くて、又、その行動が大胆であるさま 又、その人 どおよく参照

**とおらいもん（とうらいもん）【名詞】** 貰い物

**どおらくもん（だうらくもん）【名詞】** 1) 道楽者（志（志島、布施田、的矢、神明、甲賀、国府、安乗）、鳥（神島、菅島、鳥羽、長岡）、桑市、上、張）2) 怠け者（志、鳥、桑郡、上、張）[会話] 1) ドオラクモン言うな（言うのは）、おなごや（女だ）男や（だ）言うて よけ（沢山）する人を。ドオラクモンや（だ）言うて。きどら（着物道楽）のにげ（人間）も 有るしなあ（有ります）着るもん（物）を。金よけ（沢山）使う人も ドオラクモンや（と）言うしなあ。おなご（女）遊びすん（する）のも道楽なし（です）、着るもん（物）を あれ着い これ着い、買うのな（のが）好きで 派手なふう（格好）する人、あや（彼は）きどらや（と）言うて。きどら言うな（言うのは）きもん（着物）道楽。そして おなご（女）道楽すんな（するのは）ドオラクモン（者）言うて、あのひた（人）おなご（女）道楽やなあ（だ）言うし。あのひた、きどらやなあ（だ）言う 着物でドウラクモンで。食いどらも有るし 食うのな（食べるのが）派手で。

**とおらす** 通行させる 通過させる [会話] 俺家のともと（庭）トオラシトンネ（ていどのだ）言うてな。トオラシテ貰うね（のだ）言うて、通る人はなあ。俺家のともとトオラシテ くれとんねどお（やっているのだ）言うけどなあ（言います）まあ 十年も 二十年も 経ったら わが（自分の）家のもんやないんで

え (物でないのです) 言うて。

**どおらん (どうらん) 【名詞】** 海の荒れる事 又、海が荒れて刺網に異物が多く掛り、網干し場の乱れる事  
どおだん どおなん参照 とうらん (涛瀾) 大きな波の詛りか (志 (布施田)) [会話] ドオランにおおて (遭って) 言うて、時化に遭う事を ドオランや (だ) 言うの。今日は 網かけな (刺し網漁が) ドオランで言うて、時化な (が) して 波な (が) 立って 海な (が) 荒れて 網な (が) こらこら (目茶苦茶) になるやんない (なるでしょう)。それを 今日ハ ドオランやって (で) 網さばくのかん (獲物や異物を除くのに) 昼までかかった言うやんない (でしょう)。昔 五郎兵衛ドオラン、半助ドオラン言うて さいら (秋刀魚) 舟や かと (鰹) 舟で 時化ん (に) おおて 流れて死んだのおを (のを) 五郎兵衛ドオランで死んだとか、半助ドオランで死んだとか言うて。網掛けの人な (の) ドオランや (だ)、ドオランや (だ) 言うと、時化に遭うの。天気な (が) そんなん (に) しとらんでも (していなくても) 海な (が) 荒れて来ると 底の方な (が) 荒れとて (いても) ドオランや (です)。

**とおり (とほり) (通) 【名詞】** 1) 家の入り口から勝手場までの土間 とおりにわ (志) 2) 道 特に大きな道路 [会話] ₂) あしこの (あすこの) トオリな (が) せぼおてな (狭くて) とか、道の事を トオリや (だ) 言うのな。あしこのトオリな (が) ちょいと せぼおて (少し狭くて) トオリのくいな (通りにくい) 言うてな。₁) 玄関と裏庭と トオリニワん (に) する言うてな あっちゃと (あちらと) こっちやい (こちらへ) 行くのを あの家や (は) トオリニワん (に) して有って言うて、土間を とおんの (通るの) トオリニワや (だ) 言うて、板 張らんと (ずに) 納屋から母屋い (へ) 行くのん (に) どおか (廊下) にせんと (せずに) 土間ん (に) して有ってそれを トオリや (だ) 言うて。

**とおり (とほり) (通) 【接尾語】** 種類や回数を数えるのに用いる [会話] これもなあ いくトオリもあられ (有る)。白もあや (有れば)、赤も有る、黒も有る言うてな。色違いしたり、だんちがい (種類違い) したり、いくトオリもあられ (有る) 言うてな。種類な (が) よおけ (沢山) 有る言う事やわいな (です)。

**とおりあめ (とほりあめ) (通雨) 【名詞】** ひとしきり降ってすぐ晴れる雨 俄雨 [会話] トオリアメ言うな (のは)、雲な (が) はよおてな (早くて) さあ

っと降って来てな (は) 止んでき (で行き) すんのを (するのを)、トオリアメやよって (だから) そげんどじける (そんなによく降っている) 時ん行かん (に行かず)、止ましとれ (ておれ) 言うて。やましとると じっきん (すぐに) 雲な (が) 早いもんで (ので) とおってくよってん (から) 言うて、俄雨の事を トオリアメ言う (言います)。

**とおりいっぺん (とほりいっぺん) (通一辺) 【名詞】**

1) 一度だけ (志 (布施田)) 2) 義理ですらで誠意が無い

**とおりがけ (通掛)。とおりすがり (通次) 【名詞】** たまたま そこを 通るついで [会話] トオリガケにあしこい (あそこへ) 寄ってた (行った) とか、ことずけすんのなあ (頼みするの)。トオリガケやよってん (だから) もててくれるかい (持って行ってくれますか) 言うたりなあ、トオリガケに 此処い (へ) 置いてて (ていつて) くれえ (下さい) 言うてなあ、道のはたやよってん (傍だから) ついでん (に) もてたるわい (持って行ってあげます) 言うのん (言います)、トオリガケに ちょいと (少し) 寄ってくれるかい (くれますか) 言うてな。

**とおりにわ (とほりには) (通庭) 【名詞】** 表から裏まで通り抜けになっている細い土間 とおり参照 (志、鳥) [会話] トオリニワ言うな (言うのは) だいでこ (台所、勝手) から 座敷に どおかんならんと (廊下にならずに)、土間ん (に) なつとんのおを (なっているのを) トオリニワや (だ) 言うて。玄関 どおかんせんと (廊下にせずに) 板張りんせんと、土間んしとんと (にしている) あの家や (は) トオリニワやなあ (だ) 言うて。

**とおりみち (とほりみち) (通道) 【名詞】** 道路 通行する道 [会話] たのき (狸) の トオリミチも有るし、にげ (人間) の トオリミチも有るしなあ。じょおく (いつも) いたり (行ったり) 来たり するとこな (所を) トオリミチ言うてなあ。こか (此処は) まあたのきトオリミチで こやれ (これ) すべすべしとられ (滑らかにしている) 言うん (のです)。山ん (の) 中でもなあ たのきや (狸だ) 猫や (だ) 言うてなあ 通るとこ (所)、草も きい (木) も いたり (行ったり) 来たりするとこな (所が) わかつとん (判っているのです)。にげ (人間) も 一緒に トオリミチや (は) じっばん (立派に) 邪魔なもん (物) 置かん (置かず) して有る。トオリミチい (へ) なんやかや (いろいろ) 置いて まあ言うて

置いとると (ていとうと) さいごなあ (その時)、トオリミチい (へ) なんやかや置いたらいかん言うて、むつかし (難しい) 人ら 怒っといて (ておいて) 行く やんかい (行きます) 道い 置いとると。

**とおりゅう (とうりゅう) (逗留) 【名詞】** 旅先でしばらく宿泊すること 滞在 [会話] 伊勢さんぐや (参宮だ) 言うて、山田 行くの (のは) 一日 トオリユウ せな (しなければ) 日帰り言うて えらいわな (大変です) 歩いて 行くねもんで (行くのだから)。

**とおりよ。とおりよお (とうりゃう) (棟梁) 【名詞】**

- 1) ある集団の中心となる人 指導的立場にある人
- 2) 大工の頭

**どおりよ (どうりよ) 【名詞】** 同僚 仲間

**とおる (通) 【動詞】** 下痢する

**どおるい (どうるい) (同類) 【名詞】** 同じ仲間

**どおれ (どうれ) 【感嘆詞】** 1) どうれ どれの転 “だれ” とも発音する 何か物事を始める時に言う語  
2) どうれ 年始に来た客が案内を請う時の、ものものうに對し主人が返す言葉 (志、津、多、度、鳥、尾、北、南、熊)

**とおろ (とうろ) 【名詞】** 灯籠 (員、鈴郡、鈴市、三、一、張、名、伊、南) [会話] 貧者の一灯、トオロ。灯籠言わんと (言わずに) トオロな (だ) 言うな そして 盆のあの 軒灯籠も ノキドオロ トオロ言う しなあ (言います)。

**とおろ (通) 通ります 通りましょう [会話] おら**  
(俺は) 此処 トオロ言うて、行く時も有るしなあ (有ります)。独り言 いいもて (言いながら) 通らしてくれえ (下さい) 言う時も 有るしなあ。畑や (とか) どこやかやいいて (何処かへ行って) 道な (が) 違うとこん (所に) ほっそおい (細い) 道な (が) 有る時な (が) 有るやんかい (有ります)、そすと おら (俺は) 此処 トオロ言うて 行くわい (行きます)。

**とおろく (とうろく) それだけであること [会話]** 芋のトオロク 芋飯の トオロクやった (だった) 言うし、芋のトオロクや (だ) とか、麦のトオロク食うたてやら (とか) 言うて、麦ばっか (ばかり) 言うのを麦のトオロク。芋ばっかののおを (ばかりののを) 芋のトオロク食うたね (食べたのだ) 言うね (言います)。言うて あだ言葉やわい (隠語です)。麦のトオロク食うて言うて 麦ばっかやもんで (ばかりなので)、米も いっくらせんもんで (入っていないので) そげん (そんなに) 言うね。籠屋な (が) 男の子

らな (達が) よけ (沢山) 有って、そして 芋をどっさりいつ (づつ) 入れて 炊きおったやんかい (炊きました・炊いて居たで有りませんか)。○○、飯 炊いとけよお (炊いておけ) 言うときいご (その時)、おお (はい) 今日も ころひちべえさんか (芋七、米三) 言うて ころひち言うな (のは) 芋な (が) 七分で べえさん言うな (のは) 米な (が) 三分。

**とおろく (とうろく) (藤六) 【名詞】** 馬鹿 十必要なのが六よりないので (志 (神明、立神、志島、甲賀、国府)、上、阿、鳥、尾)

**どおんでも (どうんでも) 【副詞】** どうにでも 状態を限定せず いろいろなさまを認めたり許したりする気持ちを表す [会話] ドオンデモなられ (なるだろう)、たいがいんしとけ (大体にしておけ) 言うて 仕事な (が) しのくいと (難しいと)。

**とか 所は (尾) [会話]** ここんトカ (最近は) だれん (誰) も 来やへんなあ (来ない)、ここんとこ (最近) けえも (少しも) まあって来やせんやんかあ (廻って来ないでないか) 言う時な (が) 有るやんかいな あ (有ります)。暫く こんと (来ないと) ここんトカ (近頃は) お前 けえもこっちゃ (少しもこちら) むいて 来やせんあ (来ない) 言うて、ここんとこ言わんと (言わずに) ここんトカ言う時もあんなあ (有ります) ここんトカ 来やせんなあ言うてな。

**とが (咎) 【名詞】** 欠点 短所

**どか 【接頭語】 【副詞】** 接頭 程度や分量の甚だしいさま 非常に たいそう [会話] ドカ食いして言うやんかい (言います)。飯 よけ (沢山) 食うと どっかり (どっさり) 食うて 腹な (が) 一杯やよお (だ) 言うし。“かるやのうろん (角屋のうどん) 六杯食べて 腹 ろっかり (どっかり) した” 言うの。ドカ食い言うな (言うのは) いっぺんに (一度に) よけなあ (沢山です)。きんぞ食い言うて 金蔵言う人な (が) 食うて 食うて ひとくらん (一度に) 十杯位つ (づつ) 食いおったもんで (食べて居たので) よけ食うと きんぞ食いや言よおった (と言っていました)。

…とかい ですか 疑問を表す ほんトカイ (本当ですか)

**どかい 【名詞】** 舟の横に張り渡す板 ろかい (櫓櫓) の転、訛りか [会話] ドカイ言うなあ 舟のこべりい (横上の部に) 一尺ぐらいなあ 庇みたよんして (のよおうにして) 出してなあ 波な (が) 寄せてこ

んよん（入って来ないように）。そして ど（櫓）漕ぐのん（に）その あい（間）え ど（櫓）してなあ ドカイブタ言うて 蓋して、そして つね（いつも）は それい（に）なんやかや（色々）皆 おいて。そやよって（それだから）波な（が）しても（高くなっても）しょおしょで（少しでは）まあ 舟い（へ）入って 来やせんの（来ないのです）。そしといて カバ（cave）張っても ドカイのふち（端）にみな張ってなあ テント張んの（張るのです）。ドカイのふちい（端へ）テント張ってなあ 屋根こさえんのん（作るのに）舟の巾だけや言うて 一枚敷（一畳分）より無いね（有りません・無いのです）そすと ドカイ付けると ひろおなんの（広がるのです）。舟の横に出す、言うて 家の庇や（です）横い出しといて（ておいて）囲いもみなして、そすと 波も 入れて来やせんし（来ないし）道具 置いても 落ってかせんし（ていきません）皆 そこい（に）置くね（置くのです）。言うて さしいたを ちよいとたつこおして（少し高くして）さしいた 斜めん（に）なつとんの（なっているのを）ドカイ言うて 平にして。

**どかいぶた**【**名詞**】舟の波よけの板（どかい）の間に櫓を漕ぐ隙間を作り その隙間を履う蓋 [会話] ドカイブタは どかいん（に）どお（櫓）を 漕ぐのんなあ（に）、こんだけばかの（これだけばかりの）とこな（所が）あけて有って、そして どお（櫓）漕がん（漕がない）時や（は）それい（に）蓋しとくの（しておくのです）よさりん（夜に）なって 寝るよん（ように）なると ドカイブタも しとけよお（しておけ）言うて。ふぐ開いて 三枚にして ドカイブタに 干してであると それ ぬすで（盗んで）焼いて食うて。

**どかいれ** 一度に大量に入れること どかどか参照 [会話] 量が多い ドカイれすんなまあ（するな）言うて、よけ（沢山）ひとくらん（一度に）入れると。

**どがかえ**【**名詞**】土砂の崩れを防ぐためのもの [会話] どおづき突きや（だ）言うて たちまい（建て前）の折ん（時に）。今しゃ（は）コンクリで ドガカエするけど 昔や（は）どおづきで突き固めおった（居ました）。

**とかき**【**名詞**】とかげ とかげの訛 好みて、壁間に居る戸陰の義（大言海）（志（志島、布施田、浜島、神明、和具、国府、越賀、船越、甲賀）、鳥（坂手、相差、答志、鳥羽）、桑郡、員、三、四、亀、安、一、久、松、度、伊、北、尾、南、熊）[会話] 疵癬かき

トカキ 山ん（の）中で がしやがしや、言うて とかげの事 トカキ言うて 言うの。

**どかぐい**（**つどかぐひ**）（**食**）【**名詞**】一度に沢山食べる事

**とかしとけ** ほどいて置き

**とかす**（**解**）【**他サ五**】ほどく ほどす（熊）

**どかた**（**土方**）【**名詞**】肉体労働者 特に建設業に係る人（志摩市各地、南）[会話] 昔の くろくわやなあ（黒鯨です）。今しゃ（今は）ドカタ言うけどな（言うが）。黒鯨 頼のまな（なければ）土手な（が）落ってて（落ちて行って）言うて、土手な（が）ぐわれてくと（くずれて行くと）黒鯨 たので（頼んで）積んでももらよおったの（貰って居たのです）。ドカタ馬方。黒鯨言よおったやんかい（言って居たでは有りませんか）ドカタの事を。黒鯨 たので、畑も普請（手入れ）して言うて、畑を作りな、よお（作物がよく）出来るよおん（ように）とこうち（床打ち、底の部分）を掘り出す）してもろた（もらった）、かたぎ（傾き）を 直しててもろたりすのなあ（もらった）りするの（に）ドカタ頼みおった（居ました）。

**どかたしごと**【**名詞**】土木作業（南）

**どかっ**と【**副詞**】急激に 重い物が勢よく落ちるさま 一時に 沢山 甚だしく [会話] ドカッ来たなあ（来ました）言うて、おおぜ（大勢）来る時を、ドカッ言うて。そして なんでも（何でも）ひとくらん（一度に）おって（落ちて）来ると ドカッ落って来た言うて。もおな（藻が）寄って来ても（波打ち際に打ち寄せられて居ても）荒布な（が）寄って来ても ドカッ寄って だんづかん（段塚、山のように）積んだよお言うて、よけ（沢山）積むと。今日は 荒布な（が）だんどりや（だ）とか、だんづかん（に）積んだるよお（積んでいる）里の浜い（に）行くと言うて。浜い（に）よけ（沢山）寄って だんづかん（に）積んで 山みたよん（のように）なって来る時な（が）有って、そして よけ寄つるとよって（沢山寄っているから）明日 拾お（拾おう）思うと 引き流してて（ていつて）なんものおて（何も無くて）。一年（ある年）ほんとん（本当に）弱った事な（が）あんねんなあ（有ったのです）拾たのを積んだや（拾ったのを積んでいた）満ち潮な（が）来て 皆 引っ張つて（て行って）なんものおて（何も無くて）。

**どかどか**【**副詞**】急激に まとまって 大勢が足音を立てて一時に入るさま 物事が一時に立て込むさま

(志(布施田)) [会話] ドカドカと出て来た。こお  
(粉) 挽いとても (挽いていても) 穴い (に) ちょい  
ちょい (少しずつ) 入れると ええんけど (いいが)、  
ひとくらん (一度に) ドカドカ 入れたらと (入れてや  
ると) 皆 まるっぽ (丸のまま、そのまま) で 出  
て くられ (来る) 言うて、こお挽くのん (のに) 量が多  
い どかいれすんなまあ (沢山入れるな) 言うて、よ  
け ひとくらん (沢山一度に) 入れると。ドカドカと  
か どかつと言うのは 量な (が) 多いとか 沢山と  
か言う事やなあ (です) 大勢とか。急激に来る どか  
つと、どかつと 土堤な (が) 落って来たれ (落ちて  
来た) 雨な (を) 含んどて (でいて) どかつと 落  
て来たんなあ (落ちて来たのだなあ) 言うて、塊な  
(が) 落って来ると。どさつと落って (落ちて) 来た。  
…とかな ておかなければ (鈴市) [用例] あのがき  
(あの子供) 怒ットカナ はざん (駄目だ)。

**とがにん (科人) 【名詞】** 咎人 罪を犯した人 罪人  
(名) [会話] トガニン言うな (言うのは) 今し  
(今) の四人やわい (です)。昔や (は) 罪人や  
(だ) 言うて、罪人を 流しもん (者) にして言うて。  
罪人とか トガビトやとか (だとか) 言うて。流しも  
ん (者) にして言うて。八丈島の方は 昔の先祖は  
皆 トガニンやなあ (です) 八丈い (に) 流された言  
うて、来んとおったのおな (帰って来なかったのが)  
先祖やよってなあ (だから)。

**どかのみ (飲) 【名詞】** 一時に沢山飲むこと [会話]  
いっぺんに よけ (沢山) 飲んだんの (でやるのを)、  
一升つも かぶったんのなあ (てやるのです)。それ  
ドカノミしてまあ 悪酔いして ぐれんそん (泥酔  
に) なつとられ (なっている) 言うてな。

**とがびと 【名詞】** 罪人 とがにんに同じ [会話] トガ  
ビト言うな (のは)、盗すびとしたり 人、殺したり  
する人 トガビト 罪人。

**どかべり (減) 【名詞】** 一度に急激に減る事、どかは接  
頭語 [会話] どんと 減ってくの (て行くのを)  
ドカベリやなあ (です) 言う時も有るわい (有ります  
す)。ごしつと 減ってくと (て行くと) こやまあ  
ドカベリしとんない (している) ま 誰か 持ち出し  
てかせんのかい (て行かないのですか)。ごそつと  
減ってくとなあ (て行くと) ドカベリしてて (してい  
って) まあ 誰か 持ち出してたんなあ (て行ったの  
だ) 言う時も有るわい (有ります)。ごいと 減って  
くとなあ (て行くと) ドカベリや (だ) 言うて、ごつ  
そり 減つとられ (ている) 言うなあ。

**とがま (斗釜) 【名詞】** 大きな釜 一斗を一度に炊く鍋、  
釜 [会話] 一斗釜な (が) 有りおったやんかい (有  
ったで有りませんか)。一斗つ (ずつ) 炊くのを ト  
ガマ言うて、斗鍋言うて 鍋 ひらくたいのおを (平  
らなのを) 斗鍋言うし、釜は トガマ言うし。

**とがま (利鎌) 【名詞】** 切れ味の鋭い鎌

**とがめ (咎) 【名詞】** 1) とがめる事 非難 2) 欠点  
過失 損傷

**とがめだて (咎立) 【名詞】** 必要以上に強く相手の欠点  
を言いつのること

**とがめられる** 疑われる 欠点をつかれる

**とがめる 【他マ下一】 【自マ下一】** 1) 傷が化膿する  
痛んだり熱が出たりする 2) 疑う 相手の欠点をつ  
く [会話] 1) 切ったや (たら) 傷な (が) トガメテ、  
膿んで来たとか。よお (よく) 傷な (が) トガメテ  
膿んで来よおった (来ました)。昔や (は) 黴菌な  
(が) 入いん (入いる) のを 傷な (が) トガメル  
傷やみする言よおった (言っていました)。傷やみす  
る 昔や (は) あんで (あれで) 黴菌を 入れよお  
ったんやろなあ (入れて居たのでしょうか) ちょいと (少  
し) 傷すると それから 膿んで来よおった (来まし  
た)。2) 人の わり (悪い) 事 トガメル。疑われる  
事を トガメラレテ言うて。あのひた (人は) 常ん  
(に) てくさいもんで (ので) とがめられんねやれ  
(咎められるのだ) 言うて。てくさい言うな (言うの  
は) 盗みする言う事を てくさい。ちょいちょい (少  
しずつ) こそ泥みたよなのおを (のようなのを) てく  
さいねよって (のだから)。

**どかもおけ (どかもうけ どかまうけ) (儲) 【名詞】** 一  
度に大儲けすること [会話] ドカモオケ。どっさり  
金儲けすんの (するのを) 五円のもん (物) を 十円  
にも 売ったりすると あやまあ (彼は) よけ (沢  
山) 儲けて 折れて曲がって への字ん (に) なるほ  
ろ (程) 儲けた言うてな ドカモオケすると。

**どから** 1) 何処ですか 2) 何処か (志(神明、立神、  
国府)、阿)

**どからい** 何処かへ (阿)

**どがらい 【形容詞】** 大変辛い、塩辛い。どは強調 (熊)  
[会話] 物凄い 辛いのおを (のを)、おおた ドガ  
ライ。こや (これは) 井戸 掘られ言うて。のおど  
(喉) 渴かして ちゃあ (茶) よけ (沢山) 飲まん  
ならんもんで (ので) 井戸 掘ったよお ドンガロオテ  
(辛くて) 言う。しよかるおて (塩辛くて) のおど 渴  
した言うのなあ 井戸掘ったよお言うてな。井戸掘る

は 辛いもん (物) で 喉 渴かして 水 よけ (沢山) 飲むの (のを) 井戸掘ったよお言うね (言うのです)。

**とがらかず (尖) 【他サ五】** とがらす 先を細く鋭い形にする [会話] トガラカス。鉛筆も削って トガラカス、杭 打たな (なければ) はざんけど (いけないが) 先な (が) どんぼんなつとるよつて (鈍くなっているから) ちょんぎらかしとけ (鋭くしておけ) 言うてな、鉋で ちょんぎらかしとかな (鋭くしておかなければ) はいつてかせんわれ (て行かない) 言うてな、鋭くする 言う事。先な (が) どんぼんなつとるとな あ (鈍くなっていると) はいつてかせんもんで (て行かないので) 鉋でなあ つつて、トガラカスといて打つと 中い とんとんと 入ってくねけど (て行くのですが)。

**どからの** 何処かの (志) [用例] ドカラノ人な (が) 来たけど、なつとも言わんといたた (何も言わずに行ってしまった)。

**どがん** どんなに [会話] ドガンしてすると 出来んねど (出来るのですが)、どげん (どんなに) 考えても 出来やせんわれ (出来ません)、ドガンするとええねやか (よいのですか)。

…**とかんと** ておかずに 立てトカント

**どがんなど。どがんなどこがんなど** どんなにでも どうにでも [会話] ドガンナトコガンナト、しゃっされ (しなさい) 言うのを、どげんでもしときや (どんなにでもしておけば) ええわれ (よろしい)。

**どかんばな (土管鼻) 【名詞】** 大きくて広い鼻 [会話] ドカンバナ言うと、こちら (鼻翼) も おっきい (大きい) し、鼻筋もひろい (広い) のを。

**とき (時) 【名詞】** 1) 時代 2) 一定の時間 [会話] 2) おらん (居ない) トキん (に) 来たててな あ (来ても) はざおかれ (駄目だ) おる (居る) トキん (に) 来いよお (来なさい) 言うてな、おらんトキ、おるトキ、言うてな。1) おら (俺達) のトキは、言うて わたしら (私達) の時代、おら (俺) な トキや (は) そいな (そんな) 事 せらったのん (しなかったのに) おらん (俺達) トキや 芋飯や 麦飯ばつか (ばかり) 食うたけど (食べたが)、今しや (今は) 米の飯ばつかで (ばかりで) 言うてな、おらな (俺達) 時期言うのを おらな (俺達の) 時代言うたりな おらな (俺達の) トキ言うたりな。

**とぎ (伽) 【名詞】** 仲間 友達 相手 (志 (御座、浜島、鶴方、神明、国府)、伊、北) [会話] トギ 友達の

事 トギな (が) のおて (無くて) 言うて、連れな (仲間、連れ立つ人が) 無いの。旅行い (に) 行くねけど (行くのだが) トギな (が) のおて 言うて、友達のを トギや (だ) 言うの。わがとな (自分が) 気な (が) おおた (合った) にげな (人間、人が) 無いと、トギな (が) のおて (無くて) まあ言うて。友達とか 話し相手とか そいなのおを (そんなのを) トギや (と) 言うね (言うのです)。ハナシトギ言うねよつて (言うのだから)。よさり (夜) でも 淋しやろ思て (淋しいだろう思て) 相手になって 暫くその人の側ん (に) おんのおを (居るのを) ひとばか (少しくらい) トギする言うて。死んでた (でいった) 時でも お通夜する事を トギする言うし。昔は子供もおけると (出産すると) トギん (に) 行こや (行きましょう) 言うて、もおけたよさ (出産した夜) は トギな (が) 来て言うて。今しや (今は) トギしやせんけど (しませんが) 昔や (は) 皆 トギしよおったの (して居たのです)。もおけた そのよさ (夜) と 明日目 (翌日) 位 親兄弟ら (達) したしもんらな (親しい者達が) おびやど (産婦) の トギしいん (しに) 行こや言うて、行きおったわい (行って居ました)。今し (今) 考えると 静かん (に) 寝さそ (寝さそう) 思うのん (のに)、しとらなはざんのん (していなければいけないのに)、昔や (は) 寝やしたと (寝させてやると) 寝流れてくと (いくと) はざん (いけない) 言うて、宵のうち (間) は あんまりよけ (あまり沢山) 寝やさんとなあ (寝させないで) 言うて、そいな (そんな) トギと お通夜のトギと 両方あんね (有るのです)。めでたい時と悲しい時と どちらにいても 皆 寄って 話しする 皆な (が) 寄って ハナシトギや (です)。

**どき (時)** 名詞及びこれに準ずる語について時刻、時間を表す

**どき 【助詞】** など どけ (志 (片田、御座、波切)、鳥 (鳥羽、坂手)、多、度、伊) [会話] あんた (あなた) やドキと 遊びたないわい (遊びたくない) 言うて、言うね (言うのです)。あんた やドキと おりたないわい (一緒にいたくない) 言うて、すかん (嫌いな) 人な (が) 有ると。あんた やドキと 遊んだらわり (悪い) 事ばつか (ばかり) 習うわい (習います) とか言うて。ものも言いたないわい (言いたくない) あんた やドキ言うて、気の合わん (合わない) 人ん (に) なるとさいご (その時) そげん (そんなに) 言うたりするなあ (します)。

ときおり（ときをり）（時折）【副詞】時々 時として  
時には ときより参照

ときさま【副詞】時々 時として 【会話】 トキサマ  
そ言う事も有るわい（有ります）。

ときしおなし。ときしよおなし。ときしよなし【名詞】  
時間を構わずに 何時でも。刻、汐（時間を表す語）  
無しの意か（志（布施田、国府））【会話】 昼から  
墓 参ってくと（いくと）嫌いおったの（居たので  
す）。今しや（今は）トキシオナシん（に）参ってく  
（行く）。日暮れやろ（だろう）と なんやろと（何  
だろうと）。トキシオナシ。しおどきな（潮刻が）無  
い言うて、海の潮（干満）のこと しおどき（潮刻）  
言うし、時刻やとか（だとか）潮の満ち干きとか そ  
げな（そんな）事 例えて トキシオナイ。

ときしらず【名詞】季節外れの物

とぎすまず【他サ五】 1）待ち構える 待ち構えて居る  
2）感覚を鋭敏にする 耳をトギスマス

とぎする 相手になる（志（布施田））

…ときたい しておきたい 【会話】 人な（が）隠しト  
キタイよおな事でも ほじくって（ほじくり出して）  
言う事、こぜり出す（探り出す）。

ときたま（時偶）【副詞】ときどき 時折 ときおり  
時々 時たま たまに 【会話】 トキタマ 来いもす  
るけど（来るが）、たまに言う事や（です）。時々なら  
ええんけど（いいが）たまに言うよおな意味やわい  
（です）。

どきちがい【名詞】人を罵る言葉 どは強調（志（片  
田））【会話】 気違いよ そこな（そこの）言うて。  
それい（に）輪をかけて ドキチガイな（が）言うて、  
憎しみかけて 言う事やなあ（です）。あの ドキチ  
ガイ 色々の事言うて。気違いを 言うのではなくて  
わり（悪い）言うなあ。気違いん（に）例える事やわい  
（です）。

どぎつい【形容詞】濃厚である事 ひどい 大変 【会  
話】 ドギツイ しょからいやんか（塩辛いです）と  
か、ものすごい言う事を ドギツイ しょからい（塩  
辛い）とか、ドギツイ 辛いとか、ドギツイ事を言う  
なあ（言います）言うて、あんまりひどい事を 言う  
た時ん（に）。

ときつくる 定まった時間になると同じ現象が表れる  
（志（布施田））【会話】 さぶけ（寒気）や、あつけ  
や（発熱が）、今日も 三時頃ん（に）して来ると  
明日も その時期になると してくんの（来るの）、  
そいな（そんな）時 トキツクル。

ときなし（時無）【形容詞】 1）時間を問わないで い  
つでも 2）野菜、果物など一般的な収穫期以外のもの  
3）魚の成魚

ときならん 不意に 不意の時に

ときならんとき 予定外の時間 とんでも無い時

ときはずれ（ときはづれ）【名詞】時期外れ 季節外れ

ときはなし（解放）【名詞】男性が下着をつけていない  
こと 【会話】 トキハナシで 禪しとらへんと（して  
いないと）放し飼いで あや、じょおく（彼はいつ  
も）まあ ちんぷらりんでおんね（居るのだ）。

ときび【名詞】唐黍（志（国府、神明、浜島、鶴方、立  
神、安乗）、鳥（桃取、坂手、国崎、答志、菅島）、上、  
阿、張、北、尾、南）【会話】 トキビ。畑のトキビ  
かげ山のとびき言うて、せえな（身長が）ほっそおて、  
なあがいと（細くて長いと）かげ山のとびきみたいいな  
なあ（だなあ）言うて。ここらは とびき言うんけど  
なあ（言うが）。

ときびだんご【名詞】ときび粉と、餅米を混ぜて作った  
団子

ときまい（斉米）【名詞】お寺への供え物（志（布施  
田）張）【会話】 お寺のトキマイで 持って参つとら  
れ（ている）言うて。今しや（今は）ぜん（銭）で  
皆 もてくね（持っていくのです）お寺のトキマイ言  
うてな 米や 野菜もん（物）も なんもかも（全  
部）皆なあ 小豆な（が）獲れや（れいば）小豆もてき  
よおったの（持って行ったのです）、米だけやなしん  
（でなくて）なんでも あげるもん（供える物）を  
トキマイ言うのなあ（です）。蕎麦な（が）とれると  
蕎麦を 五合つ 取りん（に）来るし、とびきな  
（が）取れると とびきをなあ まあす（枡）持って  
来てなあ それでしてくし（して行くのです）。麦な  
（が）とれや 麦、豆な（が）とれや 豆なあ、四季  
の 作りもん（物）を 皆 あげよおった（供えて居  
ました）そやもんで（それで）お寺の トキマイや  
（で）持ってまいつとられ言うて 参つてくね（て行  
くのです）。

どぎも（度肝）【名詞】肝を強めて言う語 きもったま  
【会話】 ドギモ抜かれた。あらぎも抜かれた びつく  
り（驚いた）した時ん（に）おおた ドギモ抜かれた  
よお（た）おどけて（驚いて）言うて。

どぎもぬかれた 大変驚いた 驚かされた どぎも参  
照

どぎもん【名詞】どぎもの 研物 刃物 刀、包丁など  
刃のついた切れ物

**ときもんし【名詞】** 刃のついた物を切れ味よくするのに  
研ぐ人

**ときや【名詞】** 齊屋 精進する所、精進すること [会  
話] 盛り切りして たて汁して トキヤ祭れよお言  
うて。そんな (それが) しょおろさん (精霊様) の別  
れのごつつおや (御馳走です)。盆のトキヤ、しょん  
がつ (正月) のトキヤ言うてな 十六日かい (です  
か) トキヤ。十六日言うて しょおじおとしや (精進  
落しだ) 言うのや (です)。盆の 十六日 になると は  
よ (早く) トキヤ 供え言うての。盆ののおは (の  
は) 朝はよ (早く) せなはざんし (しなければいけな  
い)、しょんがつんなあ (正月のものは) よさ (夜) ま  
でに まつや ええ (祭ればよい) 言うね (言うので  
す)。トキヤ言うて、しょおじおとし (精進落し) 言  
うて、盆には しょおじんもん (精進物) 生のもん  
(物) 食わせん (食べない) 言うのを しょおじん  
(精進) で、今日は しょおじんがためやどお (精進  
固めだ) 言うて、十二日なあ。ほして (そうして) 十  
六日 トキヤ、精進落して 生のもん (物) 食うても  
ええ (よい) 言う。トキヤ 済ますと 後は 普通の  
生活で ええの (よいのです)。

**ときや** …とけば しておけば (三重県全域) [会話]  
こげん (こんなに) シトキヤええかあ (よろしいか)  
言うとおお そげん (そんなに) シトキヤええわれ  
(よろしい) 言うて しておけば すれば言う事。

**ときやく【名詞】** 嘔吐 吐却

**どきよおする (どきょうする)** 度胸 決断する [会話]  
とったか 見たか あしこ (あそこ) の せえへいて  
(行つて) 見てこお (見てこよう) 言うて、ドキョ  
オスルことや (です)。ドキョオスル 決断する。

**どきよおなある (どきょうなある)** 決断力がある 大胆  
である [会話] 今し (今) の おなご (女) の子ら  
(達) ドキョウナアンネ (有るのです)。子供でも  
男でも ぼんと放つ (といて) (放っておいて) 行くねよ  
つて (のだから)。

**どきよおもん (どきょうもん)【名詞】** 太っ腹の人 決  
断力のある者 (上、阿) [会話] どきよおや (度胸  
だ)、お経や (だ) 言うて、肝玉のふといな (太いの  
は) あや (彼は) ドキョオモンやどお (だ) 言うてな、  
肝玉な (が) 荒い人、ドキョオモンや (です)。大胆  
な事なあ ドキョオモンやどお (だ) 言うてな。

**ときよじせつ (時世時節)【名詞】** その時代時代のめぐ  
りあわせや移り変わり [会話] トキョ ジセツよ言  
うて、その時代の事を言うんやろなあ (言うのでしよ

う)。トキョジセツも 待たんと (待たずに) いたて  
まあ (行つてしまつて) とか 言う時も使うんなあ  
(使います)。その時は盛んになった 立派になった。  
トキョジセツやれ (だ) 言うて、わりなつてても (悪  
くなつていっても) 言う時な (が) 有るやんかい (有  
ります)。その時代時代 その時その時 言う事やな  
あ (です) “トキョジセツを 待たしゃんせ” 言う時  
も有るし、韓信な (が) 股こぐるも (くぐるのも) ト  
キョジセツ言うやんかい (言います)。そやよつて  
(それだから) その時の事を 言うんやろ (言うので  
しょう) トキョジセツ。

**ときより (時折)【副詞】** ときどき 時折 ときおり  
ときたま たまに (張) [会話] トキヨリ来るけどな  
あ言うねよつて (言うのだから)、時々のを、とき  
たまと 一緒の意味やわい (です)。時々とか 折々  
とか ときさま来る事も有るわい (有ります) 言うて。  
ときさま言う事も有るなあ (有ります)。

**とぎらかす** 尖らす [会話] ちよんがつとると (てい  
ると) 一緒に、先が すどお (鋭く) なつて トギ  
ツトル言うたり、ちよぎつとる言うね (言います)。  
先 ちよぎらかしとかな (尖らせておかなければ) ち  
よんぎらかしとけ (尖らせておけ) 言うて、トギラカ  
ス言う時も有るし。

**とぎらす (尖)** 物の先を鋭くする とがる ちょがる  
とんがる 鋭い

**とぎる (尖)** 物の先が細く鋭くなっている (志 (立神、  
国府、安乗)、員、鈴郡、鈴市、安、一、松、伊)

**とぎれとぎれ** 切れ切れ

**とぎれる (途切)【自ラ下一】** 途中で切れ目が出来て間  
があく [会話] 切れる事 葬式な (が) トギレタど  
お (ぞ) 言うてな。切れる事をな。つなんどんのなな  
あ (つないでいるのが) とぎれとぎれん (に) になると  
切れる、切れる事をなあ トギレル言うてなあ。トギ  
レル言うのは 話がトギレタとか、葬式しとでも (し  
ていても) 列な (が) トギレタなあ言うて。又、後  
死人な (が) 有んねなあ (有るのだなあ) 言うて、葬  
式な (が) 切れる タギレルと 又 続いて 葬式な  
(が) あんのかして (有るらしく) 切れたなあ言うの  
を トギレタナア言うて。途中で 葬式の じゅんじ  
ゅん続いとんの (続いているのを) 車か なんか来て  
切れてた時ん (に) どいらい (大変) へだつてく (距  
離があく) 時な (が) 有るんなあ (有ります)。そや  
よつてん (それだから) 気付いて 歩いとる (歩いて  
いる) 時も 有るけど、トギレル時も有るわい (有り

ます)。

**ときん** 時に(志。阿)

**とく(得)【名詞】**利益 [会話] 自分な(が)なんや  
らもろたりして(貰ったりして)トクする事をこまし  
た。

**とく(解)【他カ五】**1) 解く 結び合わされた紐など  
を緩めてはなす ほどく 2) 梳く すく、もつれて  
いた毛髪に櫛を入れて整える とかす(南) [会話]  
1) 紐をトク、問答をトク、説教をして 聞かす事を  
といて 砕いて言うて。解いて 砕いて 聞かしても  
(聞かせても) わけ(理由)が 判らんで(判らなくて)  
言うて、よお言うやんかい(よく言います)。聞  
き入れな(が) のおて(無くて)言うて。2) 髪の毛  
梳くのも 髪トク 髪も トカント(とかずに)言う  
て。帯 トクのも 帯とけひろげ言うね(言うので  
す)。

**とく(溶)【他カ五】**溶かす [会話] 水でトク、紅ト  
クとか、墨トクとか、薄める事を。おつけも(味噌  
汁) しょからおて(塩辛くて) 水で薄めてのまな(飲  
まなければ) しょからいわれ(塩辛いです)言うて、  
うすめる言うの(のです) うすめるとか とかす言う  
てな。

…とく【連語】しておく 接続助詞“で”に動詞おくの  
付いた“ておく”の転。とく あらかじめその動作を  
済ませて置くと言う意を表す。そのままの状態にして  
置くと言う意味を表す。(志、員、四、鈴市、津、松、  
阿、度、伊、鳥、北、南、熊) [会話] これしトク。  
私な(が) しトクわい(しておきます)言うて、わが  
と(自分)する時は しトクわい言うて、人にしても  
らう時は しといてええ(しておいて下さい)とか、  
しとけ(しておけ)とか しといてくれえ言うて。し  
といてくれえ言うな(言うのは)丁寧な言葉で、しと  
け言うのは 目下の人に 言う言葉や(です)。こや  
まあ(これは) おんなしトクわ言うて、俺が言うのを  
おんな言うて、こやまあ のな(お前が)しとけよ  
言うて、人に言う時やなあ(は)。

**とぐ(研)【他ガ五】**1) 磨いて光沢を出す 2) 刃物  
をよく切れるようにする 3) 米などを水中ですって  
糠や汚れを落とす [会話] 3) 今し(今)の 若いも  
ん(者) 米あろとけ(洗っておけ)言うたら せんだ  
つこ(洗濯粉)を入れてした言うて、昔は かせと  
か トグとか言うたね(言ったのです)。

**どく(毒)【名詞】**1) 梅毒(志(志島)) 2) 嫌や味  
皮肉 毒舌 あんな(彼の)話 トクな有る。[会話]

1) 仙台ドクやてやら(だとか)。螺(にし、二四)も  
六、笹(三三)も六、葎(一五)も六や。ドク言うの  
は 梅毒の事 仙台ドク言うたや(言ったら)、こ  
らの人は 仙台 行くもんで(ので)皆 ドク 移っ  
て来て、かから(妻達)も ドク 移して 子らら  
(子供達)も かぼな(膿痂疹が)出来ると、仙台大  
ぼや(だ)言うて。仙台へ いて(行つて)仙台のお  
なごな(女が)皆 人のかか(人妻)でも 来んねて  
わい(来るのだそうです)、稼ご(稼ごう)言うて、  
とおさん(主人)も 大目に見とんねでえ(見ている  
のです)。じょおしな(漁師が) 入れて来ると(入港  
すると)。そしてなあ(そして)すると ドク 移っ  
て来たりするもんで(ので)仙台大ぼや(だ)言うて。  
幾らでも 遊んでくれえ(下さい)言うて その か  
からな(妻達が)二円とか 三円で 遊んでくれえ  
言うて 来ると、そや たっかい(それは高い)言う  
と かおい(蚊追い)も つけます 言うもんで(の  
で)、なんやか思て(何かと思つて)。かおい言うのな  
(のは) 足い(に) 笹の葉を しばんねてわい(括り  
つけるそうです)。そすと(そうすると) あおぬいて  
(仰向いて)寝ておつて(いて) そんで(それで)蚊  
追うので 蚊追い。

**どく【名詞】**六(度、伊、南、名)

**とくい(得意)【名詞】**取引先 日常よく買って呉れる  
客

**とくいがお(とくいがほ)【得意顔】【名詞】**自慢そうな  
顔 偉らそうな顔

**どくけ(毒気)【名詞】**毒となる物 毒の成分

**どくけし(毒消)【名詞】**解毒剤(多) [会話] ちゃあ  
は ドクケンや(だ)。

**とくしん(得心)【名詞】**納得 心から納得する事 [会  
話] トクシンせんで(せずに)まあ言うて。トクシ  
ンズクでした言うて。そげん(そんなに)言うたてて  
(言つても) じょおほおな(両方が)トクシンズクで  
した事やんかい(でしょう)言うて、両方が承知した  
事 承知して した事やんかい。それを 今さら そ  
いな(そんな)事言うたてて(言つても)言うよおな  
時ん(に)言うなあ(言います)。

**とくじん(得人)【名詞】**富裕な人 金持ち 財産家  
恵まれた環境にある人(志(布施田)) [会話] しや  
わせな(幸せな)人をなあ、トクジンやなあ(だ)言  
うてなあ。こおなよけ(子供が沢山)有つても 一つ  
も 不幸事も見やんと(見なくて)、お前ほんとん  
(本当に)トクジンや(だ)。

とくしんづく(得心尽)【名詞】互いに承知の上でする  
事 納得ずく とくしん参照

とくしんないく 納得する 了解する

どくず(屑)【名詞】1) 屑 全くの屑(志(布施田))  
2) 手のつけようのない物 者[会話] 2) ドクズ、  
どく(録) なもんやあるかれ(者で無い) 言うて、あ  
んごしのおを(馬鹿なのを)。ドクズ言うな(言うの  
です) ほんと(本当)の あんごしのおやんかい(阿  
呆なのです)、1) 真珠でも 屑や(だ) 言うて ドク  
ズや(だ) 言うて 屑と ええ(よい)のと有つてな  
あ。

とくする(得)【自サ変】利益を得る 儲ける 得をす  
る[会話] トクスル。よけ(沢山)金儲けて トク  
スル人も有るし、そして なんやかや(いろいろ)よ  
けもろて(沢山貰って)トクスル言うのも有るし、や  
んない(でしよう)。利益ん(に)なる事なあ(で  
す) 人ん(に)貰うのん(に)もらいどくや(だ)、  
もらいどくや(とか)食いどくや(だ) 言うて。

とくだい(特大)【名詞】【形容詞】特別に大きい事 ま  
たその物

どくたけ(毒茸)【名詞】1) 食用以外の茸の総稱(一、  
南) 2) 何処にでも出しゃ張る人

どくたま(碌)【副詞】下に打ち消しの言葉を伴って物  
事を満足に成し遂げないさまを表す語 まともに 充  
分に 完全に ろくたまの訛[会話] 勝手(炊事)  
しても、ドクタマ てえも拭かんと(手も拭かずに)、  
まいかけ(前掛け)で きゅつきゅつとしといて(し  
ておいて) しょおったもんで(して居たので)、西の  
風な(が) それい(に)当たると ばんばんと 割れ  
て、いとおて(痛くて)。ドクタマに言うて ろくた  
ま 飯も喰て(喰って) おられやせんねない(居れな  
いのだ) 静かに じっとしておられん(おれない) 言  
うて、ドクタマに 夜の目も 寝やんで(寝なくて)  
ばたばたばた 朝から よさ(夜)迄働いて、よさり  
やてて(夜でも)ドクタマ 寝やんと(寝ずに) 言う  
て。手もドクタマ拭かんと(ずに) 言うて、綺麗に  
丁寧に拭いておられやせん(おれない) 言う事や(で  
す) 忙しもんで(忙しいので)。

どくでなし【名詞】碌で無し 役に立たない者 ろ、  
と、どの訛[会話] ぜん(銭)も 稼がせんし(な  
いし)、働きもしやせんし、どく(碌)なもんやねえ  
われ(で無い)ドクデナシやれ(だ) 言うてな。

とくと(篤)【副詞】よくよく念を入れて

どくどくし(毒毒)【形容詞】毒毒しい 色形などが程

度を越えている ひどい どくらし参照

どくな(陸)(碌)【形容詞】普通、下に打ち消しの語を  
伴う。物事の性格、様子が正しい事 まともで有るこ  
と 十分であること またそのさま ろとどの訛  
(尾)[会話] あやなあ(彼は)極道でなあ ぜん  
(銭)も 稼がせんし(ないし) 働きもしやせんし  
(しないし)ドクナもんやねえわれ(者で無い) 言う  
てな。なんも(全く)はざんもん(駄目な者)をなあ、  
ドクナモンやない、どくでなしやれ 言うてなあ。

どくなこと【名詞】しっかりしたこと 完全なこと ろ  
とどの訛[会話] どおせ ドクナコトやろかれ(で  
ない)。

どくなもん【名詞】完全なものの(者、物) 十分な物  
ろとどの訛[会話] なんなど(何でも) 食てけ(食  
べて行け)、ドクナモナ(物は) ねえ(無い) けど。

どくなついとる 万事好都合に運ぶ。幸運に恵まれる。  
(志(布施田))

どくに 碌に 完全に ろとどの訛[会話] ドクニ食  
わさんと(食べさせないで)、かっちゃかしたたね  
(飢えさしてしまったのだ) 言うたりな。 ドクニ  
ぜん(銭)も よお稼がんとおつて(稼がなくて居  
て) ぜん(銭)使いな(が) あろおて(荒くて) 言う  
てな。十分に 食べさせられやへん(させられない)  
言う事。ぜん よお稼がんもんで(稼げないので) 子  
ららん(に)も どくなもん(物) よお食わさんと  
言うて、ほん(本当に) あや(彼は) どくなもんやね  
えわ(碌な者で無い) 言うて。親もなんも(少しも)  
大事ん(に) よおせんし(出来ないし) こお(子)も  
よおかわんねない(養えないのだ) 言うてな。

どくぶつ(毒物)【名詞】1) 体に害を与える物 2)  
梅毒持ち[会話] 1) なんか(何か)食うと そや  
(それは)ドクブツやんかあ(だ) 言うて、毒なもん  
(物)、そや(それは)ドクブツや(だ) 言うて。毒  
な物言わんと(言わずに)ドクブツやにい(です)そ  
れ食うたら言うて 言う時な(が) あんなあ(有りま  
す)。つぶつぶ(びしやご、山椒)食うた 目白言う  
て、つぶつぶのもも(実)食うと ふくろでくねて  
わい(膨らんで来るそうです)。つぶつぶ食うた 目  
白みたよな(ようだ) 言うて、にげ(人間、人)でも  
首すつこめてしとると(していると)つぶつぶ食うた  
目白みたよんしとんない(のようにしている) 言うて。  
2) パイドクモチ 仙台から 毒 持て(持って)来た  
のおは(のは)ドクブツ。仙いかぼや(だ)はいかぼ  
や(だ) 言うて あや(彼は)仙いかぼもろて(貰っ

て)はいかばや(だ)言うて よお言よおったわい  
(よく言っていました)。

**どぐらかしたろん** 撲ってやるぞ どぐらかす参照

**どぐらかしたんどお** 撲ってやるぞ どぐらかす参照

**どぐらかす** 殴る どぐらす参照 [会話] 殴ったる  
(てやる)言うのなあ(です)。ドグラカシタンドオ  
(てやるぞ)言うて。言う事聞かんとなあ だれまあ  
(どれ) そげん (そんなに) 言う事聞かせんのなら  
(ないのなら) ドグラカシタロン (てやる) 殴ったる  
ん 言うてな。どしたろん言うたりなあ。どしたろん  
だれ言うて 言う時な (が) あんね (有るのです)。  
ごおなわいとと (腹が立っていると) だれまあ 其  
処らん (に) おって (居て) 見よ どしたろん言うて  
な。 どしたろん (てやる) 言うたりなあ、どぐらし  
たろん (てやる) 言うたりなあ。“ど” な (が) 付か  
な (なければ) 言われやせん (ません) どしたろんて  
やら (とか) ドグラカシタロンてやら なあ。

**どぐらされた** 撲られた 叩かれた [会話] おら (俺  
は) 親父に ドグラサレタ言うて、殴られる事 ドグ  
ラサレタ。

**どぐらされる** 叩かれる 撲られる

**どぐらし**【形容詞】毒々しい 程度や量が甚だしい ひ  
どい (志 (布施田)) [会話] しつこい事を ドクラ  
シなあ言うて。油濃いもん (物) は あんまり (あま  
り) ドクラシとか、さとな (砂糖が) よお効いとても  
(よく効いていても) あんまり さとな 効いて ド  
クラシなあとか きつつい (きつい) 事を。あんまり  
味のきつつい時に ドグラシなあ言うて。着るもん  
(物)の時でも あんまり 濃い色や (とか) 派手な  
色 あや (あれば) ドクラシなあ あんまり、あっさ  
りしとんな (しているのは) ええなあ (好ましい) 言  
うて、そいな (そんな) 時にも ドクラシ使うなあ  
(使います)。味でも 色でも 柄 (模様) でも な  
んでも ドクラシ ドクラシなあ言うて。

**どぐらしたろん** 叩いてやる とばされる参照 [会話]  
ドグラシタロン (てやろう) 言うんかや (言うのです  
か)。どづくのおを (殴るのを) ドグラシタロン だ  
れ (どれ) 言うて、子らら (子供達) でも わり (悪  
い) 事すると だれえ (どれ) そこら こころん  
(に) おって見よ (居てみる) おんな (俺が) ドグラ  
シタロン 言うて、撲ったろん (てやろう) 言うて、  
それい (に) 輪 掛けといて (掛けておいて) ごおわ  
かして (腹立てて)、だれ ドグラシタロン そこら  
こころん (に) おって見よ 言うて、撲ったろん (撲

ってやる) 言やええ (言えばいい) 事に、ドグラシタ  
ロン言うて 別んも (特別に) 憎々しよおな (憎々し  
いような) 時ん (に) ドグラシタロン。

**どぐらしたんどお** 撲ってやるぞ

**どぐらす**【動詞】打つ 殴る 叩くの強調

**どぐろい**【形容詞】どす黒い [会話] ずぐろい言うの  
も有るし、ドグロイ言うのも有るし。ドグロイ言うの  
(のを) ずぐろい言うて、くうろいとさいご (黒いと  
その時) おおた (ああ) あのひた (人は) ずぐろいな  
あ言うて。色が ほんとに (本当に) 真っ黒なのおを  
(のを) ずぐろい ドドグロイとか。

**どぐろまく** 酒に酔いくだをまいて、大言壮言する。泥  
酔してくだをまいて居座って居る。

**とぐわ** (唐鉞)【名詞】とうぐわ 刃が厚く幅の狭い打  
ち鉞 頭は全部鉄製で開鑿、根切りなどに用いる  
(志 (鶴方、神明、志島、甲賀、国府)、鳥 (加茂)、  
飯、松、上、阿) [会話] 土方 黒鉞な (が) 持つ  
トグワ。トグワと なんばと まぐわとあんねよって  
(有るのだから)。トグワ言うな (言うのは) 先な  
(が) 鶴首みたよん (ように) ちょんぎつとんのおな  
し (尖っているのですし)、なんば言うと 平くとお  
なつとる (平らになっている)。鶴首 つるはしや  
だ 言うて 使うなあ (使います)。そすと (そう  
すると) 先な (が) ちょいと (少し) 平くとおて (平  
らに) なつとんな (なっているのは) なんば。普通の  
鉞と比べると はあな (が) ほっそいやんかい (細い  
でしょう)。あつつい (厚い) けど。トグワ言うな  
(言うのは) 先だけ ちょんぎつとて (尖っていて)  
石のかつたいのおを (堅いのを) こつく時ん (に) 石  
うちゃんのん (壊すのに) トグワ。なんば言うと か  
つたいとこ (堅い所) 土な (が) かたまつとると (て  
いると) なんばで起こす (耕す、掘り起こす)。まぐ  
わ言うな (言うのは) 四つ手言うて 四つしとんの  
(しているのを) まぐわ あや (あれば) 畑や たあ  
(田) 起こすのんなあ (のに)。つるはしは じょお  
ほおな (両方が) ちょんぎつとて (尖っていて) 石を  
こつくのおに (突つつかのに) かつたいとか (堅い所  
は) 岩盤な (が) 出て来ると あんで (あれで) こつ  
かなはざんもんで (なければいけないので)。

…**とけ** 1) 禁止 しないで置け (鈴郡、津、張、北)  
2) しておけ 命令

**どけ**【名詞】荒布から出る濃褐色の汁、あく (志 (片田、  
布施田、志島、甲賀)) [会話] 荒布の ごんぼ (牛  
蒡、茎) を 切るとなあ なめなめな (粘液が) 出て

来ると あれを ドケや (と) 言うて。はんぎりい (特大の磯桶に) しといても (入れていても) 真っ黒ん (に) ドケな (が) 出て来んの (来るのを)、灰汁やなあ (です) あれは。なめなめと なめったのおな (のが) もおちみたよん (とりもちのように) なって水飴みたよおなのな (のようなのが) 出て来んの (来るのです)、ごんぼ (莖) 切ったると (切ってやると)。荒布抱くと 磯じよつき (チョッキ、上衣) も 磯なかね (腰巻) も 乾くと 茶色ん (に) なって ええ (よい) のは 着やれやせんの (着れないのです) 荒布かずき (採り) は。荒布抱くと ドケで 染まってくの (行くのです)。

…どけ など …どきと同じ (志 (浜島)) [会話] お前らやドケ 負けよかい (負けません)、あいらや (彼等に) ドケん (に) 負きよかれ (負けません) 言うて。そげな (そんな) 時ん (に) ドケや言うて。お前やドケな (が) おわえて来たてて (追いかけて来て) も おら (私は) 逃げるわい (逃げます) 言うて。あんたら (貴方達) みたいな人 あんたらみたいなもん (者) に 負きよかい、てらなあ (負けませんか) そいな (そんな) 時ん (に) お前ドケ言うて。

**どげ** どんなに (志、度)

**とけあう (とけあふ) (解合) 【自五】** 1) 互に理解しようとける 2) 二つ以上の物が完全に混ざる

**とけえ 【名詞】** 時計 (鈴市、多) [会話] 時計な (が) 今日 止まっとて (ていて) いごかせんわれ (動かない)、何時やら 判らせんわれ (ない) 言うたりな。時計 見てばつかおられ (ばかり居る) 言うたりな。時計言わんと (言わずに) トケエ言う人もあんなあ (有ります)、トケエ見てみよまあ (みなさい) 三時やれ (だ) 言うたりなあ。

**どげしゃ 【名詞】** 食当りの時などに飲ます濃いお茶 どけちや参照

**どけち 【名詞】** 大変なけちん坊 しまりや [会話] よくしんぼ (欲深い人) の事なあ (です)。ドケチ。吝やどお (だ) 言うて、吝もまだ ドケチやれ (だ) あや (彼は) いうて どぎついのをなあ “ど” な (が) 付いて しんにゅう (い) な (が) 付いとる方や (です) よくしんぼや (欲深い人だ) 言うて。

**どけちや 【名詞】** 食中毒の時などに飲ます濃いお茶 毒消し茶 [会話] ドケチャ言う人も有るし、ドケチャ、ドゲシャ言う人も有るし、いろいろやわい (です) そやけど (しかし) ドケチャ言うなあ (言います)。ちゃあの (茶の) どろごおいのおを (非常に濃

いのを) 毒消しやよってなれ (だから) こや (これは) ドケチャやど (だ) 言うて、飲ます人も有るし。毒消し茶やよって (だから) 飲め言うて あたりもん な (中毒が) した時や (は)。

**どげつい 【副詞】** 甚だしい 大変な どぎついとも [会話] 恨み 妬みを持って 青年になって来ると おとしもん無しやよって (怖い物無しだから) ドゲツイ目にあわす。

**とけてくよおんしとる** 体が非常に疲れている状態を表す語 脱力感が強く筋肉の緊張感が無い [会話] ぐわいな (調子が) わりいて (悪くて)、ぐにやぐにやと かいだりそおんして (だるそうにして) トケテクヨオン (ように) シトル言うて。かいだりて (だるくて) トケテクヨオ (て行く) 言うてな、あんまり (あまり) かいだりときや (だるい時は) 言うんてや (言うのです)。

**どげでも** 1) どうしても 是否 必ず 2) どうにでも

**とげとげし 【形容詞】** 意地悪で角立って居る

**どげな 【形容詞】** どんな どのような (志 (磯部)、鳥、度) [会話] ドゲナ事しとんねえど (しているのですか)、ドゲナもんどい (物ですか) だい (どれ) 言うて、判らん (判らない) 時ん (に) ドゲナんど (のだ) 言うて。どんなもん (物) とか言うの (のを)、ドゲナもんどい 見せてくれ (下さい) 言うて。どいなんどい (どんなのですか) とか、ドゲナんどいたら、どいなんどい だい (どれ) 見せえまあえ (見せなさい) 言うて、判らせん (判らない) 時ん (に) 見んの (見るのを) だい どげんすんねどいてやら (するのですかとか) 言うて。どげんも一緒やけど (だが) そのにげん (人間、人に) よって 皆 言い方な (が) 違ふよって (から) ドゲナンドイ言うたり どいなもんどい言うたり。

**どげなえ** どの様な どのなのですか [会話] 何処そこの人ななれ (が) 言うて、ドゲナエ言うと、こちよつこりした (小さな) 人な (が) 有るやんない (でしよう) 言うて。

**どげなもん** どの様な物、者 どげな参照

**どげなんど** どのなのですか どうしましたか どげな参照

**どげに** どんなに どのように (志、鳥、一、度) [会話] ドゲニしたてて (しても) こんななあ、できよかれ (これが出来ない) 言うて。どげんも出来やせんわれ (ません) とかなあ、どげんも (どんなにも) こ

げんも (こんなに) まあ こや (これは) して見る  
けど (が) 出来やせんわれ ドゲン してするとええ  
んど (よいのですか) ともなあ。

**どげや** どんのだ どうだこうだ [会話] 人な  
(が) ドゲヤ言うのと、そや (それは) 違うわい (ま  
す) こお やわい (こうだ) 言うのを さかばり。

**とけやう** 解け合う わだかまりが無くなる うちとけ  
る

**とける (解) 【自力下一】** 1) 心のわだかまりが消える  
2) 疲れる [会話] 2) あらばたらき (肉体労働) す  
るとなあ、おおたまあ かいだりて (疲れて) トケテ  
クよおなんよお (て行くようだ) 言うて。1) 気持な  
(が) トケル 言う時も有るし、まあ 心な (が) ト  
ケタンかして (たのか) まあ がいな (大変) なごや  
かん (に) なって来たれ (来た) 言うてな。まいかけ  
(前掛け) の ひぼな (紐が) トケル ええ (よい)  
事な (が) あんねなあ (有るのだ) 言うて、よさり  
(夜) 寝る事言うんやろ (言うのでしょうか)。歩いと  
て (ていて) まいかけの ひぼな とけとんない (ほ  
どけている)、ま、よさや (夜は) ええ (よい) 事な  
(が) あんねなあ 言うて よお言うわい (よく言ひ  
ます)。

**どげん** どんなに どれ程 何と どげに参照 (志 (布  
施田)、鳥、一)

**どげんこげん** どんなに こんなに いろいろの方法を  
講ずる事

**どげんしたんど** 1) どうしましたか どんなにしまし  
たか 2) 出来事に驚いた時 [会話] 2) おどけたよ  
おん (驚いたように) 言うのを。ドゲンシタンド言う  
のを、なしたんど (どうしたんだ) こや (これは) 誰  
もおらせんやんかあ (居ないではないか)。

**どげんして** どんなに [会話] ドゲンシテも出来  
やへん (ない)。なとしても出来よかい (なんとして  
も出来ない) 言うの、どおしても出来やへん 言う事  
をなあ ドゲンシテも出来やへん。

**どげんしてえ** 1) 何故 2) どんなに [会話]  
1) どして (どうして) 言うのを、なしてえ (何故) 言  
うたり ドゲンシテ言うたり。

**どげんしても** 1) なんとしても 2) 是非 (鳥 (答  
志)) [会話] 1) ドゲンシテモ出来やせんね (出来な  
いのです) こんな (これが)。なつとしても出来やへ  
ん (何としても出来ない) 言う事を、ドゲンシテモこ  
んな出来やせんね 言うて。

**どげんする** どんなにする どおする (三重県全域)

[会話] ドゲンスルとええんどい (よいのですか) 言  
うてな、どおしたらええんやな (よろしいか) 言うの  
を、ドゲンスルとええんやな 言うのなあ (です)。  
どんなにする どおしたらええか (よいか) 判らん  
言う事やなあ (です)。おまや (お前は) どおする  
こおする 苦労する、お前さんと 寝てする 朝寝す  
る言うてなあ。

**どげんすんねど** どの様にするのですか

**どげんでも** 1) どの様にでも よい様に どうなりと  
2) どうしても、是非 (志)

**どげんも** どうにも [会話] こんななあ (此れで) ド  
ゲンモ出来やせんわれ (出来ません) どげん (どんな  
に) するとええんど (よいのですか)。

**どげんもこげんも** どうにもこうにも 全く [会話]  
ドゲンモコゲンモならへんよお (ならない) 言うね  
(言うのです)。幾らしてもならへん (出来ない) 言  
う事を、ドゲンモコゲンモならへんねよお 言うて。  
どおも こおも言う事を ドゲンモコゲンモ言うのな  
あ (のです)。なつとしても (何としても) ならへん  
(ならない) 言う事を、どおしても ならへん 言う事  
を どげんしても こげんしても、無い 苦労しても  
ならせん (出来ない) 言うて。

**とこ** ておこう [会話] シトコ言うて最後に“トコ”  
つける これも シトコ 忙しなつてこんうちに (忙  
しくなつて来ない間に) これも ぬくたいうちん (暖  
かい間に) しとかな (しておかなければ) とか言うて。  
習字も 出さんならんのん (出さなければならぬの  
に) 風邪引いて よお (よく) 出さんと (出せない  
と) はざんのん (駄目なのに) 書いトコ言うて、書い  
たり 手芸も早よ (早く) シトコ 出すまでに言うて、  
そいな (そんな) 時使うの。しておこお しておかな  
はざんなあ (おかなければ駄目だ) 言うのを しとか  
なはざんなあ (駄目だ)。シトコ しとく しとく言  
うな (言うのは) しておく言うんなし (言いますし)、  
シトコ言うのも 今からするとこやし (ですし) 今し  
(今) シトコ言うんなし (言うのですし)。してあつ  
たのは しといたし 言うて、しといて有し言うて。  
シトコ言うのは 今し (今) しよお言うのやなあ (で  
す)。今から これ しとかなはざんなあ (いけな  
い) 言うな (言うのは) 今からすんの (するの)。

**とこ【名詞】** 所 ところの略 俗な言い方 (三重県全  
域) [会話] あしこ (あそこ) のトコ、あしこん (あ  
そこの) トコ言うなあ (言います)。

**とこ【床】【名詞】** 畑などの黒土の下で培養土とならな

い地(阿) [会話] 地場(土地)でも トコな(が) かったい(堅い) 言うて、ヂドコでかったい、埋所でやいこい(柔らかい) 言うて、ちい(地)の事を ヂドコ言うんあ(言います)。ヂドコな(が) かつとおて(堅くて) 言うて。ヂドコで かったい(堅い)は 土地の事 こか(ここは) 埋所やよって(だから) 言うて 埋めた後は やいこいし(柔らかい)、ヂドコや(と) 言うて もとから(始めから) 有った 地盤で かったい、ほぜっても(掘っても) ヂドコで かったい(堅い)。家 建てても ヂドコい(に) 建てると かたぎな(傾きが) ないけど、埋所い(に) すると 家な(が) くるてくる(狂って来る)。あし こな かたんだり(あそこが傾いたり) いっこんだり(入り込んだり)して。そやよって(それだから) ヂドコのとこは 家 建てん(建てる)のは どおづき(地固め)も 撞かんで(撞かないで) 簡単やけど(だが) 埋所や(だ) 言うて、鉛筆(杭) 打ったり ヂドコ こさえんの えらいん(作るのに大変です)。芋苗床も 苗場 苗トコ言うて 苗おろす(作る)と こ、苗場や(だ) 言うて。特別丁寧にして するとこ(所) こしらえて トコ こさえないかんわれ(作らなければいけない) 言うて 芋苗トコや(だ) 言うて。苗場言うのは 苗 おろしといて(ておいて) 又 こんだ こっちやい(今度はこっちに) 定植するのおを(のを) おろすとこ(所) 苗場言うのなあ(のです)。それを採って こんだ(今度は) 又 他へ移すのおな(のが) そこで 育てといて(育てておいて) こんだ 定植するとか 移植するとか言うて 皆 それを分けて 植えんえやんかな(植えるのです)。畑の黒土の下も トコ言うの(言うのです)。二番トコ言うて 二番トコな(が) 出て来たてら(とか) 言うて。昔畑普請すると 二番トコ言うて ヂドコの上い(へ) がら(岩の塊) やつといて(載せて) その上い(に) つくりづち言うて 細かい(小さい) 堆肥の有る土を 上い(に) 皆 こばよおったの(配りました)。畑普請すると。おらげ(我家)の畑のしたなあ(のは) 雑把、二番トコな(が) がらばつか(塊ばかり)で がらな(塊が) 出て来るてら(とか) 言よおたんない(言って居たでしょう)。畑の事は そんな(それが) 餌場やよつて(だから) 大事ん(に) しよおたんわい(して居ました)。トコウチしてもらおや(もらいましょう)とか言うて、畑 大事ん(に) しよおたんわい。土方 頼んで トコウチしたり かたぎ(傾き) 直してもらたり(もらったり)して 大事ん

(に) しよおたんの(して居たのです)。畑普請言うな(言うのは) 家普請すん(する)のも 一緒で、土を 皆まくつて(取り除いて) トコウチしたり かたんどる(傾いている)時や(は) 土やつて 地盤直したり そげん(そんなに)して 畑を直して じつばん(立派に) 作りやすいよん すん(易いようにする)のを、畑普請言うね(言うのです)。家 建てんなあ(建てるのは) 家普請なし(です)。昔や(は) 畑な(が) 大事で 食うもん(物) 作らなはざんよつて(作らなければ駄目だから) 皆 畑を わがとらな(自分達が) 山つついたり 野原つついたり こさえて(作って) 餌 こさえん(作る)ので 畑は 大事のもんやつたの(物でした)。

とこ (床) [名詞] 寝具 寝る布団(志(布施田)) [会話] 北向きん(に) トコ とつてくれ(敷いて下さい) 言うて、北向きん(に) トコ とつたんよお(敷きました)。

とこ (床) [名詞] 床の間(志(布施田))

とこ (床) [名詞] 最後(志(布施田)) [会話] トコまで食うとんねない(食べているのだ) とかなあ。食うもん(物) でも 終い迄食うと トコまで食うとんね(食べているのだ) 言うてなあ。最後迄、終い迄 言う事をなあ、あや(彼は) トコまで食うて(食べて) あやれまあ(あれ) 言うてなあ、終い迄食うて なんも(全く) 無いよんしたる(ようにしてやる) 迄 トコまでくたた(食べてしまった) 言うて。トコまで 追わえて来てまあ言うたり あれん(彼に) つかれたや(ら) トコまで 追わえて来て言うてなあ 最後迄 追わえて来て言うの(のを) トコまで ついて来て言うてなあ。

とこ [名詞] 家 あんたトコ(阿)

とこ [名詞] ある分量の限度 千円なトコ買う(阿、張、名)

…とこ …しておこう …とくと同じ 動詞に付く

…どこ 【副助詞】 どころ それトコやない(志(布施田))

とこあげ [名詞] 長い病気が回復する事 [会話] トコアゲ言うと、病氣しとて(していて)、長い事 寝とて(寝ていて) ちよいと(少し) 気持ちな(が) ええよつて(いいから) 起きよか(起きようか) 言うて 起きて。そして トコアゲして 寝床も干して よおよお(ようやく、やっと) トコアゲしたよお(しました) 言うて 病げくの事なあ(です)。病げくで 起き上がったとこ(所) を言うね(言うのです)。

どこい 何処に 何処へ (鈴郡、鈴市、伊、尾) [会話]  
ドコイ いくんどお (行くのですか) 言うてな。どこ  
そこい (へ) 行くねやれ、あそこい (へ) 迄行くねや  
れ (のだ)、そんなきや (それでは) 俺も 一緒ん  
(に) 行こかいのお (行きましょうか) 言うたりな。

どこいきど。どこいきや。どこいきやな 何処へ行くの  
ですか

どこいいくんど。どこいくど 何処に行くのですか  
[会話] 何処へ 行くん (の) ですか言うのをな、ド  
コイ イクンド言うて。おや (俺は) まあ あそこい  
(へ) 迄 行くねやれ (のだ) 言うてすや (すれば)、  
そんなきや (それでは) 俺も 一緒ん (に) 行こかい  
のお (行きましょうか) 言うたりな。

とこいそぎ (床急) 【名詞】一緒に寝るのを急ぐ事 早  
く寝たがる事 特に新婚時に言う [会話] トコイソ  
ギ言うて、はよ (早く) まあ 寝床い (へ) 寝やな  
(寝なければ) 言うて 若いもん (者) 同士ならな  
ま 九時ん (に) なって来た はよ寝やな (早く寝な  
ければ) 言うたや (言ったら)、おた どいらい (大  
変) トコイソギすんねなあ (するのだ) 言うてな、若  
いもん (者) らを よお (よく) ひやかすやんかいな  
あ (ます)。すけべ (助平) の トコイソギ言うてな  
れ 言うてな。はよ寝よとすると (早く寝ようとする  
と)、トコイソギしてまあ言うてなあ、寝るだけなら  
ええんけど (よいのだが) 若いもん (者) 同士や、夫  
婦のもん (者) らなあ 寝よとすると そえんして  
(そんなににして) はた (側) のもんな (者が) ひやか  
す訳や (です) トコイソギする言うて。

どこいら 【代名詞】どのあたり どのへん (鈴郡、鈴市、  
伊)

とこいり (床入) 【名詞】1) 寝床に入る事 特に男女  
が共寝すること 2) 結婚式の夜、夫婦が始めて床を  
一緒にする事

とこうち (床打) 【名詞】畑など耕作する土を除いてそ  
の下の地面を修理する事 [会話] 畑な (の) 作りも  
んな (物が) よお (よく) 出来るよおん (ように) ト  
コウチしてもおたり (もらったり)、かたぎ (傾き)  
直してもおたりすんのん (もらったりするのに) 土方  
頼みおった (居ました)。

どごえ 【名詞】櫓拍子 櫓を漕ぐ時の掛け声 [会話]  
どお (櫓) 漕ぐ時ん (に) どびよおし (櫓拍手) を  
ドゴエ (櫓声) も、せんかれ (しなさい) 言うけどな  
あ (言います)。やんえ言うのをな、なっとも言わん  
と (なんにも言わずに) むしこぎしとるとなあ (して

いると)、ドゴエも せんかれ (しなさい) 言うてな  
あ

…どこか 【副助詞】どころか (鳥) [用例] そいなもんど  
コカ。

どこかなし どころとも言えず なんとなく 漠然とした  
状態を表す語 [会話] ちのみち。あんで (あれで)  
仕事な (が) 出来やへんねなあ (出来ないのでしょ  
う) 気持ちな (が) わりて (悪くて) ドコカナシン、  
言うに言われん (言えない) わりんやろなあ (悪いの  
でしょう)。

とこぎり 【副詞】思いきり 最後まで 精一杯 とこま  
で参照 (鳥 (加茂)、桑郡、員、鈴郡、安、津、松、  
阿、張、名、北、南、熊) [会話] トコギリ食たたね  
ない (食べてしまったのだ) 言うて。終いまで食うた  
り したりすると トコギリ食うたたねない 言うて、  
皆 食べたた (食べてしまった) 言う事を、トコギリ  
食たたてやら (食べたとか)、トコギリしたたてやら  
(してしまったとか)。とこまで言うな (言うのは)  
終いまで 言うやろ (でしょう)、その場合は。終い  
まで 食たた 言う事やわい (です)。とこは 地床  
の床と 一緒の意味 とこまで 起こさな (掘り起こ  
さなければ) うわつらばか (上面、表面ばかり) 打た  
んと (耕さずに) 言うのと 一緒やなあ (です)。

どこぞ 何処ぞ どこか 何処か不特定の場所 はっき  
りしない場所を示す (志、桑市、員、阿、北、熊)  
[会話] ドコゾ いたんかして (行ったのか) おらせ  
んなあ (居ない) 言うて。何処かへ いたんかして  
おらへん (居ない) 言うの、ドコゾい (に) いたんか  
して あの家いいたら (に行ったら) 誰も おらせんね  
よお (居らないのです) 言う事を ドコゾい (に) い  
たんかして 言うて。

どこぞい 何処かへ どこぞ参照

どこぞか 何処か

どこそこ 何処か (志 (布施田))

とごつてく 沈んで行く [会話] かいだりて (だるく  
て) トゴツテク よおなよお (だ) 言うてな。おちい  
つてくよおなよお (落ち込んで行くようだ) 言うたり  
な、おなし (同じ) 事やけど (だが) 疲れて たわい  
な (持ちこたえが) 無い時んなあ (に)。トゴツテク  
言う と 石が トゴツテクとか 体でもなあ よお泳  
がんで (泳げなくて) トゴツテク言うて おぶれて  
(溺れて) トゴツテタレ言うて、よお言うやんかい  
(よく言います)。沈んでく言うのを トゴツテク言  
うて、石でも なんでも 放り込んだると (でやる

と) どぼん言う と ま トゴツテクナア おってくも  
んで (落ちて行くので)。

とごってくよおな。とごってこよおな 1) 沈んでいく  
ような 2) 疲れたり熱が有ったりして脱力感が甚だ  
しい 筋肉に緊張感が無い とごってく参照

とごってた 沈んでしまった 沈んだ [会話] トゴッ  
テタ言う と、おってた (落ちて行った) 事なあ。とご  
ってきそおな (て行きそうだ) 言う と まだ はんぶ  
(半分) 浮いとる とこやなあ (所です)。トゴツテタ  
言う と 下い (へ) 沈んでたんなし (いったのです  
し)。

とごつとる 1) 沈んでいる 溺れている 動かない  
2) 宴席などで最後まで居る 3) 潮流が無い [会  
話] 3) トゴツトルやとか (だとか)、ぬるいとかは  
潮な (海流が) いごかんと (動かずに) 西へも行かん  
と (行かずに)、東にも行かんと したる (してい  
る) 時な (が) あんねてや (有るのです)。

どことど 何処ですか どことお参照 (一、上、阿、張、  
名)

どことい 何処ですか どことお参照

どことお (どことどう、どことどう) 何処ですか (阿、張、  
名) [会話] ドコド、ここど (ここだ) 言うたてて  
(ても)、わからかれ (判らない) 言うて。ドコド言  
うたや (言ったら) あしこやれ (あすこだ) 言うて  
あそこてや (とは) ドコドオ言うてな、そえん (そん  
なに) ねえ (根) から はあ (葉) から ごんぼ (牛  
蒡) 堀りやなあ (だ) 言うて。ドコド言う時は 何処  
ですか、ドコド言わんと (言わずに) ドコドイ言うの  
も 一緒やけどなあ (です) ドコドも ドコドイも  
ドコドオも 何処ですか。婆やん 何処ん (に) おん  
ねど (居るのですか)、ドコドイてや (と云えば) 俺  
家か (ですか) ずうっと あっちや (あちら) の方や  
れ (だ)、あっちやてや (あちらとは) ドコドてや  
(と云えば) こっちややれ (こちらだ) 言うて。

とことこ【副詞】足早に軽く歩くさま [会話] トコト  
コ歩いとる (ている) 言うてな、何処い (へ) 行くね  
やら (のか) 知らんけど (知らないが)、トコトコ  
歩いて いきよおったない (行って居ました) 言うて、  
歩いとる (ている) 時の事をなあ とぼとぼと 何処  
い (へ) 行くねやら (のか) 判らへんけど (ないが)  
歩いとると (ていると) トコトコと あっちや (あち  
ら) 向いて 歩いて 行きよおつたれ 言うてなあ。

どことなし どことも言えず なんとなく 一定の場所  
を特定でぎざ漠然とした状態 どこかなしに同じ[会

話] ドコトナシ よお似とんなあ (よく似ている)  
あの人に言うてな。鼻の方も似とや (似ていれば)、  
めえ (目) の方も似とると (似ていると) ドコトナシ  
んなあ (に)、あの人ら 兄弟かしてなあ (と見え  
て) 言うて。体でもなあ 何処な (が) わりねやら  
(悪るいのか) 判らせん (ない) 加減なわり (様子が  
悪るい) ときな (です)。ドコトナシん (に) わりい  
て (悪るくて) 言うて、何処と言われやへんねなあ  
(言へないのです)。何処な (が) わり (悪るい) 言  
うて はつきり言われやへん (言えない) ドコトナシ  
にわりいて 言うてな。

どことも 何処も、すべて

とことる 布団を敷く

とことん【名詞】物事の終り 終末 どんずまり 最後  
の最後 [会話] トコトン言うな (言うのは) 最後ま  
で 終いまで言うの (のです)。トコトンまでしとい  
てかな (しておいていかなければ) 気な (が) わりの  
ん (悪いのに) 言う人らな (達が) 有るし、トコトン  
食わな (食べなければ) 気な (が) わり。トコトンも  
とこまでも 一緒や (です)。

どこなえ 何処がですか [会話] ドコナエてや (と言  
えば) 此処な (が) 言うて。ここてや (とは) 何処ど  
お (だ) 言うて、此処な (が) 痛い言う と ドコナエ  
言うて見るし、誰か死んだんてわれ (そうだ) 言うた  
り、嫁もろたんでわれ (貰らったそおだ) 言うたや  
(言ったら)、ドコナエ言うて 何処の家で言うのを  
ドコナエ言うてな。

…とここに おきましよう せんトコニ (張)

どこね 何処ですか

とこばなれ (床離)【名詞】寝床から起きること 起床  
[会話] 病 あげくんなあ (に) 今日は 気持な  
(が) ええよお (よろしい) 起きて見よかいなあ (見  
ようか) 言うて。よおやく トコバナレしたよお (し  
ました) 言うて。朝 おきのくいにげなあ (起きにく  
い人間)、朝 起こしても 起きやせんと (起きない  
と) トコバナレな (が) わりいて (悪るく) おぞげな  
よお (腹が立つ) 言うて。床の中で もそもそして  
起きよ 起きよ言うて 起こしても 起きやせんと  
(ないと) トコバナレな (が) わりいて。そや (そ  
れ) 起きよ言う と おお言うて ぴゅっと 起きて来  
るにげや (人間は) 有るしやんない (有るでしょう)、  
そいな (そんなのを) まあ トコバナレな (が) え  
え (よい) 言うのなあ (です)。冬になると、トコバ  
ナレな (が) わり (悪るい)、ぬくたいとこん (温か

い所に) 入って おりとおて (居たくて) もおちよ  
いと (少し)、もおちよいと おもてな (思って)、  
そやけど (しかし) しょんべん (小便) こらえて 何  
が よかろお言うて、朝寝して 人には 楽に思われ  
て 小便こらえて 何がよかろお言うのんなあ (ので  
す)、小便こらえて 寝とんの (寝ているのも)、容  
易なもんや (もので) 無いんてや (のです)。

**とこまで** 徹底的に 最後まで [会話] トコマデやら  
かしとる (食べている) 言うて、なんやかや (いろい  
ろ) くとても (食べていても) 終い迄くとと (食べ  
ていると) あやれまあ トコマデはついとんね (食べ  
ているのだ) 言うてな、仕事も トコマデ 真面目で  
よお (よく) 働いて言うのも有るし、最後迄言う事を  
トコマデ。

**どこもかしこも** どこでもここでも あちらこちら 方  
方 (度) [会話] ドコモカシコモ 雪だらけ言うて  
雪な降るとなあ。ドコモカシコモ 皆 今日 は ごっ  
つおしとられ (御馳走している) 言う時も有るしなあ  
(有ります)。わたしげ (私の家) も あのかたげ  
(あの人の家) も 言う事をなあ ドコモカシコモ言  
うてな。ドコモカシコモ言う時は どこもかも そこ  
ら全体な (が) そくらじゅう 全体に 今日 は ごっ  
つおやれ (御馳走だ) ついたちやよってん (一日だか  
ら) 言うてな。

**どこもかも** あちらこちら 方方 いたる所 (桑市)  
[会話] ドコモカモ 今日 は ごっつおやれ (御馳走  
だ) どこもかしこも言うのも 一緒や (です) 全体言  
う事やなあ (です)。

**とこや (床屋) 【名詞】** 理髪店

…**とこや** でおきましょう 泣かんトコヤ (度)

**とこやあか** 何処だろおか

**とこやか** 何処か

**とこやかや** あちらこちら 方々 [会話] ドコヤカヤ  
雇いん (に) いて (行つて)。

**とこやこ** 方々 あっちこっち 所々 [会話] いこや  
んこお (行きましょう) ドコヤコ いこやんこお (何  
処か行きましょう) 言うのやんかい (言うのです)。  
今日は 休みやよって (だから) いて (行つて) 遊ん  
でこおやんこお ドコヤコいいて 言うて。

…**とこやない** …どころでない そんな事にかかわって  
居れない

**とこやら** 何処か [会話] 螺の尻やなしん (でなく  
て)、ドコヤラ 涎かけみたいなのおな (のが) あつ  
て その下ん (に) あんねてや (有るのです)。

**どこやろ** 何処でしょう 何処だろう

**どこら 【代名詞】** 何処か どこ (多)

**とごり 【名詞】** 1) 沈殿物 液体の底に溜まった滓

(志 (浜島、布施田)、一、張) 2) 宴席に最後まで  
残っていることを言う 3) 潮の流れない事 (志)

4) 一番終り [会話] 1) トゴリ 飯のトゴリや  
(だ) とか、水のトゴリ言うて。一番底い (へ) とご  
ったの (のを)。肥えの トゴリかけたた (かけてや  
った)、一番底へ 溜まるのを トゴリ言うのなあ  
(言うのです)。お茶でも飲むと 茶滓な (が) 下い  
(に) とごるやんない (残るでしょう)。ちゃあ  
(茶) のトゴリも 皆 のおだた (飲んでやった) 言  
うて。下い (に) 沈んどるわい (沈んでいます) 終い  
ん (に) になると。4) 風呂でもなあ 風呂のトゴリ。風  
呂のトゴリ言う時は 一番終いに 何でも 終いん  
(に) になると とごつとるやんかい (沈んでいるで有  
りませんか)。垢も とごつとるし (ているし)、風呂  
も 一番トゴリいって (入つて) 言うのは 汚いのを  
いった (入った) 言う意味やろなあ (でしょう)。水  
でも うわずみ (上澄、上の綺麗な水) 汲むと 終い  
ん (に) になると トゴリ出来て こやまあ (これは)  
水のトゴリで 汚いわれ (です) 言うて。そやもんで  
(それだから) なんでも 終いん (に) になると、トゴ  
リなあ (です)。2) 宴会の時でも 終いまでおる (居  
る) トゴリまでおった (居た) 言うて、トゴリまで  
一番 底ん (に) なる者な (が) トゴリや (だ)。3)  
潮な (海流が) 流れん (流れない) よおな時 潮な  
(が) トゴツとる (ている) 言うて。潮な (が) 流れ  
んと (流れずに) 真っ直ぐんしとると (にしている)、  
今日は 潮な (が) トゴツとて (ていて) ええわ (よ  
ろしい) このあい (間) に かずかな (潜らなけれ  
ば) 言うて。そやけど (それだが) 潮の干潮と 満潮  
とかん (に) なる さかえん (境に) になると 潮な  
(が) いてくんのなあ (動いて来ます)。真潮な (西  
から東へ流れる潮流が) いて (流れて) 来たり 底潮  
な (東から西への潮流が) 来たり。潮な (が) 早よ  
(早く) なつて来ると、おとしなつて (怖くなって)  
来て 何処い (へ) までも 流されてくね (行くので  
す)。幾らかい (でも) (泳いでも) いっしょけんめ (一  
生懸命) で かい (ても)。

**とごる 【動詞】** 1) 沈殿する 沈む (志 (片田、浜島、  
布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安  
乗)、鳥 (相差)、桑郡、三、四、鈴市、安、一、松、  
上、阿、張、名、伊、北、尾、南、熊) 2) よどむ

潮の流れが無くなる 3) 最後迄残る [会話] 1) トゴル言うのは 下い (に) 溜まる、下い (に) トゴル言うのなあ。何でも 下い (に) とごつとんね (ているのだ)。2) 潮でも トゴル 時や (は) ほん (本当に) ぴらっともせんと (せずに) かづきよいねてやな あ (潜りやすいのです)。こないだも (この間も) 会 (集合) して 寄ったや (たら) 芋飯 炊くとさいご (そのとき) あれを しためて、その トゴリ飲むの な (のが) 嬉して (嬉しくて)、そすと (そうすると) 米な (が) トゴリに まじとて (混ぜていて) それを 飲むのな (のが) 楽しみやったんよお (でした) 言うて、美味かりおったなあ (美味しかったのです) あもおて (甘くて) あやだ (あれは) 水よけ入れんねやろなあ (沢山入れるのでしょうか) そして 幾ら炊いても 干上がってかせんもんで (いかないので) 水 引く力が 無いよおん (に) なってくの (いくのです)。水が多いもんで (ので) 芋やよって (だから) 水 引かせんし (ないし) 出て来んねよつて (来るのだから)。そのトゴリを しためると 米 な (が) ふたあつぽ、みてつぽおつ (二、三粒程) 混ぜてて (混ぜて居て) その米 飲むの な (のが) 嬉しのおな (のが) 言うて 芋の汁やもんで (なので) あもおて (甘くて) 美味いんやんかい (のです) その汁は、しためる 汁を しぼんのおを (しぼるのを) しためる。鍋を 蓋を 押さえといて (ておいて) 汁 しぼんのおを (しぼるのを) しためる言うね (言うのです)。

ところ **【名詞】** 懐 ふところ (志 (片田、布施田)) [会話] 下駄、トコロい (に) 入れて まいこまして来た (走って来た)。

ところいれる 懐中に入れる 盗む

ところてん (心太) **【名詞】** 寒天 海藻のテングサを溶かし、その煮汁をこして冷やし固めた食品 [会話] トコロテン。てぐさ (天草) を炊いて、ことごとと半時間位炊くと なめって (粘って) 来て、それを ざあるい (箸に)。米ぬかもするやんかい (入れます)。あの時 袋い (に) 入れて 澄ますのんなあ (のに) 色な (が) 美しなんね (美しくなるのです)。今しゃ (今は) 米ぬか入れんと (入れずに) すう入れんの (酢入れるのです)、すう (酢) を ちょぼつと入れると 色な (が) 真っ白ん (に) なんの (なるのです)。わしげ (我家) の ばあやん (婆さん) トコロテン炊くの えてこい (お得意、十八番) で、六升鍋 一杯 盆に炊いて。昔の人ら (達が)、當 (平

素) が忙しもんで (ので) 親戚中な (が) 初盆やのおても (で無くても) 皆な (が) 拌みん (に) 行きおつた (行って居ました)。その トコロテン はろんで おつて (孕んで、妊娠して) 来るもん (者) 来るもん (者) に 突いて食べてもおたや (もらったら) ところてん 突くよおん (ように) もおけたて (産んでしまった) 一週間も 早よ (早く)。トコロテン炊いて 皿い (に) やっといて (入れておいて) それさまして からのかがみや (だ) 言うて、ほとくさん (仏さん) へ 供えおつたの (供えて居ました) 盆になると。そやもんで (それで) 盆になると ちよいちよい (少し) づつでも 炊きおつた (炊いて居ました)。

ところべ **【名詞】** 懐に手を入れていること 多くは寒い時に手を暖める [会話] ふところべ ちっさい時分 (小さい頃) こんにして (こんなににして、両手を袖から引き入れて) ふところべしおつた (しました)。ふところべ言わんと (言わずに) トコロべや (です)。

どこん 何処に (上、南)

どこんじょ (根性) **【名詞】** 根性のしたたかさ、図太さなどを罵って言う語 根性、意地 ドは接頭語 (広辞苑)

とごとん **【名詞】** ふさのり 総海苔 紅藻類 ガラガラ科の海藻、体は円柱状で、規則正しく又状に分岐する、高さ 10~20 cm、太さ 2~3mm 質、軟らかく、体内粘質に富む、低潮線下の岩上に生ず。

とさ。とさかぜ **【名詞】** 西南風 土佐 (志 (布施田、浜島)、度、北、南)

どさ **【副詞】** 量の多い事 どっさり 沢山 (南、熊)

と、さいが。と、さいご。動詞の終止形を受けて、そうすると、その時などと言う意を表す (志、鳥、桑郡、三、鈴市、亀、安、津) [会話] そげん (そんなに) するト サイゴ言うんかい (言うのですか)。こげん (こんなに) するトサイゴ ええのお (よいなあ) 言うてな、そげん (そんなに) するトサイゴ うちやれてくど (壊れて行く) 言うたりな、こやって (こうして) すると、ええのお (よい) 言うのを こして (こうして) するトサイゴ ええのお 言うの (のです)。

どざえもん **【名詞】** 溺死体 (鈴市、熊)

どざえもんのふんどし **【俚諺】** 喰い込んで締って居ること 改心すること。借金などで身動きの出来ない状態 [会話] ドザエモンノフンドシで わりじまりやなあ (悪る締めだ) 言うて。若い時や (は) あんごしかつたけど (阿呆だったが) 今しゃ (今は) 金 よけ使わ

せんし(沢山使かわないし)しまったなあ言うて、あや(彼は)まあな ドザエモンノフンドシで わりじまりん(に) しまったれ(締った)言うて。どざえまん(者は)膨れてくるもんで(ので) 禪な(が) しまつてくの(て行くのです)。借金したとなあ、ドザエモンノフンドシで 食い込んでまあ(でしまつて)言うて、借金したと 言うやんかい(言います)。借金しても ドザエモンノフンドシ、しょおね(性根、心掛け)改めて、しっかりした時も、例えて ええ(よい)方も、わり(悪い)方も、有る訳や(です)。

**とさか(鶏冠)【名詞】** 1) とさかのり 紅藻類ミリン科の海藻 本州中部から九州にかけての干潮線より深い 岩上に着生する長さ10~20cm 葉状体は柔らかく鮮紅色、偏平、平らな叉状に数回分岐して扁状に広がる 食用になる(志(布施田)) 2) 頭【会話】 1) 海藻 海のなあ 深いとこん(所に) 生えとんね(生えて居るのです)。鶏のトサカみたようんしとんの(ようにしているのです)。トサカ言うんやろなあ(言うのでしょうか)。あっこおて(赤くて)ぶつぶつしとるもんで(しているの)それを干しといて(ておいて)又 戻して(柔らかく水を含ませて)刻んで、三杯酢で食うと どいらい(大変) 美味しいの(のです)。かちかち かちかち言うて 歯ざわりな(歯応えが) よおて(よくて)。あつかいのおも(赤いのも)有るし、しらけたのおも(色の褪せての)有るし、ああおいのおは(青いのは)無いけど、ふっかいとこやなけな(深い所でなければ) 生えやせんね(生えないのです)トサカは。トサカは ところてん炊いても ええし(よいし)糊にしてもええし 何にしてもええの(よいのです)。二杯酢で食べると 美味しいね(のです) どいらい(大変)。胡麻入れて かりかり言うて 数の子 食うようんしとて(ようにして) どいらい美味しいね(大変美味しいです)。

**どさくさ【名詞】【副詞】** 事件や用事で混雑している事取り込んでいる状態【会話】 ドサクサにまぎれて そやあれ(それ)言うて。にげな(人間・人が) よけ(沢山) 寄ったり なんや しとる(している) 時ん(に) まぎれて、なんやかやすると ドサクサにまぎれて まあ言うて。ドサクサまぎれ 又 そげな(そんな) 事して言うて。

**どさつく【自力五】** 騒々しい 混雑をきわめる ごたごたしている【会話】 忙し時ん(に) そこら(へ) うろろしとる(と) (していると)、ドサツイトテ(て

いて) 仕事も 捗どらんで言うて。人が 混雑しとて(して)いて) ドサクサシテ言うてな、人な(が) あんまり(あまり) どやどやして 仕事な(が) 捗らん あんまり(あまり) ドサツイテ 捗どらせんわれ(りません) 言う時な(が) 有るんなあ(有るのです)。

**どさっと【副詞】** 重い物が一度に倒れたり落ちたりすること【会話】 塊な(が) 落ちて来ると ドサッと落つて(落ちて) 来た。

**どされた** 殴られた どう参照【会話】 殴る事は どうす。どされる(殴られる)、ドサレタ、殴られるとドサレタ。

**どされる** 殴られる

**とし(年)【名詞】** 年齢 高齢(北)【会話】 かず言うて 一つ、二つ言う数もあるし、トシの事もかず言うて。

**としあけ(年明)【名詞】** 年があらたまって次の年になること 来年【会話】 トシアケ。年の暮で トシアケルと 嫁 貰うんてわい(の(だ)そうだ) あの家や(は)。じゅうにんがつ(十二月) 頃ならなあ、トシアケルとなれ言うて 新しい年になる。

**としあける(年明)** 新年になる【会話】 新年になる。としあけて 貰うねてわれ(そうです) トシアケルと言うてな。

**としいき(年行)【名詞】** 年を取っていること 年長であること 老人 かずいき【会話】 年な(が) いとる(いつて居る) 言う事、トシイキ。かずな(年令が) よけ(沢山) いとる(行っている) 言う事をな。トシイキで あのひた(人は) 言うやんかい(言います) かずいきも 一緒。

**としいく 年齢が進む【会話】** トシイク言うて、かずな(年令が) 行く事を。年 取つてく(ていく) 事を。トシイク、年な(が) いたら(行ったら) なとするやかなあ(どうしようか) 言うて、これより 年な(が) いたら ひまのかあや(大変だ)。

**とじいと(とぢいと)(綴糸)【名詞】** 縫い糸【会話】 布団のトジイトやとか(だとか)、座布団とじたりとじ針や(とか)。昔や(は) 丹前でも とじたりしよおったやんかい(して居たでしょう)。今し(今)の にげや(人間、人は) しのびだけ 入れとくだけ やけど(入れておくれただが) 昔や(は) ちょいちょいつ(少しずつ) 丹前もとじよおった(とじて居ました)。しのびとじは しよおったなあ(して居ました) 丹前へ しのびは 皆 入れるけど 上い(に) 判らんよおん(判らないように) しのぼしとて(し

のばせておいて) とじんの (とじるのです)。トジイ  
ト言うな (言うのは) 上で 結ぶやんない (でしょ  
う)。そして しのび糸言うな (言うのは) 上い  
(に) 判らんよおん しのばしとくの (しのばせてお  
くのです) しのび糸言うの (のです)。しのびとじ。

**としうえ (としうへ) (年上) 【名詞】** 年齢が他よりも  
多い事 又、その人 年長 [会話] トシウエ、トシ  
ウエニヨオボわなあ 一番 ええねのんな (よいので  
す)。一つ、年 おいと (多いと) 足の裏のめつぽ  
や (だ) 言うて、めつぽ (米粒) で 踏んでも離れ  
ん言うて、一つのおいによおぼ (年上の女房) は 踏  
んでも離れん。年上の女房は 金の草鞋で探せ言うて。

**としおくる (年送) 新年になる** [会話] トシオクル。  
あたらし (新しい) 年迎えるなあ、年 オクッタ 言  
う事やわいなあ (です)。トシオクッタラ こんだ  
(今度は) ええとし (よい年) とらなはざんなあ (取  
らなければいけない) 言うてな。寝るよん (よう  
に) になると ええとし とれえ (取りなさい) 言うて、  
おつごもんなると (大晦日になると)。

**としおとこ (としをとこ) (年男)。としおなご (年女)**  
**【名詞】** その年の干支に当る男、女

**としがい (としがひ) (年甲斐)** 年齢に相応した思慮や  
分別 年を取っただけの効験 [会話] トシガイも無  
く言うんかい (言うのですか)。トシガイも無く言う  
て かずな (年令が) いとても (多くても) そんだけ  
の 値打ちな (が) 無い言う事をなあ。トシガイも無  
い、あげな (あんな) 事いやあるいて (言って) 言う  
て、どんな (下手) 事言うたり、行ないな (が) わり  
と (悪ると) おおた トシガイも無いなあ言うて。

**としかさ (年嵩) 【名詞】** 他より年齢が多い事 又、そ  
の人 としうえ [会話] トシカサ、言うな (のは)  
年上えの人を、言うの。

**としがしら (年頭) 【名詞】** 仲間の中での最年長者

**としかっこお (としかっかふ) 【名詞】** 年令に似合った  
格好 年相応

**どじかられる** 強く 叱られる [会話] 怒られてもな  
あ ちよいと (少し) 怒られるぐらいやと (だと) え  
えんけど (よいが)、どいらい (大変) 怒られるとな  
あ、ドジカラレル言うて。

**どじかる** きつく叱る (志 (浜島、布施田))

**としくう** 年齢を重ねる 老人になる [会話] トシク  
ウ、年寄り トシクウとんねよってん (ているのだから)、  
トシクウとても なんの (少しも) 値打ちもの  
おて (無くて) 言うて。

**どじけてきた** 風雨が強くなって来た 暴風雨 [会話]  
雨な (が) ドジケテキタよってん (から)、風もよけ  
(沢山) 吹いて来ると、風な (が) ちぶいて来た、言  
うてな。ちぶいて来たとか どぶいて来たとか 風の  
事はなあ。よけ (沢山) 降るのを ドジケテキタ。雨  
な (が) ドジケテキタ。

**どじける** 雨が非常に強い どは強調の接頭語 [会話]  
雨、風な (が) えろおて (大変で)、雨だけや (だ)  
言うと ドジケル言うし 風な (が) 吹いて来る時や  
(は) しゃじけて来た。

**としご (年子) 【名詞】** 同腹から毎年続いて子供が生ま  
れること 又、その子 [会話] トシゴ トシゴに、  
また トシゴ も一つ おまけに 双子な (が) 出来  
た。毎年産むのを トシゴや (だ) 言うて。

**としごと 【名詞】** 年毎 年々 毎年 (志 (布施田))  
[会話] 毎年言うのなあ。トシゴット こお (子) も  
おけとんね (産んでいる) 言うてなあ。よれやったも  
んな (沢山でした) 年子は、トシゴット もおけるも  
んで (産むので)。

**どしこむ 【自マ五】** 1) 押し込む 放り込む (志 (神明、  
立神、志島)、鳥、松、多、上、阿、尾、南、熊)  
2) 大勢でどやどや入って来る (志 (布施田)、多)  
[会話] 1) そやれまあ 納屋い (へ) ドシコンドイテ  
イタナイ (でおいで行った) 言うて。へし込んどく  
(押し込んでおく) 事を言うんなあ (言うのです)。  
納屋でも 庭でも 放り込んどいてくやんない (こん  
で行くでしょう)。あやれ (あれ) ドシコンドイテタ  
ナイ (で置いて行った) 言うの。じっばん (立派) し  
て 置くのなら 置いといてたれ (置いて置いて行っ  
た) 言うねけど (言うのだが)、まるけといて (丸め  
ておいて) 放り込んであると、ドシコンデトンナイ  
(で行って居るのだ) 言うて。なんのかなしん (何の  
気無しに) 丸けといて 放り込んであると。物をだん  
ずか (積み重ねる) ん (に) へし込んどくと (でおく  
と) どしやげといてた (て行った) とか ドシコンド  
イテタてやら (で行ったとか) 言うて。たたみも な  
んもせんと (せずに) 丸けたなりしとくと (丸めたま  
ましておくと) どしやげといてやらなあ (ておいてと  
か)。忙しもんで (忙しいので) ここい (に) ドシコ  
ンドケ (でおけ) 言うて。着物でも たたむと ええ  
んけど (いいが) 忙し (忙しい) 時や (は) たたんで  
おる (いる) 暇 (時間) が のおて (無くて) 丸けと  
いて 押し入れい (に) ドシコンドケ (でおけ) 言う  
て。せんだくもん (洗濯物) でも たたも (たたも

う) 思とても (思っていて) 用事が出来て来て た  
たまれやせんと (たためないと) ドシコンドケ言うて。  
**としごろ (年頃) 【名詞】** 1) 一人前の年齢 特に女性の結婚するのにふさわしい年齢 2) 丁度 そのことに ふさわしい年齢 [会話] 1) トシゴロ言うて 十七・八の事なあ (です)。トシゴロの 娘な (が) 言うて よお言うやんかい (よく言います)。トシゴロの 娘な (が) よさや (夜は) でや歩るいたらはざん (出歩るいてはいけない) 言うてな。丁度 結婚するのに ええ (よい) よおな年や (です) そやよって (だから) そいな (そんな) 時ん (に) うろうろとしたらなあ、わり (悪るい) 虫な (が) 付いて来る言うて。

**どしこんどけ** 押し込んでおけ [会話] 着物も 忙しときや (時は) たたんでおる暇な (が) ないもんで (ので) 丸けて 押し入れへ ドシコンドケ言うて。

**としした (年下) 【名詞】** 年令が他より少ない事、またその人。年少者。

**としぞ 【名詞】** 早生まれ 一月一日から四月一日の間に生まれた人 (北) [会話] 早や生れ 一月一日から しんがつ (四月) までに 生れたのおは (のは) トシゾやしな (です)。

**どした** どうした 何とした [会話] どおした言うの、ドシタ。ドシタ お前 今日は まあって来やせんやんかい (回って来ないでないか) どげんしたんとい (どんなにしましたか) 言うのな なとしたんど (なんとしましたか) 今日は まあって来やせんやんかあ (回って来ないでないか) とかな。

**どした** 撲った

**どしたる** 撲ってやる

**どしたれ** 撲ってやれ

**どしたろん** 殴ってやるぞ [会話] ドシタロン だれ言う時な (が) あんね (有るのです)。ごおなわいと (と) (腹が立っていると) だれまあ 其処いらん (に) おってみよ (居て見ろ) ドシタロン言うてな、殴ったろん (てやるぞ) 言うのを ドシタロン言うてなあ。

**としってく** 疾く走って行く

**どして 【副詞】** どうして 何故 原因方法について疑問を表す語 (南) [会話] ドシテ言うのをなあ、なしてえ (どうして) 言うたり、どげんしてえ (どんなにして) 言うたり。 なんも (少しも) 此の頃 まあって来やせんな (回って来ない) どげんしたんど (どんなにしたのですか) 言うたり、なっとしたんど (どおし

たのですか) 言うたりな。

**どしても 【副詞】** どうしても 必ず どうあっても (尾) [会話] どげんしても (どうしても) 言う事聞かんで あしこい (あすこへ) 行かんならん言うて、どげん (どんなに) 言うて 聞かしたてて (ても) 聞こかれ (聞かない) 聞かせんねもんな (ないのだから) あんな (彼の) 言う通りさしとかな (させておかなければ) しゃあねえわれ (仕方ないです) 言うて。どおしても 行かなはざん (なればいけないうの) (のを)。ドシテモ 行かなはざん (なればいけないうの) 言うなあ。

**としとりみず 【名詞】** 年末に水甕一杯にすること又、その水 [会話] 寺屋の水は ほんどん (本當に) ちゃあ (茶) 炊くと 美味しいのおで (ので)、トシトリミズや (だ) 言うて。トシトリミズ言うな (言うのは) 正月ん (に) 甕 (水甕) 一杯に汲んどいて (でおいで)。

**としとる (年取) 【自ラ五】** 年を重ねる 老いる [会話] トシトル かざな (年令が) 行く言うて、トシトッテから 見てくれるにげやのおて (人が無くて) なとするやかなあ (どおしようか) 言うてなあ。おら (俺は) まあ 兄な (が) 付いとるよって (でいるから) 大丈夫やわい (です) 言うてええけど (よいが)、なんも (なににも) ないとな ま トシトッテ 来たけど (が) ま なとするやあかなあ。

**としなみ (年並) 【名詞】** 年令相応

**としなもんで** 年なので 年を取って居るので

**としのかず (年数) 年齢** [会話] ほおけとて (でいて) トシノカズも 判らせんねてない (ないのだ) 言うて。年令も わが (自分の) かざ (年令) も 判らせんねてない 言うてな。お前 幾つどい (ですか) 言うてもなあ かんじよな (計算が) 判からんのおを (のを) トシノカズも 判らせん (ない) 言うて。

**としは (年齒、年端) 【名詞】** 年令 特に幼い者に言う

**とじばり (とちばり) (綴針) 【名詞】** 物を綴じるのに用いる大きな針 とじいと参照

**としひた (年下) 【名詞】** としした 年齢が他よりも少ないこと、年少 [会話] 年下の事 トシヒタ。

**どじふむ** 失敗する

**としま 【名詞】** 年増 年齢を取った婦人 [会話] かざな (年齢が) いとる (取っている) 事を トシマや (だ) 言うて。ちよいと (少し) 老けた人見ると あのひた (人は) トシマやな (だ) 言うて。トシマ言うな (言うのは) 娘さんらは トシマや (と) 言わせ

んもんなあ（言いません）。三十過ぎてからは ちょいと（少し）トシマヤなあ 言うて、こや、ひねとられ（これは古くなった）。

**としまあり（としまわり、としまはり）（年回）【名詞】**  
まわりくる年によって、その人に表れる吉凶 [会話]  
トシマアリな（が）わりいて（悪くて）言うてな、その年に、不幸事な（が）有ったりするとなあ、今年や（は）トシマアリな（が）わりかったなあ（悪かった）言うてな。わり（悪るい）事な（が）有ると、トシマアリな（が）わり 言うし。その年の 善し悪し言うのを。

**としみ【名詞】** 灯心 とおしみ参照（志（布施田）、三、員、鈴市、安、多、南）[会話] かわらけい（に）油入れといて（入れておいて）、トシミを入れて みあかしや（だ）言うて 神さんへ。

**としみ【名詞】** 植物 蒲（い）の仲間

**とじめ（とぢめ）（綴目）【名詞】** 縫い目 [会話] トジメ。綴じるめえ（目）。トジメな（が）あらきたい（粗い）とか、雑把ななあ（丁寧さがない）。あのひた（人は）雑把で トジメも粗くとおて（粗くて）言うて、丁寧に こまこお（細かく）して有ると あや（あれは）丁寧にしてあって。裕 縫うと 必ず 綴じなはざんもんなあ（綴じなければいけません）、背縫いやとか（だとか）脇やとか（だとか）、そすと（そうすると）雑把な人ら（達）は 粗くとお（粗く）トジメするし、丁寧に人ら（達）は こまこお（細かく）してするし、そいなとこ（そんな所）トジメな（が）粗きたい（粗い）とか、雑把な（だ）とか言うけどなあ。

**どじもぐさ。どじもんぐさ【名詞】** 1) 怠け者（志（布施田、鶴方））2) 蟬の一種 油蟬 [会話] 1) ドジモングサ言うて、仕事せんと（せずに）のらくらしとんのおを（しているのを）ものぐさや（と）言うて言う人ら（達）も有るけど。怠けもん（者）を ドジモングサの果て無しや（は）言うて、仕事せんと（せずに）ふらふらばつかしとると（ばかりしていると）、あやまあ（彼は）ドジモングサやよって（だから）じつきん（すぐに）はななおこって来て（怠けて来て）言うて。はなな（が）おこる、はな言うな（言うのは）ドジモングサ言うのを はなな（が）起こって来て くさい言うて。

**どじもんぐさのおおたろ【名詞】** 怠け者 大変な怠け者

**どじもんぐさのはてなし【名詞】** 大変な怠け者 どじも

ぐさ参照（北、尾）

**どじもんぐさのはなびき【名詞】** 大変な怠け者

**どじもんぐさやまい【名詞】** 怠け者のする病気 又、怠ける事 [会話] 血の道も、ちわずらいも 一緒や（です）。血の道を ちわずらい言うて ドジモングサヤマイや（だ）言うて。

**どじもんなくさい 無精者 怠け者 [会話]** ドジモンナクサイ言うのも、あや（彼は）くさいねよって（のだから）どじもんぐさ言うやんない（言うでしょう）。

**としや** 年だ 年を取って居る 老人だ あれもトシヤ（彼も年をとった）

**ドシヤ【名詞】** ロシヤ（三、鈴市）

**どしやぐるま【名詞】** 土、砂を運搬する木製の車 [会話] ドシャグルマで がら（土塊）起こすと それ引いて 車で きい（木）でして有って 箱もきい（木）で してあって。

**どしやげてきた** 突き当たって来た、激しく突き当たって来た

**どしやげる** 乗り上げる 突き当たる 衝突する [会話] ドシャゲル。前の浜い（に）もおな（藻が）ドシャゲたんでわれ（そうです）言うて。もおな（藻が）よけ（沢山）寄って だんどりやてわい、てやら（だそうだとか）、ドシャゲたんでわれ 言うて。浜い（に）時化な（が）すると もおな（藻が）だんどりやてやら（だとか）、ドシャゲとんねよお（ている）はよいて（早く行って）拾えまあ（拾いなさい）言よおった（言っていました）。だんどり言うて よけ（沢山）寄る事を だんどりや（です）。よけ（沢山）寄って 幾らでも 拾われる事を だんどりや（だ）言うの。だんずかも ドシャケンのも（るのも）皆 一緒の事や（です）だんどりも。舟が ドシャゲル 島い（に）ドシャゲル とびやげてくの（乗り上げて行くのを）ややげてくのも（ぶつかるのも）、島い（に）ドシャゲル とびやげる（衝突する）とか、ややげる（ぶつかる）とか、それをなあ やりつけて たんでわれ（ぶつかって行ったそうだ）言うのも あるし。

**どしやぶり（土砂降）【名詞】** 大降り 大雨の降る事 [会話] 雨な（が）よけ降ん（沢山降る）のを、ドシャブリすんのを（するのを）、しゃじける。ドシャブリ言うやんかい（言います）。ほおた（ああ）、時化な（が）して来て ドシャブリやれ（だ）言うやんかい（言います）。しけ降り言うな（のは）言わせんのお（言いませんね）そんに（そんなに）。どしや降りや

(と) 言うわ (言います)。 よけ (沢山) 降るの (のを) ドシャブリや (です)。 まあ ドシャブリやれ (だ) この時化で言うて よお言うやんかい (言います)。

**としやもんで** 年を取って居るので 老人なので

**としゆき (年行) 【名詞】** 老人 高令者 としいき参照 (度) [会話] 年寄りの事を トシユキやなあ (だ) あのひた (人は) 言うてな、としいきや (と) 言うね (言うのです)。

**どしょおぼね (どしょうぼね、どしゃうぼね) (土性骨)**

**【名詞】** 1) 背骨 (志、鳥、員、鈴市、安) 2) 胆力 気力 (志、張、度) [会話] <sup>1)</sup> ドショオボネ言うやんかい (言います) 胴骨 (背骨) の事を。 胴骨やてやら (だとか) 背骨やてら (だとか) 背筋やてやら。

**とじよか。とじよか** 終りましょう 終りにしましょう [会話] 終りましょう言うの、ま、しまおか (終りましょう) 言う時んなあ (に) トジョカ言うて。

**としよや。としよや** 年寄り

**とじよや。とじよや** 終りにしましょう [会話] しまおか (終りましょうか) 言う時んなあ (に) ま トジョヤ言うてな。

**としより 【名詞】** 高齢者 老人 (上、阿、張、名、鳥、南) [会話] トシヨリ。年取った人 トシヨリ。物好きやなあ (だ) あの トシヨリを 相手ん (に) して言うて。トシヨリ言わんと (言わずに) トシヨリ言うのなあ (です) トシヨリばっか (ばかりで) 言うて。

**としより 【名詞】** 年寄り 年を取っている人 老人 (志 (布施田、神明、立神、安乗)、鳥 (鳥羽、坂手、答志)) [会話] 年寄り言うね (言うのです)。 トシヨリな (が) よけ (沢山) 出来て言う。年寄り言わんと (言わずに) トシヨリ言うね (言うのです)。 トシヨリぶって言うて あや (彼は) 若いねけど (若いのだが) トシヨリぶって あやれ (あれ見よ) 言うて。

**としよりくさい。としよりくさい 【形容詞】** 老人の樣だ ふけ込んで居る 不潔だ [会話] 若いもん (者) でもなあ としよりみたよん (年寄りのように) しとるとなあ (していると) あやまあ (彼は) トシヨリクサイなあ言うて。

**としよりぶる。としよりぶる** 老人の様に振る舞う、老人らしく見せかける

**としよる 【自動五】** 年を取る 老人になる 齢を重ねる (阿) [会話] 年とる言うのを トシヨル言うの、としよりん (老人に) なる事を トシヨル言うんなあ (のです)。

**としよわ 【名詞】** 四月二日から十二月三十一日迄に、生れた子供 (熊) [会話] 一月一日から しんがつ (四月に) 迄ん (のは) 生れたのおは (ですし)、としぞやし、しんがつ (四月) 済んでからは トシヨワや (です)。

**とじり (戸尻) 【名詞】** 戸、障子などを閉めた後の様子 [会話] 障子や戸 閉めるのおも (のも) たてとけ、たてつけな (開閉の様子が) わりいて (悪くて) とんと閉まらんと (閉まらないと) しや (それ) トジリな (が) 開いたれ (開いたぞ) 言う。

**としりやい 【名詞】** 走り合い 徒歩競争 [会話] わしらな (私達が) ちっちゃい (小さい) 時や (は) としる (走る) 言いおった (言っていました)。 トシリヤイしょおや (しましよう) 言うて。

**としる 【名詞】** 1) 皮膚病の病巣から出る分泌物 (志 (布施田)、鳥) 2) 目やに [会話] <sup>2)</sup> トシル。 めえ (目) から トシルな (が) 出たてやら (とか)、<sup>1)</sup> ねぶと (疔) から 汁な (が) 出て来ると、トシルな (が) 出て来た言うて。 別んも (特別に) トシル言うて 汚い。 トシル垂らして あや (あれ) 言うて、傷から なんやら (何か) 出て来ると、あや トシルな (が) 出とんね (出ているのだ) 言うて。

**としる** 走る (志、鳥) [会話] 走る言うのも トシル。として来たない (来ました) 言うてな。 としりあいしょおや (走り合いしましよう) 言よおったなあ (言っていました) 走りあい (合い) しょおや言うの (のを)。 あや (彼は) として来たれ (来ました) 早よ (早く) 言うて。あのかあ (子は) どいらい (大変) としんの早いんどお (走るのが早いのです) 言うて。

**とじる (閉) 【自サ上一】** 集会、宴会などを終りにする [会話] 宴会 終う時に トジル言うてな。ま、たいがいん (大体に) して トジナ、会議な (が) トジタんでない (そうだ) 言う時も有るしなあ。そして またいがいんして トジョヤ (閉じましよう) 言うてな、終る事をなあ。

**としわ (年輪) 【名詞】** 年齢 としは参照 [会話] トシワも 行かん (ぬ) もん (者) を そげん (そんなに) つかやあるいて (使って) 言うてな。 つこたり (使ったり) わるい (叱つ) たりすると。 トシワも いかんもん (者) を そげん わるいたり どづいたり (叩いたり) して言うてな、子供の事をなあ。 かづ (年令) も いとらんもんを (行っていない者を) 言う事を、トシワも言うて。 おっきな (大きな) もんは、

トシワ、言わせんけど (ないが) ちっちゃい (小さい) 二、三オの 子らをなあ トシワのいかんもん (者) をなあ そげん わるいたりしたてて (しても) わけな (が) わかつかれ (判らない) 言うてな。

**としわすれ (年忘) 【名詞】** その年の苦勞を忘れる意  
暮れにする集会 忘年会

**どす** 1) ずぶとい事 (志 (片田、布施田)) 2) 怠け者 3) 大きい事 4) ぶんなぐる (志 (波切)、尾、北、南、熊) [会話] 2) ドスのあかみや (です)、ドス言うな (言うのは) どおまん (怠け者) どじもんぐさ (怠け者) の事なあ。3) ここな (の) ドスよ言うて。体の大きな人を ドスや (だ) とか、ドスのあかみや れ (だ) 言うて べつんも (特に) どんくさいよおん (鈍い、のろまのように) しとるもんで (しているの) で。体の大きな人を ドスや (だ)。ドスやなあ (だな) あや (彼は) 言うて おっきいと (大きいと) ドスらかいも 一緒や (です)。3) ドスで どつすらかいねなあ (大きいのだ) 言うて。ドス言う事は わり (悪い) 言葉やでえ (です)、あの ドスよ (奴) 言うて、ちよいと (少し) わり (悪い) 事すると ドサア (どすは) 言うて わるう (叱る) 時ん (に)。4) 撲る事は ドス。撲る。どやされる (撲られる) ドサレタ (撲られた) 言うて。撲られると ドサレタ 言うて 撲ったろん (てやろう) 言うな (言うのは) どやしたろん (てやろう) 言うて、撲られた言うの (のは) ドサレタ。

**どすおこす** 怠ける [会話] ドスオコス言うななあ、なんも (少しも) 仕事せんとなあ (せずに) なんもせんと (全くせずに) 遊んどんの (でいるのを)。食うてな (は) 寝え、しとんの (しているのを)、ま ドスオコシとんねどお (ているのだ) 言うて。怠ける事を ドス オコス 言うてな。

**どすかい 【形容詞】** 大きい (志) [会話] 大きい言うのを ドスカイ。ドスカイの釣つて来たよお言うて。魚のおっきい (大きい) の、釣つて来ると、ドスカイのおやたら (のだとか)、どてつかい (大きい) の 釣つて来たよお言うたりな。ドスカイの、逃がしたた (てやった) 言うて、逃げた魚は おっきい。

**どすかん** 大嫌いだ いけ好かない [会話] 物凄いですかん (嫌な) 人をなあ、おおた あのひた (人は) ドスカン人やわあ (だ) 言うて。嫌いで 嫌いで しよな (仕方が) 無い人をなあ、すかん言うのより まだそれい (それに) “ど” つけて。

**どすぐろい (黒) 【形容詞】** 濁ったような黒さである

大変黒い ツジむ (瘀) に通ずる (大言海) [会話] インド人みたよななあ (のようだ) 言うのを、ドスグロイね (のだ) あのひた (人は) 言うてな。ドスグロイ言うな (のは)、物凄く 黒いことやなあ (です) ドスグロイ言うね (言うのです)。

**どすけべ (助平) 【名詞】** ののしり 強調の意をこめて 好色なことを言う 又、その人 (志 (布施田))

**どすこ 【名詞】** 大きい物

**どすのあかみ 【名詞】** 体の大きな人 [会話] 体の大きな人を、どすやとか (だとか) ドスノアカミやれ (だ) 言うて。べつんも (特別に) どんくさいよおん (鈍いように) しとるもんで (しているの) で。

**どすらかい 【形容詞】** 大きい (志) [会話] ドスラカイ言うな (言うのは)、おっきい (大きい) のを、ドスラカイねえなあ (のだ)。

**どすわっとる** 横着に座って居る

**どすわる** どっかりと座る (志 (布施田)) [会話] 座とる (ている) 事を あや (彼は) 今日は いごかん (動かないで) ドスワットル。長い事 その家におると (居ると) まあ (もう) 早よ (早く) いきやええのん (行けばいいのに) 思ても (思っても) 行かせんし (行かないし)、尻な (が) なあごおて おぞげや (長くて嫌だ) 言うて、好かんよお (好かない、好ましくない) 早よ 行きやええのん思とても (思っても) 長い事おると (居ると) ドスワル。そやよって (それだから) 人らげん (人の家に) 行たら (行ったら) 尻なあごおて (長くて) したらはざん (駄目だ) 言うて。あやれ (あれ) ドスワットテ、いごかんで (動かなくて)、いろんな事 喋とて (ていて) いごかんと (動かないと) ドスワル、長尻しとんねてや (しているのです)。尻な (が) なあごおて 嫌や (だ) 言うやんかい (言います)。

**とせえ 【名詞】** 渡世 とせい 生活 暮らし [会話] 生活。トセエ よお送らん (送れない) 言うて。トセエ送る言うて、あの家や (は) ええ (よい) トセエくつとんねてない (送って居るそうだ) 言うやんかい (言います)。ええ 生活しとる (している) 事を 豊かな 家をなあ、豊かな トセエくつとて (送って) いて あの家や (は) 言うやんかいな (言います)。

**どそお 【名詞】** 桑の木的一种 [会話] ドソオ言うてはあな (葉が) 他のおおは (のは) ぎざぎざしとるけど (しているが) ドソオ言うな (言うのは) 丸くとおて (丸くて) どいらいのやった (大きいのでした) みい (実) も おっきいねやんかい (大きいのです)。

**とそざけ**【**尾蘇酒**】**【名詞】** 元日の祝いに飲む酒 [会話] ひろぶたい (大型の盆へ) 御神酒しといて (しておいて)、お正月ん (に) トソザケ 頂く時ん (に) ひろぶたの上で しよおったわい (して居ました)。

…とた。…どた でいた (志 (立神、国府)) [会話] あげん (あんなに) 言うトタ。風邪引いたら そや (それ) 葉 飲めよお (飲みなさい) 言うトタ。前ん (に) 付く 言葉に従って ドタ 遊んドタ、今日は ひがないいちにち (一日中) なんもせんと (なにもせず)に あそドタ (遊んでいた) 言うて。トタも ドタも しておって言う事で 一緒やけどなあ (です)。

**どた**【**名詞**】 1) 体の大きい人 (志 (志島)、度、桑市) 2) 大きい事 (志 (御座、布施田)、北) [会話] 1) ドタスケ言うて。肥えて ドタドタしとると (していると) ドタやなあ (だなあ) あや (彼は) 言うて。ばたばたしとる (している) 人な (が) あるやんない (でしょう)。したや (そしたら) あやまあ (彼は) ドタで まあ言うて。どたふく言うとおなごやわい (女です) 顔な (が) どいろおて (大きくて) どたふくやてやら (だとか) べたふくやてら (だとか) 言うて。

**どたあし**【**名詞**】 大きい足

**どだい**【**土台**】**【副詞】** 1) どうも まるで 少しも一切 土台 根本から 根から もともと 元来 物事の基礎 (志 (浜島、布施田、立神)、鳥、三、一、多、上、阿、張、名、北、尾) 2) 家の主人 [会話] 1) ドダイ 聞かへん (聞かない)、なん言うても (何を言っても) ドダイ 聞かへんね (聞かないのだ)。あんな (彼の) 言うこた (事は) ドダイ 話しにならんわね (ならない) 言うて。信用できん (出来ない) 言う事やろなあ (でしょう) あんな (彼の) 言うこた ドダイ 信用できやせんやんかあ (出来ないでないか) 言うて。2) 家の亭主の事も ドダイやなあ (です) ドダイな (が) しっかりしとらな (していないくては) 言うて。

**どだいごち** 全部 すっかり 根こそぎ

**どたこ**【**名詞**】 1) 体の大きい人 2) 大きい物

**どたすけ**【**名詞**】 1) 体の大きい人 肥えて行動の鈍い人 2) 大きい物 (北) [会話] 1) ドタスケ言うて。肥えて どたどたしとると (していると) どたやなあ (だ) あや (彼は) 言うて。ドタスケ ばたばたしとる (している) 人な (が) あるやんない (でしょう)。

**どたつく**【**自力五**】 手間取る まごまごする [会話] どたどたと 人な (が) よけ寄ってなあ (沢山集まってる) がたごとすると ドタツク言うてなあ。よけ (あまり) まあ ドタツクなま さおがしのん (騒がしいの)に 言うて。手間どる どもこもしとる (愚図愚図している) 言うのも ドタツク。

**どたどた**【**副詞**】 1) 大きい人がゆっくり歩くさま 2) 行動も鈍く、まごつくさま 3) さわぐ [会話] 3) ドタドタすんな (するな) 言うやんかい (言います)。どんばたすとな ドタドタすんなまあ (するな) さおがしのん (騒がしいの)に 言うてなあ。1) 歩くのに ドタドタ歩いて言うて 体な (が) おっきいとなあ (大きい)。

**とだな**【**名詞**】 押入れ (鳥 (坂手、南))

**どたばた**【**副詞**】 大騒ぎしているさま 騒ぎ立てるさま [会話] ドタバタすんなまあ (するな)。立ったり むこたりばつか (座ったりばかり) しとるやんない (しているでしょう)。そすとも ドタバタすんなまあ言うてな、騒ぐ、ドタバタすんな。

**どたふく**【**名詞**】 不美人 2) 参照 おたふくを更に罵る意 (方言俗語源辞典) (志 (浜島)、鈴市、安、津、上、阿、度、伊、鳥、尾) [会話] あんな ドタフク女でも、妻と さだめや (定めれば) まんざら憎くない 人な (が) 水さしや (差せば) 腹が立つ言うて、ドタフクでも わがかかん (自分の妻に) すると 憎いこた (事は) 無い 言う事やなあ (です)。ドタフク言うて 器量な (が) わりて (悪くて) 体もおっきい ねわい (大きいのです)。どたやもん (だから) どた言うたら おっきい (大きい) 言う事やんかい (です)。体な (が) おっきいと (大きいと) どたすけやなあ言うやんかい (だなあ言います)。

**どたま**【**名詞**】 頭 頭の卑語 (津、鳥、三、鈴市、一、松、多、上、阿、張、名、度、伊、北、南)

…とたら。…どたら でいたら [会話] おら (俺が) こげんして (こんなにして) しトタラ、あんな (彼が) 来て言うて。トタラ言う時は しておったら しトタラ 喋っトタラ 遊んトタラ あんな (彼が) 来て言うてな。

…とたんか (して) いたのか

…とたんよお ていました していました [用例] 泣いトタンヨオ 怒っトタンヨオ

**とち**【**名詞**】 織物 とおちりめん参照 [会話] トチのきもん (着物) 言うてなあ。モスを トチのきもんや (着物と) 言よおった (言いました)。とおちりめ

ん言うのも、有るけどなあ（が）。とおちりめん言うな（のは）本縮緬の事言うんやろなあ（言うのでしょう）。そして モスの事をなあ トチのきもんこしらえて もろて（貰らって）着て、とくやなあ（よいなあ）言うて。

**どちくしょう（どちくしゃう）【名詞】** 畜生を強めて言う語 罵倒する語 どちきしょうとも

**とちくらかしてた** 早く走って行った【会話】 トチクラカシテたな（のだ）あやあれ（あれ）言うて。走ってくと（て行くと）トチクラカシテたれ言うて。

**とちくらかす** 走る 早く走る【会話】 トチクラカス言うのは いっしょけんめ（一生懸命）走る、走りきってく（きって行く）言う事やなあ（です）。

**とちけ** 途方 とつけに同じ【会話】 早いとさいご、トチケも無い程 はよ起きた言うわい。

**とちけもない** 途方もない 思いもよらない とつけない参照【会話】 早いとさいご（その時）トチケモナイ 早よ（早く）起きた。

**とちってく** 早く走る【会話】 走る時なあ。物凄いはしんのをなあ（走るのを）走りきってくのを（て行くのを）トチツテくない、あやれ（あれ）あや（彼は）とちりきってたれまあ（て行った）言う人な（が）有るんなあ（有ります）。

**とちってた。とちってたない。とちってたれ** 早く走って行った 走って行った

**とちとち【副詞】** 1) 頼りなげに歩くさま 2) 動作の鈍いさま【会話】 1) 足な（が）ひよろひよろと ひよろつく（よろつく）人を トチトチしとて（していて）危ないなあ あや（彼は）言うて。ひよろひよろと ひよろけやあるくと（よろけると）危ないなあ トチトチと。

**とちとちめし【名詞】** 芯の有る飯 半煮えの飯 かんち飯【会話】 トチトチメシな（が）出来ると、この米 芯な（が）あられ（有る）言うて。はあ（歯）へ とちとち当たるもんで（ので）こや（これは）かんちで 芯な（が）あられ。

**どちふむ** 物事に迷う 失敗する 間抜けた失敗をする どじを踏む どじ どじぐじの下略 古くは、どちとも表記 間抜けた失敗をする事、人。失策 へま どじぐじ はっきりしないさま 筋の通らないさま【会話】 ドチフム言うて。失敗する事を ドヂフンダとか、行こか（行こうか）行かまいか（行くまいか）ドヂフンドンネ（踏んでいるのだ）言うやんかい（言います）。迷う事を ドチフンドル（踏んでいる）。行

こかいなあ（行こうか）やめとこかいなあ（やめておこうか）思うと ドチフンデ。迷う言う事と 失敗する言う事と。

**とちやがる** 1) 有頂天になる とちあがる とち 接頭 名詞 動詞について、その物が愚かである ふざけたさまである意を表す 2) 急いでいる（志（布施田））3) 驚く、飛び上がる（志（甲賀））【会話】 2) 今日は あや（彼は）来たけど 用事な（が）あんのかして（あるのか）がいな（大変）いきいいで（勢いで）トチヤガッテタレ（ていった）言うて。急いで早よいた（早く行った）言う事を、トチヤガッテタ（ていった）言うて。3) そして びっくりした言う事も トチヤガル言うて。1) うれして（嬉しくて）舞い上がる 有頂天やない（だ）トチヤガル言うて。

**とちやげる** 急ぐ 驚く あわてる

**とちよお（とちよう、とちやう）【名詞】** 慢幕帳の形、マス（斗）を覆いたる故に言う（大言海）【会話】 ほとくさん（佛壇）え、盆に掛けんの（るのを）カアテンみたよなの（ようなのを）トチョオ言うの（のです）。きれ（布）で して有るやんない（でしょう）、ふたあつん（二つに）分かれて さがらかしといて（吊しておいて）。あらきたいの（派手な模様）すると おおた トチョオみたよな（のような）きもん（着物）着て言うて よお言うやんかい（よく言います）。トチョオはなあ 派手なの（のを）するもんで（ので）、いや（あれ）トチョオみたよな きもん着とんない（着物着ている）言うて。トチョオは盆だけよりしやへんな（しません）。盆 三ヶ日するだけでなあ、つねは（いつも）しやせん（しません）。佛さん飾る時に 幕みたよおに（のように）して 下は きんだんどんす（金襴緞子）して、それい（へ）莫蔭 敷いてなあ 灰こぼしたり ひい（火）こぼしても ええよおん（よいように）。

**とちらかしてた。とちらかしてたない。とちらかしてたれ** 走って行った だんだん参照

**どちらさん** どなた 相手に名前を尋ねる時（度）

**とちりつぶす** 目茶苦茶に言う ぼろくそに言う

**とちる** 1) 走る 幼児語 2) 失敗する

**どちんば【名詞】** 歩行の不自由な人を言う語

**とつ** 一つ（志（片田、布施田））【会話】 一つ言うの トツ言うてなあ。かんじよすんのん（計算するのに）、トツ たあつ（二つ）言うてなあ、ふたあつ（二つ）言わんと（言わずに）たつや（二つだ）言うてなあ、トツ、たつ、みつ（三つ）言うて。

どづいたる 撲ってやる

どづいたれ 撲ってやれ

どづいて 撲って

とつおいつ【副詞】 1) その内に 間もなく 2) 最後  
あっちするか こっちするか [会話] 2) 医者 行く  
てや (と言えば) トツオイツやなけな (でなければ)  
行かせんやんかい (行かないで有りませんか)。

どっか(何処) 何処か 不定の所をさす(桑市、鈴市、  
安、伊、北、南) [会話] ドッカい (へ) 行て来た。  
ドッカい (に) 行くのかして (行くのか)、まあ あ  
や(彼は) じっぱな (立派な) ふうしとられ (格好し  
ている) 言うたりな。ドッカい (へ) 言う人な (が)  
あんのなあ (有るのです)。

どっか【副詞】 多量の物を示す [会話] ドッカリも  
ろたよお (貰った) とか、どっさり言うたりなあ。  
よけ (沢山) の事をなあ ドッカリもろたよお 言う  
人も有る。

とっかかり(取掛)【名詞】 最初 手始め とりかか  
りの変化した語 [会話] 手始め その仕事の ちょ  
っかかり (し始め) をなあ (です) トッカカリ。

とっかけ(取掛)【名詞】 物事などをする始め [会  
話] トッカケ言うて、物 始めん (る) のも、とり  
はじめ 言うよおな意味やろなあ (でしょう)。

どっから 何処から(志、鈴郡、鈴市、伊) [会話] ド  
ッカラ来たんど (のですか) 言うたや (言ったら)、  
おら (俺は) 奈良から来たてやら (とか)、奈良から、  
おおた (ああ) 遠いところ (所) から来たんなあ (ので  
すね) 言うて、何処から来たの (のですか) 言う事な  
あ。ドッカラ 来たんとい (のですか) 言うて。

どっかり【副詞】 1) 一度に沢山 一度にどっと 重い  
物を置くさま どっさり 重い物が落ちる様 数や量  
が多いさま 沢山 どっと 人や物が急に多く押し寄  
せるさま (志(布施田)) 2) 重々しく座るさま  
3) 腹の膨れるさま [会話] 2) ドッカリ言うな (言  
うのは) ドッカリ座る言うのも有るし、1) ドッカリも  
ろた (貰った) 言う時もあるなあ (有ります)。ドッ  
カリ 持て (持って) 来てくれて、どっさりも ドッ  
カリも よお似とんね (よく似ているのです) 一緒の  
事やろなあ (でしょう)。なんやかや (何や彼や) よ  
けもろたり (沢山貰ったり) あったりすると こやま  
あ (これは) ドッカリやなあ (だ) 言うて、どっさり  
と 一緒やてや (です)。物の量な (が) 多い言う事  
やなあ (です) なんやかや よけ (沢山) 有ると。座  
つとる (ている) 時も どんと座つとると (ている

と) ドッカリ座り込んだ言うて、えらっそぶって (偉  
ぶって) 座つとんのおを (ているのを) ドッカリ座り  
込んで あや (あれは) 言うて。

どづかれた 強く撲られた [会話] どづきまくったた  
てやら (てやったとか)、ドヅカレタ。叩かれる事を  
ドヅカレタ。ごおなわいて (腹が立って) 背中どづい  
たたや (てやったら)、おら (俺は) ドヅカレタ言う  
てな、ちょいとすんのは (少しするのは) 撲られた言  
うんけどな (のだが) 物凄いや叩かれるとな、ドヅカレ  
タ言うの (のです)。

どづかれる 撲られる

とつき(十月)【名詞】 妊娠十カ月 臨月 [会話] と  
おつき (十ヶ月) 言うのを、十ヶ月言うのをな、トツ  
キ とおか (十日) 言うやんかい (言います)。トツ  
キとおかの みもち (妊娠) で言うてなあ。トツキと  
おかも 腹ん (の) 中ん (に) おって来たねもんなあ  
(来たのだから) 言うんなあ (言うのです)。

どづきころしたろん 叩き殺してやるぞ。どばされる参  
照

どづきころす 叩き殺す

どづきすえる(突据)【他ワ下】 何回も何回も殴る

どづきたおす(どづきたふす)(突倒)【他サ五】 殴り  
倒す [会話] どづく言うのをなあ、ドヅキタオシタ  
ロン (倒してやる) だれ (どれ) 言う時も有るし。ど  
づきまくったろん (まくってやる) 言う時も有るし、  
どづきすえたらん (てやろう) 言うて 叩く事を。

どづきまあす(どづきまわす、どづきまはす)(突回)  
【他サ五】 何回も何回も殴る

どづきやい【名詞】 叩き合い 撲り合いの喧嘩 [会話]  
喧嘩すること、口争い、喧嘩する、ドヅキヤイもする。  
大喧嘩しとる言うやんかい (している言うで有りませ  
んか) ドヅキヤイしとると (していると)。

とつく(疾)【名詞】 ずっと以前 [会話] トックに  
行て来たれ (来ました) とか、トックに 済んだれと  
か言うてな まあ はよ (早く) 済んだ言う事をなあ、  
今までせんとおろかれ (せずに居ません) トックん  
(に) したれ (しました) 言うてな、トックん言うね  
(言うのです)。その時の 話の都合によって トッ  
クんしたれまあ (しました) 言うて 早く ずうっと  
前に したれ、しといたれ (しておきました) 言う事  
をなあ トックに。

どづく(突)【他カ五】 打つ 叩く 殴る ど突く 激  
しく殴る どは強調の接頭語(志(布施田、御座、浜  
島、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、

鳥（鳥羽、加茂）、桑市、員、三、鈴市、安、津、一、松、多、上、阿、張、名、度、伊、北、尾）[会話]  
どぐらす（殴る）、ドツク、殴る、殴られた。力入れて  
殴ると、どづかれたてやら（とか）、どぐらされ  
たてやら、どやされた（殴られた）どぐらされた言う  
ね（言うのです）。殴られても どやされた、どされ  
たとも言うし、仰々し（仰々しい）言い方や（です）。  
叩くのおやけど（のだが）それを 大仰しな（しく）  
どづいたとか どぐらしたとか。

**とつくに** ずっと以前に トクに（疾）の音便（大言海）  
とつく参照（上、阿）

**とつくら**【副詞】よくよく 充分に とくと（志（浜島））

**とつくり**【副詞】よくよく 充分に 念を入れて とくと  
篤くと じっくり（志（片田）、鳥、桑市、三、松、多）[会話]  
トックリ日な（が）暮れたてやら（とか）、トックリ 話す暇も無いし言うて。トックリ  
休んで いこ（行こう）おもたや（思ったら）忙し  
て（忙しくて）休んどる（休んでいる）暇も なかった。  
充分に 念を入れて 話したかったのん（のに）、トックリと  
話したかったのん言うて。トックリ 話もしたかったんけど  
（したかったけれど）そわそわとしとて（していて）言うて。  
トックリと 話しよおやんかい（しましよう）言うて。トックリと  
休んでこや（行きましよう）言うて。

**とつくり**（徳利）**とくり**【名詞】酒、醤油、酢などを入れる容器  
一般に口が細く胴の膨らんだ背の高い形をしている  
かんどつくり おみきどつくり とくりの音便（大言海）（志（浜島）、桑市、三、員、鈴郡、鈴市、一、松、多、上、阿、張、名、度、伊、尾）[会話]  
一升ドックリ、瓶の事を トックリ。今しや（今は）一升瓶言うけど  
昔や（は）一升ドックリ言うて 皆 トックリ言よおった（言っていました）  
瓶の事を。備前ドックリみたよな顔しとんな（しているなあ）  
言うて、なかびく（中低く）の人見ると、真ん中 掴んで  
焼きもん（物の）ののおな（のが）あるやんない（でしょう）。  
あれを 備前ドックリ言うやんない。そすと（そうすると）  
器量のわり（悪い）人見ると 備前ドックリみたよな顔しとんね  
（しているのだ）言うて。一升ドックリ言うな（言うのは）  
赤垣源蔵な（が）トックリの別れ。昔や（は）瓶や（と）  
言わんと（言わずに）皆 トックリや（です）。ガラス瓶でも  
昔や（は）皆 トックリ言よおった（言っていました）。  
瓶や言うな（と言うのは）よけ

言わんと（あまり言わずに）そや（それ）とらだ（戸棚）の  
トックリ 振って見よ まだ有るか まあね えかあ（もう無いか）、  
なけな（無ければ）こなかで 買おて（買って）来い言うて。  
こなかへそくりの事 隠しとるぜん（隠している銭）を  
隠した内緒のぜん（銭）を こなか。

**とつくりあし**【名詞】足首の細くなって居る足 [会話]  
トックリアシ言うな（のは）足首な（が）ほっそおて  
な（細くて）膨み（が）有つてな。

**とつくりしまいや** 全くだめだ とつくりわや参照（志（布施田））

**とつくりと**【副詞】充分に 念を入れて とつくり参照（安）[会話]  
たまたま 来たのにおに（のに）トックリト 遊んでけ（行きなさい）。

**とつくりわや** 全くだめ [会話] トックリワヤやなあ（だ）  
言うて。そこら 汚しとたり（ていたり）、だっぴん（に）  
しとたり すると、トックリワヤん（に）おおたれ（逢った）  
言うて。トックリシマイやれ（だ）そんで（それで）とか。  
だっぴ言うな（言うのは）汚れとる（汚れている）事な（を）、  
だっぴん（に）した言うの。そこら 水まけて（ひっくり返して）  
だっぴやれ（だ）言うて 水まけて 散らばつ  
とんのおを（散らばっているのを）だっぴ。とつくり  
やつからかえして（ひっくり返して）だっぴやれ（だ）  
言うて、水浸しなつとる（になっている）言う事を、  
だっぴ。雨に濡れて だっぴん（に）なって。

**とつくん**（疾）とつくに ずっと以前に すでに

**とつけ**【副詞】途方（上）[会話] トツケも無い程 早起  
きしてまあ言うてな。トツケも無いよおな おりん（時に）  
来てなあ言うてな。時はずれん来となあ 早かったり  
遅かったりするとなあ、トツケもないおりん 来て  
言うて。途方も無い 言う事な（です）。途方も無い程  
はよ（早く）来たり、おっそく（遅く）来たりして言うて。

**どつけ**（どくけ）【毒気】【名詞】毒を含んだ気 梅毒  
[会話] ドツケに 当てられて言うて。なんやら（なにか）  
ドツケな（が）有つたんかして（のか）当てられて  
言うの（のを）、ドツケん（に）当てられて、吐いたり  
下したりすんのを（するのを）。

**とつけぎ**（唐付木）【名詞】マッチ つけぎ参照 [会話]  
トツケギや言うの マッチの事を、トツケギもて（持って）  
来い言うて。そして つけぎ 言うのは 煙硝な（が）  
そおぎ（薄い板）、うっすう（うすく）したの  
おい（のに）付いとんのな（あ）（ているので）

す)。マッチの事をなあ、トツケギや(だ)言うて。  
トツケギで つけな(なければ) ひい(火) な(が) 無いわれ(無い) 言うてな、ひい(火) な(が) 有ると そのひい え つけぎで つけといて(つけておいて) すんねけど(するのだが)、火の気な(が) 無いと マッチで つけな(なければ) こや(これは) 火の気な(が) 無いわれ(です) 言うて。

**どっけし**(どくけし)【**毒消**】**【名詞】** 中毒の作用を治す薬。毒消し。[会話] こや(これは) ドッケシやどお(だ) 言うて、ちゃあ(茶) の 濃いのおをなあ(のを) なんやかやい(なにかに) 当てられると どろごおい(非常に濃い) ちゃあ をなあ どっけちや や(だ) 言うてなあ、むなぐるし(胸苦しい) とか 吐き気な(が) する時ん(に) どっけちや 飲ましたれ(てやれ) 言うてなあ ちゃあ の どろごおい のを飲ますと、ドッケシや(だ) 言うて。

**どっけちや**【**名詞**】 食中毒の時などに飲ます濃いお茶 毒消し茶 どけちや、どっけし参照

**とっけもない**【**形容詞**】 途方も無い 思いもよらない(志、鳥(鳥羽)、阿、張、名) [会話] 朝 トッケモナイ 早よ(早く) 起きて言うて、早よ 起きたとか、早よ 寝た、トッケモナシん(に) 早よ 寝たん なあ(寝たのだなあ) とやら、トッケモナイ 言うの(のです)。早いとさいご(その時) とちけもないほど 早よ 起きたとか、トッケモナイ おっきい(大きい) とか そげな(そんな) 時も 言うわい(言います)。

**どっこ**【**代名詞**】 何処(志、桑市、鈴郡、鈴市、阿、伊)

**どっこい** 何処へ

**どっこいしょ**【**感動詞**】 力を入れる時の掛声。もう少しで出来る。

**どっこいどっこい**【**形容詞**】 同じ位で 優劣のつけがたいさま 伯仲しているさま とんとん どっこいの量語(広辞苑) [会話] あやまあ(彼は) あれと(彼と) ドッコイドッコイやれ(だ)。うなし(同じ) 事や(だ) 言うのを、ドッコイドッコイ。あれもあれも たいがいい(大体) よお(よく) 似たよおな(だ) まあ ちよいとちよいと(同じ) やれ(だ) 言うて、もやし な(が) 足らん(足りない) あんごし(あほ) のおを(のを)、あや(あれ) あれも(彼も) ちよいとちよいとやなあ(だ) とか ドッコイドッコイやなあ(だ) とか言うのと、一緒にの事やなあ(です)。ちよいとちよいとやれ(だ) とか ドッコイドッコイ言う

な(言うのは) 皆 一緒にの言葉や。

**どっこも** 何処も(度、南、熊) [会話] 何処も 言うのを ドッコモ、ドッコモ あいとらせんわれ(あいていません) 朝 早いので 皆 戸締めやれ(だ) 言うて。何処い(へ) いたててなあ(行っても) あいとろかれ(あいていません)、ドッコモ あいとろかれ 言うのなあ(のです)。ドッコモ 呉れやせんわれ(呉れません) 行たけど(行ったが) 言うてなあ。なんも(全く) 呉れやへんとなあ(ないと) どっからもなんも くれやへん(呉れない) 言うて

**どっこやかや** あちらこちら。方々。

**とっさき**(突先)【**名詞**】 先端 [会話] トッサキ言う な(言うのは) 尖つとる(尖っている) とこ(所) を トッサキや(です)。棒のトッサキやとか(だとか)、島のトッサキ、岩でも尖つとる(ている) とこ(所) を トッサキや(だ) 言うて。尖ったとこ(所) を 先つぽ(先端) を トッサキや(です)。一番先の方を トッサキや 言うて。 岩でも、きい(木) の先でも、先つぽん(に) なつとると(なっていると)、さわ(竿) の とっばしやとか(だとか) とっばな やとか 言うて。

**どっさり**【**副詞**】 1) 沢山 重い物の落ちる音から重い物、沢山と転じた。(志(布施田)、鳥(相差 鳥羽)) 2) 賭博の一種 名詞(志(布施田)) [会話] 1) ドッサリ言う な(言うのは)、ドッサリ もろた(もらった)、ドッサリ くれたとか言う の(のです)。ドッサリ、大層よけ(沢山) の事を ドッサリ。

**どっしゃくない** 非常に大きい(志、鳥)

**どっすらかい** 大きい どすらかい 参照(志) [会話] ドッスラカイ とか、どすらかい たら(とか)、どてっかい 言うやんかい(言います)。どてかい(大きい) とか どいらい(大きい) とか、どてっかい 言う時もあるし、どす(大きい) やれ(だ) 言う時も 有るしなあ(有ります)。

**どっすらこおて** 大きくて

**とったかみたか**(採見) のるかそるか 一か八か 取りたるか、見たるかの約訛(大言海)(志(志島、甲賀、国府)、多、阿、張、名) [会話] トツカミタカ あしこい(あそこへ) 行こか(行こうか) 言うて。ええか(いいのか) わりか(悪いのか) 判らんけど(判らないが) あしこい 行て(行つて) 見よか(見ようか)、言うて。磯か ずく時(海女に行っている時) 沖い(に) 行くか、たか(陸地に近い所) 行こか 思て(思つて) 迷う時や(は) トツカミタカ 沖い

(に) ほりだして見よ (出よう) 言うて 言よおった (言っていました)。トツカミタカ あのせえ (海底の岩場) い (へ) 行て (行つて) 見よか 言う。ええんか (いいのか) わりか (悪いのか) 判らんけど (判らないが) 言う事や<sup>な</sup>あ (です)。採れるやら採れん やか (採れないか) 判らへん (判らない) けど 行て (行つて) とや (採れば) とく、なけな (なければ) しゃあないわれ (仕方がない) 言うよおな時に、トツカミタカ。トツカミタカ あしこの せえい (に) 行て (行つて) 見てこお (こよう) 言うて。度胸する事や (です)。度胸する、決断する。沖 ほり出す 言うて だいな (沖) へ 今日 潮な (潮流が) ぬるいよつて (緩いから) ほり出して見よか 言うて。今日は 潮な (が) ぬるそおな (緩そうだ) よつて トツカミタカ 沖 向いて ほり出せ 言うて。

**とつたつ** 一つ二つ。(志、度)

**とつたて** 1) 取つてやつて。(他人に) 2) 取つてしまつて。

**とつたらんかい。とつたらんかな** (女性語)。**とつたらんかれ** 取つてやりなさい。取りなさい。[会話] トツタランカイ言うて 取つてあげなさい言うのを。

**とつたるとかない** 親子がよく似て居る。(志(布施田))

**とつたろん** 1) 取り上げてやるぞ 2) 取つてあげます [会話] 2) だれ (どれ) ちっち (虫) トツタロン 言うて、頭い (へ) 風な (が) わきおつた (わいた) 時ん (に)。

**どっちみち** (何方道) どちらにしても 結局 どのみち いずれにしても [会話] ドッチミチ やつてみやな (みなければ) 判らんなあ 言う時も 有るし。ドッチミチ 行てみよや (行つてみましょう) 言う時も 有るし。判らんと (判らないで) する事を ドッチミチ 言うて、判らせんけど (判らないが) ドッチミチ やつてみよか (みようか)。今日は ここで 会があるとすると 会があるやら 無いやら 知らんけど (知らないけれど) ドッチミチ 行てみよか 言うて。

**とつちめる** 【他マ下一】 取り締めるの転 言い逃れ出来ない所まできびしく追求したり責めたりする。相手が音を上げるまでにこらしめる [会話] とつちめられたよお 言うて 人 やり込めた 言うのを トツチメル 言うて やり込められると とつちめられて 言うて 言うんかい (言います)。

**どっちゃ** 【代名詞】 どちら どっち どの転 不定称

指示代名詞 いくつかの方向 場所などの内、一つを 指し示す (三重県全域) [会話] ドッチャ こつちや (こちら)。置いといて (ておいて) どれが いいか 言うの ドッチャが ええどい (いいですか) 言うね (言うのです)、これと これと並べといて これが ええか (いいか) 言う時に、ドッチャが ええどい 言うの。そすと (そうすると) こつちや言うて こん な (これが) 欲しひた (欲しい人) 言うし。どっちこつち 言うの、ドッチャ こつちや。こちらが ええ わい (いいです) とか あちらな (が) ええわい とか 言うのを、こつちやな ええ (いい) あつちや な (が) ええ、言うね。こちら言うのを こつちや、あちら言うのを あつちや言うね (言うのです)。西や (は) ドッチャ 言うて 東や (は) ドッチャ 言うて、にしゃどつち (糞虫) な (が) 有つて、にしゃどつち言うと きりきりと 巻いといて (巻いておいて) 又 こつち向いて来ると にしゃどつち言うて。わけ (分別) の判らんのおを (判らないのを) にしゃドッチャ言うて、けんと (見当) な (が) 判らん (判らない) 事言うと にしゃドッチャ言うて。

**どつちやつかず** どちらにもつかない 二股軟膏 優柔不断 [会話] ドッチャツカズ。あんたんも (貴方にも) つかず、ほかのもん (者) にもつかず おら (俺は) まあ ドッチャツカズや (だ) 言うて。そすとな あ (すると) あつちやい (あちらへ) 付き こつちやい (こちらへ) ひつつきすると あや (彼は) あつちやい 付き こつちやい ひつつき 内股軟膏で、じよおほい (両方に) ええよん (よいように) 言うて、まいすこいて (おべつか使つて) 言うしなあ。おらまあ ドッチャツカズで ちゅうとぶらぶら (中途半端) や (だ)、宙ぶらりんや (だ) 言うて。

**どつちやべた** 【代名詞】 どちら側 (北)

**どつちやみち** 【副詞】 どっちみち いずれにしても どつちみちに同じ (上、阿) [会話] ドッチャミチ こ やまあ (これは) はざんよん (駄目に) なつてくねや れ (行くのだ)、ドッチャミチ うちゃれてくねや れ (壊れてしまうのだ) 言うたりなあ どおせ 言うのを。

**どつちやむき** どちらむき どの方向 [会話] 寝ると さいご (その時)、ドッチャムキン (に) 寝んねどい (寝るのですか) 言うて。

**どつちやも** どちらも。双方共。(一、松、南)

**どつちやんせ。どつちやんせえ** どちらにしても 右しても左しても あまり変化の無い事 [会話] 一緒の

事やれ(です)、そやまあ(それは)ドッチヤンセエ、まあ はざんねやれ(駄目なのだ)言う事をなあ。

とっちんかつちん。どっちんかつちん 食い違う事(阿、張) [会話] ドッチンカッチン しとられ(している)言うて、揃わせん(揃わない)事。かたちん 上と下と なつとんのなあ(なっているのを)ドッチンカッチン やんかあ(だ)言うて。裏と表と なつとても(なっているても)ドッチンカッチン やんかあ言うて、揃わん(揃わない)事 ドッチンカッチン。

とっつかめる(取掴)【他ア下一】掴まえる 捕まえるを強めて言う語

とっつきなわり 最初の出会の時、話しがしがたい。(志(布施田))

とって 取って下さい [会話] 此れ トッテ 言うののな(お前が) 取らんかれだ(取りなさい)、そいな(そんな) ねきん(近くに) あんのん(有るのに)言うてな。 そいな ねきん 有るもん(物) 取ってくれ 言うて 人 かねがんでて(頼まなくても) わがと(自分が) 取らんかれ(取りなさい) 言うてなあ。取って下さい 言うのを トッテくれまあ(下さい) 言うて そんだけのもん(それだけの物) ちよいと(少し) てえ(手) 伸ばしや(せば) ええんやれ(よいのだ) 言うてなあ、そすと(すると) さいご(その時) 中間に おると(居ると) それ 取つたらんかい(取ってやりなさい) 言うて、取ってあげなさい 言うのをな。其処ん(に) あんの(有るのを) 取れえまあ(取りなさい) 言うたり トッテおこせまあ(よこせ) 言うてなあ、くれまあ(下さい) 言わんと(言わずに) おこせまあ(よこせ) 言うて。それ トッテくれまあ 言や(言えば) ええんけど(よいのだが) それ トッテおこせまあ 言うてな。

とって【名詞】 1) 容器についていて、手に持つ所。つまみ 2) 戸、障子の手を掛ける所 [会話] 1) 耳鍋 トッテな(が) ついとんのおを(付いているのを) じよおほお(両方)で持つ

とって すぐ序に、その時すぐ(志(布施田))

とってえ 取って下さい

とっておき【名詞】 大切な物 [会話] トッテオキ 言うて、大事のもん(物) なあ(です)。とつとき 言うて、こや(これは) とつときのもん(物) や(だ) 言うのなあ(です)。皿でも 茶碗でも 一番大事ん(の) のを、大事ん(に) せえよお(しなさい)、そや(それは) 家のとつときのもん(物) やよってん(だから) 言うてなあ。トッテオキ 言うひた

(人は) てえねん(丁寧)になあ トッテオキの もんやれ(物だ) 言うて。

とってつけたよおな。とってつけたよおん 1) その場に不似合な事を言う 又 行う(志(布施田)) 2) よく似ている。[会話] 1) トッテツケタヨオナなあ(だなあ) 言うて、際立つとる(ている)事を 言うんやかな(言うのでしょうか)。トッテツケタなんやら(何か) ちよいと(少し) にやわん(似合わない)よおな事 言うんやろ(言うのでしょうか)。ぴちゃつと なつとらへん(なっていない)事を。なんか(何か) ひつつけたような、きちんと なつとらへん(なっていない) だんち(段違い) みたいに しとると(していると) トッテツケタヨオナなあ 言うて。うまい事 出来とらへん(出来てない) にやわん事 しとると(していると) 言うね(言います)。

どってらかい【形容詞】 大きい [会話] おっきい(大きい) もん(物) を おおた こや(これは) ドッテラカイもん(物) やなあ(だ) 言うて。

どってらこい 大きい(鳥、度)

とつと【名詞】 1) 魚(津) 2) 鶏(志(布施田)、尾)を言う幼児語 [会話] 2) 鶏をなあ トットや(と) 言うねやんかい(言うのです)。トットばあやん(婆さん) 言うて、とり こおとや(飼って) おつたもんでなあ(居たので)、ちっさい(小さい)子らな(が) 皆 トットばあやん 言よおつた(言って居た) もんで(ので)、大人でも あの トットばあやんな(が) 言うて 言うね(言うのです)。とり こおとると(飼っていると) トット、トット トット 言うて よお(よく) 呼びおつたんでや(呼んで居たのです) 餌やりん(与えに) 行くのんなあ(のに) そやもんで(それで) トットな(が) おられ(居る) 言うて 鶏の事を。

とつと【副詞】 早く。疾く(阿)

どつと【副詞】 1) 量の多いさま、沢山(三) 2) 勢いの激しい様

とつとき(取置)【名詞】 取って置き とつておきの転、参照 いざと言う時のために大切にしまって置く事 又、そのようにしまって置いた物(志(浜島、国府、甲賀、布施田)、鳥(加茂、桃取)、上、阿、張、名、尾、南) [会話] トットキ言うな(言うのは) 一番大事なもん(物) を トットキのもん(物) や 言うて。一番大切なもんを トットキ。トットキを出して来たれ(来た) 言うて、着物でも 一番ええの(よいのを) トットキの きもんや(着物だ) 言うて なんで

も。きもんは いっちょろ（一張羅）で、一番 ええ（いい）のを、トットキの着物で 物は一番、大事の のおを（のを）こや（これは）おんな（俺の）トットキののおやどお（のだ・物だ）言うて おんな（俺の）宝もん（物）を 言うて。

**ととく（取置）【他カ五】** 取って置く 取り置く し  
まっておく トリオク（取置）の音便訛（大言海）  
（張、熊、阿、南）[会話] 取って置く 言う事やか  
なあ（でしょうか）。取っておく 言うのを トット  
ク 言うねやろなあ（言うのでしょうか）。

**ととけ** 1) 取っておけ 2) しまっておけ [会話]  
2) それ トットケ。しもとけ（しまっておけ）言うの  
を、トットケまあ 言うて。1) のお（お前）な（が）  
こや（これは）トットケ言うて、しもとけ や（で）  
なしん（なくて）わが（自分の）もん（物）に しと  
け 言うの お前の 当りん（に）しとけ（してお  
け）言うのをな お前な（が）トットケ 言うの（の  
です）。

**ととこ** 1) 取っておこう 2) しまっておこう  
[会話] 1) トットコ 言うて、わがとだ（自分が）お  
ら（俺は）此れ トットコ 言うて、2) そして しま  
とこ（しまっておこう）言うのも トットコ 言う  
の（のです）。押入れえ トットコ 言うてなあ、押  
入れえ しもとこん（しまっておこうに）言う人も  
有るけどな（けれども）、押入れえ ととけまあ  
（しまっておけ、其処らい（へ）ほりさんぼん（放  
りはなしに）せんと（せずに）言うてなあ、片付けた  
れ（てやれ）言う事でもなあ 其処らん（に）一杯し  
て有ると そやれまあ とととかんかれ（しまってお  
きなさい）言うてな えごと（完全に）しもとけ（し  
まっておけ）言うのをなあ。

**どっとしやせん。どっとせん** 感心しない。（員）[会  
話] あんまり（あまり）感心しやせん（しない）言  
う事なあ（です）ドットセン、にげ（人間）でも ち  
よいと（少し）八分（馬鹿）ななあ（なのは）あや  
（彼は）まあ いこお ドットセン人やなあ（だ）言  
うし、物でも ちよつと（少し）間に合わんよおなの  
おはなあ（のは）、なんでもなあ（何でも）わりもん  
（悪るい物）はなあ こや（これは）いこお ドット  
センけどなあ（が）言うて あんまり（あまり）ええ  
（よい）もんや（物で）無い 言うのを いこお ド  
ットセンなあ こやまあ（これは）言うてなあ。

**ととと【副詞】** 疾く 疾くの転 早く 急いで（桑  
市、熊）[会話] トットト出てけ（出て行け）とか

言うて。男の人ら（達）が 喧嘩すると トットト出  
てけ、出てうしやがれ（失せろ）言うて。さっさと行  
け 言う事を、トットト行け。喧嘩したら トットト  
出てうしやがれ 言うて、どっから（何処から）行く  
や（行くのか）言うたら、表から 行こてや はざん  
（行こうと言えば駄目だ）裏から、行こてや はざん  
言うて、行くとこ（所）な（が）なけな（無ければ）  
おれ（居ろ）言うて、戻したねえねけど（無いのだ  
が）言葉のあやに 出で失せ言うたや（言ったら）、  
どっから 行くねどい（行くのですか）言うたや（言  
ったら）、行くとこ（所）なかったら おれ（居ろ）  
言うて。

**とっぱし【名詞】** 突端 突き出た端 はじっこ と、は  
接頭語 [会話] トッパシ言うのは 端っこ（隅）。  
一番端の事 トッパシ言うし、とっぱなも 一緒やな  
あ（です）。トッパシ言うのは 平均な（平な）とこ  
（所）の端でも トッパシ言うけど、とっぱな 一番  
たっかい（高い）とこ（所）言うやんかい（言いま  
す）。

**とっぱずれ（とっぱづれ）【名詞】** ずつと隅の方。一番  
先端。（員）

**とっぱな【名詞】** 1) とっぱしに同じ（志（布施田、  
鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗）、鳥）  
2) 物事の最初

**とっぷり。どっぷり【副詞】** 十分に 完全に [会話]  
トップリ 日な（が）暮れる迄 かかったよお（かか  
りました）言うやんかい（言います）日な（が）ずん  
ぶり（すっかり）暮れた言うのを、トップリ 日な  
（が）暮れる迄 かかった。まあ 今日は じっきん  
（すぐに）きめたらん（終ってやろう）おもたや（思  
ったら）言うてなあ。日な（が）ずんぶり 暮れた  
言うてなあ、同じ事を トップリ 暮れた 言うのと  
な、ずんぶり 暮れた 言う人も 有るしなあ 真つ  
暗がり迄 かかった 言う人も有るし、日暮れをなあ  
トップリも 一緒やけどなあ（だが）、日な（が）ド  
ップリ暮れた 言うて。完全に 言うんか 十分に  
真つ暗がりりん（に）なって、日が ほんどん（本当  
に）なんも（少しも）無いよん（ように）なる迄なあ  
日没ん（に）なって くらごお（暗く）なつてくと  
（て行くと）日没迄かかったよお 言うやんない（言  
うでしょう）。

**とっぺ【名詞】** 1) 大きな船（志、鳥）2) 鯉船 [会  
話] トッペン 一杯も 言うてなあ トッペン 一  
杯も 豆の粕な（が）有っても 皆 入れこんでたよ

お(でいった)言よおったもんなあ(言っていました)  
た)<sup>1)</sup> 鶴方から はご(豆殻 替えん(に) 来ると。  
どいらい(大きい) だんべ(舟)を トッペ や  
(だ) 言うんなあ(言います)、大きな舟を トッペ  
で 積んで来たね(のだ) 言うて 割木やどけも(な  
ども)、大きい舟い(へ) 積んで来ると トッペン  
(に) 一杯 積んで 来とられ(来ている) 浦い  
(へ) 行くと 言うて、トッペン 一杯も積んで来て  
言うてなあ、きい(木) や(とか)、炭や(とか) 言  
うてなあ、トッペン(に) 一杯っ 積んで来て 浦い  
つけて、そすとなあ われや人や(我勝ちに) 言うて  
買いい(に) 行くねてや(行くのです)、替え事 す  
る人らも 有るしなあ。だいこ(大根)と 替えてく  
れ(下さい) とかな、こやし(肥料)と 替えてくれ  
(下さい) とか 言うて 替え事する人らも 有るし。  
ぜん(銭)で 売ったり こおたり(買ったり)する  
人も有るし、そして トッペで積んで来といて(来て  
おいて) うよ おったの(売って居たのです)。

とっぺさき【名詞】 先端(南、熊) [会話] おもて(舳  
先)の事を 言うんやろなあ(言うのでしょう)。ト  
ッペサキい(へ) 迄 積んで来た言うんよってなあ  
(言うのだから)。トッペサキい(へ) 乗とたら  
(ていたら) 危ないど 言うてなあ 子供らな(が)  
おもて(船首)の先 行たり来たりするやんない(で  
しょう)、そいな(そんな) トッペサキい(へ) 乗っ  
たら 危ないどお(ぞ) 言うて 一番先 とっばしを  
なあ。

どづらにくい 大変気に食わない 憎らしい [会話]  
面な(が) 憎い、どづらも 見たねえわ(見たくな  
い) 言うて。よお憎たらし(よく憎らしい) 時ん  
(に) 言うなあ(言います)。ものすごい(ものすご  
く) 腹な(が) 立った時ん(に) 使う言葉やなあ(で  
す)。憎さも 憎さな(が) 余った言い方や(です)。  
そいな(そんな) 時ん(に) ドヅラナ(が) ニクイ言  
うて。

どつんば【名詞】 耳の聞こえない人

とて 取って トテきた。トテく。トテこい参照(志、  
鈴市、阿、度、伊、北)

…とて ていて 文末に有って、言い切りの形を作る。  
(桑市) [会話] まあ あの子な(が) あしこん(あ  
すこの) とこ(所)で 泣いトテ言うてなあ、泣いて  
ごねトテなあ(だだこねて) 言うてな、ごねトテなあ  
(駄々こねて) 言うて 後でトテ言うのなあ。トテ言  
うは しておって しておりました言うのを シトテ

言うて 泣いていました言うのを 泣いトテなれ言う  
て。

どて(土手)【名詞】 1) 土地の傾斜地(北) 2) 恥丘  
[会話] <sup>1)</sup> ドテ。畑のドテ、たあ(田)のドテ、山の  
腹(傾斜面)の事を ドテや(だ) 言うなあ(言いま  
す)。畑の足(斜めになって支えている) ん(に) な  
つとるとこ(なっている所) たっこお(高く) 積んで  
有るとこ(所) ドテから ぞれおりて(すべり落ち  
て) 言うて。<sup>2)</sup> おなご(女)のもん(物)もドテや  
(と) 言うやんかい(言います)。上を てっこ(恥  
丘) やたら(だとか) ドテ やたら(とか)。ドテな  
(が) たっかい(高い) 言うて 夏ん(に) なって来  
ると 寝とて(寝ていて) 撫でると ドテな(が) 腹  
より たっかいね(高いのだ) 言うやんかい(言いま  
す)。ドテの方な(が) たっかいんよお(高いので  
す) 瘦せて 言うて。てっこおや(と) 言うて、昔や  
(は) てっこお おしゃもりや(だ) てっこお 盛っ  
とる(盛り上がっている) 言うて、もつとると(盛り  
上っていると) てっこおや(だ) 言うて。てっこお言  
うな(言うのは) 上で割れとらせん(割れていない)  
とこ(所) やし(です)、両側 あや(あれば) こ  
べり 言うの(のです)。割れとる(割れている) と  
か(所は) こべり。上ん(に) もこつと しとるとこ  
(している所) ドテなあ(です) ドテとか てっこお  
とか。

…どて…でいて(志) [会話] とても、ドテも、一緒。  
あしこい(あすこに) 行くと よけ(沢山) なるドテ  
(並らんで) 言うて、よおけ(沢山) 並んどると(で  
いると) よっけ(沢山) なるドテ 言うて 並らんで  
居ます 言うのを

どてかい。どてかい【形容詞】 大変大きい 特大 で  
かい 大きい でっかい どてかい どは接頭語 非  
常に大きい。並外れてでかい どってかい どっすら  
かい(志(浜島、布施田)、度、鳥(鳥羽)、北、南)  
[会話] ドテカイ、どっすらかい、どってらかい、一  
緒や(です) ドテカイ言うのも 皆 一緒やけど(だ  
が)、どっすらかい言うて 力入れて あんまり(大  
変) おっきい(大きい) のおを(のを) 言うんやろな  
あ(言うのでしょう)。ドテカイ言う と 別んも(特  
に) おっきい よおななあ(ようです)。

どてかな 取って行かなければ

どてかぼちゃ【名詞】 1) 大きな南瓜(上、阿) 2) 不  
美人 女性をののしって言う語 [会話] <sup>1)</sup> 南瓜の土  
手い(に) さがるのな(のが) 白みたよおな(よう

な) のな (のが) 有りおったわい (有りました)。土手い (に) さがるもんで (ので) ドテカボチャ言うて、そして おっきい (大きい) のおおでも (のでも) 言うんやろなあ (言うのでしょう)。どでかい (大きい) ねよって (のだから)。<sup>2)</sup> 顔な (が) おっきいて (大きくて) 器量 (顔付き) な (が) わりなあ (悪いのは) ドテカボチャ みたいな (だ) 言うて。ドテカボチャ言うな (言うのは) 器量 (格好) な (が) わり (悪い) やんな (でしよう)。こげんも (こんなにも) おっきいなんね (大きくなるのです)。三貫も四貫も一つで あん のな (有るのが) あんねてや (有るのです)。今し (今) は 切って 置いとくと (ておくと) わりもんで (悪いので) 南京南瓜言うの くら (一度) か ふたくら (二度) ん (に) 食うの (のを) 作んね (作るのです)。昔や (は) 飯ん (に) 炊くもんで (ので) おっきいの (大きいのです)。かぼちゃめし言うて 三升鍋ん (に) 一杯つ (ずつ) 炊くねよって (炊くのだから)、そいな (そんな) どいらい (大きい) 南瓜は 一つでええの (よいのです)、こおぜ (小人数) の家は。大勢の家は三升鍋 三升釜やわな (です)。それい (に) すんねよって こげな (こんな) 大きなやてて (でも) やんない (でしよう)。三升鍋い (に) 米 入れやせんし (入れないし) 南瓜ばっかで (ばかり) 米や (は) 盃一杯つ (ずつ) 入れといて (入れておいて) 南瓜と芋ばっか (ばかり) すんねよって (するのだから) おっきいの (大きいのを) えって (選んで) 作りおったけど (作って居ましたが)。昔や (は) 飯 炊くねもんで (ので) おっきい (大きく) なんの (なるのを) えって 作りおった (作って居ました)。味は 言わせんの (言いません)。ごお (量) な (が) しよおったの (したのを、多いのを)。今しや (今は) 味のええ (よい) ちっちゃい (小さい) のおを (のを)。<sup>2)</sup> 器量のわり (悪い) 女の人を ドテカボチャ 器量なわりと ドテカボチャ みたいななあ 言うて、今しや (今は) あげな (あんな) 器量のわり (悪い) なあ (のは) 無いけど、ほんとん (本当に) ドテカボチャ みたいな人な (が) 有りおったわい (有りました)。“親を恨むじゃ 無いけれど、なんぼ 夜なべ (夜業) の事じゃとて こんなべたふく (不器量) を これでは 惚れ手は 無いはずや (だ)”

とてかんかい。とてかんかな (女性語)。とてかんかれ 取って行きなさい

とてきた (取、採、獲) とって来た [会話] あの家

垣ん (に) 下とて (下っていて) おや (俺は) トテキタねよお (のだ) 言うてな、一杯 胡瓜な (が) 下とて (下っていて) トテキタ 言うてな。もじいて (もいで) 来た てやら (とか)、ちぎって 来たてやら。

とてく 取って行く 持って行く (志 (立神、甲賀、国府) 北) [会話] ごそと (ごっそりと) トテク。

とてくる 持ってくる 取ってくる [会話] 人のもん (物) を よけ (沢山) とてきたり、はんぶ (半分) とて来たりすんの (するの) トテクル。

とてけ 取って行け

とてこ 取って行こう

とてこい 取って来い 採って来い 持って来い [会話] 柿な (が) なととられ (なっている) もじいて (もいで) 来い、言うもん (者) も 有るし、ちぎって来い言うもんも 有るし、トテコイ 言うもんも 有る。

どてこい 【形容詞】 大きい (志 (志島)、度、鳥) [会話] おっきい (大きい) 言うのを、ドテコイ、どてっかい、どでかい 言う人も 有るし、どてっこい言うし、どすかい 言う人も有るなあ。どっすらかい言うね (言うのです) 大きなの (のを) その人ん (に) よってなあ いろいろに 言い方。

どてごし 【名詞】 土手の中程 土手の斜面の中間 土手腰 [会話] ドテゴシ 言うけど。土手の際を ドテゴシい (へ) 迄 つついて (掘って) 来て言うて さいめん (境界) せせるとなあ (取り込むと)、さいめん せせる家は 土手な (が) 積んで 有ってもなあ、土手の脚、脚言うて たれる (下る) とこ (所) を みな (皆) つついたると (掘ってやると) ドテゴシ迄 つついて来て言うてなあ。さいめん、きわ (際) 立って あんのをなあ (有るのを) 中の方い迄 おおたえれ (ああ) 思うよん (ように) して来るんなあ (来るので) ま 土手な (が) かいいてくるよん (くずれるように) してなあ 下をほぜって (掘って) 来るやんかい (来ます)。おおた ドテゴシい (に) 迄 ほぜって (掘って) 来た 言うてなあ、土手際 言う人も 有るし、ドテゴシ 言う人も有るし。一番下を つついとんねやなしん (掘っているのではなくて) そいな (そんな) とこ (所) 迄 して来ると 喧嘩な (が) 始まって 来てなあ。

とてた 取って行った、盗って行った

とてつ (途轍) 【名詞】 筋道。道理。転じて大変な

どてつ 【名詞】 呂律 [会話] 酔おて ふらふらして

うだうだ言うとんのを (言っているのを) ぐれんそおや (だ)。ぐだぐだん (に) になって、ドテツな (が) 廻らんよん (ように) 言うとんのを ぐれんそや (だ) 言う。

**どてつかい。どでつかい【形容詞】** 大きい 非常に大きい [会話] ドテツカイ 言うな (のは) よお (よく) 言うなあ (言います)。ドテツカイんなあ (のだ) 言うてなあ。なてちいてやら (とか) 言うて、ドテツカイ 言うたりなあ、べつんも (特に) おっきいよん (大きいように)。

**どてっぱら (土手っ腹)【名詞】** 腹 大きな腹 腹部を卑しめたり、罵ったりして言う語 [会話] ドテツッパラ 突き破ったんどお (てやるぞ) 言うて、喧嘩すると ドテツッパラ 突き破られた 言うて、大仰し言うて。そして 孕みど (妊婦) な (の) 腹な (が) おっきいても (大きくても) どんばらや (だ) 言うて どんばら放り出して あやれ (あれ) 言うて。

**どてつもない** 道理に合わない とんでもない とほうもない とてつ 途轍 すじみち 道理 とつけない参照 (志 (布施田)) [会話] トテツモナイ、とつけないと 同じや (です)、トテツモナイ 早よ (早く) 起きたとか トテツモナイよおな おっきいねなあ (大きいのだなあ) とか、類な (が) 無い事を言うんやろ (言うのでしょうか)。

…**どても【助詞】** て いても (志) [会話] シトテモ お前な (が) きや (来れば) 止めんならんし言うてなあ。なん (何) シトテモ お前な来たら ほっとかれやせんわい (放っておけません)、やめて 相手せな (しなければ) 言うて。トテモは していても 言うの (のです)。なん シトテモ 人な (が) くやまあ (来れば) 出来やせんわれ (出来ません) とかなあ、あんた (貴方) な (が) 来たのん (に) まあ 此れしとたてて (していても) ほっといて (放っておいて) 行くわい (行きます) 言うて、てて言う時も 有るしなあ (有ります)。

**どてら【名詞】** 丹前 テテラの転。テテラはツヅル (綴) の転訛。揮、襦袢の異稱。(志 (国府 越賀 的矢 甲賀)、鳥 (相差 国崎 坂手 答志 神島)、上、阿、南) [会話] ドテラ 着てまあ 言うて、丹前をなあ ドテラ着て まあ あやれ (あれ) 言うて。布団の中い着る あやだ (あれは) 夜着や (だ) とか、搔卷や とか 言うて、どいらい (大きい) 布団の中い (に) 着んのなあ (着るのです)。丹前の事をなあ ドテラ 言うて。綿入れの なあがい (長い) のおを

(のを) それの上い (へ) 帯する 人も有るし 着物の上い (へ) 着て。

**どてらかい。どてらこい【形容詞】** 大きい。どてらこい参照 (志 鳥 (国崎)、伊賀地方)

**どてん【名詞】** 露天 覆いの無い所 [会話] ドテン ドテン風呂や (だ) とか、ドテン芝居なあ。てんじょ (天井) 張らんと (張っていないで) すんの (するのを) ドテンや (だ) 言うてな。

**どてんみせ【名詞】** 露天商 [会話] 場代や (だ) 言うて。ドテンミセ するよん (ように) になると、みな場代な (が) 幾ら言うていんねんなあ (要るのです)、祭りん (に) になって。

**とと【名詞】** 1) 父親 (志摩市全域、鳥、桑市、津、一、度、伊、尾、南、熊) 2) 夫 亭主 (志 (浜島、布施田、片田)、鳥、度、南) [会話] 2) トト と かか (妻)。トト、と かかは 挽き物曰よ 入れて回せば こ (粉・子) な (が) 出来る 言うて。1) 昔や (は) 父さん 母さん 言わんと (言わずに) トトや (とか)、かかや 言うて。夫婦でも トトや (だ) かかや (だ) 言う。おれげ (俺家) の トトな (が) おれげ (俺家) の かかな 言うて、そして子供らでも、トト、かかあ (母) 言うて言う、家も有りおった (有りました)。

**とと【名詞】** 魚の幼児語 (志 (浜島、甲賀)、桑市、員、三、鈴市、津、一、多、上、度、伊、尾、熊) 2) 瞳孔 (志 (布施田)) [会話] 1) トト 釣って来たれ (来ました) とおやん (父さん) な (が) 言うて。トト 釣って来たよって (から) よさや こんで おつけ炊けとか、おかず (副食) 炊けとか 言うて、トトや (だ) 言うて。子供らに しや (それ) トト 食え 言うて。2) めえ (目) もなあ トトな (が) 開いたてら (とか) 言うて。めえ (目) のトト や (だ) 言うて。めえ (目) のトトの事 仏さん 言わせん (言いません) 喉の事なあ 喉仏言うけど めえ (目) は トトな (が) 開いとる (ている) とか、黒まなとか 言うて 言いおった (言っていました)。仏さんや (と) 言うな (言うのは) 喉の事を 喉仏や (と) 言うて。

**ととかかぶね【名詞】** 夫婦で沖に出る漁舟 又は、海女と夫、又は息子が同船する船 (志 (前島一帯)、鳥 (国崎 石鏡)) 夫婦で仕事する船 [会話] トトカカブネ言うな (言うのは)、夫婦で 舟で行くのを トトカカブネや (だ) 言よおった (言いました)。ふたありで (二人で) 乗って あや (あれ) トトカカブ

ネな (が) 来たれ (来た) 言うて 言よおった。夫婦で一つの舟に乗とるのを (ているのを) トトカブネ言うて 子供乗せとる (ている) 人らも 有りおったけど (あったが) おかたな (大体・殆ど) 夫婦で仕事しとんの (しているのを) トトカブネや (だ) 言うて、海女さんだけやなしん (でなくて) 帆掛け船で 運賃船やどけも (なども) 皆 とと (夫) と か (妻) と 乗とりおった (乗っていました)。他処行くと 汽船でいたり (行ったり) 来たり するやんない (でしょう)、そすと (そうすると) 皆 トトカブネな (が) はしけ (小舟) 漕んだり (漕いだり) して来よおった (来て居ました)。ここらは 海女行く人らだけより トトカブネは なかったけど今は 皆 トトカブネやんな (です)。とととかかと 子供らな (達が) 有っても じょおし (漁師) の後 継がせんもんで (継がないので) とととかかと 二人で しとんのな (しているのです)。いさぎや なんか (なにか) 釣りん (に) いとんのおも (行っているのも) 皆 トトカブネや (です)。昔みたよん (ように) どお (櫓) 漕んで (漕いで) 行くのなら 男の力な (が) えらいのおな (強いのが) 片腕ん (に) 欲しかったけど、今は 機械やよって (だから) 舟で仕事さえ すや ええんよって (すればよいのだから)、力な (が) のおても (無くても) 今しゃ (は) 網 揚げんのでも (揚げるのでも) 機械で 皆 揚げるし 唯 その手伝い すや (すれば) ええだけやよって (よいだけだから) ととと かかとで ええんやわい (よいのです)。そやよって (それだから) 他人入れや (入れれば) 分けたらな はざんけど (分け前をやらなければいけないが) 夫婦で 行きや (行けば) 皆取り (全部収入になる) で 家い (に) 入るよって (から) 今しゃ (は) 皆 トトカブネで。

**ととくさ。ととくそ【名詞】** 父親、夫を罵って言う [会話] トトクサ。くさ言うね (言うのです)。トトクサ、かか (母) くさ、ばば (婆) くさ、じじ (爺) くさ 言よおった (言っていました)。怒られた時ん (に)、腹な (が) 立ととる (立っている) 時に じじくさ ばばくさ言うて トトクサ言うて 怒られた後で 言いおった (言っていました)。くさ言うて 付ける時は 憎い時 怒られて ごおなわく (腹が立つ) 時 トトクサ あ の トトクサな (が) 言うて。

**どどぐろい【形容詞】** 大変黒い事 (北) [会話] ものすごい (大変) くろいのおを (黒いのを)、づぐろい

なあ ドドクロイなあ 言うて

**とどけ【屈】【名詞】** 1) 役場などに告げる事、又職場に出す報告書など。2) つけ届け。賄賂。

**とどけにん【名詞】** 届け出す人。届ける人。

**とどけもん【名詞】** 届物。人に届ける物。

**ととこ【名詞】** 鶏を言う幼児語。

**とどころ【自ラ五】** 滞る 先に行けない 差し障りがある とどころる [会話] トドコリなく 済んで 言うて 言うやんかい (言います)。結婚式の挨拶したりする時 トドコリ無く済んで 言うて。そやけど (しかし) トドコル 言うのは 借金な (が) たまとんのを (ていえるのを) 借金な (が) トドコル言うて。

**ととっこ【名詞】** 鶏を言う幼児語。

**ととつり【名詞】** 魚釣り

**ととなう (ととなふ)【自ワ五】** 1) 入手する事が出来る。2) 用意が出来る。[会話] <sub>1)</sub> トトノエテ来て、トトノエテ こな (来なければ) 言うて、嫁 貰う 言うたてて (言っても) かけのゆわ トトノハセン ねてわれ (ないそうだ) ひまのかあやれ (大変だ)、トトノエトカナ (ておかなければ) まあな 急に言うたてて (言っても) トトノオカレ (なわない) 言うてなあ。

**ととないこ【名詞】** 私生児 (志 (片田))

**ととなみ** それ相応、トト (魚) ナミ (並) ざこもトトナミ (志、鳥)

**ととのう (ととのふ)【自ワ五】** 入手する事が出来る 準備ができる ととなう参照

**ととのえとかな** 用意しておかなければ。ととのえる参照

**ととのえる (ととのへる)【整】【他ア下一】** 1) 入手するようにする 2) 準備する 3) そろえる、買う (桑郡) [会話] <sub>1)</sub> 用意する。まあ とおから (早くから) 用意 しとかな (しておかなければ) はざん (いけない) 言うの (のを)、トトノエル 言うて。トトノオタ (ととなった) 言うて 有ってこおた (買った) 言う事や (です)。まあ かけのゆおも トトノタシ (なった) 言うて、トトノタレ (た) 言うて 有って こおた 言うのなし (のです) トトノエトカナ 言うて 前から心配して くみやい (組合) の人らん (に) 頼むか、じょおし (漁師) ん (に) 頼むか なあ 鯛をなあ じょおしの人らな (が) 鯛をめたい 言うて かけのゆお おおた素晴し (しい) かけのゆおやなあ (だ) 言うて、昔や (は) わが (自分に)

在所やなけな（でなければ）他から そげん（そんなに）もて来るこた（持って来る事は）無いし じょおしな（が）のをこおて（買って）活けといたりなあ（ておいたり）。

ととのた 準備ができた そろった ととなった。  
[会話] トトノタ 言う、全部手に入った 用意が出来た。

どどのつまり。どどのつめ 結局 最後 とど 限度  
ぎりぎり 成熟した鰯の称 とどのつまり 魚の鰯が  
幼魚から、成魚になる間に幾度も名称が変わり、最後  
にとどになる事から行き着く所 結局（志（布施田）、  
上、阿）[会話] ドドノツメにや（には）あれ せな  
（しなければ）しょおないわれ（仕方がない）、ドド  
ノツメに それも 直しとかな（ておかなければ）ほ  
つといたてて（放っておいても）はざんわれ（駄目  
だ）言うて。ドドノツメ言う事は 終いの事 言うん  
よってなあ（言うのだから）。ドドノツマリ ドドノ  
ツメ 一緒の事や（です）ドドノツメや（は）おらげ  
い（我が家へ）おぼれて（負って）来んねやれ（来る  
のだ）借金な（が）言うて。

ととべ。ととべえ【名詞】父親を罵って言う語（志、  
鳥）[会話] わるわれて（叱られて）ごおなわいて  
（腹が立って）トトベエ 言うて

どどめいろ【名詞】 暗紫色 とどめ、桑の実（前橋市  
神奈川県他）を言い、その実は熟すると暗紫色になる  
のと関係有るか。

どどろ【名詞】 雷 とどろく（轟）と関係有るか。その  
音の擬音化。（志（片田、布施田））[会話] 雷の事を  
ドドロな（が）鳴って来た言うて。ドドロ雷や（だ）  
言うて、はよ（早く）蚊帳 吊って 蚊帳ん（の）中  
い（へ）入いらな（なければ）はざんわれ（いけない）  
言うたり、はよ ともとい（庭へ）鯀 出しとけ  
（ておけ）言うたりなあ 鯀 立てとくと（ておく  
と）鯀の ええ（柄）い（に）雷な（が）おってくん  
ね（落ちてくるのだ）言うてな、鯀を 出しん（に）  
行きおったね（行って居たのです）。せんこ（線香）  
焚いて ドドロな（が）鳴って来た はよ（早く）せん  
こ 焚け言うて。雷や（と）言わんと（言わずに）  
ドドロな（が）鳴って来て、ドドロ 雷 火事 親父  
言うて ドドロな（が）鳴って来んぞ（来るぞ）そや  
（それ）言うて おどかかされよおった（脅されて居  
ました）。

どどろごえ【名詞】 太い大きな声 [会話] どいらい  
（大変）おん（音）な（が）わり（悪い）人な（が）

あるやんかな、（でしょう）ふっとかつたり（太かつ  
たり）ドドロゴエ 言うて。

どどろびる【名詞】 大型の蛭（志（片田））[会話] 蛭  
のなあ どいらいのお（大きいのを）ドドロビル 言  
うのな（言うのが）あんね（有るのです）。そして  
そんな（それが）つられると（吸い付くと）どどろ  
（雷）な（が）鳴らな（鳴らなければ）とれやせんね  
てわい（とれないのだそうです）言うて おとしかり  
おったの（怖かったのです）。真っ黒で どいらい  
おで（大きいので）雷な（が）鳴らな 落ちやせんね  
（落ちないのだ）言うて、そんで（それで）ドドロビ  
ル言よおったね（言って居たのです）。ドドロビル  
おっきいのなあ（大きいのです）胸苦し（胸苦しい）  
ほど 縞ん（に）なって、見ても どどろと 胸苦し  
なって来るよおな、そして 滅多ん（に）とられやへ  
んなあ（取れません）。どどろな 鳴らな 取れやせ  
ん（取れません）言うので、ドドロビル言うの。脚半  
はきや（はけば）ええようなんやけど（いいのに）  
脚半も はかんと（はかずに）勿体ないのん（のに）  
ちい（血）皆 吸われたりおったね（吸われて居たの  
です）。ちい吸われて そんな（それが）吸うたら  
（吸ったら）止まらせん（止りません）。蛭な  
（が）だんぶくろ ん（に）なって ぼたんと 落ち  
るやんない（落ちていくでしょう）、食いたんの（堪  
能）すると ぼたんとおってくんけど（落ちていく  
が）、こんだ（今度は）ちいな（が）出て だらだら  
と 泥な（が）真っ赤ん（に）なるまでつ（づつ）出  
んのなあ（出るのです）。血止め な（が）ひるぐさ  
や（と）言うて、それ貼ると 血な（が）止まんねけ  
ど（止るのだが）なっとしても（何としても）止まら  
せん（止らないのです）。そやけど（それだが）あ  
れも えらいね（賢いのです）わり（悪い）血は吸わ  
せんね（吸わないのです）。だんぶくろ かあな（蚊  
が）血 吸うて 尻な（が）真っ赤ん（に）なって  
ぶらんと しとるやんない（しているでしょう）。あ  
げんして（あんなに）なっくの（いくのを）だんぶ  
くろん（に）かあな（蚊が）なっとなない（なってい  
る）言うて ふくろんどののおを（膨らんでいるの  
を）だんぶくろ 言うんやんかい（言うのです）。

どどんちゃがん【名詞】 葬式の出棺前の儀式 太鼓と  
銅鑼の音 [会話] ドドンチャガン言うて。葬式 ド  
ドンチャガンな（が）鳴ると わあわあ言うて 泣い  
てなあ、家で あんな（あれが）鳴ると 悲してな  
あ 言うて。葬式の鉦と 太鼓と どん 言うて 太

鼓 叩くやんない (でしょう) そすと (すると) すりがね (銅鑼) を がしやん 言うてなあ。葬式のお経あげて 最後に どんどん ちゃん 言うて あれをドドンチャガン言うの 太鼓と すりがねと ちん (鉦) となあ 鳴るの (のです)。

**どない【形容詞】** どのような どう どんな どげん参照 (松、北、鈴市、安、上、阿、北、尾、南、熊)  
[会話] ドナイ したんどい (しましたか)、どげん (どんなに) したんどい 言うのを。どげん ドナイ 言わせん (言いません) どげんしたんどい 言うて。ドナン したんやな (したのか) 言うて 上品な人ら 言うんけど (言うが)。どげん したんどい なっと (何と) したんどい とか

**どないなと** 好きなように 如何ようなりとも どうなりとも どげんなと参照 [会話] ドナイナトも どげんなとも 一緒や (です)

**となえ (となへ) (唱)【名詞】** 声を立てて神仏に祈る事 その言葉 [会話] 三日籠りや (だ) 言うて、隣中親戚中な (が) いて (行つて) 籠つて トナエして 力日待ちすんね (するのです)。

**となえる (唱)【他ア下一】** 声を立てて神仏に祈りの言葉を奉げる (四)

**となか【名詞】** 沖 はるかに遠い沖合 [会話] 沖のトナカの事を ずうっと 沖の事を だいなん 言うの。

**となだ【名詞】** 戸棚 (志、鳥 (国崎)、員、三、鈴郡、一、多、上、阿、張、尾、南)

**どなたさん【代名詞】** 誰 (度)

**どなたさんかいなあ。どなたさんどい** 誰ですか

**となべ (斗鍋)【名詞】** 一斗を一度に炊く大きな鍋 (志) [会話] 一斗釜な (が) 有りおったやんかい (有りました)。一斗つ (ずつ) 炊くのを とがま (斗釜) 言うて。トナベ言うて 鍋 平くたいのおを (平らなのを) トナベ言うし。

**となら【名詞】** 戸棚 [会話] トナラ そえん (そんなに) 言う人も 有るなあ (有ります) “だ” をよお (よく) 言わんで (言えないで) 呂律な (が) 回らん (回らない) 人な (が) 有るなあ (有ります)。

**となりあるき (隣歩)【名詞】** 隣、近所を遊び回ること (志 (甲賀)) [会話] うしょうしょと トナリアルキ ばっか (ばかり) して 言うて わるわれよ おった (叱られて居ました)。隣へ 遊びん (に) 行くのなあ トナリアルキ 言うね (言うのです)。仕事せんとなあ (せずに) ちょいと (少し) ねき (近く) の家へ 喋りん (に) 行く にげ (人間) な (が) 有

りおったなあ (有りました)。そすとなあ うしょうしょと トナリアルキばっかして言うて。今しや (今は) 隣でもなあ もの言うると にげや (人間は) 無いね (無いのです) 家ん (に) おらせんよつて (居ないのだから) 皆 働きん (に) いて (行つて)。

**どなりこむ (怒鳴込)【自マ五】** 他人の家に押し掛けて 大声で非難したり、抗議したりする [会話] 隣から やかましするてやら (とか)、とんとんするてやら 言うて。隣の かか (嬢) な (が) ドナリコンデ来て 言うて。お前げ (家) の 兄ん子な (男の子が) よさり (夜) ん (に) 太鼓 叩いて、笛 吹いたりして、喧して (しくて)、じょおしな (漁師が) 朝 はよ (早く) 起きんならんのん (ぬのに) 言うてなあ 怒つて 隣の嬢な (が) ドナリコンデ来る時な (が) あんなあ (有ります)。ドナリコマレタヨオ 言うて。

**どなりちらす (怒鳴散)【自サ五】** 散々に怒鳴る。

**となりづきやい (となりづきあい、となりづきあひ)**

**【名詞】** 近所、隣との交際。(員)

**どなりつける (怒鳴付)【他カ下一】** 激しく叱責する

**どなりつづす** 大声で罵る [会話] こらえど (忍耐) な (が) 無いもな (者は) 誰も彼も ドナリツブシテ 宮もしゃだん (社殿) も 無いね (のです)。

**となりのもみだねくたる** 腹が立つ [会話] ごおなわいて (腹が立って) ごおなわいて くそごおなわいて、なんして (なににして) ええやら (よいやら) 判らんほど (判らないほど) ごおなわいて、トナリノモミダネ クタルくらい ごおわかつて (腹立てて) なんもかも かぶりついたろ (てやろう) 思うほど ごおなわくの (を (腹が立つのを))。

**となりまあり【名詞】** 隣、近所に遊びに行く。

**どなる (怒鳴)【白ラ五】** 大声で呼ぶ 叱る (松、熊) [会話] ドナル 言うやんかい (言います)。たけん (叫ぶ) のを ドナル言うて、怒られる事なあ。たける言うと わけ (理由) 判らんよおんして (判らないようにして) 大きな声で おめく (わめく) のを たけられて 言うて。

**どなん** どんなに (北) [会話] ドナン しても 出来やせんね (出来ません) 言うのを、どげん (どんなに) しても 出来やせんね

**どなんでも** どの様にでも。

**どにまどう。どにまよう** 方向を失う 迷う 路に迷うの訛。[会話] 迷う事も まどう言うて。あつちい (あちらへ) まどたり、こつちい (こちらへ) まどたり、ドニマドテ 言うて。よさり (夜) むくつと起き

ると 方向な (が) 判らんよおん (判らないように) なってくのな (行きます) ドニマヨウ。

**どにまよた** 方向を失った 迷った [会話] ドニマヨタ。迷とる (迷っている) 事やわい (です)、はっきり 言われんで (言えなくて) ここに 二つ 道が有るとすると、こっちい (こちらに) 行こかいな (行こうか) あっちい (あちらに) 行こかいな (行こうか) どちらん (に) するかいな (しようか) すんのを (するのを) ドニマヨウ 言うね (言うのです)。ドニマヨテ あっちゃや こっちゃや 言うて 言いがすと、ドニマヨタんない (のだ) はっきり せえま (しなさい) 言うて、こっちゃなら こっちゃ 言て、はっきりすると ええんけど (いいが) どっちゃ (どちらに) しょおか あっちゃ しょおか言うて 迷とる (迷っている) 事をドニマヨウ。右にしょおか 左にしょおか 思ても (思っても) どちらい (に) いたら (行ったら) ええかいな (よいか) 思て (思つて) しとんのを (しているのを)。よさ (夜) ドニマヨテ しょんべたご (小便壺) よお (よく) 探さん (探せなくて) そこらい (に) たれたた (たれてしまった) 言うて。

**どのぐらい** (何位) どのくらい 程度の不定を示す語 [会話] ドノグライ あんねど (有るのですか) 言うて。物な (が) 有るとなあ 十も 二十も 有られ 言うて、おた 仰山 (沢山) に あんねな (有るのですね) 言うてなあ。ぜん (銭) でもだ ドノグライ あんねやかな (有るのだろうか) あの家や (は) 言うてな、そすと このぐらや (此の位は) あんね (有るので) ねえんかい (ありませんか) 言うて、おた 仰山な程あんねな 言うて。

**とのさん** 【名詞】 1) 殿様 くだけた言葉 主君 主人 立派な人 2) 世間知らずの人 [会話] 1) おおた トノサンの 暮らしやな (だ) 言うて。じっば (立派に) するとなあ、家のとおさん (父さん) 大将 や (だ) 言うて、てえちよお (丁重) に あつこて (扱つて) ええもん (よい物) 着せたり、食わし (せ) たりすると、トノサンの扱いやな 言うて

**とのさんがお** 【名詞】 立派な顔 [会話] じっば (立派な) 人を 殿さんみたな (のような) 人やな (だ)、トノサングオ しとんな (している) 言うて 立派ん (に) しとたりな (していたり) 器量な (が) よかったり。

**どのみち** (何道) 【副詞】 1) いずれにしても どう言う経過をたどっても同じ結果である 2) いずれの道

[会話] 2) ドノミチいこか (行こうか)、此の道 いこか、言うのも 有るし。1) ドノミチ、こおやれ (だ) 言うてなあ、なんやかんや (いろいろ) 物事を 決める時んな (に)、ドノミチ こちらへきまんね やれ (決まるのだ) とか、あちらへ きまんね やれ (だ) 言うてなあ、そいな (そんな) 時も使うな (使います) そすと ドノミチ 取つても こや (これは) わりこた (悪い事は) 無いわれ 言うてなあ。もの 決める 時んな (に)、どっちゃ (どちらに) の 決まつても わりこた 無いよつて (から) ええわれ (よろしい) 言う時んな (に) いずれにしても まあ こや (これは) わりこた ねえわれ (有りません) どっちゃい 決めても 言う時んな (に)

**とばかす** 1) 非常な勢いで走る 一生懸命で走る (多、北、尾、南、熊) 2) 飛ばす (松、多、北、尾) [会話] 1) トバカス。いっしょけんめん (一生懸命に) 走つてく (て行く) 言うのを トバカス 言うの (のです)。

**とばくらかす** 【動詞】 非常な勢いで走っているさま (志 (浜島)) [会話] 走り切つてく (行く) 事を、走り切つてくと (行くと) トバクラカシテない (行つた)。トバクラカシテきた (来た) 言うて、走り切つてくと (行くと) あやれ (あれ) トバクラカシテかれ (行く) 言うて。いっしょけんめ (一生懸命) で 夢中で 走ん (走るのを) トバクラカス言う。

**とばげた** 蹴つまづいた。突き当たった。衝突した。とばげる参照

**とばげる** けつまずく 突き当たる どしやげる参照 (志 (志島)) [会話] あんたん (貴方の) とこい (所に) やりつけてくの (突き当たるのを) とびやげた 言うて、当たつてく (行く) 事を トバゲル言うの。舟が浅瀬い (に) すんのを (するのを) トバゲル。島い (に) どびやげたんてない (突き当たったそう) だ 言うて。トバゲルも、とびやげるも 一緒や (です)。

**とばこ** (戸箱) 戸袋 開けた雨戸を引き入れるために敷居の端に設けた収納部 (志 (鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗) 四、飯) [会話] 戸袋の事 トバコ

**どばされた** 叩かれた [会話] どばすとか ドバサレタとか 言うて。どばすは 毟る 毟つた (てやる) 事、毟られんのおは (れるのは) ドバサレタ。

**どばされる** 強く毟られる (志) [会話] 叩かれる事を ドバサレル。だれ (どれ) どばしたるん (してやる)

ぞ) 言うて、どやしたろん言う やんない (でしょう)。そして どばしたろん 言うねやんかい (言うのです) どやす言うのも、どばす 言うのも 一緒や (です)。どぐらしたろん言うたり、どずきころしたろん だれ 言う時も 有るやんかい (有ります)。

**とばし【名詞】** はね 泥土などを歩いた時、撥ね上げた泥が物についたもの(南) [会話] トバシして言うて、雨降りん (に) じょおり (草履) 履くとなあ 背中い (へ) 迄、トバシしとんない (している) 言うて。歩くのん (に) 下手なにぎやなあ (人間) はよけ トバシすんねてや (するのです) はねする 言うのなあ トバシする 言うんなあ (のです)。はねして そやれ (それ) 言う人な (が) 有るけど (が)、おかた (大体) トバシやなあ (です)、トバシな (が) 背中い (へ) 迄 飛んどんない (でいる) 言うて

**どばしたろん** 叩いてやる どばされる 参照

**とばしゃげ【名詞】** お転婆 慌て者 [会話] あやまあ (彼は) トバシヤゲで なんでも (なにでも) 泡食うてまあ はやとちり (早合点) してなあ、人のせん (しない) うちん (間に) わがと (自分が) 先い (に) 立って してなあ そして 失敗くうのなあ (するのです)。あやまあ (彼は) トバシヤゲ やよってん (だから) 言うて 泡食らいの にげ (人間) をなあ

**とばしり(逆)【名詞】** 1) そば杖を食う とばっちり とばかり まきぞえ とばかり、飛び散って降りかかる水 しぶき 側にいたり、ちょっとした関係があったりしたため、本来受けなくてもよい災難をこうむる事(張、北、南) 2) 飛沫(志(甲賀)) [会話] <sup>1)</sup> あれな (彼の) 事で トバシリ食うて 言うて、人な (が) 何か したのおを (のを) こんだ (今度は) こつちや (当方) に、そんな (それが) かかわって来ると、あんな (彼の) トバシリで 言うて。人な (が) わり (悪い) 事しても そのあおり (余勢) で わしら (私) も 咎められるやんない (でしょう)、それを 言うのなあ (のです)、トバシリ食うて 言うて。とばかり。<sup>2)</sup> トバシリ しじくな (雫が) とばっちられ 言うて 雨垂れな (が) 落ちてても とばかり濡れられ (濡れる) 言うて。

**とばしりがくる** 側迷惑をこおむる。影響される。(員)

**とばしりくう** 災いが側の者に及ぶ 側杖をもらう [会話] トバシリクウて おらまあ (俺は) 弱ったよ お (困った) 言うて。言わん (言わない) 事を、あん

な (彼で) こげん (こんなに) 言うたてやら (とか) 言うてなあ すると、おおたまあ あれん (彼に) トバシリクウサレテ 弱ったよ 言うて。わがと (自分が) 知らん事を かづかると (かこつけられると) トバシリクウて言うてなあ。

**とばす【他サ五】** とばかりかすに同じ 非常な勢いで走っているさま [会話] 走ってくのなあ それを トパス。

**どばす** 強く殴る どずく どは怒罵 怒り罵る事(志)

**とばかり【名詞】** 1) 側杖 他人のした事が災いとして当事者以外にも及ぶ 2) しぶき 飛沫(南) [会話] <sup>1)</sup> 人な (が) 何かしたのおを (のが) こつちやに (こちらに) なんか (何か) かかわって来ると、あんな (彼が) トバシリで言うて。

**とばかり** 滴となって周囲に飛び散る [会話] しじくな (雫が) トバチル 言うて、雨垂れな (が) 落ちてても ドバチッテ濡れられ (濡れる)。

**とばとばしとる** 浮ついている とばとばは、落ち着きが無いさま

**とびあがり【名詞】** 落ち着きのない者。調子者。(松)

**とびあがりもん(飛上者)【名詞】** お調子者 とつぴな 行動をして人の気をそそる者 ひょうきん者(松、飯)

**とびあるく(飛歩)【自カ五】** あちらこちら移りまわる方々を動き回る [会話] どこやかや (あちらこちら) トビアルク。じつと 落ちつかんで (つかなくて) 言うてな、あつちやい (あちらへ) 行き、こつちやい (こちらへ) 行きする にげ (人間) を、トビアルク。まあ 落ち着かん にげ やなあ (だ) 言うて

**とびいお(とびいを)(飛魚)【名詞】** 飛魚 トビウオ科の海魚 全長約 30 cm 体は細い紡錘形で、背方は青灰色、腹方は白色、胸びれが翼状に大きく伸び、海面上を飛ぶのに用いる。尾びれは二股に分かれ下葉の方が長く滑空の時舵の役目をする 飛行距離は 100～300m と言われる 食用として美味

**とびいし【名詞】** 庭の歩行用の石。歩き容い様に一定の間隔で敷いて有る。(熊)

**とびえ【名詞】** うしばなとびえい ウシバナトビエイ科 胸鰭は頭部先端に突出して頭鰭となるが、広く離れた耳状の鰭とはならず、頭部下面に左右に半円形に広がる。頭鰭と胸鰭は明瞭に区別できる。吻前縁は鋭くその中央は凹む。背鰭は腹鰭の間にある。尾棘がある。

**とびき【名詞】** とうきび(志(甲賀、志島、畔名、鶴方、

布施田、越賀、片田、神明、立神、国府、安乗) [会話] トビキ言うな (言うのは)、食う トビキ。影山 (日の当たらない所) の トビキ 言うやんかい (言います)。作りおったやんかい (作っていたで有りませんか) トウキビの事を トビキ言うの (言うのです)。トビキ団子 言うやんかい (でしょう) トビキや (と) 言うの (のです)。

**とびきがら【名詞】** 唐黍の殻。

**とびきだんご【名詞】** 唐黍だんご (志 (布施田)) [会話] とびきの団子 トビキダング 美味しいわい (です)。ぜんざい してなあ、ずるや言うて ずるして食うとなあ トビキダング うもおてなあ (美味しくて)。

**とびきのなまむしみたい**な 凹凸がある でこぼこしている [会話] いもくさの (あばた面) にげ (人間) をなあ、おた トビキノナナムシ ミタイなあ 言うて。トビキノナナムシ するとなあ おれんで (こななくて) ぶつぶつ しとんねてや (しているのです)。トビキノナナムシミタヨン しとんのなあ (しているのだ) 言うて、ぶつぶつの 肌のわり (悪い) にげ (人間) を そげん (そんなに) 言うてなあ。にきびづらで、おた トビキノナナムシ ミタヨナナア 言うて 例えんね (例えるのです) トビキノナナムシすると むさっとる (蒸し上がっている) とこ (所) は ざらざらん (に) なるしなあ、むさらんな (むさらないのは) ぶつぶつとしとて (していて) 食われやせんねてや (食べられないのです) 美味のおて (なくて)。

**とびきばら【名詞】** 1) 法螺の一種 2) 頑固者 [会話] 1) トビキボラ 言うてなあ ほんばらと 同じ よん (ように) しとんねけどなあ (しているのだが)、ほんばらより 殻な (が) あつつて (厚くて) みい (身) な (が) かったいの (堅いのです) 2) そんで (それで) あんまり (あまり) 堅いにげ (人間) を ちよいと (少し) 堅苦しにげを トビキボラ みたよな (のような) 人やなあ (だ) 言うの (のです)。小麦団子より かっとおて (堅くて) いちがいな (一途な) ばっかで (ばかりで) まあ 人な (が) こげん (こんなに) 言うても ゆずう (融通) な (が) 一つもなあ、そげん (そんなに) しょおかい (しましう) 言う事な (が) 言われん (言えない) にげを まあ トビキボラやなあ (だ) あやまあ (彼は) かっとおて (堅くて) 言うてなあ。

**とびきもち【名詞】** 餅の一種 餅米に 唐黍を入れて搗

いた餅 (志) [会話] トビキモチ 美味しいね、汁で (味噌汁で) 炊いて 食うと (食べると)。米の餅や (は) よけ (沢山) 無いしなあ、とびきや (とか) 粟の餅 ばっかなあ (ばかりで) 正月三ヶ日は 白い餅も食べるけど (が)、過んでくと (で行くと) 粟やとびきばっかやんない (ばかりでしょう)、トビキモチを 四斗樽 二杯もすんね (するのです)、そしといて (そうして) 水い (に) くざけて (浸して) まあ水を毎日 かえると 六月ん (に) なくても上等やんない (です)。そして それをなあ おつけの残りい (に) 入れてなあ 食うたり (食べたり)、芋飯いおそて (の上において) 食うたり すんねてや (するのです)。

**とびくさ【名詞】** 膿痂疹 とびひ 当初、幼小児の露出部に半球状、豌豆大の水泡を生じ、内に初めは透明、後、淡黄色、濁濁し痂皮 (かさぶた) を形成、次々に水泡を発生、他に移る 更に他人にも感染させる 夏季に多い くさとも 各所に移る事から飛痂瘡の意か。[会話] トビクサ言うな (言うのは) 出来もん (物) なあ (です)。ぼんぼんと 水ぶくれて来んの (来るのを)、トビクサな (が) 流行って来て言うやんかい (言います)。とびひも 一緒や (です)。

**どびごき【名詞】** よめがさら うのあし、軟体動物 腹足類 前鰓目に属し、殻の形がさらに似ている 殻の直径5cm短形3cm位 輪郭は卵円形、狭い方が前で 頂上は殻の中央より前方にかたより、ここから細い筋が縁に向かって出ている 殻の色は灰色～淡黄色の地に褐色のまだら模様がある、内面は滑らかで真珠光沢があり、内臓が付着した跡は暗褐色で、その周辺は淡黄褐色、透かして見ると、べっこう模様に見える。奴婢御器の意か。[会話] ドビゴキ言うな (言うのは)、島のこび (こびりついている物)、傘みたよおん (のように) なっとて (なっていて) へりこぎや (だ) 言うて 島の潮 (海水) な (が) 干ききってても (行っても) 島の上に 波な (が) 来んとこんでも (来ない所にでも) おんの (居るのです) ドビゴキ。まあう (丸く) しとんのおと 星みたよん (みたい) に しとんのおと (しているのと)。ちよいと (少し) 尖って しとるやろ (しているでしょう)。

**とびこみ (飛込)【名詞】** 突然入り込む [会話] 話 しとる (している) とこい (所へ) トビコンデキテまあ 言うて、人のしとる (している) とこい (所へ) くんのを (来るのを) トビコンデキテ あんな (彼が) 言うてなあ。

とびこむ(飛込)【自マ五】1) 突然入り込む事 2) 穴などに落ちる 崖などから落ちる [会話] トビコムも とびこみと一緒に(です)。

とびひ(飛火)【名詞】1) 膿痂疹 とびくさ参照 火の粉が飛び様にあちらこちらに生ずるので言うか。2) 火の粉 [会話] 2) トビヒ。ひい(火) 焚いとると(していると) 杉のうら(梢) 焚くと ばちばちとんで、おら(俺は) 杉のきい(木) の孫や(だ) 言うのと、跳んで 来やせん(来ない) 言うてなあ。杉のきい(木) 焚くと ばちばち跳んで やけずると(火傷すると) あたたい(熱い) 言うて ひぶくれ(水泡) ん(に) なって、杉うら焚くよん(ように) になると、やけずって(火傷して) いそじよつきも(磯着) 皆 ぼら(穴) あけたて(あけてしまつて)。1) 夏ん(に) 子供らな(が) 作って来る あれも トビヒ トビヒな(が) 出来た言うて みずぶくれ(水泡) ん(に) なって

とびばし(飛星)【名詞】流星(志) [会話] 流れ星やてら(とか) 言うてな トビボシが飛ぶと、星な(が) 飛んだ 言うてな、盆踊り しとるとな、おお(尾) 引っ張って 飛ぶの(のを) よお(よく) 見よおった(見ました)。星な(が) 飛ぶ時はなあ 青いもん(物) 引っ張って。

とびまある(とびまはる)(飛回)【自ラ五】ある目的のために諸方をかけずり歩く あちらこちらと遊び歩く とびまわる [会話] どこやかや(あちらこちら) 世界中 あんな トビマアツトンネ(ているのだ) 言うてなあ。他処い(へ) ばっか(ばかり) 行てなあ(行つて) しとると(していると)、世界中あんな(彼は) トビマアツテ(ていて) 言うて あっちゃ(あちら) こっちゃ(こちら) 言うて、朝鮮 いたり(行ったり)、しもいそ(紀州) い(へ) 行て来たり、すると こんだ(今度は) あき(秋の収穫の手伝) い(に) 行くやんない(でしょう)。秋から ずうっと 奉公ん 行て 年中 トビマアル。

とびやあるく 1) 飛び回る あちらこちらと 走り回る 2) 飛び 飛び降りる [会話] 1) あっちゃい(あちら) 行き、こっちゃい(こちら) 行きする にげ(人間) を、トビヤアルイテ まあ落ち着かん にげ やなあ(だ) 言うて。

とびやがった。とびやがったない 飛び上がった。驚いた。

とびやがり。とびやがりもん(飛上)【名詞】お調子者とびあがり参照 [会話] トビヤガリモンやなあ

(だ) 言うの(のです)。泡食らいの(慌て者) にげ(人間) を あわてがみ(慌て者) の にげ(人間) をなあ、あやまあ(彼は) とばしやげ やれ(だ) 言うてな。

とびやがる【自ラ五】飛び上がる 非常に驚く 喜んだり驚いたりした時思わず躍り上がる(熊) [会話] トビヤガッタナイ(飛び上がった) 言うて、なつとも(何とも) 言わんと(言わずに) 来て、トビヤガル言うて、びっくりする。

とびやげた 突き当たった。蹴つまづいた。[会話] やりつけてく(突き当る) のを トビヤゲタ 言うて

とびやげてた 突き当たって行つた 衝突して行つた [会話] トビヤゲタタ 言うな(のは) 自分の方からしてたの(していったのを)、トビヤゲラレタ 言う と 向こうから当てられる事なあ。

とびやげられた 衝突された、とびやげてた参照

とびやげられる 衝突される 突き当てられる [会話] 衝突する事を とびやげる。車と車と 衝突する言うの、まあ トビヤゲラレタ 言うてな、トラックにトビヤゲラレル 言うて わがとら(自分) な(が) 当たつた時やなあ(は) とびやげてた 言うしなあ。それ 当てられるもん(者) はなあ トビヤゲラレル 言うてなあ。たなばら(船の横) へ 穴 あけられて 言うて トビヤゲラレタリすると。

とびやげる 1) つまづく 2) 衝突する [会話] 2) 突き当たる。トビヤゲテ来ても もの 言わせんね(言わないのだ) 言うてな。すりあう(すれ違う) の おを(のを)、おおた あの にげや(人間は) なんやら(なにか) 知らんけど(知らないが) トビヤゲテ来ても もの 言わせん(ない) 言う時な(が) 有るんなあ。突きあたん(る) のをなあ トビヤゲル。1) 石にトビヤゲル 言うて けつまげん(つまづく) のを、トビヤゲテテ(て行つて) 言うて おら(俺は) ま 石い(に) トビヤゲテタンよお(て行つた) 言うて けつまげる(つまづく) 事をなあ。あの 石い(に) トビヤゲテテ こけてくんやつたよお(転ぶのだった) 言うてなあ、トビヤゲテ、こけたり(転んだり) しよおった(して居ました)。

とびよおし【名詞】櫓を漕ぐ時の掛け声 [会話] はらえや はらえや はとこや はとこや 言うて、大漁した時ん(に) 入れ込んでくんの(入港して来ます)、はとこや はとこや 言うて 来ると どいらい(大変) 大漁の時の ドビヨオシで。今日は かと(鯉) 船な(が) 大漁かして(と見えて) はりやええの 声

な (が) えらいわれ (大変だ) 言うて。

**どひん【名詞】** 土瓶 どびん 茶、又は湯を注ぐため用いる陶器の容器 球形、又は、そろばん玉の形をした胴の一方に逆S字状か、真っ直ぐな注ぎ口が有り、肩に藤などのつるを通す耳二ヶを伴うのが一般的な形である (志 (布施田、立神)、三、鈴郡、鈴市、津、多、上、阿、度、南) [会話] やかん。土で焼いてある焼き物のしてあんの (有るの)、ドヒンや (と) 言うて、ドヒン あれの 茶は美味い

**どひんしき【名詞】** 土瓶敷き 鍋や土瓶などを置く時、下に敷くもの [会話] ちゃびんしき (茶瓶敷) をだ、ドヒンシキ 言うて。きい (木) で こさえよおったやんかい (作って居ました)。どびんや、鍋、あたたい (熱い) もん (物) 乗せるのになあ。きい (木) で 形ん (に) 切って、しきよおった (敷いて居ました)。鍋い (に) 敷くな (のは) しずえや (だ) 言うて、竹のみい (実) で 桶屋で わあ (輪) してもろて (貰って)

**どびんのつるまあつとる【俚諺】** 廻りくどい [会話] くる、くると。話しすんの (するの)に つつとしたる (してやる) やんない (でしょう) それを くるくる、くるくると まあつとんを (廻っているのを) ドブノツルマアル言うの (のです)、話な (が) まありくどいでなあ (廻りくどくて) 言うた様な事ばっか (ばかり) 言うとのん (言っているのを)。

**とふ【名詞】** 豆腐 水に浸した大豆を引き砕き、その液を煮て、かきを取り、にがりを加えて固めた食品 (志 (神明、立神、安乗)、桑市、員、三、鈴市、一、松、度、伊、南) [会話] 豆腐言うのを トフ トフ汁。

**とぶ (飛)【自バ五】** 夜逃げする 行方をくらます (阿、張、名) [会話] 夜逃げするとか 行方不明になるとか トブ言うの。

**どぶ【名詞】** 糟味噌付け それを作る糟と塩を入れたもの 次項 どぶ参照 (鈴市、安、北、南)

**どぶ【名詞】** 溝 下水 (志 (鶴方 船越 磯部 布施田)、鳥 (加茂 答志 鳥羽 長岡 桃取)、桑市、久、松、上、阿、張、名、南) [会話] 漬けもん (物) ドブ漬け どぶづけ 言うね (言うのです)。どぼは汚いやんかい (です) ドブ言うな (のは) せせなげ (下水) ほんのを (捨てるのを) どぼい ほり込んだよおな もん (もの) やれ (だ) 言うて、溝をなあそすと ドブ 言うのは 飲む ドブ ドブ酒 飲んで 言うて、よお (よく) 言うやんかい (言います)

ドブ い (に) 放り込んだる (込んでやる) よおなもんやれ 言うて、なんやかや やつても (与えても) 有り難め (有り難み) が無いと ドブい (に) 放り込んだよおな もんや (ものだ) 言うて、溝とか 下水とか。飲む ドブは甘酒の すいになった (酸っぱくなくなった) のを ドブや (と) 言うて、寝間のもん (物) や (だ) 言うて。寝間のもん お上 (政府) に見つかりと、そやもんで (それだから) 寝間のもん ついて 飲みおったの (飲んで居たのです)。寝間い (に) 隠しといて (ておいて)。ドブ漬けの事は どぼ漬け言うて 糠い (へ) つけん (つける) のは とぼ漬けや (と)。

**どぶ【名詞】** どぶろく 前項 どぶ参照 (安、上、阿、北、南)

**どぶいてきた** 風が強く吹く [会話] 風も よけ (沢山) 吹いて来ると 風な (が) ちぶいて来た 言うてな。ちぶいて 来たとか、ドブイテキタとか 風の事なあ (です)。

**どぶいとる** 強い風が吹いて居る。

**どぶく** 激しい風が吹く [会話] やまぜかえしの西や怖い言うて、まぜ (南風) が吹くと、こんだ (今度) は 西な (が) ドブイテくんね (来るのです)。

**どぶざけ【名詞】** どぶろく (志 (鶴方、神明、志島、国府)、鈴市、伊賀地方)

**どぶづけ【名詞】** ぬかみそ漬け (志 (鶴方、神明、志島、国府)、鳥、桑市、四、亀、安、津、一、多、上、阿、張、名、度、伊、北、南)

**どぶとい【形容詞】** 太い 非常に太い (志 (片田、浜島、鶴方、神明、立神、志島、国府、安乗)、鳥 (相差)、南、阿、北、尾) [会話] ふつとい (太い) のおを (のを) ドブトイ 言うの (のです)、どいらい (大変) ふつとい (太い) 見ると、ドブトイんなあ (です) 言うて。

**とふはち【名詞】** 豆腐の入った吸い物 (志 (布施田)) [会話] とふ (豆腐) 切つといて (ておいて) 葱入れて 人參も千切りん (に) しといてなあ、まあなんも (なにも) ねえけど (無いが) トフハチ だけやけど (だが) 来てくれえ (下さい) 言うて。てんてん (葬式) の なぬか (七日) ん (に) なるとなあ トフハチい (に) しらめし (白飯) で、そんな (そんが) どいらい (大変) ごつつお (御馳走) やったね (でした)。しよい (醤油) の すまし汁でなあ 味噌汁や (で) なしん (なくて)。昔は 葬式ん (に) になると必ず トフハチ な (が) 出おった (出て居ました)。

**とふひき【名詞】** 豆腐を作る大豆を粉にするため 石臼で挽き潰すこと [会話] トフヒキ 言うな (のは) とふ (豆腐) の豆 ひく 言う事や (です)。豆のくざけた (水に浸した) のおを (のを) 挽き臼で、ひいて、汁ん (に) しといて (しておいて) それを炊いて にがり 入れて とふ (豆腐) ん (に) すんの (するのです)。やいこおなあ (柔らかく) ひとよさ (一晚) くざけといて (浸しておいて) それをなあ水と豆と混ぜてなあ どいらい (大きい) 臼で 朝迄 えつ (づつ) ねぶりもて (眠りながら) ひいとよおった (挽いていました)

**とぶらい (とぶらひ) (弔)【名詞】** とむらい。死人の霊を慰める事。とむらひ 葬式

**どぶり【名詞】** 樽を漕ぐ姿 [会話] どお (ろ) こんでも (漕いでも) ドブリな (が) よおて (よくて) 言うて、どお (樽) 漕ぐのん (の)に ひん (姿) な (が) ええと (よいと)、あや (彼は) ドブリな (が) ええけど (よいが)、あや (彼は) ドブリな (が) わりなあ (悪い) 言うて。

**とぶれる** 飛び出る 突出して居る [会話] めえな (目が) トブレルもんで (ているので) 目とぶれ言うて。

**どべ【名詞】** 最下位 しんがり びり (志 (鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥、桑市、員、鈴市、安、松、多、上、阿、張、名、伊、北、尾、南)

**どへざめ【名詞】** どちらめ どえ参照 (志)

**どべそ【名詞】** 樽のいれこについた窪

**どべた【名詞】** 地面 (多) [会話] ドベタ 言うと 地面。コンクリ とか、つちべ とか、すんのを (するのを) ドベたい (に) だまけん (完全にあけて) しとけ (しておけ) 言うて。そして 蓆の上なら 蓆の上 い (に) だまけん (に) しときやええわれ (しておけばよろしい) 言う時もある、

**どぼ【名詞】** 1) おたまじゃくし たどぼとも言う。(志) 2) 沙魚の一種 だぼはぜ ちちぶ 体がやや肥大した感じ 胸鰭の基底近くに黄色の垂直体がある だぼはぜの下略訛りか。(多、桑郡) 3) とうごろう いわし トウゴロウイワシ科 側線は無いかまたは不完全、断面は円形か少し側偏する。腹縁に隆縁が無い、上顎は一般に伸出可能で下縁に歯を備える。肛門は腹鰭の基部と後端のほぼ中部に開孔する。下顎の各側片は後部で明瞭に高くなる。鱗は鈍い櫛鱗。[会話] 1) たあ (田) のドボも 有るし、2) 海の ドボも 有る

し (有ります)。おたまじゃくしの事を ドボ タドボ言うて、腹な (が) おっきい (大きい) と タドボ みたいな (だ) 言う、腹な (が) おっきい と、尻な (が) こけとると (細くなっていると) あや (あれは) タドボ ん (に) よお (よく) 似とるなあ (似ている) 言うて。ハラドボよ (奴) 言うて、腹な (が) おっきい (大きい) と ハラドボや (だ) 言うて。2) 海の ドボ言うな (言うのは) 潮 (海水) が 干いて くと (いくと) 島の あわい (間) ん (に) 水な (が) 溜まつとると (ていると) それん (に) ちゅちゅと めつばち (めだか) みたよな (のような) おえんどると (泳いでいると) あれ ドボやなあ (です) ドボ掬って言うて あれ 潮な (が) ちよいと (少し) 有るとこん (所に) でも おる (居る) やんかい。

**とぼけ (惚)【名詞】** 1) 知って知らないふり 2) ぼんやり者 (張) [会話] 1) トボケとんねやれ (ているのだ) 言うて、知つとても (ていても) 知らんふり しとると (していると)、トボケてまあ 言うてなあ。すらして (知らぬふりして) トボケとんねやれ あや (彼は) 知つておつて (居て) あげん (あんなに) ますら (知らぬふり) しとる 言うて

**とぼけがお (とぼけがお)。とぼけづら【名詞】** 1) 知って知らない顔すること 2) 間抜け面、ぼんやりしている顔 [会話] 2) トボケづら。うとんぼ (間抜け) みたよん (のように) しとんのをなあ (しているのを) トボケづらしてあやれ (あれ) 言うて。もともと (元来) 馬鹿で 間抜け みたよな (のような) 顔 しとんのおと (していると) 1) 知つとても (ていても) 知らん顔して とぼけとんのなあ (ているのです)。あや (彼は) とぼけとんねどお (ているのだ) 言うて 知つて知らん顔して 人の話 耳い (へ) 入れんとなあ (入れずに)

**とぼける (恍) (惚)【自カ下一】** 1) しらばくれる わざと知らないふりをする 2) 寝とぼける。寝ぼける。(南)

**とぼし【名詞】** 灯 (南)

**とぼし (乏)【形容詞】** 少ない。(桑)

**とぼしあぶら** 灯明、灯火に使う植物油。(鳥 (鳥羽))

**とぼす (灯)【他サ五】** 点火する ともす (志 (浜島)、鳥、桑市、三、鈴市、安、津、一、多、上、阿、張、名、度、伊、北) [会話] ひい (火) をトボス。みやかし (みあかし) トボスとかなあ。明りを トボス。明り 点けえ (つけよ) 言うのを 明りトボシトケ (ておけ) 言よおった (言いました)。どおそく (蠟

燭) も トボシとけ 言うて。ほとくさん (仏さま) や 神さんへ お灯明あげる言うて、皆 灯りを しよおったや (して居ました) 神さんやどけも (なども) 御灯明 言うて。しょうがつ (正月) やどけ (など) 三が日 お灯明 必ずあげて そして お灯明 しめしとけ 言うて、消すのを しめしとけよお (ておきなさい) 言うて あげよおったわい (あげて居ました)。昔の行事は なんも (全く) 無いよおん (に) になってくなあ (行きます)。そやよって (それだから) おなご (女) の節句 三月の節句でも なんも (何も) しやせん (しません)。そやけど (それだから) 男の節句ん (に) になると、あの子な (が) まめ (健康) なよおん (に) 思て (思って) 菖蒲を風呂い (に) して 菖蒲酒しとくの (しておくのです)。菖蒲酒は こや (これは) 魔除けやよって (だから) 飲め 飲め言うて 飲ますね (飲ますのです)。昔は節句の 菖蒲酒は こお (子) もおけんもん (座まない者)、若いもん (者) に 一番に飲ませ (飲ませなさい) 言うて、あやかりもん しやせん (奇形児が出来ない) 言うて、こお もおけるうちは (出産の可能性ある間は)。菖蒲酒言うのは みきすず (御神酒徳利) い (に) 御神酒入れといて (ておいて) そして 菖蒲を さいとくの (さしておくのです) それを 神さんへ 奉て、そして わがとらも (自分達も) 頂くの、昔や (は) 菖蒲 鉢巻きん (に) して しらめ (風) の口な (が) いがんでくよおん (歪んでいくように)、頭な (が) やめんよおん (痛まないように) べんきよ (勉強) も よお (よく) 出来るよおん 言うて、菖蒲 鉢巻きん (に) しよおった (して居ました)。トボス言うのは 明かりをつける 明りをなあ 御灯明 あげえ 言うて、そして 御灯明消しとけ (ておけ) 言うの 御灯明も しめしとけよお 言うて、けえしえ (消せ) 言うのを しめしとけよお言うて 言われよおった (言われました)。そして 正月でも 寝る 言わんと (言わずに) 稲積む 言うて、まあ 稲積まんかれ (積みなさい) 言うて、正月の おつごも (大晦日) ん (に) になると。そやよって (それだから) 常 てえねんな (丁寧な) 言葉使うと、あや (あれは) しょうがつ (正月) 言葉で 言うて 言よおった (言っていました)。しょうがつ だけは てえねえ (丁寧) ん (に) しよおったもんで (して居たので)。

**どぼず【名詞】** 1) 僧 僧侶 坊主 (志 (鳥羽)、三)  
2) 子供

**とぼつく【自カ五】** 勢いがなくなる とんぼりしている  
[会話] ねぶとおて (眠くて) めえな (目が) とろんと しとる (している) 時な (が) 有るやんかゝい。  
(でしょう)、めえな トボツク。

**どぼづけ【名詞】** とぶ漬け 糠味噌漬け 特に酒粕や酒を混せて汁気の多いもの どぶ参照 (志 (御座、浜島、甲賀、志島、鵜方、神明、立神、国府、安乗)、鳥 (坂手、国崎、答志、菅島)、阿、張、名、度、伊、北、南) [会話] とぶ漬けや 糟づけ

**とぼとぼ【副詞】** 力なく動作が緩慢であるさま とぼらとぼら 参照 (阿、張) [会話] めえな (目が) うと おて (弱くて)、トボトボしとる (している)

**どぼどぼ【副詞】** 1) 柔らかいさま 2) 衣服などの大きいさま (志 (布施田)) [会話] 2) ドボドボやなあ (だ)、だぼだぼしとる (している) 事を、着物着ても 大きいな (のは) ドボドボしとる 言うね (言うのです)。体に 合わせん (合わない) のを、ドボドボしとる。1) なんやかや こねても やいこいと (柔らかいと) ドボドボや (だ) 言うて、柔らかいのを言うと おかい (お粥) みたよん (のように) しとんねやんかな (しているのです)、そすと (そうすると) こや (これは) ドボドボや (だ) 言うて。おかい の ドボドボや (だ) 言うて、そして 味噌でも しこで (仕込んで) 水な (が) 多いと、今年の味噌あ (は) ドボドボやなあ (だ) 言うて、水気な (が) 多いの (のを)。水みたいん (に) なつとるのは (なっているのは) そげん (そんなに) 言わせんけど (言わないが) なんでも 物入れて こねると やいこいと だろどろやなあ とか、ドボドボやなあ とか 言うて。1) きもん (着物) も おっきい (大きい) と ドボドボ しとんない (している) 言うて、おぶれたよおな (濡れたようだ)、あやれ (あれ) おぶれとんない (濡れている) 言うて そおで (袖) な (が) なあごおて (長くて) おぶれとんねよお (濡れているのだ) 言うて。

**どぼどぼえん【名詞】** 腐れ縁 切っても切れない縁 [会話] 合縁 奇縁 そおこおえん (相好縁)、池んはまって ドボドボエン。合縁 奇縁やれ (だ) 言うてなあ、あげな (あんな) とこい (所へ) 行て 言うけど、好きな人もあや (有れば)、嫌いな人も 有る言うのをな。あげな のおな (のが) 好きん (に) なって 言うて。池ん (に) はまって、ドボドボエンや (だ) 言うてなあ。池ん (に) はまると どぼどぼと しとるやんない (しているでしょう)。おおた ドボ

ドボエンやなあ(だ)言うて、しっかり 惚れとる(ている)、なつと(なんと)言うても、えごつと(完全に) 池ん(に) はまったよんなつてく(なつて行く) 事やなあ(です)それを例えてあんね(有るのです)

とぼら【副詞】元気がない様 疲れたさま [会話] めえな(目が) うとおて(うとくて・見えにくくて) トボトボしとる(している) 言うて。歩くのんなあ(の)に めえな 見えんと(見えずに) よさり(夜) さぐりや歩いて(探りながら) 歩いとんなあ(歩いている)、めえな めえんで(見えないで) トボトボしとる(している) 言うて。トボラトボラも言うしなあ(言います)、トボラトボラしたよおん(に) 言うて、めえめくいと(見えにくいと) とぼとぼと歩いて来たね(来たのだ) めえな めえんで 言うて。トボランと しとる(している) 言うのは なんか 性根な(根性が) 無いよん(ように) 考え事 したよおん(に) しとる 時な(が) 有るわい(有ります)。たわいな(持ちこたえが) 無いよおん しとると(していると)、あや(あれ) とぼんと なんやら(なにか) 考え込んだよおん(に) しとられ(している)、トボランと 言うて。ここの うとおよ 言うて ぼんやりと なんも(少しも) 気な(が) のおて(無くで) とぼんと しとんのおを(しているのを) うとお言うの。うとお みたいん(のように) しとる、うたあ(うとおは) まあ 言うて わるわれおった(叱られて居ました)、うとおよ言うて うとい(馬鹿) のおを(のを) うとお うとんと しとるもんで(しているの)。まあ なんもかも なんしとんねやら(何をしているのか) 考えんねないし(考えないし) なんしとんねやら 判らんよおん(判らないように)して、とぼんと しとるやんない(しているでしょう) あや(彼は) うとおやなあ(だなあ) 言うて。

とぼらとぼら【副詞】疲れたさま 年寄って衰えたさま  
とぼらんと 気の抜けたさま

とぼる(点)【自ラ五】灯る。ともる。(志、鳥)

とぼん【副詞】気の抜けたさま 消然(志(布施田))

とま(苫)【名詞】船の覆い 茅などを菰のように編み、和船の上部の覆いにしたもの(松) [会話] 舟の囲うのん(の)に) トマ、今しや(は) カバー。茅でしてあんの(あるのです) 屋根葺くよおん(に) してしよおったけど(して居ましたが)。

とまい。とまえ。とまえどん【名詞】1) 海女作業を船上で支える人 2) 海女を乗せて行く船頭 苫に居る

人の意か。(志(布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥(国崎 石鏡 答志)) [会話]  
1) トマエ。いそど(磯人・海女)の トマエ。“トマエドン こいとばあ(おばあ・小母) これ見てくれんか(下さい) いまめ(うばめ壺) のかぶた(株)で ぼぼ突いて 言うて、きい(木) 拾いん(に) 行くと、そげん(そんなに) 言うて。山ん(の) 中い(に) 入りおったね(入って居たのです)。尻突いたんやろなあ(のでしょう) 熊野い(に) 行くと、拾いん(に) 行くんやんかい(のです)、あたるきい(暖をとる木)を、山な(が) ねき(近く) やもんで(なので) きい(木) へしよりん(へし折りに) 行くんやんかい 枯れ木を。そして したや(ら) 尻餅ついて 尻突きか 何か したんやろなあ(したのでしょう)。そんで(それで) トマエドン こいとばあ 見てくれんか 言うて。2) トマエ言うのは 海女さんな(が) 船い(に) 乗って行くの(のを)、こんでく人(漕いで行く)を トマエ。

とまえちん 海女がとまえに支拂う賃金。(志)

とまえとり【名詞】とまえに支拂う賃金を各海女の収獲のなかから集める人、また、その賃金 獲物の多い海女が当る [会話] トマエトリ言うて とまえな(の) 桶へ、てんぐさ(天草) かずいて来ると(獲つて来ると) みんなんの(皆ののを) けしといて(減らして) とまへのぶん(分、当たり分)を ひとつかみいつ、とよおったね(一掴みづつ取って居ました)。昔や(は) そつと(すると) トマエトリは わがのお(自分の物)を 一番として よけ(多く) とらな(取らなければ)、人んのおから(ののから) とられやせんやんない(取れないでしょう)。それやもんで(それだから) よお獲らんにげは(漁獲の少ない人は) よけ(沢山) 出したら わがと(自分) なんも(少しも) 無いやんない(でしょう)。それやもんで(それで) トマエトリするにげ(人間)は 一番えらいにげな(偉い、漁獲の多い人が) トマエトリせなは ざんやんない(しなければいけないでしょう)。そつと(すると) やや(いやだ) 言うても そおさせんね(させます)。一番よけ 獲るにげな(人間が) トマエトリせな(しなければ) わがのお(自分ののを) 先い よけ(沢山) 取つとかな(ておかなければ) 人んのおな(ののが) 取られやせんやんない(取れないでしょう)。そやもんで(それで) トマエトリは一番偉いにげな(人間が) しよおったん(して居たのです)はかりとりやとか(だとか) トマエトリや(と) 言う

のは。

**どまくら【名詞】** 舟の一部の名称(四、鈴市、鳥) [会話] ドマクラ言うな(言うのは) きいな (木が) 横にして、真ん中にこいな (こんな) 角な(が) やってあるやんない (つけて有るでしょう)。あれを ドマクラ言うの。ドマクラ 枕ん (に) して よお (よく) 寝るなあ (寝ます)。あれ 櫓 漕ぐのんなあ (のに) どおぐいな (が) やってあんの (つけて有るのです)。おきざ (置座) やって (置いて) ろおぐいな (が) してあって、ろまくら 言うね (言うのです)。櫓の枕。舟 引く時や (引き上げる時は) どおいせ どおいせ 言うて あれ持って かずきおった (担いました)。昔や (は) 舟 毎朝おろして (陸から海へ浮かべて) よさや (夜) 引いて しよおった (して居ました)。今しや (は) 一年中 うけとるよって (浮かべているから) 舟も 引かんで (引き上げなくて) ええけど (いいが)。

**とます【名詞】** 一斗升。とおけ、斗桶。(上、阿)

**とまっとられ** 1) 止まって居る 2) 泊まって居る [会話] 1) 鳥な (が) トマツトラレ、おおたれ (追つてやれ) 言うて。

**とまめ【唐豆】【名詞】** 蚕豆 空豆 そらまめ やや柔らかく水気の多い一〜二年生のもめ類、まめ科 茎は四角で直立し、高さ四十〜八十糎、基部は分岐する、葉は四〜六枚のやや厚みのある長楕円形の小葉からなる 花は蝶形で白色 微紫を帯びる 果実は円柱状で、種子は大きく扁平で、へそは細長く暗褐色である(志(畔名、越賀、御座、浜島、立神、鶴方、神明、国府)、鳥(国崎、相差、答志、坂手)、飯、度、南) [会話] 空豆の事 トマメや (と) 言うね (言うのです)。おやつ言うて 無いと トマメを かつたいの (堅いのを) ぱりぱりと噛みおったね (居たのです)。今し (今) の子ら (達) あいなもん (あんなもの) よお 噛もかい (噛めません)。うまいのなあ (のです) トマメは。豆とまおとか (間男は) やめられん言うて、豆 噛みかけたら うもおて (美味しくて) やめられやせんねやんかい (やめられないのです)。まいかけ (前掛け) い (に) 入れ といて (ておいて) そんな (それが) おやつで、あられや (と) 言うたや (言ったら)、とびき (とうきび) のあられや (とか) 栗のあられで 米のあられや (は) ちょいとより (少ししか) 無いし やんない (でしょう)。巾着を毛糸で編んでもおて (もらって) 腰い (に) さがら か して (吊して) それい (に) きんこ (イモの煮切り

干) てら (とか) 入れて。ぐみ (木の実) な (が) なると 広の浜い (へ) ぐみ 食うて 尻つまらかして (便秘して)、ぐまんりよ やたら。夏になると ち つつちやい (小さい) 袋い (に) トマメ 入れてもおて (もらって) 潮浴びん (海水浴に) 行て (行つて) ほとべて (水を含んで柔らかくなって) 来ると そんな (それが) 美味いね (のだ) 言うて。ぐまんじよ言うて あらくさ (豆撒き) の あれを ぐまんじよ。紫の無果実の ちつつちやいのお (小さいの) みたい のな (のが) なんねやんかい (なるのです)。しよん がつ (正月) のあらくさの 箸ん (に) すんの (するのを) あらくさ あらくさ言うて刺す 時ん ぐまんじよのきい (木) 削つて 刺すやんない (でしょう) あれのもも (実) な (が) 無果実の あんで (あれで) ちつつちやいのおやてや (小さいのです) あからむと (熱すると) 真つ黒ん (に) なつて来て うまいん なあ (美味しいのです)。

**とまりおや【泊親】【名詞】** 泊屋の主人。(志)

**とまりこ【泊子】【名詞】** 実家が狭くて寝るところがないため、夕食後、他人の家に行つて、その家の子供として、泊まる子供(志)

**とまりちん【泊質】【名詞】** 宿泊料 旅館などに泊まつた代金(志、鳥、北、尾) [会話] トマリチン 幾ら やつたんど (でしたか)。

**とまりや【泊屋】【名詞】** 泊子が宿泊させてもらう家 [会話] 昔や (は) 家な (が) ひいろおて (広くて) 言うてもなあ 今し (今) みたよな (のよう)に ひいろ (広く) ねえ (無い) けど (が)、そんでも (それでも) どしこむねよってんなあ (つめ込むのだから)、一間い (へ) 敷布団も なんも (なにも) せんと (せずに) 布団一枚 家から もて (持って) 来て それ引っ掛けて 雑魚寝すんね (するのです)。あんな (彼が) 寝るとこ (寝ていると) そのちい (へ) 突っ込み あつちやからも (あちらからも) 突っ込み しよおってなあ (して居て)。ほんどこ (本床) で、とらせんねやんかい (敷かないのです) そやよってんなあ (だから) 何処い (へ) でも トマリヤい (へ) 行て 泊まっとれ (ておれ) 言うて。そして トマリヤい (へ) 行くと みんな (皆) な (が) 雑魚寝 して とまりこ な (が) 来よおって (来て居て) 部屋な (が) 幾つも いろかい (要りません) 八量の 間な (が) 一部屋もあや (有れば) それい (それへ) 来て、転んどんね (でいるのです) やうちな (一同が)。そす とまあ (すると) 朝 沖い (へ) 行くのん (のに)

起きやんかれ (起きなさい) はよ (早く) 言うて起こしん (に) 来る もん (者) も有るし、朝寝しとるもん (している者) も 有るし。とまりこ言うて そのトマリヤに 泊まりん (に) 行く にげ (人間) をなあ とまりこ言うて。そすところだ トマリヤの親父 な (が) 皆 なことおや すんね (するのです) トマリヤの親父ん なことおや (仲人) してもらえ言うて。  
**とまりやのおやじ【名詞】** 泊屋の主人。とまりや参照 (志)

**とまりんく** 泊まりに行く。婚約が終って嫁方の家へ男が泊まりに行く。(志 (布施田))

**とまる (止)【自ラ五】** 1) 残る 2) 妊娠する [会話] 1) 絞った水 取ったと (取ってやると) 袋の中い (に) みいな (身が) 残るやんない (でしよう)。袋い (に) トマツたお (の) だけ取るの。

**どまんなか (真中)【名詞】** まんまんなか どは接頭語。まんなかを強めた語 (大言海) [会話] ドマンナカ言うて、人な (が) よけ (沢山) 座つとんのおえ (ているのへ) 中い (へ) 入つてくと (て行くと)、おおた 人の ドマンナカイ (へ) 入りこんで座つて 言うてなあ。

**とみかん (唐蜜柑)【名詞】** 蜜柑の一種 (志 (立神)、熊) [会話] トミカン言うな (言うのは) 今しや (今は) 無いのお (です)。ネーフルみたよん (のように) ネーフルは出づな (が) 出とるけど (出ているが) トミカン言うな (言うのは) 出づな (が) 出とらせんねけど (出ていないのだが) よお (よく) 似とた (似ていた)。こおるい (柑橘類) な (が) あつて うずきち 言うのを 植えとて (植えていて) じゅうりん やたら (とか) 言うて、じゅうりん言うのは (のが) うずきち やんかい (です)。

**とみな【名詞】** 野草 たんばぼ?

**とみわうち【俚言】** 富は内 節分の豆撒きの文句。寝室に撒く時。(鈴郡 (関)、度 (小俣)) [会話] トミワウチ言うて、寝間い (に) うつ (撒く) のは言うんなし (言います)。

**とむない【名詞】** 1) 葬式 2) 法事、法要 [会話] とむらい言うのなあ。葬式を死んだ時にとむらい。トムナイもして貰わんと (貰わずに) 言うてな、トムナイ言うのなあ (です)。

**とむらい (とむらひ) (弔)【名詞】** 1) 葬式 2) 法事。法要。(阿) [会話] 1) トムライ言うな (のは) 葬式をなあ。死んだ時にトムライ。トムナイもしてもらわんと 言うて、トムナイ 言うのなあ (です)。トム

ライ場言うて 有るやんかい (有ります)。死んでて (で行って) 葬式してもらや (もらえば) とむろて貰うけど (のだが)。

**とむらいば (弔場)【名詞】** 墓地内の葬儀を行う所 (志 (浜島)) [会話] トムライバ だんとば (らんとば・卵塔場) の事 トムライバ言うのなあ (のです)。きりきり がん (棺) 乗せといて (ておいて) まある (回る) やんない (でしよう)。あしこ (あそこ) トムライバ言うの (のです)。らんとばわだ (は)。あしこ (あそこ) で とむろといて (弔ておいて) つば (棺) 埋めん (に) 行くの。

**とむらう (とむらふ)【他動五】** 1) 葬式を行なう 2) 亡き人の霊を供養する。

**どめくら (盲)【名詞】** 目の見えない人

**とめど (止所)【名詞】** とめるべきところ とどまるところ 際限 [会話] 喋りかけたら、トメドな (が) 無いね (のだ) 言うて、よお (よく) 喋るにげ (人間) な (が) 喋って来ると。あんな (彼が) 喋りかけたら、トメドな (が) あるかれ (無い) 言うてな。して なんでもなあ (なにでも) しいかけると (し始めると) あんな (彼が) いきつてきたら (精出して来たら) トメドな (が) 無いわれ (です) てやらなあ (とか) 終わる事を知らん、続けさまん (に) やつてくん の (して来るのです)。水道の破れると なつとも (なんとも) しよな (仕様が) 無いやんかい (です)。そいな (そんな) 様な意味やわい (です)。止めよ (よう) 言うても 止めよな (ようが) 無いやんない (でしよう)。

**とめどない** 際限が無い。(志 (布施田))

**とめやく (止役)【名詞】** 喧嘩や紛争の仲裁に出る役、又、その人

**とも【名詞】** 1) 踵 きびす かかと (志 (御座、布施田、志島、片田、鵜方、神明、立神、甲賀、国府、安乗)、多、度、北、尾、南、熊) 2) 船尾 艫 船の後方 (志 (浜島)、四、鈴市、鳥、熊) [会話] 2) 舟のトモ、1) 足のトモ 言うて 踵の事。

**ども (吃)【名詞】** 物を言うのに滑らかに言えない人 (志 (浜島、志島)、鳥 (相差、桑郡、員、津、伊))

**ともえさ (友餌)【名詞】** 魚を釣る時、同類の魚を餌にする事 (熊野灘沿岸地方) [会話] トモエサ言うな (言うのは)、鰯 釣んのん (釣るのに) 鰯 かい といて (身を取って)、鰯で 釣ん のを トモエサ言うのなあ (のです)。うなし (同じ) 魚の餌で すん (する) のを トモエサ。鰯かいといて 言うのは

鰯を身おろし(調理) すん(する)のを、かいといって、餌かいて 刺せ 言うて、そして こんだ(今度は) 頭や胴だけを たんたんとかついいて(ておいて) かぶせ(こませ、撒き餌)に ちっちゃあい(小さい) 網の袋い(に) 叩いたの(のを)入れて、さわ(竿)の端い(に)して、底い(に)突っ込んどいて(でにおいて)海で こおすると(振ると)出てなあ(内部の物が出て)魚な(が)寄って来るよん(ように)かぶせ、かぶせに せえ(しなさい)かぶせかわな 言うやんかい(言います)。かぶせ言うのは 魚寄せんの(寄せるのです)かぶせ。撒き餌を かぶせ言うの。かぶせ 飼わな(飼わなければ)言うて、そすと(そうすると)魚な(が)寄って来るやんない(でしょう)にげ(人間・人)でも 人 寄せる時にや(には)かぶせ かわな(なければ)言うて よお(よく) 言うやんかい(言います)魚ん(に)例えて。

**ともおし【名詞】** 舟の左側、艫の櫓を漕ぐ人(志) [会話] 艫い(へ) 舵とる どお(櫓)を ともろや(です)。それ漕ぐ人、トモオシ。どお(櫓)漕ぐトモオシな(が) おもかじ、とりかじを どお(櫓)で あっちゃ(あちら)むけ こっちゃ(こちら)むけ 出来んえ(出来るのです)。

**ともかずき【共潜】【名詞】** 1) 海中の妖怪 曇った日に水底で見掛けると言う、自分と同じような姿の魔物(志(布施田、甲賀)、鳥(国崎)) 2) 二人以上で海女作業をする事。[会話] 2) トモカヅキ 言うて 二人です時ん(に) トモカヅキやなあ(だ)言うて。ともかずき しよおや(しましよう)言う時な(が) 有るやんかい(有ります)。二人でも、三人でも、一緒ん(に)してなあ トモカヅキ しよおやんか(しましよう)言う時な(が) 有るんなあ(有るのです)。1) トモカヅキな(が) くんど(来るぞ)言うて 魔のもん(物)の事なあ(です)。

**ともがんこ【名詞】** 舟の艫に有る生簀。かんこ参照(鳥)

**ともぎれ【共切】【共布】【名詞】** 衣服の本体と同じ布。衣服を作った時の残り布。

**ともぎんみ【共吟味】【名詞】** 1) 仲間同志で互いに調べ合う事 2) 仲間同士で、監視し合う事 [会話] 2) トモギンミ言うのは、鮑 採んな(採るな)言うのには、採て(採って)来る もんな(者が)有るよつて(から)、皆な(が)海女のもんらな(者達が)あや(彼女は)採ったてや(と云えば)、あれも(彼女も)採った言うて、すん(する)のを トモギンミ

言うのなあ(のです)。仲間同志な(が)吟味すんのを トモギンミ。トモギンミ せな(しなければ)整理な(が) つかせん(つかない)言うて。

**どもこも【副詞】** 動作の鈍い事(志(片田、布施田、波切)) [会話] トモコモ しとる(している)言うのは、どんな(鈍い)事 しとて(していて)、どもども ねちねちとしとる事

**ともし【燈】【名詞】** ともした火 燈明 室内の灯火 [会話] トモシ言うな(のは)、ひい(灯)とぼす言うのを、言わせんかい(言いませんか)ともしび言うんかい(のですか)、あかり(灯)の事や(です)。トモシ 言うてな お灯明 あげえ(供えよ)言うのをな トモシもつけえよお(つけなさい)言うてなあ ほとくさん(佛様)へ、する時んなあ(に) そげん(そんなに)して 神さんへあげる(供える)時や(は)お灯明 あげとけよお(ておけ)言うしなあ。

**ともしあぶら【燈油】【名詞】** 光のもとにする油(南) [会話] 昔や(は) しよおじ(精進)油 や(だ)言うて、トモシアブラん(に) 使いおったもんで(使って居たので) よけ(沢山)菜種 採りおったわい(採って居ました)。

**ともしび【燈火】【名詞】** 灯明 [会話] お灯明 あげえ(供えよ)言うのをな トモシビも つけえよお(点けなさい)言うてな。

**ともす【燈】【他サ五】** 燈火をつける 点火する [会話] ひい(火)つける言うのをな、ひい(火)トモス、ひい(火)も トモサント(つけずに)そや言うて。夕方ん(に)なると 暗がりて おつてなあ(居て)、ひい(火)も つけんと(つけずに) おる(居る)言う事をな、ひい(火)も、トモサント おるやんかあ(居るでないか)言うて。ひい(火)つける言うのを トモス言うてな。ひい(火)も トモサント まあ言うて。

**ともだおし。ともだおれ(ともだふれ)【共倒】【名詞】** 双方共倒れる事 互いに争ったり、助け合ったりしたため、両方共、立ち行かなくなる事 [会話] 種 おもさま(思う存分・充分) やつたら(播いたら)、よつけ(沢山)生えて来ると やうち(全部)な(が)トモダオシやもんで(なので)、あいま(あちら) こいま(こちら)抜いて あらけたと(広げると)、そんな(それが) おつきい(大きく)なるやんない(でしょう)

**ともつぎ【共継】【名詞】** 衣服などの破れを同じ布(共布)で修理する事、又その布 [会話] たんもん(反

物)で きもん (着物) こさえて (作って) すると残ったきれ (布) な (が) 有るやんかい (有ります)。それを、トモツギ 言うのなあ (です)。トモツギ残しとかな (ておかなければ) 破れてくと (て行くと) そそくらんならんよって (修理しなければいけないから) 言うてなあ、トモツギは てえねん (丁寧) に ととときよおったわい (取っておきました)。破れたおり (時) んなあ (に) 他のつぎ (布) つぐとなあ (当てると)、べつんも (特に)、つんだよん (修理したように) するし トモツギですとなあ がいん (あまり) わからせんもんで (判らないので)。

**ともづけ (爐着) 【名詞】** 陸へ船をつける時、船尾を接岸させること [会話] 今し (今) 築港に 着けとんなあ (着けているのは) 皆 へづけ (船首で着けている) や、トモツケン (に) しとんなあ (しているのは) 無いもん (です)。

**ともづな (爐綱) 【名詞】** 船の船尾をつなぎとめておく綱 転じて船を繋ぐ綱 [会話] 舟のトモヅナ 言うて、かせ (河岸) い (へ) 着けたおりん (時に) 縛りつけんの (るのを) トモヅナ。 はよ (早く) 降りてトモヅナ 取れえよお (取りなさい) 言うとなあ こおばい (動作が) な 早いもな (者は) かせいびゅつ と、飛んで トモヅナ 取るし。 爐ん (に) ついとる (ている) 綱でなあ 陸へなあ つなぐ、流れてかんよおんなあ (て行かないように) しっかりと つなぐ綱を トモヅナ 言うのなあ (です)。

…**ともて** …と思って (熊) [会話] 老人クラブえ 行 こん (お) トモテ、其処い (へ) 出たや (ら) 雨な (が) 降って来たもんで (ので)。行こ おもて (思って) 其処い (へ) 出たや (ら) 人な (が) 来て 遅なつたとかな。そお言う時に ゆこ (行こう) トモテ、其処い (へ) 出たや お客さんな来て 喋つとてなあ (ていて) 言うの (のです)。行こおと 思って いたんだけど (のだが) 言うのを。

**ともと 【名詞】** 庭 外庭 家の前 (志 (志島、国府、越賀、磯部、片田、御座、浜島、波切、鶴方、神明、立神、甲賀、安乗)、鳥 (神島)) [会話] トモト 庭のこと。家の庭を トモト。トモトも 掃いとけ (掃いておけ) 言うて、トモト 掃くのな (のが) 仕事やつた (だった) やんかい (です)。

**ともど 【名詞】** 左櫓 ともろの訛 (志 (船越)) [会話] トモド あいども こまいど かいど 言うて、よちよ (四丁櫓) で 漕ぐけど、じょお船 (漁船) は は つちよ (八丁櫓) で 漕ぎおったの (漕いで居たの

です)。表い (に) かいど 二丁して そして あいども まとどに トモドに八丁櫓で 漕ぎおったね (漕いで居たのです)。鯉船や さいら (秋刀魚) 舟は 舟な (が) おつきいて (大きくて)、はよ (早く) 沖い (に) 行かな (行かなければ) はざんやんない (いけないでしょう)。 そやもんで (それだから) 八丁櫓で 漕ぎおった。一番前 一番端 表 (船首) の方な (が) かい、爐の方んのは (のは) トモド言うて 舵とんのなあ (取ります) あつちや (あちら) 向けえ こつちや (こちら) 向けえ 舵とんの。真ん中ん (に) おんのな (居るのが) あいどもと こまいどで そして その次んのは (のが) かいど。八丁櫓言うて 表に よちよ (四丁) しかけて あんねやんかい (有るのです)。そして トモドも 二丁つ (ずつ) しよおったやんかい (して居ました)。 かと (鯉) 船は そげん (そんなに) せな (しなれば) 船な (が) おつきいよって (大きいから)。肌 のぎ かけて (脱ぎかけて) 押せ (漕げ) 押せ 言うて 体もしやくって (強くしならせて) 来て、頭な (が) 船板い (に) 着くまで 言うて、どおおし (櫓押し) や (と) 言うて 一番若い 力な (が) えらいのおな (強いのが) あいども こまいど 漕んで、(漕いで) 年寄りは かいを 漕んで (漕いで)。トモドは はさみの どお (櫓) 押して 行きおった (ました)。 そすと (そうすると) 大漁して来た言うと” は とこや はとこや はりやえんや はりやえんや” 言うて 大島の内ん (の) なかから よじよ (四丈・地名) から こつちやがわ (こちら側) い (に) 入ると、あつかい (赤い) べん (紅) で 端染めたの (ものを) しるし (目印) さいて (立てて)。大漁かして (らしく) はりやえんや 言うて来た。はりやえんや はりやえんや はとこやあ、はとこやあ 言うて来ると 大漁の押し込み (入港) の声やんかい (です)。 はとこや はとこや 言うて来ると どいらい (大変) 大漁の時の どびよおし (櫓拍子) で、今日は かと船な (が) 大漁かして はりやえんの声な (が) えらいわれ (大変だ) 言うて、畑から浜 向いて とばしおったの (走りました)。そして 皆な (が) いっしょけんめん (一生懸命に) なって来ると はりや はりや 言うて その声な (が) しよおしよの声やないね (少しの声では有りません)。そして 鯉を浜い (に) 皆 並べると 男の子らな (達が) そのめえ (目) を 皆 抜いて 取って ほぼって (頬張って) うつむけとくん (ひっくり返しておく) やん

かい (のです)。片っぱ (片一方) 抜いて。そすとさ  
いご (その時) 石で 打たれても 男の子らな (達  
が) ちゅつとして抜いてくねてや (来るのです)。  
その目 抜くの 早いおな (のが)。すると  
吸ると よだれ (粘液) も めえ (目) から、とろっ  
と してくね (来るのです)。そんな (それが) う  
まいんてわい (そうです)。両方抜いたると (抜いて  
やると) 判るもんで (ので) かたっぱ (片一方) 抜い  
て 裏がやし (裏返し) してくね (しておいて  
来るのです)。ほがい (顎) に へび 言うのな (の  
が) 有って 頬を開けると あげ (鰓) の つがいん  
(の) とこん (所に) へび言うて ほっそおい (細  
い) のおな (のが) あんねてや (有るのです)。それ  
を 爪でしごいて来て それを 食うねてや (食べる  
のです) そのへびな (が) 美味い 言うて、男の子ら  
な (達が) へび 取ろや (取ろう) 言うて そのほが  
いに ひつ付いとる (ている) それを はずして来て  
食いおったの (食べました)。めえ (目) な (が) 抜  
いて有ると あきうど (仲買人・商売人) な (が) ね  
え (値) な (が) しやせんやんない (しないでしょ  
う)。そやもんで (それだから) 石を 打ちたおされ  
たてて (ても) きこかい (聞きません・効き目があり  
ません)、その 抜くのおの (のの) こおばいの早い  
の言うたら、見とると (見ていると) 目覚ましよおな  
ねてや (ようです)。きゅつと抜いて ひゅつと 引  
きずり込むと そのめえ (目) から よだれな (が)  
めえ (目) のとどな (が) 流れる言うんやろ (言うの  
でしょう)、そんな (それが) 美味いんてわい。こお  
ばい言うのは こおばいな (が) 早よおて (早くて)  
言うて、その態度な (が) さ、さ、さつと ささこし  
ねてや (のです)。ささこしな (のは) すばしこいの  
おなあ (のです)。

…ともとた と思って居た

…ともとる …と思っている [会話] 思とる (思っ  
ている) 言うのを、トモトル言うの (のです)。思っ  
ています 思います 言うのを そげん (そんなに) 思  
とられ (思っている) おら (俺) 言うて。おら (俺  
は) そげん (そんなに) 思われ (思う) たら (とか)  
言うて おら (俺) そげん (そんなに) 思とられ 言  
うて

…ともとんね と思って居るのだ

…ともない 希望の助動詞“たい”に助詞“も”及び、  
打ち消しの補助形容詞“ない”のついた、たくもない  
の音便形 たうもないの転 動詞の連用形について、

したくもないの意を表す (志 (布施田)、張) [会話]  
聞キトモナイ 見トモナイ。見トモネエワレ (無い)  
面な (が) 憎うて (憎くて) 見トモネエワレ、開いた  
めえ (目) で 見とおもねえ言うて。あいた あき目  
で 見たないわれ (見たくない) 憎さも 憎い言い方  
やなあ (です)。開いためえでも ふさいだめえでも  
見たないわ言うて ごおなわいて (腹が立って) ごお  
なわいて五 五 二十五や (です)。

どもならず【名詞】いたずら者

どもならん どうにもならない ごめんだ 始末におえ  
ない (志 (浜島、布施田、鶴方、神明、立神、甲賀、  
国府、安乗)、鳥、桑市、員、三、鈴市、鈴郡、安、  
津、一、松、多、上、阿、張、名、伊、北、南) [会  
話] ドモナラン、あやまあ (彼は) ドモナランねよ  
ってん (のだから) 言うて、なつとも (何とも) なら  
んのを (ならないのを) ドモナランねよってん。不良  
で なつともしよおない (仕方がない) のを、あや  
まあ ドモナランねよって 内でも外でも 言うて。  
も (もう) 一つ いやや (嫌だ) 御免や (だ) 言うの  
を、ドモナラン おら (俺は) そいな (そんな) 事  
ドモナラン言うて、したない (したくない) 事を そ  
いな事 したないのに (したくないのに) そいな事  
ドモナラン言うて。

どもならんばおず【名詞】乱暴な子供

ともね (共寝)【名詞】一つの布団に二人が寝る事。添  
い寝 1) 子供と寝る時。2) 夫婦の同衾。

ともばたらき (共働)【名詞】夫婦がどちらも働いて生  
計をたてていく事 共稼ぎ (志 (布施田)) [会話]  
夫婦な (が)、とおやん (父様) も 月給取りん  
(に) 行く、かあさん (母様) も 月給取りん (に)  
トモバタラキで、今しや (今は) 家ん (に) おる も  
な (者は) 無いね (無いのです)。

どもり (吃)【名詞】発声の滑らかで無い人 ども参照  
[会話] ドモリ どもつとんのなあ (ているのです)。  
もの言うのん (のに) ど、ど、ど、ど、言う。ど、ど、  
ど、ど、おだだけの ああだめを 言うてな、俺家の  
荒布言うな (です)。昔や (は) ドモリな (が) よけ  
(沢山) 有ったけど (が)、今しや (今は) そげん  
(そんなに) どもる にげ (人間) や (は) 無いなあ  
(有りません)。泡 食うと はざんねんなあ (駄目  
なのです)。あや (あれば) 静かにしてなあ 慌てん  
と (ず)に 言うて ええねけど (よいのです)。

どもり【名詞】堂守り お堂の面倒を見る人 [会話]  
観音さんを しとる人でも、ドモリ言よおったやんか

なあ（言って居たで有りませんか）堂の守り言うのを  
ドモリやてわい（だそうです）言うて、堂の掃除した  
り、なんやかや 世話する人 を ドモリや言うて。

**ともる（點）【自ラ五】** 火が燃える。照明がつく。

**どもる（吃）【自ラ五】** ものを言う時に滑らかに声が出  
なくて、つかえたり、同じ音を何度も繰り返したりす  
る [会話] ドモル 言うのは、ものが はっきり  
言われやせん（ないのです）。

**ともろ（艫櫓）【名詞】** 二挺以上の櫓を使用する船で、  
最も船尾に近い左舷の櫓 普通は他の櫓より長い と  
もど参照（北（須賀利）、尾）[会話] 艫い（へ） 舵  
とる どお（櫓）を トモロや（です）。艫の一番端  
んなあ（に） どおぐい（櫓杭） な（が）して有ってな  
あ、そんで（それで） 舵とんねやんかい（取るので  
す）。ひかえ おさえ 言うな（のは）トモロで す  
んねよってんなあ（するのですから）トモロよお（よ  
く） 漕ぐひた（人は） 稀なかつたんなあ（でした）。  
舵とんのん（取るのに） 下手なと（だと）何処い  
（へ）でも とびやげてく（衝突する） やんない（で  
しょう）。

…**とや【助詞】** して居れば

**どや** どうだ 如何ですか（上、阿、張）[会話] なん  
ドヤ 言うなあ。おみや（貴方は）なんドヤ 言うて、  
なんど（何ですか）言うの（のです）。それん（に）  
や付けるもんでなあ（ので）なんドヤ なんどえ な  
んどれ 言うて、昔の婆ら どれを付けよおったやん  
かい（付けて居ました）。婆やん どおで（どうです  
か）言うて 行くと、なんどれ 言うてどれを 付け  
よおった（付けました）なんどお言うのをなあ。

**どやき（土焼）【名詞】** 素焼、うわぐすりを附けないで  
焼いた土器。[会話] かあくすべ 言うて。蛸壺みた  
よな（のような）のおな（のが）有って。ドヤキの  
のおい（のに） ぼら（穴） な（が） あいとて（あいて  
いて）、それい（に） よごめ（蓬）の 乾いたのを  
埋めて ひい（火） つけといて（ておいて） くすべん  
の（いぶすのです）。蓋しといて（しておいて） そす  
と（すると） けぶり（煙） な（が）出て かあくすべ。

**とやげたた** 取り上げてやった

**とやげたて** 取り上げてしまって [会話] 取ったて  
（てやった）言うのを、トヤゲタテ とやげられた  
まあ 言うて だれ（どれ） おこせまあ（よこせ）言  
うとと（ていとう） ええねけど（よいのだが） だれ  
（どれ） おこせ（よこせ）言うて しゃくつてくとな  
あ（強く引いて行くと）とやげられた言うの。箸もと

やげられた 言うてなあ、飯も食わせん（食べさせ  
ない）言うて 箸も 取ったと（てやると）箸も  
とやげられた（取り上げられた）言うて。

**とやげてた** 取り上げて行つた 奪って行つた [会話]  
とられたと（てしまうと）箸 取られたた（てしま  
った）言うのをな 取りあげてた（ていった）取って  
たの（のを）、取られたた（てしまった） もな（者  
は）トヤゲタテ、だれ（どれ）取ったんどお（てやる  
ぞ）言うて 取ったる（てやる） ひたなあ（人は）、  
取られた もな（者は）トヤゲタテ。

**とやげばあさん。とやげばば【名詞】** 産婆 助産婦  
老婦人で出産の手助けをする人 [会話] 産婆さんが  
トヤゲバアサンや（と）言うて 昔や（は）、今しや  
（今は）産婆さんや（と）言うけど トヤゲバアサン  
や言うて。婆さんな（が） 有りおったわい（有りました）。なんも（何にも）学問も無しん（に）我流で  
あげん（あんなに）して しよおったんなあ（して居  
たのです）。生まれる頃やるなあ（でしょう）トヤゲ  
バアサンや（だ）言うて その婆さんを 皆 頼みお  
った（頼んで居ました） なんの（全く）学問も ねえ  
ん（無い）けど かんで（感覚で） しよおったんやろ  
なあ（して居たのでしょうか）。昔の人は 経験で わ  
がとらな（自分達が）した 経験で“病 すや（すれ  
ば）医者する”言うて その病氣すると わがと（自  
分が） わりかった（悪かった） とこ（所）を 人な  
（が）わり（悪い）言うて 医者どん（殿） みたよん  
（のように） そや（それは） どおやれ（どうだ） こお  
やれ（こうだ）言うて 言よおったもんで（言って居  
たので）、弱い人らは わがとな（自分が）経験で  
病人を。医者言うたら 死んだり 生きたりやなけな  
（でなければ） 頼ませんねよって（頼まないのだから）  
常は（いつもは） ちょいとしたなあ（少しの物  
は） そげんして（そんなに）我流先生で。

**とやげられた** 取りあげられた [会話] だれ（どれ）  
おこせ（よこせ）言うて、しゃくつてくと（引たつ  
くって行くと）トヤゲラレタ 言うの。飯も 食わさ  
せん（食べさせない）言うて 箸も 取ったと（て  
やると）箸も トヤゲラレタ 言うて。

**とやげる【他ガ下一】** 1) 取りあげる 取って自分の物  
にする だましたり、腕力にかけたりして奪い取る  
2) 産婦を介助して、子供を生ませる 3) 相談する  
[会話] 1) あんたん（貴方の） のおを（のを）、わし  
な（私が）黙って 持て（持って）来ると トヤゲル  
言うて。

**どやされた** 1) 激しく叩かれた 2) 激しく叱られる  
[会話] 1) ごおなわいて (腹が立って) 叩く時を 言う  
うんよってなあ (のだから)、どやした たら (と  
か) ドヤサレタ たら 言うて。

**どやされる** 1) ひどく叱られる 2) 激しく殴られる  
[会話] 2) 背中 どやされたよお 言うて、叩くのお  
も (のも) ひどを (非道く) 叩かれる時をなあ ドヤ  
サレル言うの (のです)。どばされたてやらな (と  
か) どぐらされた、ものすごを (物凄く) 殴られた時  
ん (に) どぐらされたんよお (のだ) 言うてなあ。

**どやしころされる** 死ぬ程強く叩かれる。(志 (布施  
田))

**どやしころす** 撲り殺す

**どやしたろん** 叩いてやる [会話] ドヤシタロン 言  
うやんない (言うでしょう)。そして どばしたろん  
言うやんない。どやすのおも、どばすのおも 一緒や  
(です)。

**どやしつける【他力下一】** 1) 強く殴る 2) 強く叱る  
[会話] 2) ドヤシツケル 言うな (のは) 怒鳴りつけ  
るのを 言うね (言うのです)。怒鳴りつけとけ (て  
おけ) まあ 言うてな。

**どやす【他サ五】** 1) ぶんなぐる 叩く 打つ (志 (御  
座、波切、浜島、布施田、鶴方、神明、立神、志島、  
甲賀、国府、安乗)、鳥 (鳥羽 加茂)、桑市、員、三、  
鈴郡、一、久、松、多、上、阿、張、名、度、伊、北、  
尾、南) 2) 激しく叱る。どなりつける [会話] 1)  
ドヤス言うな (言うのは) 殴る事を。どづくも 一緒  
や (です)。どづかれたとか どやされたとか言うて、  
どやされた たら (とか) どぐらされた たら 言う  
て、くらわされた 言うて、殴られた言うのを。

**どやって** どうして、どの様にして、どんなにして (松、  
多、北、尾)

**どやってでも。どやってなど。どやっでも。どやっ  
など** どうなりとも どないなと参照 [会話] ドヤ  
ットデモ やっとかんかれ (しておきなさい)、しと  
かんかれ (しておきなさい)、どげんでも (どうで  
も) なっでも (何とでも) しとけ (しておけ) 言う  
の (のを)、どげんでも しとかんかれ 言うね (言  
うのです)。ドヤッデモ しときや (しておけば)  
ええわれ (よろしい) 言うて。どないなと どがんな  
と こがんなと しゃっしやれ言うのを、どげんでも  
しときや (しておけば) ええわれ 言うて。どやって  
なとも 一緒や (です)。ドヤッデモ どないなと  
一緒や。

**どやどや【副詞】** 大勢が騒がしく出入りするさま 大勢  
が集まり騒ぐ様 [会話] ドヤドヤと 来たれまあ  
(来ました) 言うて。大勢 連れ立って来ると 大勢  
で連れ立って くんの (来るの) ドヤドヤと 言うて。

**どやな** どうですか

**どやね** どうですか。(北)

**どやまくれてきた** 大勢でやってきた 沢山のものが押  
しよせて来た

**どやまくれる** 一度に押し寄せる (志 (布施田、志島、  
甲賀)) [会話] ドヤマクレル言うて。どっさり来る  
事を 皆 大勢で来ると ドヤマクレル言うの (ので  
す)。

**どやろ** どうでしょう (安)

**とゆ【名詞】** 樋 (員、三、鈴郡、鈴郡、多、上、阿、張、  
名、伊、南)

…**どよ【接尾語】** 文末に有って、ぞ、だを表す。行た  
ドヨ (行ったぞ) 泣いたドヨ (泣いたぞ) (南、熊)

**どよおのもち【名詞】** 土用の丑の日に食べる餅。さわ餅  
を使う。

**どよおひまち【名詞】** 六月に行なう海女の日待。

**どよみ【名詞】** 川などの流れの緩い所 よどみ (志、  
阿、張) [会話] ドヨミな (が) 来たれ (来た) 言う  
の (のです)。海の下かい (ですか)、波の事かい、ド  
ヨミな (が) 来る 言うの たるんで (弛んで) 来る  
よおな 意味かいなあ (でしょうか)。流れな (が)  
とろい (ゆるい) とかなあ、そお言う意味やんなあ  
(です)。ドヨミ 言うななあ (のは)。

**どよむ** 水の流れが無くなる 緩くなる よどむ  
(鈴郡) [会話] ドヨンデ来た言うて、静かん (に)  
なって 来たのおを (のを)、ドヨム 言うのは な  
んか (なにか) 流れが ゆるくなった 言うて こや  
まあ (これは) ドヨンドル (でいる) やんかあ (でな  
いか) 言うな (のは)、流れな (が) 物凄お 止まっ  
とる (でいる) やんか 言う事やなあ (です)。

**どら【名詞】** 怠け者 放蕩者 道楽者 ダラク (墮落)  
の略転 (大言海)

**どら【名詞】** 道楽 趣味 着ドラ (志 (布施田))

**どら【感動詞】** どれ (志、鳥) [会話] ドラ、それ、見  
せえまあ (見せなさい) 言う、どれえ 言うたりな  
なんやな (なにですか) 言うのを どれえ言うねんな  
あ (言うのです) ドラ 見せえまあ 言うたり、だれ  
見せえまあ 言うたりなあ、だい (どれ) なんど (な  
んですか) なあ (お前は) 変わったもん (物) だいま  
あえ、だれまあえ 言うてなあ、だいまあえ 見せまあ

え言うてなあ。

**とらえどこ (とらへどこ) 【名詞】** 抛りすがるところ 根拠 つかまえどころ [会話] トラエドコな (が) 無いね (無いのです)。つかめどこ (つかまえ所) な (が) 無いにげ (人間) やなあ (だ) 言うやんかい (言います)。一緒に言葉やけどなあ (ですが) つかめどこの無い男やなあ (だ)、はっぱ (法螺) みたよな (のような) 事、言うたりなあ、嘘やら (か) ほんと (本当) やら 判らんよおな事言うとなあ なんやらかんやら (なにかかにか) つかめどこ な (が) 無いよおな男やなあ (だ) あんな (彼の) 言うこたなあ (事は) 嘘やら (か) ほんとやら 訳な (が) 判ろかれ (判らない)、トラエドコな (が) あろかれ (無い) 言うて。

**とらがり (虎刈り) 【名詞】** 刈り方が下手で頭髪などの刈り跡が不揃いで虎の毛のように、まだらになっている事 (志 (布施田)) [会話] 頭を 鉄で 挟んだりすると、トラガリン (に) して 言うて。昔や (は) 床屋い (に) 行かんと (行かずに) だれ (どれ) 鉄で はそんで (挟んで) くよん (くれましよう) 言うて、挟むと 虎みたよん (みたいに) だんだんにしとる (している) あやれ (あれ) トラガリして まあ 言うて。

**とらげる** 取り上げる 奪う とやげる参照 (鈴市、安度、伊、南、熊) [会話] 借金しとて (していて) 畑でも、家でも まあ かたえ (抵当) ん (に) 取らえたや (れてしまうと)、ぜん (銭) よお払わんで (払えなくて) トラゲラレたんでない (そうだ) 言うて。取り上げる とやげられた トラゲル言うて。

**どらごえ (銅鑼声) 【名詞】** 濁って低く太い声 (阿) [会話] ドラゴエ言うてなあ、大きな どらみたよおな (みたいな) 声やのんなあ (だのに)。さざえがめ (栄螺の殻) こが (桶) い (に) あけるよおん (入れるように) がらがら声しとると (していると)、ドラゴエで 言うて、さざえがめ こがい あけると がらがら言うて 喧し (喧しい) やんない (でしょう)。魚 売りん (に) 来る ドラゴエの人な (が) 有りおって (有って) いやれ (いや) さざえがめ こが (桶) い (に) あけるよおな声や (だ) 言うて。さざえがめ言うな (言うのは) 栄螺の殻をさざえがめ や (と) 言うて 言よおったの (言っていました)。

**とらさ。とらさかぶり 【名詞】** 後ろ鉢巻き [会話] 手拭いを 皆 掴んで 後ろで結ぶとなあ 後ろ鉢巻き や (だ) とか、トラさや 言うて、トラサにして被つ

て言よおった (言っていました)。

…とらせんか。…とらせんかい。とらせんかな (女性語) …ていないか、していないか。(志)

**とらだ 【名詞】** 戸棚

**とらな** 取らなければ

…とらな 1) …ていなければ 2) ていないのなら。(桑郡、伊)

**どらねこ 【名詞】** 野良猫 飼い主のいない猫 [会話] ドラネコ 言うな (のは) 其処らの ぬすつと (盗人) 猫。主の無い 放し飼いの あやまあ (あれは) ドラネコや (だ) よってん (から) 言うてな。盗み食いばつかして (ばかりして) 食うて 野良猫なあ。ぬすつと猫や (とか)、ドラネコ言うてな どいろお (大きく) なって 顔も どもならん (どうにもならない) 猫。ドラネコ言うね (言うのです)。

**とらはず 【名詞】** ひめ ヒメ科の海魚 全長20cmに達し、体は細長く、目が大きい。脂鰭が有る。体色は赤味を帯び赤褐色の斑紋が並び、各鰭には赤と黄の縞模様有る。

**とらふぐ (虎河豚) 【名詞】** フグ科の海魚 全長約70cm 背面は黒褐色で腹面白く胸鰭後方に一個の大きな黒紋があり背面、腹面に小さな棘が並ぶ 血液、肉には毒は無いが、肝臓、卵巣には強毒を有す。(鳥)

**とらほお。とらほうめ 【名詞】** トラコーマ 独語 Trachom (上、阿) [会話] めえ (目) の ここのとこ (所・眼瞼結膜) ん (に) 粒々な (が) よつけ (沢山) 出来て トラホオ。

**ドラムカン 【名詞】** 太った女の人

**どらむすこ 【名詞】** 道楽息子 [会話] どら 言うな (のは) ドラムスコよ (奴) 言うやんかい (言います)。怠けとんのなあ (ているのを)、あしこ (あすこ) の むすか (息子は) ドラムスコで 言うて、遊んで 博打 打ったり 酒 飲んだり、ドラムスコで なんも (なにも) ならん (ならない) 男や (だ) 言うて。

**どらむすめ 【名詞】** 道楽娘

**とらめる** 捕まえる。とらまえるの訛。とらまえるは、とらえると、つかまえるの混交した語。

**とらよかい。とらよかな (女性語)。とらよかれ** 取れない。捕れない。

…とらよかい。…とらよかな (女性語)。…とらよかれ 動詞について、しておれないの意を表す。

**とららった** 取らなかった [会話] 鮑 とんのでも (取るのでも) 大漁した人は、大漁やった (だった)

言うけど (が)、かんじえる (数える) 程しか (より) トララッタ よお 言うて 一つか、二つしか (より)、取らへんと (取らないと)。

…とららった していなかった。

とられ 取ります

…とられ …ている [会話] 疲れて ぐったりしとる (している) 時は くたばットラレ くたばッて だれトラレ。

とらん 取らない。

…とらん していない (志、桑郡、員、鈴市、亀、北)

とらんかい。とらんかな (女性語)。とらんかれ 取りなさい [会話] これ取ッて (取って下さい) 言うて、のな (お前が) トランカレダ そいな (そんな) ねきん (近くに) あんのん (あるのに) 言うてな。

…とらんかい。…とらんかな (女性語)。…とらんかれ していない

とらんせ 取りなさい

…とらんせ て居なさい

とり (取) 【名詞】 宴などを終わりにする事 納める (志 (浜島、鶴方、神明、立神、志島、甲賀)、度、阿、張、度、北) [会話] 一番終いの時に まあ (もう) こんで (これで) トリに しとこか (しておこうか) とか、今日はこんで (これで) トリに しよおか (しましようか) 言うて、仕事の終いに 今日は こんで トリん (に) して しまおや (終わりにしましよう) 言うて。終いや (です)。明日すや (すれば) ええど (よろしい) 今日は こんで トリん (に) しとこやんか (しておきましょう) 言うて、体も疲れて 来たし言うよおな時ん そいな事 言うやんかい。トリやなあ言うて。

とり 【名詞】 にわとり (志 (国府、越賀、志島、片田、布施田、浜島、立神)、鳥 (坂手・答志)) [会話] 鶏も、雀も、鳩も、皆 とりやけど (です) かけ取り言う とりも、有るし、そやけど (しかし) 鶏を、トリや (だ) 言うなあ。ほかの とや (鳥は) 鳩とか 雀とか、言うけど (が)。

とり 【名詞】 一人 (志)

とりあう (とりあふ) (取合) 【自ワ五】 1) 相手になる (上、阿) 2) 似合う。釣合う。[会話] 1) 相手になる、おらな (俺の) 言う事も トリヨテくれまあ (下さい)、トリヨテ 聞いてくれまあ 言うて。おらな 言うこた (事は)、なんも トリアエヤセンネナイ (とりあげてくれない) おらな (俺の) こた (事は) ほッとて (放っておいて)、なんも (全く) トリヨテ

くれやせん (くれない) 言うて。トリアウ とりあげる言うのと、ちよいと (少し) ちごてかせんかい (違いますか)、おらな (俺の) 事 トリオテくれやせん (くれない) 言うて、話し相手 してくれやせん (くれない) 言う訳やし (です)。

とりあえやせん 相手にしない [会話] とんじゃく (気を付ける) 言うな (のは)、トリアエヤセン (ない)、トリアエント (ずに) ほッときや (放っておけば) ええわれ (よろしい) あいなのおらな (あんな奴等が) 言うこた (事は)。

とりあえる とりあげる 相手になる とりあうに同じ

とりあえんと 相手にせず。[会話] トリアエント ほッときやええわれ (放っておけばよろしい)

とりあき (穫秋) 【名詞】 穀類の収穫する時期 [会話] トリアキ 言うとなあ。麦なら 四月ん (に) になると 麦刈りするやんない (でしょう)。そいな (そんな) 時を トリアキ 言うの。秋の稲刈る時やなあ (とか)、なんやかや (いろいろ) 百姓のもん (物) トリアキに なんもかも (すべて)、入れ込んどかな (でなければ) 言うて、取り入れする時をなあ、トリアキ 言うのなあ (です)。麦でも、芋でも、なんでも (なにでも)、収穫する時を、できあきとか、トリアキとかなあ、できあき、言う時も有るんなあ。トリアキやよってん (だから) そやまあ 幾らでも もてけ (持って行け) 言うてなあ、取った時や (は) よけ (沢山) 有るもんで (ので)、こいな (こんな) できあきん (に) もろとかな (貰っておかなければ) 言うて 貰うもな (者は) よけ (沢山) 有るもんで (ので) もろとも (貰っても) 貰い よいもんで (やすいので)、トリアキん (に) もろとかな 言うて。

とりあげばあさん 【名詞】 出産を助ける婦人。とやげばあさん参照 (員、四、一、松、多、上、阿、度、伊、鳥、南、熊)

とりあげばば (取上婆) 【名詞】 出産の時、産婦を助ける婦人 昔は年を経た人が行った事から言う とやげばば (桑郡、桑市、鈴市、安、松、多、張、伊、南) [会話] 産婆、昔や (は) 素人の ひねとる (年取った) 婆さんななあ (が) とよおったの (取り上げました)。なんも (何も) 知らんねど (知らないのだが) 利口でなあ、今し (今) みたよん (のように) が つこ (学校) い (へ) 行て 産婆 習うとも、看護婦 習うとも 言わせんね (言わないのです)。わがと (自分) な (が) 見よお 見真似で、さいちな (賢い) 婆さんな (が) とりあげてくれよおった (くれて

居たのです。今しで言うと、産婆さんや(です) トリアゲババ言うのは、産婆言うて無いしなあ。

**とりあげる(取上)【他ガ下一】** 1) 採用する 2) 奪い取る 3) 産婆が出産に立ち会い介助する [会話]  
3) あの婆さんに、おら、トリアゲテ もおたね (もらったのだ) 言うて。2) 無理遣りん 取ってくんのも (来るのも) トリアゲル言うて。借金も、よお拂わん (拂えなくて) 利息も拂わんと (ずに) りい (利息) え りい (利息) 重ねて、たあ (田) おこせ (よこせ) 言うて トリアゲラレタリ。1) お上に トリアゲテ もろて (貰って) 偉いさんにして貰うのも、有るしなあ。

**とりあわせ(とりあはせ)(取合)【名詞】** 配合 調和 組合せ。

**とりえ【名詞】** 鳥居 神社の入り口などに立てる門 二本の柱の上部を貫で固定し、その上に笠木を乗せた物 (志(布施田・御座)、鳥(鳥羽・浦村)、員、三、鈴市、鈴郡、一、松、上、阿、度、伊、南) [会話] 神社の鳥居を 鳥居言わんと (言わずに) 宮さんの トリエのとこん 有るやんない (でしょう) 言うて。

**とりえ【名詞】** つばくろえい 体盤は横に長い菱形。尾部は非常に短く、その長さは体盤長の約半分しか無い。尾鰭および背鰭は無く、尾部はむち状。ときに眼の後方に乳白色斑が有る。(志、鳥、北)

**とりえ【名詞】** 取柄 取得 取り立てて良い所 特に役立つ所 長所 [会話] なんも (何にも) トリエな (が) 無い人やなあ (だ)、なんも トリエ言うて 無いけど 食う事だけやなあ (だ)、言うだけ よお (よく) 言うなあ、なんも (何も) トリエも無い 言うて、なんも はざん (駄目) 事を トリエな (が) 無い言うて。

**とりえ【名詞】** 収獲 収入

**とりおき(取置)【名詞】** 全体の内から一部を取って置く事、特に食べ物など初めに取っておく事 [会話] トリオキ しとかな (しておかなければ)、トリオキ しとけ (しておけ) 言うて。獲れた時ん (に) よけ (沢山) 蓄えとけ (ておけ) 言う事をなあ、トリオキ しとかな 言うて。ちよいと (少し) 残しとくのを (ておくを) トリオキ してなあ 来年になって、豊年な (が) とれや (取れれば) ええけど (よいが) とれやせんと (取れないと) はざん (いけない) よって (から) 言うてな。今しや(今は) 此の土地ん (に) とれな (取れなければ) 外国からもてくる (持ってくる)、がしん (飢饉) 知らんけど (が)、わが (自分

の) 土地で 時化な (が) して 取れんと (ないと) がしんで なんも (全く) 食うもん (物) な (が) 無い 言うてな。昔や (は) 時化な (が) して、がしんで なんも 取れん 言う時に かつちえ死 (飢え死) せんよん (しないように) 取れた時ん (に) 一部のもん (物) を 置いとかな (ておかなければ) 今度 取れやせんと (ないと) はざん よって 言うてな それ トリオキ。

**とりおく(取置)【他カ五】** 取りのけて置く。

**とりおさめる(取納)【他マ下一】** 仲裁をして仲直りをさせる もめごとを元に戻す [会話] トリオサメルで 仲裁する 偉いさんななあ (が) おさめ おったやんかい (て居ました)。口の上手な、とんさい (臨機の才) の ある人らな (が) 事件な (が) 有ると おさめて くれよおったけどなあ (くれて居ました)。

**とりおて** 取り合って 相談にのること [会話] おらな (俺の) 言う事 トリオテ くれやせん (くれない) 言うて、話し相手 してくれやせん 言う訳や (です)。

**とりかえ(とりかへ)(取替)【名詞】** 1) 交換 2) 人に代わって金を支払う事 立替え。[会話] 1) なんやかや (いろいろ) かえ事 (交換) すんのん (するの) に) トリカエ しょおや (しましう) 言うてな。量の裏表、すんのも (するの) 量のトリカエも せな (しなければ) はざんわれ (いけない) 言うて。量の裏表 かやすと (返すと) また立派ん (に) なんねてや (なるのです) そいな (そんな) のおを (のを) トリカエせな はざんわれ 言うて しよおった (して居ました)。

**とりかえる(とりかへる)(取替)【他ア下一】** 1) 交換する 2) 他人に代わって代金を支払う たてかえる (松、多、阿、張、名) [会話] あっちゃん (あちらの) のおと (のと)、こっちゃん (こちらの) のおと とりかえやい (交換) しょおや (しましう) 言うてなあ、しなもん (品物) を かえやい (交換) する時も トリカエル。古いのやって 新しのおを (のを) おい (追加) うって (して) トリカエテ もろた (貰った) 言う時も あんなあ (有ります)。相手に代わって 金 はろたる (拂ってやる) トリカエル 言うの。

**とりかじ(とりかち)(取舵)【名詞】** 船を左に回す事 船の左舷 (志、北、熊) [会話] おもかじかたぎ (右舷の傾き) 寝ととも (寝ていても) 三百言うて おもかじ い (に) かたぐと (傾くと) ええね (よい)、

トリカジかたぎ (左舷の傾き) は わりんけど (悪いが)

とりかじかたぎ 船が左舷へ傾く事 とりかじ参照

とりがち (取勝) 手に入れた者が勝ちだ。取るだけ得をする。

とりきめ (取決) 【名詞】 約束。決定。

とりきれる 品切れ 売り切れ とりきる 取り切る  
すっかり取ってしまう 取り尽くす (志) [会話] なんやかや 今日 トリキラレテ 言うて、品切れん (に) となると 今日 トリキラレタヨオ (ました) 言うて。売り切れた 言うのも 有るけど、トリキラレタ 言う時の言葉も 有るもんなあ (有ります)。今日は よけ (沢山) こさえて (作って) 有ったけど、トリキラレタヨオ 浜で 朝市する時ん (に) ところてん炊くと よお (よく) 売れて、今日は トリキラレタヨオ 言うて、こさえて あるだけ 皆 売ったて (売ってしまつて) トリキレル 言うて。

とりきる 【他ラ五】 1) 思い切る。全部買う。2) 全部取る。

とりきん 【名詞】 手取りの金 全収入の中から前拂い金、借入金差し引いて残った金銭

とりくさ (取草) 【名詞】 薬草 野生の薬草を摘む事 (志 (布施田)) [会話] トリクサ。薬草の、トリクサやなあ (です)、げんのしょおこ やてら (だとか) さるさこん やてやら なんやら (色々) 言うて。夏 腹下し (下痢) すると トリクサで 煎じて 飲めまあえ (飲みなさい) 言うて、そすと (そうすると) じつきん (すぐに) 治りおったてや (治って居ました)。さるさこん 言うね (言うのです) やまもみたよおな (のような) あっかい (赤い) えんじの桃 (果実) な (が) なつて それを煎じて飲むと 妙ん (奇妙に) 治りおった (治りました) 腹下し (下痢) は、おばこ (おおばこ) も 咳薬。咳な (が) 出る時ん (に) おばこや (とか) 黒豆や 金柑や (など) 煎じて飲むと 咳な (が) 楽ん (に) なりおった (なりました)。金柑と 黒豆と そして かぶち (橙) も 金柑な (が) 無い時や (は) かぶち したり そげん (そんなに) して 咳な (が) よけ (沢山) 出ると。飲むと治る言うて 昔の人ら (は) トリクサで しょおったやんかい (して居たで有りませんか)。

とりげだつ 寒さのため鳥肌になる 寒くて皮膚が針が立ったようになる [会話] トリケダツ言うて、鳥の羽根 筆したると (とやると) ぶつぶつしとる (とっている) やんない (でしょう) それを 例えて 言う

んやろなあ (言うのでしょうか)。さぶうて (寒くて) ぶつぶつしとんの (しているのを)。

とりこ (虜) 【名詞】 捕らわれた人 生けどられた人 捕虜

とりこ (取り粉) 【名詞】 搗き上げた餅にまぶして扱い易くするための粉 [会話] 餅トリコ。米のこお (粉) とか、蕎麦のこお とか、うどん粉とか、言うて 米の餅 取る時や (は) 米のこお で すると、美して (美しくて) さらと ええんけど (よいのだが)、米のこお は たっかい (値高い) やんない (でしょう)。そやもんで (それだから) だんご餅 (雑穀入りの餅) したり する時や (は)、小麦粉。わがとら (自分達が) 挽いてしたり、麦のこお (粉) で取ったりしよおったの (して居たのです)。米のこお は 言うと、米ひく と (粉にすると) 米や (は) たっかい やんない。そやもんで 安上がりん (に)。米の餅は 米のこお (粉) で 取ると 又 綺麗なんてや (なのです)、そやけど (それだが) だんご餅や (とか) と びき餅や (は) よけ (沢山) こが (四斗桶) 一杯も搗くのん (のに) 米のこお (粉) つこたら (使ったら) しよおしよで (少々・少しでは) ないんやんかい (ないのです)。そやもんで 小麦のこお (粉) 挽いたり、蕎麦挽いたりして トリコん (に) しよおったの (して居たのです)。わりい (悪い) 雑穀の餅は。餅も こが (桶) ん (に) 一杯つも (ずつも) くざけ餅 (水に浸して保存する餅) ん (に) すんねやんかな (するので)、粟や (とか) とびき (黍) や (だ) 言うて。搗くと くざけ餅ん (に) 小餅ん (に) 取つといて (ておいて) そして こが (桶) い (に) 入れ といて (入れておいて) 皆 夏まで五月や六月頃まで 水替えて 食よおった (食べて居ました)。

とりこし (取越) 【名詞】 物事を、その当日より早くする事 特に年忌などを、当日、又は当年より早くすること [会話] 年忌は トリコシするけど、トリコシして 前の日に したるけど (してしまうが)、しょおじ日は 三日ん (に) 死んだら その日な (が) しょおじ日。

とりこす (取越) 【他サ五】 一定の期日より早く行う時期を繰り上げる 特に忌日を繰り上げて法事を行う事を言う [会話] 年忌でもなあ まあ はよ (早く) トリコシたらやんかれ (てやろうでないか) 言うて、一周忌な (が) こん (来ない) うちん (間に) 先い (へ) トリコシタテナア (てやって) まだ 半年も さき (先) やけど (だが) 忙しなつて こん (来な

い) うちん (間に) トリコシたろや (てやろう)。年忌は トリコスのは ええんけど (よいが) のばさん (延ばさない) もんや (ものだ) てわい (そうです)。 そやけど (しかし) 誕生日や ひちや (七夜) やどけわ (などは) 延ばしても ええんてな (よいそうです)。 ええ ことは 延ばしゃ (せば) ええけどなあ (よいが) 佛の事は延ばすと、はざん (いけない) 言うて さきい (先へ) さきい (先へ) 言うて するもん (するものです)。

**とりこみ。とりこみごと (取込事) 【名詞】** 1) 混雑していること 雑然としている事 2) 家に冠婚葬祭などがあり多くの人が出入りするような出来事 3) 食事中であること。[会話] 2) トリコミな (が) 有って、今日は、ことわり (断り) 言うわい (言います) 言うてなあ。おれげやなあ (俺家は) トリコミな (が) 有って 出来やせんよって (出来ないから) 死人が有っても 目出度い時でもなあ、ま 忙し ごつつお (御馳走) せんならん (しなければならぬ) 時な (が) 有るやんない (有るでしょう)、そすとなあ (すると) トリコミな (が) 有ってなあ言うてなあ。家の中で いろいろ仕事せんならんもんで (しなければいけないので) 用事な (が) よけ (沢山) 有るもんで 言う事やなあ (です)。

**とりこみじき** 1) 穀物、野菜、果物などが熟して収穫するに適した時期 2) 洗濯物などを取り入れるのに適当な時 [会話] 2) トリコミジキ 言うて、めえ (若布) やどけ (など) 干すと、トリコミジキな (が) よお (よく) なけな (なければ) 皆 はさ (竿) ん (に) 食われたて (てしまつて)。干しもん (物) しとると (していると) はっしやげもん (乾燥させる物) は ぬくみ (温み) な (が) 有る じき (時) になあ取り込んで、洗濯もん (物) でも、穀物、干してもなあ トリコミジキな (が) 遅れると、しとつて (湿気を帯びて) くんの (来るのです)。 そやもんで (それで) トリコミジキん (に) 取り込まな (なければ) はざんわれ (いけない) 言うて。 1) なすび (茄子) や、胡瓜もトリコミジキな (が) 有って じき はずれたると (てやると) 美味ないの (のです)。丁度、トリコミジキん (に) 取ると美味いのなあ (です)。 あからみ (熟し) 過ぎても、美味ねえし (無いし) 早取りしても 美味ねえし そのじき考えてなあ。  
**とりこむ (取込) 【自マ五】** 1) 冠婚葬祭がありごたごたする とりこみ 取り込む事 食事中にも使用 不意の出来事などでごたごたする事 2) 物品をごまか

して取る 盗む 3) 収穫する 4) 干した洗濯物、穀物等をしまふ。[会話] 4) せんだくもん (物)、トリコム言うし。 つぶもん (穀物) 干しても はよ (早く) トリコまナ (なければ) はざんわれ (駄目だ) 言うて。干したもん (物) をなあ トリコム 言うのはしまふ事をなあ。 1) とりこみも 一緒に ごたごた しとんの (しているのを)、トリコム 2) 人のもん (物) を トリコム 言うて、盗むのおも (のもの) トリコム。仕事有って 忙しのおも トリコム。食うのも トリコム、あんな まあ 皆 トリコンでて (でいって) 言うて。

**とりざら (取皿) 【名詞】** 小皿 料理を取りわけて各自が食べるための小さな皿 [会話] トリザラ。取る皿、小皿、刺身 とんのん (取るのに) そや トリザラも よけ (沢山) やつとけ (やりなさい) 言うてなあ 小皿をなあ。

**とりしきって** 特別にする [会話] トリシキッテ ど いらい (大変) わり (悪い) 事も ねえけど (ないが) 言うて、病人な (が) どおどい (どうですか) 言うて、そげんなあ (そんなに) 風邪引いただけやよつて (だから) トリシキッテ どげん (どんなに) 何処な (が) わり 言うね (言うのでは) ねえんけど (ないが) 熱な (が) した後やもんで (なので) 休んどる (休んで居る) とか、寝とる (寝ている) とか 言うて。特別 わり事も ねえけど 大事ん (に) しとる (している) とか。トリシキッテ 用事も無いけど 出て来たとかなあ。

**とりしきる (取仕切る) 【他ラ五】** 1) 特別にする 2) 集団をまとめて指揮する 3) 全部まとめて買い入れる 買い切る

**とりたおす (とりたふす) (取倒) 【他サ五】** 取り盡す。全部取る。

**とりだか (取高) 【名詞】** 収穫した量 収穫の額 [会話] よけ (沢山) 穫ると、今日のトリダカ よかつたなあ 言うて、ほと (すると) すけないと (少ないと) 今日は たかな (が) 知れとる (しれている) 言うて。

**とりたてて** 特に

**とりたてばき 【名詞】** 大掃除 [会話] トリタテバキ言うて 掃除する事を。トリタテバキ せんとおる (せずにいる)。 なんやかや (色々) 取つたて (取つてやつて) たてばきと来るもんで (ので) トリタテバキや (だ) 言うて。

**とりたやす** 取り盡す。全部採る。

とりたり 一人、二人 (志)

とりちがい (とりちがひ)。とりちがえ (とりちがへ)

【取違】【名詞】間違える事 [会話] トリチガエしたんてわれ (したそうだ) 言うてな、すり替えられてすると そしてだ (そうして) 人な (が) もの言う とんのも (ているのも) ええ (よい) 方え 解釈すや (すれば) ええけど (よいが)、変な方い (へ) 取って、怒ってする時な (が) 有るやんかい (有ります)。そすと おおた トリチガイしたんなあ (したのだ) あひた (人は) まあ あげん (あんなに) ごおわかして (腹立てて) まあ あいな (あんな) 事や (で) なかったんなあ 言う ばわい (場合) も 言うなあ (言います)。

とりちらす (取散) 【他サ五】乱雑にする。散乱する。

とりつき【名詞】上に鳥が舞って居る魚群。

とりつき (取付) 【名詞】1) し始める事。2) 初めて会った時の態度。

とりつきなわり 1) 始めて会った時話したりする事が難しい。2) 取り掛るのが遅い。

とりつく (取り付く) (取付) 【自カ五】1) 相手にしつかりつかまって離れない すがりつく 2) 取り憑く物の怪などが人に乗り移る 3) 物事をやり始めるとりかかる 4) たどり着く [会話] 2) 病邪ん (に) トリツカレタとか、餓鬼に トリツカレタとか、わりい (悪い) 病気にトリツカレタ言うやんかい (言います)。なんやら (何か) 熱な (が) して来て なんやらん (何かに) トリツカレタんなア (たのだ) 言うて、別ん (特に) 風邪も引いとらせんけど (引いていないが) 熱な (が) 有るない (有ります) 言うと、なんか トリツカレタんなア 言うて。だる (倦怠感) ん (に) 付かれたりして がつがつして食うと (食べると) おおた (ああ) そやれ その食う勢い 見よ (見なさい) 普通と違うやんかあ (違うでないか) なんやらん トリツカレタன்னドオ (付かれているのだ) 言う時な (が) 有るやんかい (有ります) トリツカレタ 言うて。昔や (は) じっきん (すぐに) そいな (そんな) 事 言よおった (言っていました)、餓鬼な (が) トリツク てやら (とか)、仏な (が) トリツク てやら 言うて。仏ん (に) トリツカレタと なんやら (何か) 妙 (奇妙) な事言うたりしてくんねなし (来るのです)、そして 生き霊に トリツカレタ言うて 生きた人な (が) その人 いのって (構って)、昔や (は) いのり釘 打ったとか 芝居するやんない (でしよう)。どいらい (大変) 執念な

(が) 深いよおな人やろなあ (でしよう)。そんで (それで) 人に構するわけや (です)。なんやら (何か) 執念深いような人な (が) 有るやんかい。ねつつこい (粘っこい) よおな そいな (そんな) 人な (が) 生き霊に憑いて どいらい (大変) 具合な (が) わり (悪く) なって来て、ときつくって (時間を一定にして) 具合いな (が) わり なってくんねて や (来るのです)。憑きもんな (物が) しとると (していると) 夕方とか 明け方とか うなじ (同じ) 時期に 熱な (が) して来たり、頭な (が) わり (悪く) なって来たりするとさいご (その時)、なんやら つかれとんねなあ (ているのだなあ) 言うて。その人な (が) いのり事 みたよおん (のように) 言うんや ろなあ (言うのでしよう) そしてすると 相手な (が) 具合いな (が) わり なって来て ときつくって してくんね (来るのです)、今日も 明日も、明後日も 言うて、幾日も うなし (同じ) よおな 時間に 頭な (が) わり なって来たり 熱な (が) して来たりすると 生き霊やとか (だとか) 仏のささわり (差支え) やとか言うて うかごて (伺って) もらうと 言よおったの (言って居たのです)。生き霊や (と) 言うな (言うのは) 生きた人な (が) 人を 崇んねやろなあ (崇めるのでしよう)。いのりくぎ 藁の人形こしらえて 丑三つ頃に 四十九本のいのりくぎや (と) 言うやんない (でしよう)。そして 九本目は 喉首い (に) 打つので言うて。頭をさっかぶろん (に) して 頭とく (梳く) 櫛を 口い (に) 食わせると おつきいめえるのおで (見えるので) そげん (そんなに) して。さっかぶろ言うて 頭の髪をばらいて 後ろも前もばらいて すと (すると) かわ (顔は) めえやせんやんない (見えないでしよう)。そすと (そうすると) 頭とく とき櫛な (が) 有るやんない。さす櫛やなしん (でなくて) なあがい (長い) 黄楊の櫛な (が) 昔 有りおった (有りました)、それを 食わえて そすと 口な (が) どいろお (大きく) めえて (見えて)。

とりつくしまない 1) 無愛想だ。2) 手掛かりが無い。

とりどき【名詞】収穫する時期 とりあき 参照 [会話] たあは 刈る、とりあき 麦刈っても 麦刈り時や (です)。芋掘り時なんやかや (色々) 収穫する時は トリドキ。

とりとめ (取留) 【名詞】まとまり しまり 終り 要領 [会話] トリトメの無い事言うたり したりして

言うてなあ。けんと（見当）な（が）判らん よおな事言うとなあ、トリトメの無いよおな事 ばっか（ばかり）言うて。まあ あんな（彼の）言う事ななあ（が）言うてな。なんやらかんやら（なにか かに）嘘やら（か）ほんと（本当）やら（か）訳のわからん様な事 言うてなあ すると、あんな（彼の）言う事なあ（が）トリマトメな（が）無いよおな事ばっか（ばかり）言うて、嘘やら ほんとやら わかるかれ（判るものか）言うて、とりえ（取る所）な（が）無い様な事ばっか 言うとんな（言っているのです）トリトメの無い事ばっか（ばかり）言うて。

**とりとめなし（取留無）【名詞】** 限りなく続いてまとまりが無い。

**とりとめる（取留）【他マ下一】** 病気などで死にそうなのが恢復する。

**とりな【名詞】** 鶏の餌にする所から竜舌菜 キク科の一年草 高さ1内至2m位になる 葉は長随円形で長さ20～40cmで先はとがり中央に紫色の紋が有る。秋、円錐状の花序を頂生し、頭花は黄色、家畜の飼料として栽培される。（伊）【会話】 トリナ言うのは、昔 とり（鶏）こおとる（飼っている）家に、下から下から はあ（葉）かいて（取って）すると、上い（に）まで このくらい（1m）も伸びて、とり（鶏）こおとる 家 皆 そいなん（そんなのを）作りおった（作って居ました）。はあ（葉）下から もじいて（もいで）毎日食わして、だんだん 上向いて蔓な（が）立つまで はあ（葉）もじいて 終いにや（には）蔓な（が）立って来るやんない（でしょう）、そすと（そうすると）種 採って 又 撒きして とり（鶏）こおとる 家や（は）そげんして（そんなに）しおった（しました）。

**とりなおす（取直）【他サ五】** 元になる 病気が重く瀕死状態から恢復する 元気になる 【会話】 トリナオス。てんか（てんかん）な（が）おこって トリナオス 言うたりな。そして 病気しとて（していて）死んでく（死んで行く）死んでく 言うて しとんの（しているのが）治ると、まあ あのひた（人は）トリナオシタンテワレ 言うやんかい（言います）元気になった 病気が恢復した 言うのなあ（です）。まめえ（目）まあしとたや（回していたら）トリナオシ 来たよお（来ました）言うやんかい（言います）。

**とりなおった** 元気を恢復した とりなおす参照

**とりなおる** 元気になる。恢復する。とりなおす参照

**とりなし（取成）【名詞】** とりつくろい 幹旋 【会話】

準備する 世話する トリナシする 言うね（言うのです）。あのひた（人は）トリナシな（が）よおて（よくて）、あの人な（の）言う事 やったら（だったら）誰でも 聞くわい（聞きます）言うやんかい（言います）。

**とりにする** 1) 終りにする とり参照 2) からかう 騷りものにする 【会話】 <sup>2)</sup> おっさん（和尚さま）をトリニシテ、おっさんを あやかして（からかって）、あやかす のおを（のを）トリンスル言うの（のです）。人を 侮って せんざり（十分に）なんやかや（いろいろ）言うたり するやんない（でしょう）、その時も 人をトリン（に）シテ 言うやんかい（言います）あやかして とりんおおた（逢った）言うてなあ、冗談言うてなあ するの（するのを）トリンスル 言うのなあ（です）。トリンスル も トリンスルも にも んも 一緒や（です）トリンスル言うにげ（人間）も有るし、トリンスル 言う人も、有るしなあ。<sup>1)</sup> ま、こんで（これで）トリニショオヤ（しましょう）言うて、終いに しョおや 言うのを、話でも 仕事でもな こんで（これで）トリン（に）シトコヤンカ（しておきましょう）言うてな、終いん（に）しョおや 言うのをなあ。

**とりのあし【名詞】** 海藻 ゆいきり てんぐさ目てんぐさ科。体高15～20cm。10～20mの深さの岩上に相当大きな群落を作る、茎は円柱状で不規則な又状に分布し小盤状の小枝を螺旋状に密生する、小枝の表面には刺状の小さな突起が多い。寒天の原料となる。（志）【会話】 トリノアシも ふっかい（深い）とこん（所に）、ほんとん（本当に）トリノアシ みたよん（ように）しとんね（しているのです）。

**とりのくい** 取りにくい 取るのが困難である 【会話】 鮑な（が）ずっと奥に おって（いて）トリノクイの おでも（のでも）採ん（採る）のを ごんぞとり。

**とりのける（取除）【他カ下一】** 1) 除く、除外する。

2) 選んで除いて置く。

**とりはからい（とりはからひ）（取計）【名詞】** 1) 仲介。幹施。2) 取り扱い。処分。

**とりはじめ** 物のしはじめ とりかかる事 【会話】 もの 始める 言うと、トリハジメ 言う事やわい（です）。

**とりはだ（鳥肌）【名詞】** 人の皮膚が、毛をむしり取った後の鶏の皮膚の表面のようにぶつぶつになること。寒さや恐怖などによって生ずる。生まれつき皮膚がざらざらしていること（志（布施田））【会話】 とりげ

だって来て 言うやんかい (言います)。とりげだつ  
言うな (言うのは) 粗くたい (粗い) 肌ん (に) の  
おを (のを) トリハダ言うて。

**とりびや【名詞】** 鶏舎 とりべや参照 (志)

**とりぶん (取分)【名詞】** 自分の所有とすべき分。分け  
前。

**とりべや (部屋)【名詞】** 鶏舎 (南) [会話] トリビヤ  
言うて、軒い (へ) さしかけ (庇) して とり (鶏)  
こおとりおったわい (飼っていました)。トタン一枚  
位のとこ (所) い (に)、杭 打って さしかけ して、  
あやかした (馬鹿にした) よおなのでも とり (鶏)  
な (が) おるとこ (居る所) しよおったわい (して居  
ました)。そして 垣して 餌くれて、糞は かいて  
(掻き集めて) こやしん (肥料に) して しよおった  
の (して居たのです)。そして 本格的に飼う家は  
ばたり 言うて、針金で こしやえてあんのを (作って  
あるのを) 組立てるよおん (ように) してあって、糞  
は 下い (に) 落ちて 卵は ころころと トタン  
で 下い (に) 落ちてくるよおん (ように) して 二  
段にして。そやけど (それだが) 家で くいりよおに  
(食べるために) 三羽 しわあつ (四羽ずつ) 飼うな  
(飼うのは) ちよいとした (少しの) 軒の さしかけ  
い (に) よお (よく) こおとよおったわい (飼ってい  
ました)。昔や (は) 我が家の 食うだけえつ (だけ  
づつ)、冬ん (に) になると、今日は さぶいよって  
(寒いから) とり (鶏) ねじやんかれ (ねじなさい・  
首をねじ曲げる) 言うて、ねじて 食よおった (食  
べて居ました)。さぶい 日や (は) 今日は とり 殺  
すと ええんなあ (よい) 言うて じふして なあ。

**とりまあし【名詞】** 獲り増し、豊年 いつもより多く取  
れる事 [会話] 麦もよけ (沢山) 出来て いつま  
(いつもは) 三俵より 取れやせんの (ないのに) 今  
年や (は) 五俵も 取った トリマアシテ 言うてな。  
何時もより よけ (沢山) となるとなあ トリマアシテ  
まあ言うてな たあ (田) でも 畑でも。

**とりまあし【名詞】** 取り回し とりなし 取り扱い 準  
備 世話 [会話] 準備する 世話する トリマアシ  
する 言うねやろ (言うのでしょう)。トリマアシス  
ル言うのは みんな (皆) を誘て来て あんたも (貴  
方も) せええ (しなさい) 言うて、トリマアシシテ、  
あのひた (人は) トリマアシな (が) よおて (よく  
て) あの人な (が) 言う事やったら (だったら) なん  
でも (何でも) 聞くわい (聞きます) 誰でも 聞くわ  
い 言うやんかい (言います)。

**とりまい (とりまひ)【名詞】** 収入。とりぶん。

**とりまとめ【名詞】** 結論。結果を出す事。

**とりめ (鳥目)【名詞】** 暗い所で目が見えなくなる病氣  
ビタミンA不足 鳥の視力と同じ事から (大言海)  
[会話] トリメ言うて、夕方ん (に) になると めえん  
よおん (見えないように) なって来んの (来るのを)。  
夕方になると めえんで (見えなくて) めえ (目) ば  
ちばちしとんねえけど (しているのだが) めえやせん  
のなあ (見えないのです)。

**とりめし (取飯)【名詞】** 麦飯などを炊いた時、真ん中  
から、米の所だけをすくいあげた米飯 (度) [会話]  
トリメシ言うな (言うのは) 芋や麦の中から 米だけ  
とんの (取るのです)。米を よけ (沢山) 入れる家  
は 一合か二合 入れるとさいご (その時)、米を  
真ん中い (に) しといて (しておいて) 芋や麦を 下  
い (に) 敷いて 炊くと 真ん中へ 米な (が) ある  
もんで (ので)、その 上面 はねといて (除いてお  
いて) 中ぼぜって (掘って) トリメシ。

**とりもち (取持)【名詞】** 客扱い 接待 仲裁 仲立ち  
(志、南) [会話] あの人な (の) トリモチで 嫁ん  
(に) いたんでない (行ったそうです) 言う時な  
(が) あるなあ (有ります)。あの人な (が) トリモ  
チしてくれて、どこそこの 男のとこい (所に)、結  
婚すんねてない (するそうだ) 言うて、世話やき (面  
倒見る人)。仲人 言うな (言うのは) 祝言する時に  
すんのなし (しますし)、世話やき言うな (言うの  
は) そげん (そんなに) なるまでに トリモチしてく  
れる人を トリモチヤク 世話やき 言うて (言いま  
す)。なこと (仲人) は、なこと親やし (ですし) 世  
話してくれる人は世話やきや (です)。その トリモ  
チが してくれる事を トリモツ言う。“夏の涼みは  
両国の 出船入り船 屋形船 登る 流星 星下り  
苦屋がトリモツ縁かいなあ” 言うて トリモツ 縁ト  
リモツ言うねよって (言うのだから)、仲立ちする言  
う事やわな (です) 仲立ちの事を トリモツ言うね  
(言うのです)。

**とりもちやく (取持役)【名詞】** 仲介人。世話をする人。  
とりもち参照

**とりもつ (取持)【他タ五】** 1) 二者の関係がうまくい  
くように引き合わせたり世話したりする 仲立ちする  
とりもち参照 2) 接待する、もてなす

**とりもん【名詞】** 捕物。罪人を捕まえる事。

**とりや【名詞】** 鶏小屋 (志 (立神)、熊)

…とりや して居れば。(志)

**どりゃ (どや) 【感動詞】** どれ 動作を始めようとする時、又、聞き手の注意を促す時に発する語 (度、北、南) [会話] ドリャ おんな (俺が) したろかあ (してやろうか) 言うて、だれえ (どれ) おんな したるわ (してやる) 言うて。どれどれ これを したろん (してやる) 言う人も有る。だれまあ おんな したられ (いてやる) 言うしなあ (言います) だれま、そんだけ (それだけ) のもん (物) やったら (だったら) おんな (俺が) ちょいちょいと (簡単に) したられ 言うてなあ。

**とりやい (取合) 【名詞】** 奪い合い 取り合い (志 (浜島、布施田、鶴方、神明、立神、甲賀、国府)、北、南) [会話] えどい (江戸繪) トリヤイして 喧嘩しやあるいて (して) 破って

**とりやげばば 【名詞】** 産婆 出産の介助をして子供をとりあげる人 昔は年取った婦人がしたので言う 助産婦 (鳥、張) [会話] トヤゲババ言うて、取り上げばばやけど (ですが)、トリヤゲババ 言うね (言うのです)。トヤゲババサン たのでこな (頼んでこなければ) はざんわれ (いけない) 言うて。

**とりやげる。とりやげる 【他力下】** 1) 取り上げる 下の物を手に取って上げる 2) 相手の持っている物を奪い取る 3) 出産の介助をして、子供を産ませる とりあげる参照 [会話] 1) トリヤゲル トリヤゲラレテ まあ 言うてなあ。取り上げる 言わんと トリヤゲル 言うね (言うのです)。

**とりやま 【名詞】** 魚群の上にある海鳥の群。[会話] トリヤマな (が) 立って 言うて、鰯な (が) わいたり (集まったり)、さいら (秋刀魚) な (が) ぴょんぴょん飛んだり 青魚 (はだの青い魚) は、上 (上層) 走るやんない (泳ぐでしょう)。 そすとさいご (そうするとその時) 上から鳥な (が) さおぐの (騒ぐのです) つつこ (突つこう) 言うて。 なんぼく (四艘張り網) 行くと こぎばり (漕ぎ張り) ん (に) になると あしこい (あそこへ) 鳥な (が) わいた (群れた) 鰯な (が) わいとんどお (集まっているぞ) 言うて、それ向いて 追わえて 網やんねてや (張るのです)。 トリヤマ見てなあ。さいら船でも トリヤマ見ると、さいらな (が) 飛んどののおで (飛んでいるので) さいらは 見えんでも (見えなくても) 鳥な (が) 飛んどると (飛んでいると)、さいらの群れや (だ) 言うて 追わえんねやんかい (追いかけるのです)。

**とりよ (とりよう、とりやう) (取様) 【名詞】** 1) 受け取る様。とりよう。受け取り方。2) 取る方法

**とりよて** 相手になって かかわりを持って 相談相手になって [会話] 相手になる。おらな (俺の) 言う事も トリヨテ くれまあ (下さい)。トリヨテ聞いてくれまあ言うて。

**とりよて きいてくれ** 相手になって聞いて下さい 相談に乗って下さい

**とりんする** 1) 終りにする 2) からかう、とりにする 参照

**とる (盗) 【他ラ五】** 自分の物にする 盗んで来る [会話] 人のもん (物) トル。あや (彼は) 手癖 な (が) わりねよって (悪いのだから)、人のもん (物) でも 皆 トテクル、取り込んで くんねよって (くるのだから) 言うて 盗んで来る。

**とる** 布団を敷く。

…とる。…どる している とるに濁音の添加されたものの 助詞てに動詞ある (居) のついた ておるの変化した語 (志 (鶴方、神明、立神、国府、安乗)、鳥、桑市、員、三、四、鈴郡、鈴市、亀、安、一、津、久、松、飯、多、阿、張、度、伊、北、尾、南、熊) [会話] しトル (している)。あそドル (遊んでいる) じよおつく (いつも) 遊んドンネナ (遊んで居るのだ) まあ言うて、…しトル、しトルに 濁りが付いただけの事やなあ (です)。

…とるか しているか

…とれ しておれ (志)

…どれ か。なんドレ (志、鳥、北)

**とれあき (取秋) 【名詞】** 収穫期 取り入れ時 [会話] トレアキ。なんやかや (色々) 旬の時、たあ (田) 刈る トレアキやとか (だとか)、芋掘り時言うな (言います) トレアキ。麦刈っても 麦刈りどきや (です)、芋掘りどき みたよん (のように) なんやかや 穫る。収穫する時は とりどき言うのなあ (のです)。トレアキ言うのも しんがつ (四月) でも トレアキや (だ) 言うて。

**どれええ 【感動詞】** どれどれ (熊) [会話] だれええ (だれだれ) 言うのをな、ドレエエ 言う時も有るし。ドレエ言う時も 有るしなあ、ドレエ 見せえまあえ (見なさい) 言う時んなあ (に)。だい 見せえまあえ、だい ちょいと (少し) 見せて くれえ (下さい) わしも (私も)、そや (それは) 見たこた (事は) 無いわい (有りません) 言うたりな。だい ちょいと くれえまあえ (下さい) くて (食べて) 見よに (見ましょう) 言うたりなあ。ドレエマアうな (のは) ちょいと 人ん (に) 見せて貰らう時んなあ

(に)。

**どれぐらい【名詞】【副詞】** どんな程度 [会話] どれだけ 言うてな、ドレグライ あんねど 言うたりなあ。ドレグライ 有るど (有るか) かけて (計って) 見よ、ドレグライ 美味いか くて (食べて) みよまあえ (見なさい) 言うたりな。

**とれだか(取高)【名詞】** 収穫量 収入 [会話] トレダカ。まあ 今日は 五貫取った。トレダカ 現金で もろてこん (貰らっていこう) 言うて 収穫なあ (です) 取っただけを。

**とれどし【名詞】** 豊年 (名)

**とれとれ** 取れたばかり。

**どれにもかも** どれも これも すべて (鳥) [会話] どれも これも 同じ事や (だ) 言うの (のを)、ドレモカモ 言うねんなあ (言うのです)。なんにもかも言うのも 一緒でなあ。

**どれや** どれですか。(南)

**とれんね。とれんの** とれます [会話] トレンノ こな (これが) トレンネ、なすび (茄子) 植え とくと (ておくと) 秋になると トレンネわれ (獲れるのだ) 言うたり。取れます 言うの こな (これが) トレンノ言うたり。

…とろ していよう。

**どろあし(泥足)【名詞】** 泥で汚れて居る足。

**どろい【形容詞】** 1) にぶい のろい (志 (布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥 (坂手)、桑市、三、鈴市、安、久、松、多、張、度、北、南、熊) 2) おろかである 愚鈍である [会話] 1) トロイ 言うな (言うのは)、仕事も よお せんで (出来なくて) なめなめ しとんの (しているのを) トロクサイ。七月生まれで灯籠臭い ねやれ (のだ) 言うて。七月 ん (に) 生まれると 七月盆 やった (だった) よってん (から) 灯籠 立てるやんかい (立てます)。灯籠立てると、あや (彼は) 七月生まれ やよって (だから) 灯籠臭い ねやれ (のだ) 言うて。2) ちいと (少し) あんごし (馬鹿) を、おめでたい 言う やんない (でしよう)。トロイも トロクサイも 一緒や (です)。

**どろがい【名詞】** 土砂が流れ込んで濁った海 透明度のおちた海 泥海か、泥粥 (ぬかるみ) に関係ある語か [会話] 今日は そこしお (底潮) で 濁って、ドロガイで なんも (少しも) めえらった (見えなかった) 言うて、濁って来ると ドロガイ や (だ) 言うて、海が濁る、雨 な (が) 降ったりするとなあ 水な

(が) 出て来ると 濁って めえやせん (見えません)。

**とろかす(濁)【他サ五】** とかす 溶す 金属などを高温に依って溶す (南) [会話] 溶かす 言うの トロカス 言うんやろ (言うのでしょうか)。ひとばか (少し) ほとばかして (水を含ませて) トロカサ ななあ (なければ) 言うて。かつとお (堅く) 乾燥した もん (物) をなあ、水 い (に) 漬け といて (ておいて) おつきい (大きく) すんの (するのを) ほとばかす 言うてな。

**どろくい【名詞】** このしろ コノシロ科の海魚 全長約 25 cm に達す。イワシ型で、体高が高く、背鰭の最後の軟条が長く糸状に伸びている。背側は青藍色で、黒い斑点列が有り、腹部は銀白色を帯びる。

**とろくさい【形容詞】** 1) のろのろしている てきばきはしない (志 (御座、浜島、布施田、鶴方、神明、立神、甲賀、国府、安乗)、員、三、鈴市、津、松、多、上、阿、張、名、度、伊、北、南、尾、熊) 2) 気が弱い 意気地がない (志 (畔名 浜島 越賀)、員、鈴市、安、津、一、松、多、上、阿、張、名、度、伊、北、南、尾、熊) 3) 頭が鈍い 愚鈍な (上) [会話] 1) トロクサイ 仕事のにぶい事なあ、仕事 すんのん (するのに) のろい事をなあ、トロクサイ。あやまあ (彼は) トロクソオテ (とろくさくて) 言うてな、てえ (手) な (が) ねばい (遅い) 事をなあ、トロクソオテ まあ あんな (彼が) 言うて。

**どろくさい(泥臭)【形容詞】** 淡水魚などで泥の様な匂がする。

**とろける【自カ下一】** 1) とけて形がくずれる 固体がとけて液体になる 2) 疲れる [会話] 1) あや (あれ) まあ トロケテタレ。溶けて くのをなあ (て行くのを) トロケル言うてなあ。

**どろごい【形容詞】** 濃い 濃厚である (志 (布施田)) [会話] ドロゴイ 言うな、おかず 炊いても 物凄お しょつからい (塩辛い) 時 な (に) おおた ドロゴオテ しょかるおて (塩辛くて) 食われやせんわれ (食べられません) 言う。

**どろごえ【名詞】** どろどろした肥料 大小便を肥料としたもの [会話] 殿さん な (が) 鶴方の方へ いたや (行ったら)、百姓 な (が) ドロゴエ かけとんねて わい (かけているそうです)。これは 変な匂い な (が) する 言うて 駕籠の中で 殿さん な (が)。

**どろすば【名詞】** 1) 怠け者 のろま (度) 2) ネル地で作った円筒形の防寒着。[会話] 1) なまけもん (怠

け者)でなあ、どおまん(怠け者)の事を ドロスボヤ(だ) あや(彼は)言うてなあ。なんも(なんにも) せんと(せずに)怠けて 家ん(に)ふらふらしておるとな(居ると) ドロスバ(どろすばは) まあ言うてなあ。

**どろだらけ【名詞】** 泥まみれ [会話] ドロダラケ 泥つけて来たり、土 つけて来たり して来ると、ドロダラケやてやら(だとか) 土だらけてやら 言うて。

**どろだんご(泥団子)【名詞】** 泥で体の表面を覆われること 泥だらけ [会話] ドロダngo 言うな、たあ(田) やどけい(などへ) 入るとなあ、どろどろん(に) なるやんない(なるでしょう) 何処もかも。それを ドロダngo、どろだらけ やれ(だ) 言うけどな(言います)。水深い(水の多い田に) 行くと 泥だらけん(に) なりよおった(なって居ました)。内股い迄とおって 足な(が) とごって(沈んで行って) まあ ドロダngoやれ(だ) 言うてな。

**とろとろ【副詞】** 1) 眠りから覚めようとして、うつらうつらしている状態 2) 粘液状態 3) ぐずぐずするさま [会話] 1) トロトロ ねぶとなつて(眠くなくて) 来て、うとうと 眠つとると(眠っていると) 言うのを、トロトロ 眠ぶつとる 言うのなあ。トロトロ ねぶとなつて 来た 言うて、トロトロしとんない(している) 言うて。ちよいと(少し) こっくりこっくり して来ると とろとろ しとられ(している) 言うて。寝てかんとおって(寝ずにいて) うつらうつら しとると(している)。

**どろどろ【副詞】** 1) 物が流動体 粘液状になっているさま(張) 2) 濁っているさま [会話] 1) 芋 炊くとなあ 芋のやいこい(柔らかい) のおを(のを) ドロドロん(に) して 喰うと美味いわれ言うて。芋 えごつと(完全に) 潰して 粒な(が) 無いよん(ように) したると(してやると) ドロドロと 甘酒みたよん(のように) なって、芋のドロドロ うまいなあ 言うてなあ。潰して ちゃあ(茶) かけて そして こねると ドロドロん(に) なってなあ、美味いねてや(のです)。なんでも(なにでも) そやけど(そうだが)、とろどろでもなあ ドロドロん(に) ならな(ならなければ) 美味ねえもんなあ(美味く無いのです)、しゃぶしゃぶしとると 美味ない。粘つとる(ている)のも ドロドロ 2) 濁つとる様な時も ドロドロん(に) なつとられ(なっている) 言うて。

**どろなぶり【名詞】** 泥遊び(張) [会話] 子供らな(が) よお(よく) たあ(田)の畔でなあ。泥 あげ

んなまあ(あげるな) すべんのん(滑べるのに) 言うて、田持ちの人らな(が) 怒る。畔い(へ) 泥あげてなあ ドロアソビしとると(していると)、そすと(すると) それいなあ(へ) 歩らくと 滑つてするもんで(ので) 田持ちの人らな(が) 怒んねてや(怒るのです)。

**どろぬる** 汚名をきせられる。恥をかく。

**とろぼこ【名詞】** 魚を入れる箱(志(鵜方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安楽)) [会話] トロバコ言うと 魚入れんのん(入れるのに) きい(木)の のおで(ので) するけど、今しゃ(は) ポリなあ(です)。最近まで 木の箱 トロバコなあ(です) 魚入れんのん(入れるのに)。

**どろぼ【名詞】** 泥棒 他人の物を盗み取る人 末尾 母音の省略(志(片田)) [会話] ぬすつと(盗人)の事を 泥棒な(が) 入いって 言うてな 泥棒 言うて ”お”迄 引っ張らんと(張らずに) ドロボ 言うて。ドロボな(が) 入いって まあ 言うて。あやまあ(彼は) コソドロ やれ(だ) 言うてな、ちよいちよい(少し) 盗むなあ(のは) あやまあ(彼は) おっきい(大きい) こた(事は) よおせんし(出来ないし) コソドロ やれ 言うてな。

**どろぼ。どろぼお【名詞】** かたくちいわし かたくちえたれ参照(志、尾、一)

**どろまぶれ** 泥だらけになる事。泥にまみれる事。(北、熊)

**どろまめぐり** 泥だらけ 泥にまみれる事 [会話] 泥捏ねると ドロマメグリ 言うやんない(でしょう)、泥な(が) てえ(手) い(に) 付くと ドロマメグリん(に) なった。

**とろみ【名詞】** 料理でかたくり粉などを用いて、とろりと仕上げた状態 [会話] につめ、しよい(醤油)と さと(砂糖) や(と) 酒や(とか) したのおを(のを) ちよいと(少し) トロミつけんね(つけるのです) かたくり(片栗粉) 解いて そいなのおを(そんなのを) たれ 言うんなあ(言うのです)。

**とろり【名詞】** とろろ [会話] めかぶのトロリやとか な(だとか)、山芋のトロリとかなあ、とろろ 言うの(のを) トロリや(だ) 言うねなあ(言うのです)。

**とろろ【名詞】** 1) とろろ汁の略 とろろいもをすりおろし、すまし汁で薄めた物 とろろいも参照 2) 若布の根株を小さく刻んで熱湯を通した物 [会話] 2) めえ(若布)のトロロ、1) 芋のトロロ。山芋 トロロして 喰うと美味いやんかい(です)。麦飯い(へ)

トロロかけるとなあ べつん (特別に) よお 滑って  
うもおて (美味くて) 七杯八杯つ喰うて、あや (あれ  
は) 半膳つ しか (より) もらせんもんでなあ (よそ  
わないので)、そやもんで (それで) ひとすすりん  
(一吸りに) したて 麦飯い (へ) トロロかけると  
べつん (特に) よお (よく) 滑る言うて。

**どろろ【名詞】** 雷 どろろ参照

**とろろいも【名詞】** 自然薯 [会話] とろろ昆布、とろ  
ろ めえ (若布) の株、めかぶの とろろ、トロロイ  
モ うまいやんかい (です)。あれすると、とろろか  
けて食べた事なら 底な (が) 抜けるほど 食べんね  
(食べるのです)、麦飯の ばらばらしとんのい (し  
ているのへ) とろろ 掛けて 食うと ずるずると  
入ってて (いって)、五杯六杯つ (ずつ) 食べて。働  
いて働いて すんねもんで (するので) 三杯、五杯つ  
(ずつ) 食うても 何処い (に) 入ってたねやら (入  
っていったのか) 判らんほど (判らない)。

**どろろびる【名詞】** 大形の蛭 どろろびる参照

…とろん していきましょう。(多)

**どわすれ (度忘)【名詞】** すっかり忘れる事 (志 (布施  
田)、鳥) [会話] ドワスレ したよお (しました)  
言うて、忘れたる (忘れてしまう)。ドワスレして  
持たんと (持たずに) 来たよお とか。はったり忘れ  
たよお とか、はったり 忘れたた (忘れてしまっ  
た) 言うて。はったり忘れたれ (完全に忘れた) とか  
ドワスレしたとか。ドワスレは ちょいと (少し) う  
っかりしとて (していて) 忘れるのを ドワスレ 言  
うね (言うのです)。そして 昔の事を忘れたて (忘  
れてしまって) ドワスレした 言うな (言います)。  
思い出そ (思い出そう) 思ても (思っても) 思い出  
こん (こない) 時は ドワスレしとて (していて) な  
かなか 思い出されやせんね (出され無いのです)。  
ドワスレしたると (してしまうと)。

**どわたし。とわたり【名詞】** 会陰部の俗称 ありのとわ  
たり (員) [会話] ありのトワタリ。ありのトワタリ  
てや (とは)、蟻な (が) 十も渡んねやかなあ (渡る  
のでしょうか) 蟻な (が) 十渡る あい (間) より  
(しか) あいとらせん (開いていない) 言う事や  
(だ) 言うの 聞いたけどなあ。

**とん【副詞】** 落ちる事。幼児語 トンすんど (落ちる  
ぞ)

**どん (鈍)【名詞】** 1) 不調法 へま あいにくな事  
下手 (志 (鶴方 神明 立神 甲賀 国府)) 2) 愚  
鈍 のろま [会話] 1) ドンや、ドンつくは へま

(失敗) する人 あや (彼は) ドンずらばこ やたら  
(だとか) 言うて、ドンくさいも 一緒や (です)。

**どん【名詞】** 1) 様 殿 尊稱 いしゃドン (志 (布施  
田、甲賀)) 2) 卑稱。男の使用人の下につける。  
(鳥) 3) 同輩につけて親愛を表す。[会話] 1) さく  
たドン、じざえもドン、いちべドン、言うて 医者  
を いしゃドンや (だ) 言うて。なんでも (なにでも) 偉  
い人を ドン付けんの (るのです) 殿言うのをな ド  
ン 言うて。しょやドン や (だ) 言うて、みじかあ  
い 羽織 着て来ると やまかた (山方) の しょや  
ドン な (が) 来たよななあ (ようだ) 言うてなあ。  
山方のしょやドン (庄屋) な (が) 来ると ちんちん  
どり (千鳥) みたよん (のように) して みじかあい  
(短かい) 羽織 着て きよおったもんで (来て居た  
ので)。しょや (庄屋) の 水飲みや (飲めば) 猫の  
仔も たける (威張る) 言うて、しょやドン やもん  
で (なので) 猫でも しょや の家い、こおて (飼っ  
て) 貰らうと たけつて (威張つて)。

**とんが【名詞】** 冬瓜 とうがん とおが参照 (志 (磯部、  
浜島、鶴方、神明、立神、国府、安乗)、鳥、桑郡、  
三、四、鈴郡、鈴市、安、松、伊賀地方、度、伊、北、  
尾) [会話] トンガ言うな (言うのは) なあがい (長  
い) 干瓢 作んのなあ (作ります)。なますん (に)  
しても 美味いのなあ トンガなますや (と) 言うの  
(言うのを) よお (よく) するやんかい (します)

**とんがじる【名詞】** 冬瓜を具にした吸物。(鈴市)

**とんがなます【名詞】** 冬瓜の酢の物。とんが参照

**とんがのすえなり【名詞】** 末子で馬鹿な人。[会話] ト  
ンガノスエナリで あやれ (あれ) あおとんが (青冬  
瓜) みたよん (のように) しとられ (している) 言う  
てな。トンガノスエナリや (は) とろくさい (鈍い)  
のおやなあ (のとか)、ちょいと (少し) 抜けたよん  
(ように) しとるとなあ (していると)、あやまあ  
(彼は) トンガノスエナリで なんも (全く) はざん  
ねどお (駄目なのだ) 言うて、にげ (人間) でも 阿  
呆に 例えてあんね (有るのです)。そして、色やて  
や (たとえば) 青瓢箪みたよん (のように) しとると  
なあ (していると)。トンガノスエナリで まあ あ  
やれ (あれ) 言うてなあ。禪かいてもなあ (しても)  
しろしろん (ゆるく) しとると (していると) と  
んがの 禪かいたよん (したように) しとられ (して  
いる)、とんがの 禪やれ (だ) 言うて。一番 末の  
子 末っ子はなあ トンガノスエナリでなあ 言うて。  
**どんがめ (団亀)【名詞】** 1) 亀 胴亀 (志 (磯部)、鳥

(坂手 答志)、上、阿、張、名) 2) 嫌な人を罵し  
って言う [会話] 1) ドンガメ どおがめ言うけどな  
あ (言いますが)、そやけど (それだが) ドンガメや  
(だ) 言うやんかい (言います)。あしこい (あそこ  
へ) ドンガメな (が) 来たんてわれ (来たそうだ) 言  
うて 言よおった (言いました)。ドンガメや (だ)  
言うて 言うけど、ドンガメ あや (あれは) なっと  
(なんと) 言う事かいのお (でしょうか) ドンガメ  
亀の事かい (ですか)。亀 ドンガメ言うの (のです)。  
2) そやけど 遊んどて (遊んでいて) いろいろ 男の  
子らな (達が) わり (悪い) 事して あや (彼は) ド  
ンガメや (だ) 言うて かまよおったんよお (からか  
っていました)。どおがめや (と) 言うて どおがめ  
な (が) あがったんてない (採れたそうだ) 言うて  
昔や (は) 言よおったんなあ (言っていました)。なん  
やかや わり (悪い) 事しやれるやんない (される  
でしょう) 男の子ら (達) に そすと (そうすると)  
ドンガメで、すかざるや (だ) 言うて。

**どんがら【名詞】** 体 体格 大きな体 どん 接頭語な  
どの撥音添加 名詞について どを更に強めた語 が  
ら 柄 体格 体つき (志 (浜島 布施田、鶴方、神  
明、立神、志島、甲賀)、鳥、上、阿) [会話] どお  
がら干して まあ 言うて、どおがらの事 ドンガラ  
や (だ) 言うて、背中の事なあ (です)。ドンガラ干  
して そや (それ) 言うて、背中干しとると (干して  
いると)。どおがら あぶれまあ (暖めなさい) ぬく  
たいわれ (暖かいです) 言うて 火 焚いても 後ろ  
向いて 当たって ドンガラ あぶれえ ぬくたいわ  
い 言うて

**どんがらい【形容詞】** 極端に辛い (伊) [会話] 物凄  
い辛い おおた ドンガロオテ 食われやせんわれ  
(食べられない) 言うてな、物凄 辛いのをなあ  
ドンガライ 言うて。

**とんがらかす** とがらす。先を細くする。トガラカスの  
音便 (大言海)

**とんがらし【名詞】** 唐辛子 たうがらし (唐辛子) の音  
便 (大言海) (三重県全域、志摩市全域) [会話] ト  
ンガラシ。唐辛子言うの (のを) トンガラシ。トンガ  
ラシ 尻い (へ) さいて (差して) まいこましたんど  
お (てやるぞ) 言うて、わり (悪い) 事すると 子ら  
らん (子供達に) わるいおった (叱って居ました)。  
なめなめ しとるもんで (愚図愚図しているの) 針  
金い (に) トンガラシ しといて (しておいて)、尻  
の穴い (に) 通したるん (通してやるぞ) 言うて。

**とんがらしみそ【名詞】** 唐辛子味噌 青唐辛子を刻んで  
生味噌に混ぜたもの [会話] とんがらしの 青い  
かろお (辛く) ならんのおを (のを)、こまこお (細  
かく) きぞどいてなあ (刻んでおいて) それ 生味  
噌ん (に) 入れて トンガラシミソ、それも また  
旨いね (のです) 青くそおて (くさくて)。

**どんかん【名詞】** 勘が鈍い感じ  
(熊) [会話] 字知つとる (知っている) もな (者  
は) 字読んで 読んで字の如し 言うて、わしら (私  
は) 読まんとおつて (読まずにいて) ドンカンで 言  
うとんねよつて (言っているのだから) 嘘事も 言う  
とんね (言っているのです)。

**どんかん【名詞】** 酒の爛がぬるい

**どんぎる** 強く、激しく言う [会話] おっきいて (大  
きくて) 怒ったよおん (に) 言うのを、ドンギル ど  
んぎれ言葉言うて。

**どんぎれ【名詞】** 大便 固い太い大便 (志 (浜島 布施  
田)) [会話] ドンギレ言うね (言うのです)、どいら  
いのおを (大きいのを) すると ドンギレやなあ  
(だ) 言うて、何でも おっきいと (大きいと) そし  
て なんやかや (何でも) 切っても おっきい 切る  
と、おおた (ああ) ドンギレみたよん (のように) 切  
って 言うて、ドンギレみたよおな (のように) 切り  
方やなあ (だなあ) 言うて、ふっとみじこお (太短  
く) 切ると ドンギレみたいなあ (だな) 言うて。  
大便の ふつとい (太い) のを ドンギレ してまあ  
言うて、子供やつても (でも) おっきいの (大きい  
のを) すると ドンギレ たれて 言うて。

**どんぎれがしん【名詞】** 菓子的一种 拇指大で黒く表面  
に砂糖がついている [会話] 伊勢ん (の) 土産ん  
(に) ドンギレガシン もおて (貰って) どんぎれみ  
たいん (に) しとる (している) もんで (ので) ドン  
ギレガシンや (です)。昔に この位ののおい (の  
に) 白ざと (砂糖) ふいて (付けて) ドンギレガシン  
や (と) 言うて 伊勢行くと ドンギレガシン 買お  
て (買って) 来たろんねえ (来てあげましょう) 言う  
て、ドンギレガシン 貰うの どいらい (大変) 嬉しか  
りおった (嬉しかった) うまかりおったの (美味か  
ったのです)、くうろい (黒く) このくらのんの (くら  
いの 約 5~10cm) 白ざと (砂糖) な (が) ふいてあ  
んねてや (つけてあるのです)。

**どんぎれことば。どんぎりことば【名詞】** 堅い言いまわ  
しの言葉 (志 (片田、甲賀)) どんぎりことば [会  
話] ドンギレコトバで 言うて、どぎつい (強い)

言葉で言うにげや（人間・人は）ドンギリコトバで言うてなあ。上品に慣れ慣れし（馴々しく・親しそうに）言うにげや、おとなして（おとなしくて）言うんけど（言うのだが）、ぞおき（下品）な言葉 使うとドンギリコトバで言うて ドンギリコトバで言うて上手混ぜんと（混ぜずに）言うのを ドンギリコトバ。思た（思った）事、ぼんぼんと 言うて ええ（いい）事も わり（悪い）事も 言わんと（言わずに）ドンギリコトバで まあ（もう）言うて。こいな事言うたら（言ったら）人な（が）気にあたるかいなあ（障るかな）とも 思わんと（思わずに）言うのを、ぼんぼんと ドンギリコトバで 言うてなあ（言います）。

**どんくさい【形容詞】** 愚鈍な 不器用な どん 頭の働きの動作などののろい事 切れ味の鈍い事 ばかげている事、つまらぬ事 くさい 臭い 接尾、体言及びそれに準ずるものに付く そのような臭いがする意を表す いかにも、そのように感じられる そのような傾向を帯びている意を表す、その意味を強める働きをする（志（浜島、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗）、鳥、桑市、三、鈴市、安、久、多、阿、張、名、北、熊）[会話] 仕事すんのななあ（するのに）ドンクサイ人をなあ こどんでまあ（鈍くて）あんなする（彼のする）しごた（仕事は）見ておられやせんわれ（居られない）言うてな。

**どんぐらい** どの位（志、北）

**どんけつ。どんげつ【名詞】** 1) 最後 最下位 ぶり（志（浜島、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗）、松、多、上、阿、張、名、伊、鳥）2) 尻をののしって言う語。大きな尻。[会話] 2) ドンゲツ言うて。尻のけつ ドンゲツや（と）言うて。尻な（が）おつきいと（大きいと）あやあれ（あれ）ドンゲツ見よまあ（見なさい）言うて、尻の事を けつ。  
1) ドンゲツ 一番終い 一番最後ん（に）なるもん（者）を ドンゲツやれまあ（だ）言うて、しりしんまいまで 走とられ（走っている）走っても 尻しんまいや（だ）言うて、終いの事を 一番終いを しりしんまいまで食うて いやしんばあ（いやしんぼうは）言うて。

**どんげに。どんげん【副詞】** どれだけ どのように どんなに どげんと同じ、参照 どない参照 [会話] ドンゲンしても 出来やせん（出来ない）とか、ドンゲンしても 思い出されやせん（思い出せないのです）とか。 なんやかや忘れたても（色々忘れてしまっ

ても）ドンゲンも 思い出されやせんねよお（出せないのです）言うて。ドンゲン言うて どげん 言うなあ（言います）。ドンゲンも 思い出されやせんねよおとか、ドンゲンも この仕事な（が）出来やせんとか。そして 人と話し したのおを（のを）聞く時に、あのひた（人は）どげん言うたんどい（言ったのですか）言うて 聞くのなあ、なつと（何と）言うたんどい 言うて 聞くのを、ドンゲン 言うたんどい 言うて。物がよけ（沢山）有ったりする時に ドンゲン あんねどい（有るのですか）とか、ドンゲン よけ（沢山）あんね（有るのか）思たや（思ったら）そんだけより（それだけより）無いんかい（無いのですか）言うて。仕事しとても（していても）なつとすんねどい（どうするのですか）言う事を ドンゲン すんねどい、ドンゲン したら ええんどい（いいのですか）言うて。なとしとんねどい（どうしていますか）言うの ドンゲン しとんねどい 言うて。

**どんげんでも【副詞】** どんなにしても 如何様にも どうしても [会話] ゆざけ（間食）を、ドンゲンデモ 食いおったなあ（食べて居ました）。

**どんげんも** どうしても どんなにしても [会話] ドンゲンモ ならへんねよお（ならないのです）言うて、いくら しても 出来やへんと（出来ない）、おおた ドンゲンモ ならへんよお こやまあ（これは）言うて なつと（なんと）しても よおせん（出来ない）出来やへんのを（出来ないのを）、どげんしても はざんわれ（駄目です）言うて。どげんだけやなしん（でなくて）ドンゲン言うて”ん”つけて。

**ドンゴロス dungrees【名詞】** 麻袋（志（鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗）、阿、張、名）[会話] ドンゴロス言うな（言うのは）、今し（今）豆やとかなあ（だとか）大豆や 小豆 よお（よく）入ってくんなあ（来ます）。北海道からうくって（送って）来ると。昔や（は）きざら（砂塘の一種）も 入つとりおったなあ（入っていました）ちょいと（少し）ドンゴロスのきめの（肌ざわり）ええの（よいのに）。ドンゴロス言うて 麻みたいな ひげの立つたのな 粗くとお（目が粗く）編んであんのなあ（有るのです）。あや（あれは）ロツブ（マニラ麻）で 編んであんのかい（有るのですか）、緒かい。緒ではない、緒で編むとしたら、あおそ（緒の一種）やなあ（です）、緒とも 違うよおななあ（です）。そやけど（それだが）ロツブとも 違うよおななあ（ようです）。

**どんごろべえ【名詞】** 尻餅 [会話] ドンゴロベエ 打ったよお 言うて、滑って転ぶのをなあ、ドンゴロベエうったよお 言うて。ただ 転んだ時はなあ こけたねよお (転んだのです) 言うんけどなあ (言うのだが)、物凄おなあ 勢いで こける時な (が) あんねてや (有るのです) おおた ドンゴロベエ うったんよお 言うて。あおぬきさまん (仰向いて) 転ぶのを ドンゴロベエ 打った言うて。

**どんざ【名詞】** 厚い綿入れ 古綿を入れたどてら、又は、綿入れ半纏 漁師の着る労働着 冲着物 (志 (布施田、浜島、御座、鶴方、神明、国府)、鳥 (国崎)、桑市、松) [会話] ドンザを こしらえて (作って) 言うて。じょおし (漁師) の人らな (達が) 幾つも重ねんのを (重ねるのを) ドンザ 言うてなあ。つん (で (継いで・縫い合わせて) すん (する) のを) ドンザ こさえて (作って) まあ 言うて。ドンザツギや (だ) 言うて、刺し子ん (に) してあったり、幾重ねも しきし (布) 当てて すんの (するのを) ドンザ やなあ (だ) 言うて。ドンザは よおこ (四重ね) ぐらい しいおったのお (して居ました)、普通のきもん (着物) は ふたあこ (二重ね) やけど (だが)、それを そのまま よつめいん (に) して もつば縫い や (だ) 言うて、四つ重ねたのおを (のを) 縫うて、長崎の人らは 皆 男らな (男達が) 刺し子や (だ) 言うて、縞 (模様) を 白糸で さいて (刺して)、さいた (刺した) きもん (着物) を 皆 着とんね (着て居るのです)。ここらで言うて、わたこ (綿入れ着物) 着るよおん (ように) して 男海女な (が) 皆 着とんね。丹前の代わりやでえのお (です) 刺し子ん (に) して 男海女な (が) それ着てくんの (来るのです)。長崎の人ら (達は) えてこい (得意・おはこ) で 長崎の人やれなあ (でしょう)、刺し子着とるよつてん (着ているから) 言うて 言いおったの (言って居たのです)。ドンザ言うて 幾つも 布 重ねて あつつう (厚く) すんのなあ (するのです)、じょおしや (は) さいら (秋刀魚) 舟とか言うて、よさり (夜) 行くやんな (でしょう)、よさりでも、今し (今) みたよん (のように) 合羽は無いし 雨な (が) 降って来たてて (来ても) それで 凌ぐねよつてん (凌ぐのだから)、蓑 持てたてて (持って行っても)、どお (樽) 漕んだり (漕いだり) 遠いとこ (所) 漕ぐのん (のに) そいなもん (そんなもの) 着て 漕んで (漕いで) おられやせんやんない (いられなでしょう)。そやもんで (それだから) き

もん (着物) を あつつうして、まあ オーバーの代わりや (です)。そげんして (そんなにして) 昔や (は) 沖もつぱ や (と) 言うて、ドンザを こしらえおったの (作って居たのです)。そして まあ 家で 忙して (忙しくて) それしとる (している) あい (時間) が ないと、もつぱつぎ や (と) 言うて、それ こしらえる (作る) 人 たので (頼んで) つんでもらいおったの (継いで・作ってもらいました)。

**とんさい (頓才)【名詞】** その場 その時に応じて、自在に働く知恵、頓知の才、臨機応変の才 気転のきく才 頓智 [会話] 仲裁する、とりおさめる。偉いさんな (が) おさめ おったやんかい (ていました)、口の上手な、トンサイの有る人らな (が) 事件な (が) 有ると、おさめて くれよおった (くれて居ました)。

**どんざつぎ【名詞】** 刺子にしてあるどんざ **どんざ参照**  
**とんじゃく (とんぢやく) (頓着)【名詞】** 気掛かりに思う事 心配り 関心 掛念 貧食染著の義 (大言海) [会話] トンジャク しやへん (しない) 言うて、世話 (面倒) しやへん言う事なあ、かまわせん (相手にならない) 言うて 言う事や (です)。なんも トンジャク しやへん、なんも構わせん、なつとしても (どのようにしても) かもて (相手になつて) くれやせん (くれません) 言う事を、トンジャク しやせん。おら (俺) の事 なんも (全く) トンジャクしてくれやせん (くれない)。なんも世話してくれやせん言う事なあ (です)。トンジャク せんと (せずに) 言うて。

**とんじゃくする** 関心を持つ。相手になる。

**とんじゃくせん** 相手にならない。関心を持たない。

**とんじゃくなし (頓着無)【名詞】** 気かけない人 無頓着な人 [会話] トンジャクナシよ (奴) 言うて、そこらい (其の辺りへ) なんもかも (すべて) ひろげさがしてなあ (散らばらして)、せえとん (整頓) よおせんとなあ (出来ない)、とんじゃくせえまあ (しなさい) 其処らの もん (物) も言うて。てえねん (丁寧) に片付けると、ええんけどなあ (よいのだが)、其処ら、ひろげさがしとくとなあ (ておくと)、周りに 気い (気) 使わん (使わない)、整理整頓 せんと ほりさんぼん (散らかして) しとると (していると) とんじゃくせんとまあ (せずに) トンジャクナシやよつて (だから) ひろげさがして (散らばして) 言うてまあ。

**どんじり (尻)【名詞】** 1) 大きな尻 尻を卑しめて言

う語 どんげつに同じ ドンは接頭語(広辞苑)(志(布施田)、尾、北) 2) 一番最後 ぶり(志(浜島布施田)、鈴市、上、阿、張、北、南) [会話] 1) 尻の おっきいのをなあ(大きいのを) ドンジリ、おなご(女)ら 尻な(が) おっきいと(大きいと) ドンジリ 放り出して言うて。2) 走りやい(競走) してもな ドンジリ やったよお(だった) 言うて、一番終い ドンジリや(だ) 言うてなあ。

**とんする** 落ちる。幼児語。(阿、張)

**とんすんど** 落ちるぞ。

**どんぞこ** (底) 【名詞】 一番下の部分 最も底トドムルソコの略音便(大言海) [会話] ドンゾコ言うのは一番下のおを(のを) 言うんや(言うのです)。ふっかい(深い) 底を 言うなし(言うのです)。

**とんだ** 研いだ

**とんだ** 夜逃げ 逃げ出して行方不明になること [会話] トンダ言うて、今し(今)で言うて 蒸発してた(行った) 言うのを、誰それな(かが) トンダんてな(とんだそうだ) 言いおったわい(言っていました)。

**どんだけ** (何丈) 【名詞】 どれだけ 何程(志(鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥(国崎)、三、鈴郡、鈴市、安、伊、北) [会話] だい(どれ) ドンダケ あんねどい(有るのですか) 言うて、物調べんのななあ(調べるのに)。物の量の事 ドンダケ言うのなあ(のです)。穀物の事でも ええしなあ(よいし) 長短かの事も 言うし(言います)。めかた(重さ) ドンダケあるかいのお(有るでしょうか) 計って見よまあ(見なさい) とか、波切まで ドンダケ 二里かい 三里かい 長さも言うの。長さも 重さも ドンダケ言うのなあ(のです)。時間の事も 言うなあ(言います) 後 ドンダケするとええんかいなあ(よいのですか)。

**どんだけでも** 何程でも、少量の意を表す(志(立神))

**とんだべえ** 【名詞】 軽はずみな人。おっちょこちょい。

**とんちき** (頓痴気)。とんちきばお(頓痴気坊) 【名詞】 間抜け のろま とんま あわて者 とんは頓馬の類い ちきは いんちきのちき ちき 的、てきの転か人の状態を表す語について、そのような奴の意を表すからかいやあざけりの意を込めて言う(志(片田、布施田、鶴方、神明、志島、甲賀)) [会話] あやまあ(彼は) トンチキやなあ(だ) 言うてな。あんごし(馬鹿) ねなあ(のだ) 言うのをなあ ひよかひよかとなあ、吹けたよん(ように) 言うとる(言ってい

る) もんなあ(ので)、あやまあ トンチキボオでまあなあ なんも(全く) 判からせんねやれ(判からないのだ) 言うてな とりしまり(しまり)の無いよ おな事言うととなあ(言っていると) あや(彼は) まあ トンチキやれ(だ) 言う。

**どんちゃんがらん** 【名詞】 葬式 葬式の出棺前の儀式 どんちゃん参照

**とんちんかん** (頓珍漢) 【名詞】 【形容詞】 物事の辻褄が合わない事 行き違ったり、ちぐはぐしたりする事 とんまな行動をする事、又その人 鍛冶屋の榎は交互に打ち音が揃わない所から(広辞苑) [会話] トンチンカンみたいなさ 言うて、物を あっちゃこつちや(あちらこちら) 言うて、訳の判らへん(判らない) 事 言うと トンチンカンみたいなさばっか(ばかり) 言うて 言うやんかい(言います)。ちんばかた(跛肩) 言うの(のは) 揃わせんの(揃わないのを) 一つは 短いし 一つは たっかいし(高いし)、それ 跛な(が) やんない(でしょう) 足の短い方は跛引いて 足の長い方は 普通に歩くけど それを真似て ちんばかた言うんやろなあ(言うのでしょうか)。

**どんつか** 【名詞】 鈍な人 へまばかりする人 [会話] ドンツカ 言うて ドンツク 言うのを ドンツカ 言うのなあ(です) どんな(下手な) 人をなあ ドンツクも、ドンツカも 一緒や(です)。

**どんつく** (鈍付) 【名詞】 【形容詞】 1) 働きが鈍い事 愚鈍な事、又、そのような人 どん参照(志(浜島)、鳥(答志)、一、松、多、上、阿、度、伊) 2) 太くて短い。[会話] 2) ドンツクツン言うの、どんぼみじこおて(太短くて) 仕事の事やなしんなあ(でなくて) ふつとみじかい(太短い) のおを(のを) 物の形を ドンツクツンみたいに しとる(している)。

**どんつくもん** 【名詞】 不器用者。(志、鳥(鳥羽))

**どんつくつん** 【名詞】 【形容詞】 背が低く太っている事 どんつく(志(浜島)) [会話] ドンツク 言うななあ(のは) 体な(が) おっきいてなあ(大きくて)、つくつくつと しとんの(しているのを)、あや(彼は) ドンツクツンみたよなあ(のようだ) 言うやんかい(言います)、体の 短こおておつて(短かいのに) 肥えととなあ(ていると) ドンツクツンや(だ) 言うてなあ、何処其処の誰それ おおた せえ(背、身長) な(が) 短こおて(短かくて) ドンツクツンやなあ(だ) 言うて 言うんなあ(言うのです)。ドンツクツン言うて ふつと(太くて) 短いのを、○

○さんな (が) 若い時や (に) 孕んで 腹な (が) お  
つきいて (大きくて) 座ると 腹な (が) 脛い (に)  
来て、脛な (が) なんも (少しも) あいとらんで (開  
いてなくて)、脛な (が) なんも (少しも) ねえね  
(無いのです)。豆蔵ん (に) よお似とんのお (よく  
似ている) 言うて 豆蔵でこ (人形) な (が) 有るや  
んかい。豆蔵言うな (言うのは) 刀立てて 足な  
(が) 短いやんかい (のです)。” 豆蔵が一匹 飛んで  
来た ところで 一文 もらわなきゃ 家の鍋、釜  
総休み ひいや (一や) ふうや みいや” 言うてどん  
つばき (お手玉) すんのん (するのに) 言よおった  
(言っていました) 豆蔵な (が) 乞食に 来たんやろ  
なあ (来るのでしょうか)。

**どんつばき【名詞】** 子供の遊び お手玉 (志 (浜島、布  
施田)、一、北) [会話] ドンツバキ 言うな (の  
は) 子供の遊びで お手玉を ドンツバキ 言うね  
(言うのです)。ドンツバキどん 落したかどん 滑  
ったかどん 言うて、手鞆を ついて そのあいに  
(間に) てえ (手) 叩いて すんの (するのを) ドン  
ツバキ 言うてな。ドンツバキドン 言うて てえ  
(手) 叩いて 三つや四つで しよおったやんかい  
(していたで有りませんか)。おっさら (お手玉) な  
(が) 落ちてこん (来ない) うちん (間に) てえ  
(手) 叩いといて (ておいて) それを 受けんねやん  
かい (受けるのです)。” ドンツバキドン 落したかど  
ん 滑ったかどん どんどの下の どころみさんな、  
かみを しゃんと 結うて お寺えあげて お寺縁か  
ら 突き戻されて 一分、二分する鼻紙 捨てて 誰  
が捨てたと 詮議をすれば おさか さんぐり屋の娘  
が ひいろた、娘 呼んで来い 盃さしよに 娘おら  
んで 頼みが失せて 頼みかわい 兄貴な頼む お爺  
も 呼んで来い 婆あも 呼んで来い 酒こおて し  
んぜましょ” 言うて。

**どんづまり【名詞】** 1) 行き止まり 2) 物事の  
終り (鈴郡、鈴市) [会話] 2) ドンヅマリ 言うな  
(のは) 一番終い 終いの事をなあ、どどの ドンヅ  
マリや (です) 並ぶのをなあ 一番最後に並ぶと、ど  
どの ドンヅマリや (だ)、どどのつめや 言うてな  
あ。

**どんづめ【名詞】** 結局 最後 どん詰り (員) [会話]  
ドンヅメまで 言うて、いっち (一番) 終いの事をな  
あ (です)、何でも 物の詰めに こっちや (こっち  
へ) へ 行ても (行っても) ドンヅメや (だ) 言うし、  
終いの のおを (のを) ドンヅメやとか、(だとか)

どんぞこ やとか。どんぞこ言うのは ふっかい (深  
い) 底を 言うのなし (言うのですし) ドンヅメ言う  
のは 先の詰ってた (詰ってしまった) 事なあ (を)  
ドンヅメや。どどのつめ やれ (だ) 言うて。

**どんづら【名詞】** 1) 顔をいやしめて言う語 2) 鈍い  
事 まぬけな事、又、その人 (志 (片田、布施田、越  
賀、神明、甲賀、安乗)) [会話] 2) ドンヅラ 下手  
な事なあ (です)、ドンヅラバコよ 言うてなあ 下手  
な事すると ものすごお (ものすごく) 不利口なのお  
を (のを) 言うね (言うのです)。なんしても (何を  
しても) 下手なのおを (のを) 言うね。ドンヅラなあ  
よって (なのだから)、ものすごお (ものすごく) 下  
手なと (だと) ドンヅラバコやのお (だな) 言うて、  
はこも 付けんね (付けるのです)。

**どんづらが【名詞】** ふてくされた顔 [会話] 顔も  
捨鉢みたよん (のように) になって しとる (してい  
る) 時な (が) 有るやんない (有るでしょう)。おお  
た 見よまあ (見なさい) ドンヅラガオして言うてな  
あ。

**どんづらしとる** ふてくされる 下手だ [会話] ふて  
くされたよおな顔して しとんのを (しているのを)  
ドンヅラシトル、あや (あれ) どんづら 見よまあ  
(見なさい) 言よおったなあ (言っていました) つら  
(面) な (が) すてばち みたよん (のように) なっ  
て しとる (している) 時な (が) 有るやんない (有  
るでしょう) おおた 見よまあ ドンヅラシテ 言う  
てなあ。

**どんづらばこ【名詞】** なにをしても下手な人 鈍い人  
[会話] なんしても 下手なのおな (のを) ドンヅラ  
バコ、こどんな (下手な) あんまり (あまり) 利口で  
ない事を ドンヅラバコ。

**とんで** 研いで [会話] 大工な (が) 框やなんか す  
るよん (ように) になると、鉋、トンデばっか (ばかり)  
おるやんかい (居ります)、おおた あんに (あ  
んなに) トンデばっか (ばかり) おって (居て) 仕事  
も すんのかいな (するの) 思う程やな (です) 鉋、  
研ぐの。

**とんでえ** 研いで下さい。

…**とんでえ** 1) しています 2) しているので [用  
例] 1) こおな (子が) 泣いトンデエ 早よ行けえ  
(早く行きなさい)。

**とんでく** 1) 出奔する 行方不明 2) 飛んで行く。  
[会話] 1) てんじよまい (出奔) してた (していっ  
た) 言うて、どこやかい (何処かへ) トンデく (行

くと)、あや (彼は) てんじょまいして おらせんわれ (居ません)。今し (今) で言う、蒸発してた (して行った) 言うのなあ。なつとも (なんとも) 言わんと (言わずに) 行くなあ まあ あの家の あにんか (男の子) どこやらい (何処かへ) トンデタンテナア (そうだ) 言うて。

とんでた 夜逃げした

どんでんがいらい。どんでんがえり (どんでんがへり)

【名詞】 1) ひっくり返る 倒れる 勢いよく転ぶ

2) 空中廻転 [会話] 1) ドンデンガイリ。ひっくり返って くんのを (来るのを)、ドンデンガイリしたんてわい (したそうだ) 言うて。2) 越後獅子な (が) 来ると かえるの (回転するのを) 真似して

とんと 【副詞】 完全に まつたく すっかり きれいさっぱり 一向に 少しも (志 (浜島)) [会話] トント 忘れとた (ていた)、トント 詰ったてやら (とか) 言うてなあ、戸も トントしめとけまあ (閉めておきなさい) 言うしなあ (言います)。どこやら 行き詰まると トント 行き詰ったよお 言う時も有るし。トント しめとけ 言うな (言うのは) きちっと 閉めとけ (閉めておけ) 言うなし (言いますし)、詰っても トント行き詰った言う時も 有るしなあ、そして もの 忘れても まあ トント忘れた言う時も 有るなあ (有ります)。すっかり忘れた言うのなあ (のです)。

どんと 【副詞】 1) 量の多い様 (志 (布施田、波切、鶴方、神明、立神、甲賀、国府、安乗)、鳥 (鳥羽)、桑市、員、三、鈴郡、鈴市、安、一、久、松、上、阿、伊、南) 2) 急に 力強く [会話] 2) ドント 突き上げて来た。ドント とびやげて (突き当たって) 来たとか、ドント 当たった てやら (だとか) 言う時も ドント 使うけどなあ (使いますが)。1) 沢山言う事も ドント 言うね (言うのです) ドント 有るやんかい (あるではありませんか) 言うてなあ。

どんどこどん 【副詞】 甚だ たいそう 物事が調子よく 運ぶさま (志 (布施田)) [会話] どっ (どこ) から 何処まで ドンドコドンヤレ (だ) 言うて。物 たてる (仕分ける) 時ん (に)、麦たてたり 豆たてたり すると、おおた (ああ) あらし (適当な風) な (が) 有って ドンドコドンやよお (だ) 言うて、物たてんのお (仕分けるのを) ごみと みい (実) と 仕分けんの (仕分けるのに) 風に ふっからかす (吹かす) のおを (のを)、そおすると ごみは 吹けてく (行く) もんで (ので) じっきん (すぐに) 仕分かんのや

んかい (仕分けられるのです)、おおた (ああ) 今日は ドンドコドンで 仕分かんの (仕分けられるのが) 早かったよお 言うて、調子よお (よく) 進んでく (進んで行く) ドンドコドンに 吹けてた (て行った)、ごみは ふっと 吹けてくと (行くと)、実は とごつて (沈んで) 早よ (早く) 綺麗になるやんかい (なります)、そやもんで (それだから) あらしな (風が) 有って 今日はドンドコドンに たてたよお (仕分けてしまった) 言うて、たてもん (よりわけ)る) すんのん (するの)に)。ドンドコドン言う と どおんと 風で 吹けてく (いく) 事をなあ 風で 吹けて来るねてや (吹いてくるのです)。風な (が) 吹いて来たもんで (ので) 沖から 帆まいて (上げて) ドンドコドンで 家い (に) 着いたよう言う事も 有るし (有ります)。

とんとめ 【名詞】 慢性結膜炎 角結膜炎 (慢性化したもの) [会話] トントメ 目な (が) うじゃけて (腫んで) くんの (来るのを) トントメ、やねめ。やにめやにめ言う人も 有るし、やね (脂、やに) が よお (よく) 出るもんで (ので) やねめ言う人もあるし (有ります)、やねで まあ 言うて。腫で めえ (目) な (が) つないどて (閉じていて)、朝なあ (は) どげんも (どんなにも) 開かせんのなあ (開かないのです) めえな (目が) 閉じとて (閉じていて) いっしょけんめ (一生懸命) こお はずしても まあ 閉じとて あかへんのなあ。トントメ ん (に) になると、まより (目脂) な (が) こおして来て 夕方ん (に) になると 目な (が) あいておられやへんの (開いて居られません)。真っ赤ん (に) なって しろまなこ (球結膜) な (が) 真っ赤ん (に) なるの (なるのです)。黒まなこ (瞳) は くうろい (黒い) よつて (から) なんやけど (判らないが) 白まなこな (が) ちわた (血綿、血の凝り) みたいん (ように) 真っ赤ん (に) なって それを トントメや (だ) 言うてなあ。そすとなあ (そうすると) そのめえ (目) な (が) ころころ ころころして その ころころすんのな (するのが) わりの (気持が悪いのです)。夕方ん (に) になると してくんの (来るのです)。トラホームの時は 白まなこな (が) そのままで おって (いて) 粒々な (が) 出来んのなあ (出来るのです) 瞼の裏い (に) 下瞼い (に)。

とんどる 浮いて居る。考えが非常識だ。(志 (布施田)) 飛んで居る。

とんどる 研いで居る

どんどろこす 溢れ出る。

**どんどろぼおず【名詞】** 丸坊主 (志 (布施田)) [会話]  
坊主頭 頭 すっころこんに したると (してやる  
と) ドンドロボオズに 剃って。 “寺のドンドロボオズ  
は、いざり子 もおけて (産んで) よお” (盆踊りの  
拍子歌) 言うやんかい (言います)、ドンドロボオズ  
言うな (言うのは) すっころこんに したると (して  
やる) ドンドロボオズに すって (剃って) 言うて、  
寺の和尚さんな (が) ドンドロボオズに 皆 しとる  
もんで (しているの) ドンドロボオズ 言いおった  
の (言っているの)。すっころこん言うのは 綺麗  
に じっぱん (立派に) すべすべしたるの (滑らか  
にしてやるのを) ドンドロボオズでやら (だとか)、  
すっころ坊主やてやら、すべすべ言うて 坊主の頭  
すったると (剃ってやる) すべと しとるやんない  
(しているでしょう)、するつとしとるの (してい  
るのを) つるつるしとるのを (しているのを) ずべこ  
おべ ずんべら坊主 とか。

**とんとん【副詞】** 1) 差引に過不足が無い 2) 調子よ  
く進んで行く [会話] 1) 丁度よかった 言う、トン  
トンやったなあ (だった) 言うて、2) そして トント  
ンとあがってく (行く) 事をなあ トントン拍子に  
あがってた (行った)。階段も トントン上がってか  
れ (行く) 言うて 選挙でも つうつと 上がると、  
トントン拍子に上がった 言うやんかい (言います)。

**とんとん【名詞】** ゴムまり (軟式庭球の球のようなもの  
の下級品) 幼児語 [会話] 毬の事もトントン しよ  
おか (しましようか) 言うて “とお (一) に (二) 三  
四 五 六 七 八 九 十 こんにやくあげえて  
わあたした (渡した)” 言うてなあ。この時は ごん  
ばりこ (ゴム毬) でも するし、 ごんばりこよお  
買わんと (買えないと)、わがとらな (自分達が) 布  
い (に) 糸巻いて 中へ きこく (からたち) 入れる  
と よお (よく) 上がって あん (あれで) よお  
しいおったよお (よくして居ました)。ごんばりこ  
よお 買おてもらわんで (買ってもらえなくて) 糸で  
巻いて はりこを。ごんばりこは ゴム張り子それを  
トントンしたり どんつばき (お手玉) したり しい  
おった (して居ました)。

**どんどん【副詞】** 1) 次々と 多量に 2) 騒ぐ事  
[会話] 2) ドンドンすんな (するな) 言うて、やかま  
し (喧ましく) 廊下やどけ (など) 走ると ドンドン  
すんなよお (するな) 喧しのん (に) 言うてな、1) そ  
して 次から次いと ドンドン持て来る。

**どんどんざか【名詞】** 傾斜の急な坂道 (志 (安乗)) [会  
話] 急な坂を ドンドンサカや (と) 言うて。ドン  
ドンサカで あぶのおて (危なくて)

**どんな** 不器用な。不器用だ。失敗。どんなこと参照  
(志 (鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安  
乗))

…**とんない** …ている [会話] あれ シトンナイ。し  
とんね (しているのだ) 言うたりなあ、あげん (あんな  
なに) ばっか (ばかり) しとんね、あげん ばっか  
シトンナイ 言うて、誰やら あしこん (あすこに)  
おって がつたんごつとんシトンナイ 言うて、がつ  
たんごつとん しとる (している)、しておる 言う  
のを シトンナイ 言うたり、しとんね 言うたり  
泣いトンナイ 言うて 泣いとんの (ているのを)。

**どんなこと【名詞】** 下手なこと へま 失敗 [会話]  
ドンナコト したり 今し (今) 持つとんのおな (持  
っているのが) こぼれてくよおん (いこうに) して  
来ると ままままま ひまのかあやれ (大変だ) 言う  
て。

**どんなことあっても** 必ず (尾)

**どんなんど** どんなのですか。

**どんに** どのように どんなに (志、度、三、鈴市、一、  
伊) [会話] どんなに 言うのを どんなにしても  
言うのを、ドンニしても はざん (駄目だ) 言うてな、  
ドンニ 言うても 聞かへん (聞かない)。

…**とんね** している [会話] シトンネ 言う時も 有  
るし、泣いトンネ わる (笑って) トンネ 言うて。

**どんねん** どんなに。どの様に。(志、上、阿、名、  
度)

…**とんねんなあ** しているのです [会話] シトンネナ  
ア 言うたり。

…**とんの** しています [会話] あげん (あんなに) シ  
トンノ、幾ら 言うても あげん シトンノ あげん  
しとんねない (しているのだ) 言うたりなあ。

…**とんのおん** しているのに。喋っトンノオン。

…**とんのか** …ているのか (安) [会話] シトンノオカ  
イ。なん (なに) しとんねえど (しているのだ) 言う  
たりな、シトンノカ 言うのは 尋ねるなあ (です)。

…**とんのかして** しているらしく [会話] 腹 減らし  
トンノカシテ、あやあれ (あれ) たくり込むない (一  
生懸命に食べている)

…**とんのん** しているのに [会話] シトンノン 言う  
な (のは)、こげん (こんなに) おらな (俺が) シ  
トンノン やかまし (うるさく) 言うて。

**どんぱく【名詞】** 1) 愚鈍 のろま 2) 太く短い。

〔会話〕<sub>2)</sub> ふつと短いの(太短いのを) ドンパク みたいいなあ(だなも) ころころしとんのおを(しているのを)。

**どんばら【名詞】** 1) 腹の大きい事 大きくふくれた腹

(志(片田、浜島、布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、度、北、尾) 2) 妊娠中の大きな腹 3) 妊婦。妊娠 〔会話〕<sub>2)</sub> はらみど(孕人) な(が) おっきいと(大きいと)、おおた(あれ) あ の ドンバラ 見よまあ(見なさい) 言うて。ドンバラ、腹な(が) おっきいて。

**とんぴ【名詞】** 1) とび 鳶 トビ(鳶)の音便(大言海)(志(布施田、磯部、立神)、鳥(鳥羽、浦村、菅島)、桑郡、桑市、員、三、鈴市、鈴郡、安、久、一、松、多、上、阿、張、名、度、伊、尾、南) 2) マント(津、北) 3) 鳥賊の口(上、阿) 〔会話〕<sub>1)</sub> トンビに 油げ(油あげ)さらわれた 言う トンビなあ(です)。ひるトンビな(が) 鳴くと 上日やなあ(だ) 言うし、ユウトンビに 江戸船仕立て(仕立てなさい)、江戸へ行く船を 昔や(は) 江戸がよいや(と) 言うて 東京い(に) 通う船を。天気な(が) ええ(よい) 言う事やなあ(です) 夕方ん(に) トンビな(が) 鳴くと。アサトンビに 川渡りすんな(するな) 言うて アサトンビは、雨な(が) よけ(沢山) 降る言うて、それで ヒルトンビな(が) 言うて 天気が 上って(晴れて) 来ると ヒルトンビな(が) 鳴いて来たよって(から) 天気な(が) 上んねなあ(よくなる) 言うて。トンビ 鳶の事 トンビ 言うて。“トンビ トンビ 金おこせ”(よこせ) おや(私は) おや(私は) 知らん 鴉に問え”鴉 鴉金おこせ”(よこせ) おや(私は) おや(私は) 知らん トンビに問え”言うやんかい(言います)。あんな(彼が) もと(始) やてや(だ) こんな(これが) もとや 言うて、もとな(元が) 判らせんやんない(判らないでしょう)、トンビに問えとか 鴉に問え言うて、ものな(を) あっちこっち言うて トンビに問え 鴉に問え あっちゃ(あちらに) かずけ(なすりつけ) こっちゃ(こちらに) かずけ 言うて。かずける言うのは 相手に罪をなすりつける わがと(自分は) 知らん、あんな(彼が) 言うて 言うし、これん(に) 言うて おや(俺は) 知らん 言うし、そや(それは) 鴉や(だ) トンビや 言うて ふたんな(二人が) かずけやい(合い) して。

**どんび【名詞】** 陰囊の大きい事 陰囊。土瓶から。(志

(片田、布施田、甲賀)) 〔会話〕 脱腸か、ドンビか。ドンビ言うね(言うのです)。禪ん(に) はまからんのな(はまらないのが) 有りおったなあ(有りました)。きんだま(睾丸、陰囊)の おっきいの(大きいのを) ドンビ。

**とんびえい【名詞】** つばくろえい ツバクロエイ科 体盤は横に長い菱形。尾部は非常に短く、その長さは体盤長の約半分よりない。尾鰭、背鰭は無く、尾部はむち状。ときに眼の後方に乳白色斑が有る。(志、鳥)

**どんびご【名詞】** 生まれてすぐの乳児(志(船越、布施田)) 〔会話〕 赤ちゃん、あかご(赤児)の事をドンビゴ言うて。生まれて(生まれてすぐの)の子を ドンビゴ。ドンビゴ言うて 赤ちゃんの事をなあ、おなご(女)でも、男でも 生まれて すぐのこおをドンビゴや(と) 言いおったね(言っていました)

**とんびずわり【名詞】** 両足を横に出して座る、座り方 〔会話〕 足を投げ出して、尻べたんと打ちつけて(床に付けて)、座る人もあるわい(あります)。こげんして(こんなにして)、すんのは(するのは)、どえらい楽なねんて(大変楽なのだそうです)。ほいて(そうして)、あしな(が) 痛となって来やせんね(来ないのです)。尻で、おそわせんもんで(ので)、トンビズワリ言うて、足を とんびな(鳶が) 羽広げたよおにしとる(して居ます)。わしら(私)、しな(品、ひん、上品 品格)、悪いもんで(悪いので)。

**とんぼ【名詞】** とんぼしび びんなが さば科の魚 小形のまぐろで 胸鰭が特に長い 肉は赤身が少ない(度、志、鳥、南) 〔会話〕 トンボシビは 魚。

**とんぼ【名詞】** 麦飯の中の麦。

**どんぼ【形容詞】** 1) 先が尖っていない事 馬鹿 どんま 鈍馬 2) すり減って、刀などが鈍くなること 切れ味が落ちる事 〔会話〕<sub>1)</sub> ドンボクレ言うて、ふつと短いと(太短いと)、ドンボクレやなあ(だ) 言うて、鉛筆でも 削ったると(てやると) ほっそお(細く)なるけど まあ 書き書きすると 鉛筆な(が) ドンボ ん(に) なってて(いつて) 言いおったやんかい(言って居たでありませんか)。がっこ(学校)い(に) 行く時分(頃)に。先が まあるう(丸く) なつとると(なっていると) ドンボクレや(だ) 言うて、鉛筆な(が) ドンボン(に) なって来たよお 言うて。ふつとい(太い)人をなあ ドンボや(と) 言うて あや(彼は) ドンボや(だ)。<sub>2)</sub> ドンボ言うて 切れもん(物)な(が) 切れやへんよおに(切れないようにのだ) なった時も ドンボ みた

よおん (のように) しとて (していて) なんも 切れやへんね (切れない) 言うなあ (言います)。頭な (が) 鈍いのおは (のは) ドンボ言わへんね (言いません)。あや (彼は) うとんぼ 言うね (言います)。”う” な (が) 付くね (付くのです) うとんぼやなあ (だ) あのひた (人は) 言う。

**とんぼがいり【名詞】** 1) 空中回転 とんぼがいり参照 2) 来てすぐ帰る事 とんぼがえり [会話] 2) トンボガイリ 言うな (のは) 行て直ぐん (に) くん のを (来るのを) 日帰りの事なあ。今日は 伊勢 いたんけど (行ったのだが) トンボガイリして来るよお 言うて、<sub>1)</sub> 飛び上って 空中返り トンボガイリなあ (です)。

**どんぼくれ【形容詞】** どんぼに同じ

**とんぼしび【名詞】** びんが鮎 とんぼ参照 (志、度、鳥、南、熊)

**どんぼち【名詞】** 深い所。

**とんぼとまらなはらくだる【俚諺】** トンボ捕りの歌。(鳥)

**とんぼのあたま【名詞】** 麦飯の中の麦 (志) [会話] 麦飯 トンボノアタマ よばれよや (頂きましょう・食べましょう)。

**どんぼみじかい【形容詞】** 太くて短い [会話] おなご まむしは ドンボミジカイ やんない (でしょう)。

**とんぼめじろ【名詞】** 飛ぶもの

**とんぼり【副詞】** 1) 活気が無く気抜けした状態 しょんぼり 力なく さみしそうにしている状態 ぼんやり どんより (志 (鵜方、神明、立神、甲賀、国府、安乗) 2) 曇天 (志) [会話] <sub>1)</sub> トンボリ してる (している)、うとんぼと よお (よく) 似とるのお (似ているのを)。うとおおと (ぼんやり) しとる と (していると)、トンボリしとる (している) 言うて よお (よく) 言うやんかい (言います)。とぼんと しとるものなあ (しているのも)。力な (が) 無いとか 元気な (が) ないとか 知恵が無いとか 才な (才能が) 無い 言うんやろなあ (言うのでしょう) あげん (あんなに) して しとるてやなあ (しているとは) なんも (少しも) 頭使わせんの (使いません) とぼと しとるんやろ (しているのでしょう)。

**とんぼりかいり【名詞】** 1) 転覆する とんぼ返り 空中で体を一回転させる事 空中回転 2) ある場所に行つてすぐ帰つて来る事 [会話] <sub>1)</sub> トンボリガイリした どんでんがいり 言うのなあ (です)。ひっくり返つて来んのを (来るのを)。どんでんがえつたん

てわい (そうです) 言うて。ひっくり返ると。頭な (が) どんと 向こお向いて ひっくり返りおったわ (居ました)。そおすると どんでん返りや (と) 言 いおったの (言つて居たのです)。越後獅子な (が) 返るよおん (に) くるつと ひっくり返るの かりわざし (軽業師) な (が) 来いおったの (来て居たのです)。その真似して。とおと返る 言うて 頭 下に しといて (しておいて) ぱたと 返るのおを (のを)、とおと返つた 言うて言いおった (言っていました)。とおと よお するかい (出来ますか) 言うて 頭 下にしといて (しておいて) ぱたと ひっくり返ると、とおと返つた 言うて。

**どんぼりぶっかい** 急に深くなって居る (志) [会話] ふっかい (深い) とこ (所) なあ (です)。ドンボリブッカイなあ 言うて、他は (他の所) あつそおても (浅くても) そこい (に) 行くと、どぼんとしてく (していく) とこ (所) な (が) あんねてや (有るのです)。ぞれ (傾斜面) い (に) 行くと、ぞれな (が) 有つて いしぐら (石垣) から下見るよおん (に) 井戸のぞくよおん (に) しとてなあ (していて) ものすごお (ものすごく) ドンボリブッカイ とこな あんね (有るのです)。だんぼち (落ち込んでいる所) みたいん (に) なつとると (なっていると) ドンボリブッカイなあ (です) 言うて。

…**とんない** している 書いトンナイ [会話] 今日はこれ シトンネンナア (しています) 言うて、シトンネ言うと 自分で しとる (している) 事、あのひた (人は) しとた (している) 言うと 人な (が) しとる (している) 事。シトンネンナア、しとたんなあ 言うと 人な (が) しとる事、しとたんどお 言う時も 有るし。シトンネ言うのは 自分が しとて (していて) 現在しとる (している) 事を、わたしや (私は) これ シトンネヨオ 言うて、そして 人らな (人達が) しとるのは (している) あの人 これしとたんよお 言うて。シトンナイ 言うのは 人の しとんのおを (しているのを) 見た時 あれシトンナイ 言うて、あや (彼は) こげん (こんなに) シトンナイ おらも (俺も) しよおやんかい (しょうでは有りませんか)。

…**とんね** している 寝トンネ とんない参照

…**とんねんなあ** しているのですね とんない参照

**どんより【副詞】** 1) 空が曇つて薄暗いさま 2) 目付き、色合いが濁つて、又、うるんではつきりしないさま [会話] <sub>1)</sub> 曇つとる (ている) 事を ドンヨリ

しとる（している）言うて、天気な（が）曇っとる  
（ている）時も ドンヨリ 言うし、<sup>2)</sup>めえ（目）な  
（が）ドンヨリ しとんど（しているぞ）ねむたなっ  
て（寝むくなつて）来たんかして（来たのか）言うて  
なあ。